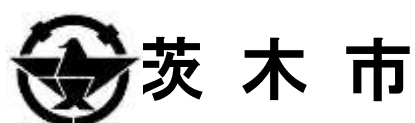


茨木市保健福祉に関するアンケート調査

〔高齢者・在宅介護者・介護保険事業者〕

報告書

平成29年（2017年）3月



目 次

I	調査の概要	1
1	調査目的	1
2	調査項目	1
3	調査設計及び回収結果	4
4	報告書の見方	4
II	調査結果	5
	第1節 調査結果の概要	5
1	介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	5
(1)	回答者の属性	5
(2)	介護・介助の状況	5
(3)	運動・閉じこもり	5
(4)	口腔・栄養について	6
(5)	物忘れなどについて	7
(6)	日常生活について	7
(7)	社会参加について	7
(8)	地域活動について	8
(9)	たすけあいについて	8
(10)	健康について	9
(11)	認知症について	9
(12)	今後の暮らしに対する考えについて	10
(13)	高齢者施策全般について	10
2	在宅介護実態調査	10
(1)	回答者の属性	10
(2)	主な介護者について	11
3	介護保険事業者調査	11
(1)	法人の概要	11
(2)	サービス提供に対する自己評価と質向上のための支援について	11
(3)	医療との連携について	12
(4)	はつらつパスポートについて	12
(5)	職員の処遇改善に向けた取り組みについて	12
	第2節 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	15
1	回答者の属性	15
(1)	アンケートの記入者	15
(2)	性別	15
(3)	年齢	16

(4) 居住地	17
(5) 家族構成	18
2 介護・介助の状況	20
(1) 介護・介助の必要性	20
(2) 介護・介助が必要になった原因	22
(3) 主な介護・介助者	23
(4) 経済的な現在の暮らしの状況	26
(5) 住宅形態	28
3 運動・閉じこもり	29
(1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇ること	29
(2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がること	29
(3) 15分位続けて歩くこと	30
(4) 過去1年間に転んだ経験	30
(5) 転倒に対する不安	31
(6) 週あたりの外出頻度	31
(7) 昨年と比べた外出の回数	32
(8) 外出を控えていること	32
(9) 外出を控える理由	34
(10) 外出時の移動手段	36
4 口腔・栄養について	40
(1) 身長と体重（BMI 指数）	40
(2) 半年前に比べて固いものが食べにくくなったか	42
(3) お茶や汁物等でむせることがあるか	42
(4) 口の渇きが気になるか	43
(5) 歯磨きを毎日しているか	43
(6) 歯の数と入れ歯の利用状況	44
(7) 噛み合わせは良いか	45
(8) 毎日入れ歯の手入れをしているか	46
(9) 6か月間で2～3kg以上の体重減少の有無	47
(10) 誰かと食事をともにする機会	49
5 物忘れなどについて	50
(1) 物忘れが多いと感じるか	50
(2) 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしているか	50
(3) 今日が何月何日かわからない時があるか	51
6 日常生活について	52
(1) バスや電車を利用した一人での外出	52
(2) 自分で食品・日用品の買物	52
(3) 自分で食事の用意	53
(4) 自分で請求書の支払い	53
(5) 自分で預貯金の出し入れ	54

7	社会参加について	55
	(1) 年金などの書類が書けるか	55
	(2) 新聞を読んでいるか	55
	(3) 本や雑誌を読んでいるか	56
	(4) 健康についての記事や番組に関心はあるか	56
	(5) 友人の家を訪ねているか	57
	(6) 家族や友人の相談にのっているか	57
	(7) 病人を見舞うことができるか	58
	(8) 若い人に自分から話しかけることがあるか	58
	(9) 趣味の有無	59
	(10) 生きがいの有無	60
	(11) 日常生活で使用している情報通信機器	62
8	地域活動について	65
	(1) 地域活動の参加頻度	65
	(2) いきいきとした地域活動に参加者としての参加意向	69
	(3) いきいきとした地域活動に企画・運営としての参加意向	71
9	たすけあいについて	73
	(1) 心配事や愚痴を聞いてくれる人	73
	(2) 心配事や愚痴を聞いてあげる人	78
	(3) 看病や世話をしてくれる人	80
	(4) 看病や世話をしてあげる人	84
	(5) 相談相手(家族・友人・知人以外)	87
	(6) 友人・知人と会う頻度	89
	(7) 1か月間に会った友人・知人の人数	91
	(8) よく会う友人・知人との関係	93
10	健康について	94
	(1) 主観的健康観	94
	(2) 現在の幸福度	95
	(3) 1か月間にゆううつな気持ちになったりすることがあったか	98
	(4) 1か月間に物事に対して心から楽しめない感じがよくあったか	98
	(5) 飲酒習慣	99
	(6) 喫煙習慣	100
	(7) 現在治療中または後遺症のある病気	101
	(8) 健康診査の受診状況	103
	(9) 歯科健康診査の受診状況	104
	(10) かかりつけの医療提供者	105
	(11) 定期的に通院している医療機関がある地域	106
11	認知症について	108
	(1) 認知症予防に対する考え	108
	(2) 自身や家族が認知症になったら不安なこと	112

(3) 認知症について知っていること	114
(4) 認知症の人との関わり方	116
(5) 認知症に関する市の事業の認知度	117
12 今後の暮らしに対する考えについて	121
(1) 人生の最期を過ごしたい場所	121
(2) 自宅で療養生活を送るために必要な条件	122
13 高齢者施策全般について	123
(1) 高齢者人口の増加に対応するために重点を置くべき施策	124
(2) 成年後見制度の認知度	127
(3) 成年後見制度の関心度	128
(4) はつらつパスポート（みんなで連携編）の認知度	129
14 自由意見	130
第3節 在宅介護実態調査	131
1 回答者の属性	131
(1) アンケートの記入者	131
(2) 主な介護者が介護をしている方の要介護度	131
(3) 世帯類型	132
(4) 施設等への入所・入居の検討状況	133
(5) 家族や親族からの週あたりの介護状況	134
2 主な介護者について	135
(1) 過去1年間で介護を理由に仕事を辞めた人	135
(2) 主な介護者の年齢	136
(3) 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者が不安に感じる介護等	137
(4) 主な介護者の現在の勤務形態	139
(5) 介護をするにあたって、調整している働き方	140
(6) 働きながら介護を続けることの意向	141
第4節 介護保険事業者調査	145
1 法人の概要	145
(1) 法人種別	145
(2) 現在提供しているサービス	146
2 サービス提供に対する自己評価と質向上のための支援について	148
(1) サービス提供に対する自己評価	148
(2) 介護保険サービス外の事業の実施状況	148
(3) 運営やサービス向上のために必要な情報や支援	149
3 医療との連携について	150
(1) 医療機関との連携について取り組んでいること	150
(2) 医療機関との連携について困難に感じること	151
(3) 医療ニーズの高い利用者の受入状況	151

(4) 看取りの体制の整備状況	152
(5) 施設（事業所）での看取りに係わった実人数	152
4 はつらつパスポートについて	153
(1) はつらつパスポートの認知度	153
(2) はつらつパスポートの活用状況	153
5 職員の処遇改善に向けた取り組みについて	154
(1) 介護職員処遇改善加算の算定の届出状況	154
(2) 介護職員処遇改善加算の算定の届出を行わない理由	154
(3) 平成27年度における介護職員の採用人数	155
(4) 平成27年度における介護職員の離職人数	156
(5) 職員の処遇向上のために取り組んでいること	157
(6) 職員のキャリアアップを促すために取り組んでいること	158
6 自由意見	159

I 調査の概要

1 調査目的

本調査は、「茨木市高齢者保健福祉計画（第8次）・介護保険事業計画（第7期）」を策定するため、高齢者の生活状況を把握し、今後充実の必要なサービスに対するニーズを分析するとともに、高齢者福祉施策を検討するのに必要な資料を得ることを目的として実施した。

2 調査項目

【介護予防・日常生活圏域ニーズ調査】

区分	質問項目	高齢者	
1. 回答者の属性	アンケートの記入者	○	
	性別	問1	Q1
	年齢		Q2
	居住地		Q3
	家族構成		Q4
介護・介助の必要性	Q5		
2. 介護・介助の状況	介護・介助が必要になった原因		Q5-1
	主な介護・介助者		Q5-2
	経済的な現在の暮らしの状況		Q6
	住宅形態		Q7
	3. 運動・閉じこもり	階段を手すりや壁をつたわずに昇ること	問2
椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がること		Q2	
15分位続けて歩くこと		Q3	
過去1年間に転んだ経験		Q4	
転倒に対する不安		Q5	
週あたりの外出頻度		Q6	
昨年と比べた外出の回数		Q7	
外出を控えていること		Q8	
外出を控える理由		Q8-1	
外出時の移動手段		Q9	
4. 口腔・栄養について		身長と体重	
	半年前に比べて固いものが食べにくくなったか	Q2	
	お茶や汁物等でむせることがあるか	Q3	
	口の渇きが気になるか	Q4	
	歯磨きを毎日しているか	Q5	
	歯の数と入れ歯の利用状況	Q6	
	噛み合わせは良いか	Q6①	
	毎日入れ歯の手入れをしているか	Q6②	
	6か月間で2～3kg以上の体重減少の有無	Q7	
	誰かと食事をする機会	Q8	
5. 物忘れなどについて	物忘れが多いと感じるか	問4	Q1
	自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしているか		Q2
	今日が何月何日かわからない時があるか		Q3
6. 日常生活について	バスや電車を利用した一人での外出	問4	Q4
	自分で食品・日用品の買物		Q5
	自分で食事の用意		Q6
	自分で請求書の支払い		Q7
	自分で預貯金の出し入れ		Q8

区 分	質 問 項 目	高 齢 者	
7. 社会参加について	年金などの書類が書けるか	問 4	Q 9
	新聞を読んでいるか		Q10
	本や雑誌を読んでいるか		Q11
	健康についての記事や番組に関心はあるか		Q12
	友人の家を訪ねているか		Q13
	家族や友人の相談にのっているか		Q14
	病人を見舞うことができるか		Q15
	若い人に自分から話しかけることがあるか		Q16
	趣味の有無		Q17
	生きがいの有無		Q18
	日常生活で使用している情報通信機器		Q19
8. 地域活動について	地域活動の参加頻度	問 5	Q 1
	いきいきとした地域活動に参加者としての参加意向		Q 2
	いきいきとした地域活動に企画・運営としての参加意向		Q 3
9. たすけあいについて	心配事や愚痴を聞いてくれる人	問 6	Q 1
	心配事や愚痴を聞いてあげる人		Q 2
	看病や世話をしてくれる人		Q 3
	看病や世話をしてあげる人		Q 4
	相談相手（家族・友人・知人以外）		Q 5
	友人・知人と会う頻度		Q 6
	1 か月間に会った友人・知人の人数		Q 7
	よく会う友人・知人との関係		Q 8
10. 健康について	主観的健康観	問 7	Q 1
	現在の幸福度		Q 2
	1 か月間にゆううつな気持ちになったりすることがあったか		Q 3
	1 か月間に物事に対して心から楽しめない感じがよくあったか		Q 4
	飲酒習慣		Q 5
	喫煙習慣		Q 6
	現在治療中または後遺症のある病気		Q 7
	健康診査の受診状況		Q 8
	歯科健康診査の受診状況		Q 9
	かかりつけの医療提供者		Q10
	定期的に通院している医療機関がある地域		Q11
11. 認知症について	認知症予防に対する考え	問 8	Q 1
	自身や家族が認知症になったら不安なこと		Q 2
	認知症について知っていること		Q 3
	認知症の人との関わり方		Q 4
	認知症に関する市の事業の認知度		Q 5
12. 今後の暮らしに対する考えについて	人生の最期を過ごしたい場所	問 9	Q 1
	自宅で療養生活を送るために必要な条件		Q 2
13. 高齢者施策全般について	高齢者人口の増加に対応するために重点を置くべき施策	問10	Q 1
	成年後見制度の認知度		Q 2
	成年後見制度の関心度		Q 2 - 1
	はつらつパスポート（みんなで連携編）の認知度		Q 3
14. 自由意見			Q 4

【在宅介護実態調査】

区分	質問項目	在宅介護	
1. 回答者の属性	アンケートの記入者	A票	問1
	世帯類型		問2
	施設等への入所・入居の検討状況		問3
	家族や親族からの週あたりの介護状況		問4
2. 主な介護者について	過去1年間で介護を理由に仕事を辞めた人	B票	問1
	主な介護者の年齢		問2
	現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者が不安に感じる介護等		問3
	主な介護者の現在の勤務形態		問4
	介護をするにあたって、調整している働き方		問5
	働きながら介護を続けることの意向		問6

【介護保険事業者調査】

区分	質問項目	介護保険事業者
1. 法人の概要	法人種別	問1
	現在提供しているサービス	問2
2. サービス提供に対する自己評価と質向上のための支援について	サービス提供に対する自己評価	問3
	介護保険サービス外の事業の実施状況	問4
	運営やサービス向上のために必要な情報や支援	問5
3. 医療との連携について	医療機関との連携について取り組んでいること	問6 (1)
	医療機関との連携について困難に感じること	問6 (2)
	医療ニーズの高い利用者の受入状況	問6 (3)
	看取りの体制の整備状況	問6 (4)
	施設（事業所）での看取りに係わった実人数	問6 (5)
4. はつらつパスポートについて	はつらつパスポートの認知度	問7 (1)
	はつらつパスポートの活用状況	問7 (2)
5. 職員の処遇改善に向けた取り組みについて	介護職員処遇改善加算の算定の届け出状況	問8 (1)
	介護職員処遇改善加算の算定の届出を行わない理由	問8 (2)
	平成27年度における介護職員の採用人数	問9 (1)
	平成27年度における介護職員の離職人数	問9 (2)
	職員の処遇向上のために取り組んでいること	問10
	職員のキャリアアップを促すために取り組んでいること	問11
6. 自由意見		問12

3 調査設計及び回収結果

	ニーズ調査	在宅介護実態調査	介護保険事業者調査
調査対象	要介護認定を受けていない 高齢者及び要支援認定者	在宅で生活している 要支援・要介護認定者	市内で介護保険サービスを提供している事業者
調査方法	郵送配布・郵送回収	郵送及び認定調査員による 聴き取り	郵送配布・郵送回収
調査期間	平成28年 11月17日～12月6日	平成28年 11月17日～12月6日	平成28年 10月17日～11月8日
配布数	3,000人	1,170人	159事業者
有効回答数	2,358人	798人	123事業者
有効回答率	78.6%	68.2%	77.4%

4 報告書の見方

- (1) 図中の n (Number of case) は、設問に対する回答者数のことである。
- (2) 回答比率 (%) は回答者数 (n) を100%として算出し、小数点以下第2位を四捨五入して表示した。四捨五入の結果、内訳の合計が計に一致しないことがある。また、一人の対象者に複数の回答を求める設問では、回答比率 (%) の計は100.0%を超える。
- (3) 図表中の「MA%」(Multiple Answer の略) や「3LA%」(3 Limited Answer の略) という表示は、複数回答形式の設問 (回答選択肢の中から「○はいくつでも」や「○は3つまで」選択する形式の設問) である。
- (4) 回答者数 (n) が30人未満の場合、母数が少ないことから一概に適正な比率とは言えないため注意が必要である。

Ⅱ 調査結果

【第 1 節 調査結果の概要】

第1節 調査結果の概要

1 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

(1) 回答者の属性

- ・アンケートの記入者は、「本人が記入」が79.9%で最も多く、次いで「家族が記入」が5.1%となっている。
- ・回答者の性別は、「女性」が51.2%に対し、「男性」が43.5%となっている。
- ・回答者の年齢は、「65～69歳」が25.0%で最も多く、次いで「75～79歳」が24.6%、「70～74歳」が20.7%となっており、75歳以上は48.9%となっている。
- ・居住地は、「大池小学校区」が5.3%で最も多く、次いで「茨木小学校区」が3.8%、「山手台小学校区」が3.6%となっている。
- ・家族構成は、「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」が42.6%で最も多く、次いで「1人暮らし」が17.1%、「息子・娘との2世帯」が12.5%となっている。

(2) 介護・介助の状況

- ・介護・介助の必要性については、「介護・介助は必要ない」が81.0%で最も多く、次いで「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」が5.5%、「現在、何らかの介護を受けている」が4.7%となっている。
- ・介護・介助が必要になった原因については、「高齢による衰弱」が17.0%で最も多く、次いで「骨折・転倒」が14.1%、「関節の病気（リウマチ等）」が13.7%、「糖尿病」が11.6%、「心臓病」が11.2%となっている。
- ・主な介護・介助者は、「配偶者（夫・妻）」が33.2%で最も多く、次いで「娘」が18.7%、「介護サービスのヘルパー」が15.4%となっている。
- ・経済的な現在の暮らしの状況については、「ふつう」が53.9%で最も多く、『苦しい』が30.4%、『ゆとりがある』が9.0%となっている。
- ・住宅形態については、「持家（一戸建て）」が56.5%で最も多く、次いで「持家（集合住宅）」が19.5%、「民間賃貸住宅（集合住宅）」が8.0%となっている。

(3) 運動・閉じこもり

- ・階段を手すりや壁をつたわずに昇ることについては、「できるし、している」が59.7%で最も多く、「できるけどしていない」が21.2%、「できない」が16.6%となっている。
- ・椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がることについては、「できるし、している」が76.1%で最も多く、次いで「できるけどしていない」が11.2%、「できない」が10.1%となっている。
- ・15分位続けて歩くことについては、「できるし、している」が81.4%で最も多く、次いで「できるけどしていない」が9.6%、「できない」が6.7%となっている。
- ・過去1年間に転んだ経験については、「ない」が71.6%で最も多く、次いで「1度ある」が19.6%、「何度もある」が6.8%となっている。
- ・転倒に対する不安については、「やや不安である」が35.1%で最も多く、次いで「あまり

- 不安でない」が25.7%、「不安でない」が24.6%となっている。
- ・ 週あたりの外出頻度については、「週5回以上」が44.6%で最も多く、次いで「週2～4回」が39.2%、「週1回」が9.3%、「ほとんど外出しない」が4.9%となっている。
 - ・ 昨年と比べた外出の回数については、「減っていない」が45.7%で最も多く、次いで「あまり減っていない」が30.7%、「減っている」が18.6%となっている。
 - ・ 外出を控えているかについては、「いいえ」が79.7%に対し、「はい」が17.2%となっている。
 - ・ 外出を控えている理由については、「足腰などの痛み」が59.9%で最も多く、次いで「病気が」が18.7%、「外での楽しみがない」が16.0%となっている。
 - ・ 外出時の移動手段については、「徒歩」が70.0%で最も多く、次いで「電車」が49.1%、「自転車」が48.1%、「路線バス」が35.6%となっている。

(4) 口腔・栄養について

- ・ BMI 指数は、平均で22.6となっている。「普通体重」(18.5以上25未満)が69.1%で最も多く、次いで「肥満(1度)」が17.3%で、「肥満(1度)」～「肥満(4度)」をあわせた『肥満』は18.9%となっている。
- ・ 半年前に比べて固いものが食べにくくなったかについては、「いいえ」が71.5%に対し、「はい」が26.4%となっている。
- ・ お茶や汁物等でむせることがあるかについては、「いいえ」が76.5%に対し、「はい」が21.9%となっている。
- ・ 口の渇きが気になるかについては、「いいえ」が72.5%に対し、「はい」が25.4%となっている。
- ・ 歯磨きを毎日しているかについては、「はい」が90.7%に対し、「いいえ」が7.4%となっている。
- ・ 歯の数と入れ歯の利用状況については、「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」が37.8%で最も多く、次いで「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」が31.6%、「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」が17.7%、「自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし」が8.7%となっている。
- ・ 噛み合わせは良いかについては、「はい」が72.3%に対し、「いいえ」が16.8%となっている。
- ・ 毎日入れ歯の手入れをしているかについては、「はい」が82.6%に対し、「いいえ」が5.6%となっている。
- ・ 6か月間で2～3kg以上の体重減少があったかについては、「いいえ」が77.8%に対し、「はい」が9.9%となっている。
- ・ 誰かと食事をもにす機会の頻度は、「毎日ある」が49.2%で最も多く、次いで「月に何度かある」が14.0%、「年に何度かある」が10.3%となっており、一方で「ほとんどない」は6.4%となっている。

(5) 物忘れなどについて

- ・物忘れが多いと感じるかについては、「いいえ」が55.3%に対し、「はい」が37.7%となっている。
- ・自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしているかについては、「はい」が85.3%に対し、「いいえ」が9.3%となっている。
- ・今日が何月何日かわからない時があるかについては、「いいえ」が72.5%に対し、「はい」が21.6%となっている。

(6) 日常生活について

- ・バスや電車を使った1人での外出については、「できるし、している」が80.5%で最も多く、次いで「できるけどしていない」が9.9%、「できない」が4.3%となっている。
- ・自分で食品・日用品の買物をする事については、「できるし、している」が80.7%で最も多く、次いで「できるけどしていない」が10.7%、「できない」が3.4%となっている。
- ・自分で食事の用意をする事については、「できるし、している」が67.3%で最も多く、次いで「できるけどしていない」が21.2%、「できない」が6.2%となっている。
- ・自分で請求書の支払いをすることは、「できるし、している」が79.0%で最も多く、次いで「できるけどしていない」が13.1%、「できない」が2.2%となっている。
- ・自分で預貯金の出し入れをする事については、「できるし、している」が78.9%で最も多く、次いで「できるけどしていない」が12.9%、「できない」が3.2%となっている。

(7) 社会参加について

- ・年金などの書類を書けるかについては、「はい」が88.1%に対し、「いいえ」が6.6%となっている。
- ・新聞を読んでいるかについては、「はい」が81.3%に対し、「いいえ」が13.3%となっている。
- ・本や雑誌を読んでいるかについては、「はい」が72.6%に対し、「いいえ」が22.0%となっている。
- ・健康についての記事や番組に関心があるかについては、「はい」が86.6%に対し、「いいえ」が8.1%となっている。
- ・友人の家を訪ねているかについては、「はい」が45.3%、「いいえ」が48.8%となっている。
- ・家族や友人の相談にのっているかについては、「はい」が73.7%に対し、「いいえ」が20.1%となっている。
- ・病人を見舞うことができるかについては、「はい」が84.2%に対し、「いいえ」が10.0%となっている。
- ・若い人に自分から話しかけることがあるかについては、「はい」が71.3%に対し、「いいえ」が23.1%となっている。
- ・趣味の有無については、「趣味あり」が72.3%に対し、「思いつかない」が19.5%となっている。

- ・生きがいの有無については、「生きがいあり」が58.7%に対し、「思いつかない」が30.4%となっている。
- ・日常生活で使用している情報通信機器については、「携帯電話」が62.7%で最も多く、次いで「固定電話」が58.5%、「パソコン」が24.9%、「スマートフォン」が13.3%となっている。

(8) 地域活動について

- ・地域活動の参加頻度については、いずれの活動も「参加していない」が最も多く、“①ボランティアのグループ” (52.5%)、“④学習・教養サークル” (52.7%)、“⑤老人クラブ” (55.1%) は5割を超えている。『週1回以上』は“⑦収入のある仕事”が16.1%で最も高く、次いで“②スポーツ関係のグループやクラブ”が15.3%、“③趣味関係のグループ”が15.1%となっている。
- ・いきいきとした地域活動に参加者としての参加意向については、「参加してもよい」が51.1%で最も多く、次いで「参加したくない」が34.7%、「是非参加したい」が6.9%となっている。『参加意向がある』は58.0%となっている。
- ・いきいきとした地域活動に企画・運営としての参加意向については、「参加したくない」が60.6%で最も多く、次いで「参加してもよい」が28.6%、「是非参加したい」が2.2%となっている。『参加意向がある』は30.8%となっている。

(9) たすけあいについて

- ・心配事や愚痴を聞いてくれる人については、「配偶者」が57.3%で最も多く、次いで「友人」が44.7%、「別居の子ども」が40.0%となっている。
- ・心配事や愚痴を聞いてあげる人については、「配偶者」が53.1%で最も多く、次いで「友人」が46.1%、「別居の子ども」が38.0%となっている。
- ・病気で寝込んだときに看病や世話をしてくれる人については、「配偶者」が62.3%で最も多く、次いで「別居の子ども」が37.1%、「同居の子ども」が23.5%となっている。
- ・看病や世話をしてあげる人については、「配偶者」が62.4%で最も多く、次いで「別居の子ども」が31.3%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が23.4%となっている。
- ・家族や友人・知人以外で相談する相手については、「医師・歯科医師・看護師」が36.0%で最も多く、次いで「地域包括支援センター・役所・役場」が12.9%、「自治会・町内会・老人クラブ」が10.1%となっている。
- ・友人・知人と会う頻度については、「週に何度かある」が29.5%で最も多く、次いで「月に何度かある」が24.7%、「年に何度かある」が17.1%となっている。
- ・この1か月間で会った友人・知人の人数は、「10人以上」が29.4%で最も多く、次いで「3～5人」が22.5%、「1～2人」が19.0%、「0人(いない)」が12.7%となっている。
- ・よく会う友人・知人との関係については、「近所・同じ地域の人」が47.6%で最も多く、次いで「趣味や関心が同じ友人」が41.1%、「仕事での同僚・元同僚」が29.8%となっている。

(10) 健康について

- ・主観的健康観については、「まあよい」が65.6%で最も多く、次いで「あまりよくない」が16.4%、「とてもよい」が11.3%となっており、『よい』は76.9%、『よくない』は19.3%となっている。
- ・“とても不幸”を0点、“とても幸せ”を10点として採点した現在の幸福度は、「8点」が22.7%で最も多く、次いで「5点」が18.0%、「10点」が14.6%で、平均は7.1点となっている。
- ・この1か月間、ゆううつな気持ちになったりすることがあったかについては、「いいえ」が60.3%に対し、「はい」が35.2%となっている。
- ・この1か月間、物事に対して心から楽しめない感じがよくあったかについては、「いいえ」が74.6%に対し、「はい」が20.7%となっている。
- ・飲酒習慣については、「もともと飲まない」が33.3%で最も多く、次いで「ほとんど飲まない」が24.6%、「ほぼ毎日飲む」が23.5%となっている。
- ・喫煙習慣については、「もともと吸っていない」が58.1%で最も多く、次いで「吸っていたがやめた」が28.3%、「ほぼ毎日吸っている」が8.9%となっている。
- ・現在治療中、または後遺症のある病気については、「高血圧」が36.5%で最も多く、次いで「目の病気」が18.4%、「ない」が15.3%、「高脂血症（脂質異常）」が13.0%となっている。
- ・健康診査の受診状況については、「毎年受けている」が53.3%で最も多く、次いで「気になったときに受ける」が16.5%、「受けていない」が14.2%となっている。
- ・歯科健康診査の受診状況については、「毎年受けている」が37.7%で最も多く、次いで「気になったときに受ける」が25.7%、「受けていない」が24.2%となっている。
- ・かかりつけの医療提供者については、「医師」が82.0%で最も多く、次いで「歯科医師」が35.5%、「薬剤師」が11.7%となっている。
- ・定期的に通院している医療機関がある地域は、「茨木市」が71.2%で最も多く、次いで「高槻市」が16.1%、「通院していない」が11.8%、「吹田市」が8.7%となっている。

(11) 認知症について

- ・認知症予防に対する考えについては、「自宅でもできる簡単な予防があれば取り組みたい」が54.1%で最も多く、次いで「認知症を早期に発見できるようなテスト等があれば受けてみたい」が26.9%、「近くの公民館等で予防教室を行っていただければ参加したい」が13.5%となっている。
- ・自身や家族が認知症になったら不安なことについては、「家族や周りの人に負担や迷惑をかけること」が81.5%で最も多く、次いで「物事の判断や理解ができなくなること」が60.9%、「治療や介護を受けることで経済的な負担が増すこと」が48.0%となっている。
- ・認知症について知っていることについては、「早めに受診すれば認知症の進行を遅らせることができる」が70.7%で最も多く、次いで「65歳未満の人でも認知症になる場合がある」が69.4%、「認知症は脳の病気である」が69.1%、「早めに受診すれば治る（軽くできる）認知症の症状もある」が44.7%となっている。

- ・認知症の人との関わり方については、「認知症の人に、どのように接したらよいか分からない」が44.2%で最も多く、次いで「認知症の人が困っていたら、迷わず手を貸せる」が40.5%、「認知症の人でも地域活動に参加した方がよい」が28.0%となっている。
- ・認知症に関する市の事業の認知度については、いずれの項目も「知らない」が6割台と高い。「知っている」は“①認知症サポーター養成講座”が6.2%で最も高く、認知度も“①認知症サポーター養成講座”が20.0%で最も高く、次いで“②認知症地域支援推進員”が16.5%となっている。

(12) 今後の暮らしに対する考えについて

- ・人生の最期を過ごしたい場所については、「自宅で療養して、必要になれば医療機関に入院したい」が37.9%で最も多く、次いで「最期まで自宅で過ごしたい」が31.3%、「医療機関に入院したい」が6.0%となっている。
- ・自宅で療養生活を送るために必要な条件については、「介護してくれる家族等がいること」が65.4%で最も多く、次いで「家族への負担（身体的・心理的・経済的）が少ないこと」が61.2%、「自宅に往診する医師、歯科医師、薬剤師や訪問看護師がいること」が49.0%となっている。

(13) 高齢者施策全般について

- ・高齢者人口の増加に対応するために重点を置くべき施策については、「道路の段差解消や歩道整備など、高齢者が外出しやすい環境づくり」が39.7%で最も多く、次いで「訪問診療の充実」が36.7%、「介護保険や福祉サービスの利用手続きの簡素化」が36.6%となっている。
- ・成年後見制度の認知度については、「詳しくは知らないが、おおまかなことは知っている」が29.5%で最も多く、次いで「知らない」が23.6%、「名称を聞いたことがある程度」が19.9%、「内容まで知っている」が8.5%となっており、周知度は57.9%となっている。
- ・成年後見制度の関心度については、「あまりない」が34.7%で最も多く、次いで「ある」が19.3%、「ない」が15.6%となっている。
- ・はつらつパスポート（みんなで連携編）の認知度については、「知らない」が74.4%に対し、「知っている」が12.6%となっている。

2 在宅介護実態調査

(1) 回答者の属性

- ・アンケート記入者は、「調査対象者本人」が55.9%で最も多く、次いで「主な介護者となっている家族・親族」が45.0%、「主な介護者以外の家族・親族」が4.5%、「調査対象者のケアマネジャー」が2.8%となっている。
- ・調査対象者の世帯類型は、「夫婦のみ世帯」が31.8%で最も多く、次いで「単身世帯」が29.8%となっている。
- ・施設等への入所・入居の検討状況については、「入所・入居は検討していない」が75.3%で最も多く、次いで「入所・入居を検討している」が16.7%、「すでに入所・入居申し込

みをしている」が5.1%となっている。

- ・家族や親族からの週あたりの介護状況については、「ほぼ毎日ある」が36.7%で最も多く、次いで「ない」が32.3%、「週に1～2日ある」が13.7%となっており、家族や親族からの介護が『ある』は65.5%となっている。

(2) 主な介護者について

- ・過去1年間で介護を理由に仕事を辞めた人については、「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が69.8%で最も多く、次いで「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」が5.7%、「主な介護者が転職した」が3.3%となっている。
- ・主な介護者の年齢は、「50代」が26.6%で最も多く、次いで「60代」が26.4%、「70代」が21.4%、「40代」が11.5%となっている。
- ・現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者が不安に感じる介護等は、「外出の付き添い、送迎等」が49.3%で最も多く、次いで「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が41.1%、「入浴・洗身」が34.2%、「食事の準備（調理等）」が33.5%となっている。
- ・主な介護者の現在の勤務形態は、「働いていない」が52.6%で最も多く、次いで「パートタイムで働いている」が21.8%、「フルタイムで働いている」が19.7%となっている。
- ・介護をするにあたって、調整している働き方については、「特に行っていない」が36.4%で最も多く、次いで「介護のために、「労働時間を調整」しながら、働いている」が33.2%、「介護のために、左記以外の調整をしながら、働いている」が16.6%、「介護のために、「休暇」を取りながら、働いている」が13.8%となっている。
- ・働きながら介護を続けることの意向については、「問題はあるが、何とか続けていける」が53.0%で最も多く、次いで「問題なく、続けていける」が19.8%、「続けていくのは、やや難しい」が9.2%となっている。

3 介護保険事業者調査

(1) 法人の概要

- ・法人種別は、「株式会社」が47.2%で最も多く、次いで「有限会社」が17.9%、「医療法人」が14.6%となっている。
- ・現在提供している介護サービスは、「訪問介護」が50.4%で最も多く、次いで「居宅介護支援」が42.3%、「通所介護」が33.3%となっている。
- ・現在提供している予防サービスは、「訪問介護」が47.2%で最も多く、次いで「居宅介護支援」が31.7%、「通所介護」が30.1%となっている。

(2) サービス提供に対する自己評価と質向上のための支援について

- ・利用者の希望どおりのサービス提供状況については、「十分提供できている」、「どちらかといえば提供できている」がそれぞれ48.0%で最も多く、次いで「どちらかといえば提供できていない」が3.3%となっている。
- ・介護保険サービス外の事業の実施状況は、「実施していない」が91.9%に対し、「実施している」が7.3%となっている。

- ・運営やサービス向上のために必要な情報や支援については、「介護保険制度・介護報酬等に関する情報」が65.0%で最も多く、次いで「介護保険以外の保険・福祉サービスに関する情報」が34.1%、「研修・講座等に関する情報」が29.3%となっている。

(3) 医療との連携について

- ・医療機関との連携で法人として取り組んでいることについては、「医療機関から利用者の健康管理や処置について助言を受けている」が58.5%で最も多く、次いで「往診をしてくれる医師・医療機関がある」が44.7%、「急変時の受入を依頼できる病院を確保している」が20.3%、「提携病院があり、一般的な入院を受け入れてもらっている」が15.4%となっている。
- ・医療機関との連携で困難に感じることは、「ない」が68.3%に対し、「ある」が22.0%となっている。
- ・医療ニーズの高い利用者の受入状況については、「受け入れていない」が51.2%に対し、「受け入れている」が39.8%となっている。
- ・看取りの体制の整備状況については、「整えていない」が56.9%に対し、「整えている」が34.1%となっている。
- ・施設（事業所）での看取りに係わった実人数は、「0件」が31.0%で最も多く、次いで「1～2件」が23.8%、「6～9件」が14.3%となっている。

(4) はつらつパスポートについて

- ・はつらつパスポート～みんなで連携編～の認知度は、「知っている」が51.2%に対し、「知らない」が47.2%となっている。
- ・はつらつパスポートの活用状況については、「活用していない」が74.6%で、「活用している」は23.8%となっている。

(5) 職員の処遇改善に向けた取り組みについて

- ・介護職員処遇改善加算の算定の届出状況は、「届出ていない」が17.9%で、届出している事業所は73.9%となっている。そのうち、「介護職員処遇改善加算（Ⅰ）」が50.4%（届出している事業所では68.1%）で最も多く、次いで「介護職員処遇改善加算（Ⅱ）」が20.3%（同27.5%）となっている。
- ・介護職員処遇改善加算の算定の届出を行わない理由については、「報酬加算の要件が厳しく加算がとれない」が22.7%で最も多く、次いで「サービス利用が低調で経営が厳しい」が13.6%となっている。「その他」（12件）は「対象外サービス」や「介護職員いない」といった記入が多い。
- ・平成27年度における介護職員の採用人数については、正規職員では「2～3人」が23.6%で最も多く、次いで「0人」が15.4%となっている。
正規職員以外では、「2～3人」が22.0%で最も多く、次いで「0人」と「1人」がともに13.0%で続いている。正規職員以外のうち、常勤は「0人」が72.4%で最も多く、非常勤は「2～3人」が23.5%で最も多く、次いで「0人」が19.4%、「1人」が18.4%と

なっている。

- 平成27年度における介護職員の離職人数については、正規職員では「0人」が17.9%で最も多く、次いで「2～3人」が13.8%となっている。

正規職員以外では、「2～3人」が18.7%で最も多く、次いで「0人」と「1人」がともに12.2%で続いている。正規職員以外のうち、常勤は「0人」が73.8%で最も多く、非常勤は「2～3人」が31.3%で最も多く、次いで「0人」が23.8%、「1人」が17.5%となっている。

- 職員の処遇向上のために取り組んでいることについては、「定期的なミーティング等コミュニケーションの充実」が67.5%で最も多く、次いで「職員の増員による負担の軽減」、「正規職員への転換機会の確保」がそれぞれ42.3%、「昇級又は昇進要件の明確化」が35.8%となっている。
- 職員のキャリアアップを促すために取り組んでいることについては、「OJT (On the Job Training) (職場内教育・訓練) の実施」が70.7%で最も多く、次いで「職場外研修への職員派遣」が61.0%、「専門性を評価する人事制度や賃金体系の導入」が26.0%となっている。

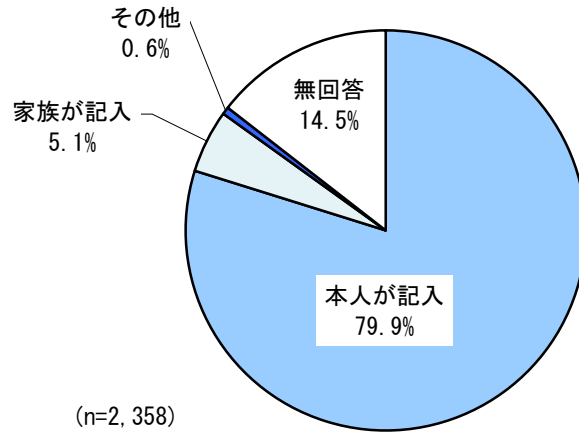
【第2節 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査】

第2節 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

1 回答者の属性

(1) アンケートの記入者

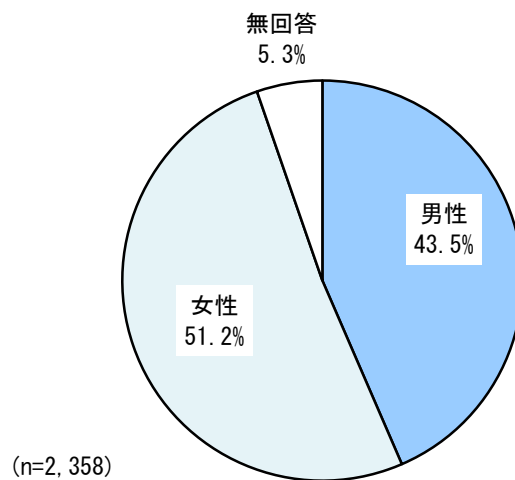
【図表1-1 アンケートの記入者】



アンケートの記入者は、「本人が記入」が79.9%で最も多く、次いで「家族が記入」が5.1%となっている。(図表1-1)

(2) 性別

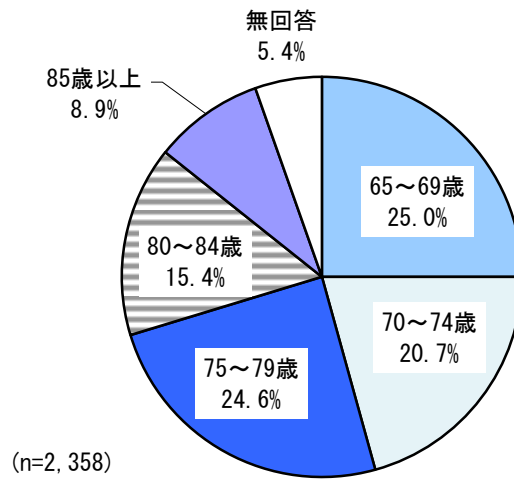
【図表1-2 性別】



回答者の性別は、「女性」が51.2%に対し、「男性」が43.5%となっている。(図表1-2)

(3) 年齢

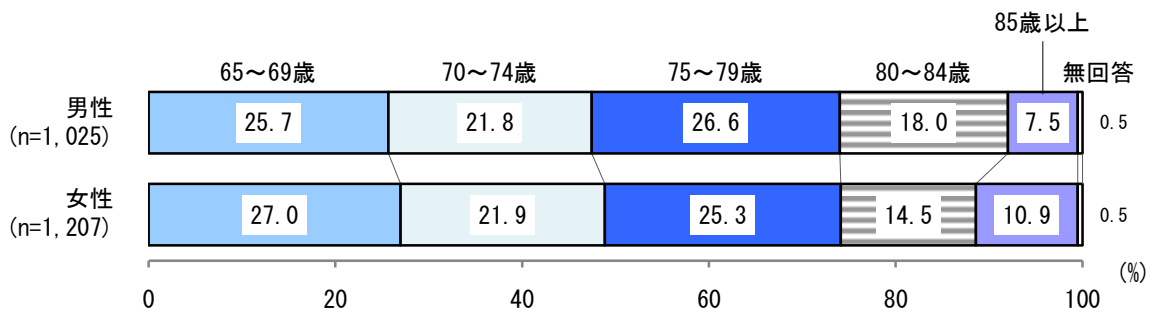
【図表1-3 年齢】



回答者の年齢は、「65～69歳」が25.0%で最も多く、次いで「75～79歳」が24.6%、「70～74歳」が20.7%となっており、75歳以上は48.9%となっている。(図表1-3)

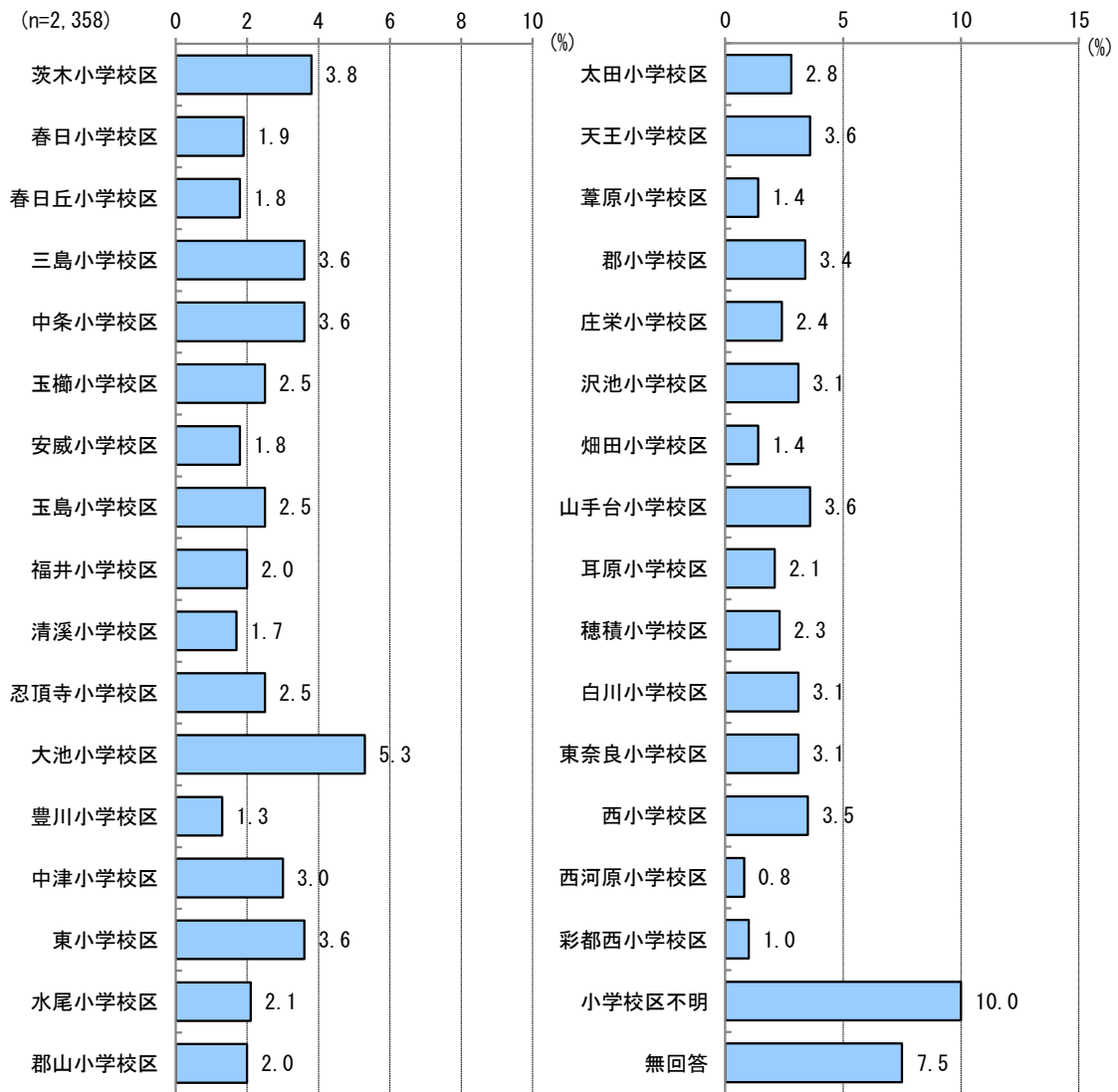
性別で見ると、男性は75～79歳が26.6%で最も多く、女性は65～69歳が27.0%で最も多くなっている。(図表1-3-1)

【図表1-3-1 性別 年齢】



(4) 居住地

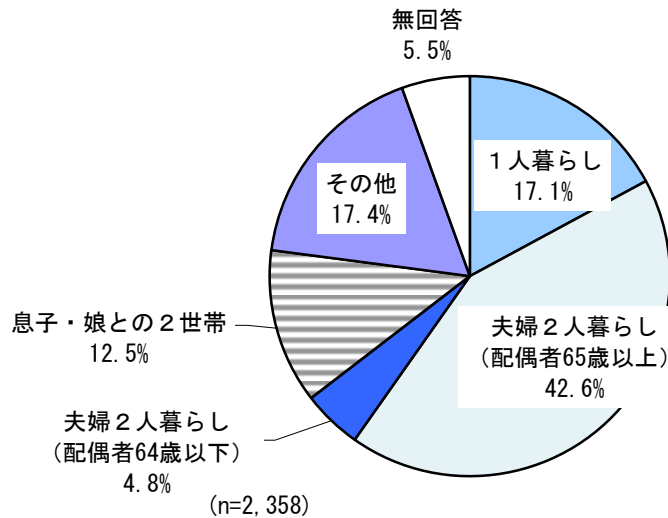
【図表1-4 居住小学校区】



回答された居住地から小学校区に分類すると、「大池小学校区」が5.3%で最も多く、次いで「茨木小学校区」が3.8%、「山手台小学校区」が3.6%となっている。(図表1-4)

(5) 家族構成

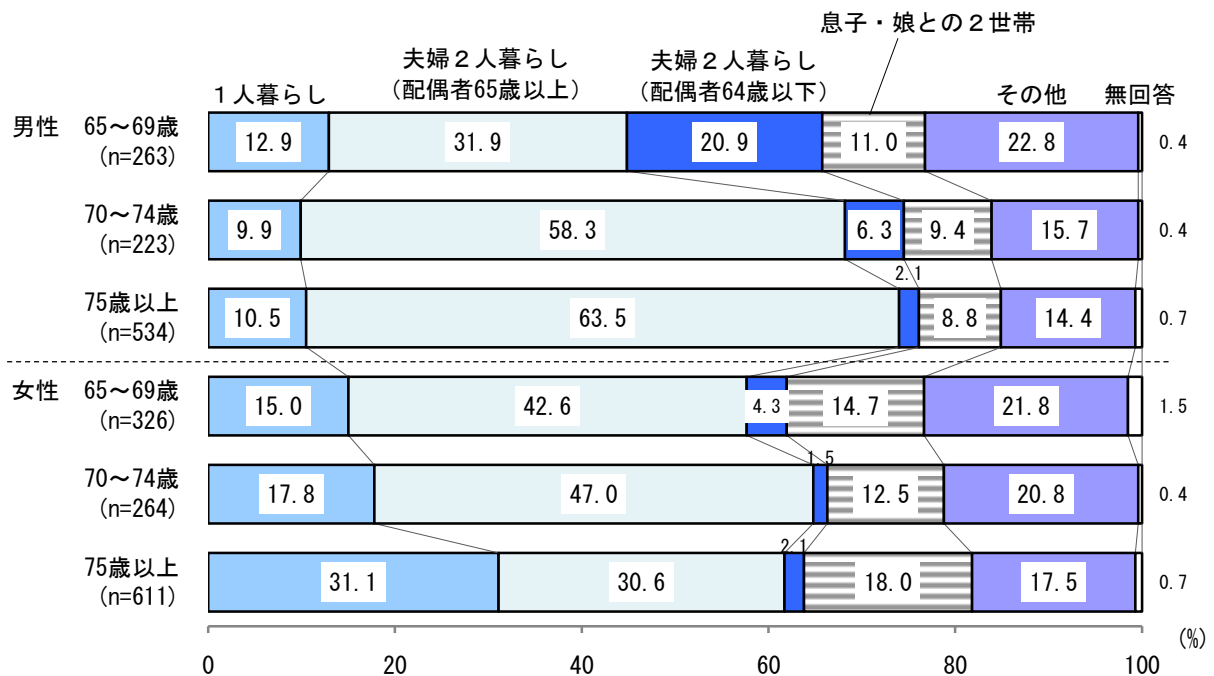
【図表1-5 家族構成】



家族構成は、「夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)」が42.6%で最も多く、次いで「1人暮らし」が17.1%、「息子・娘との2世帯」が12.5%となっている。(図表1-5)

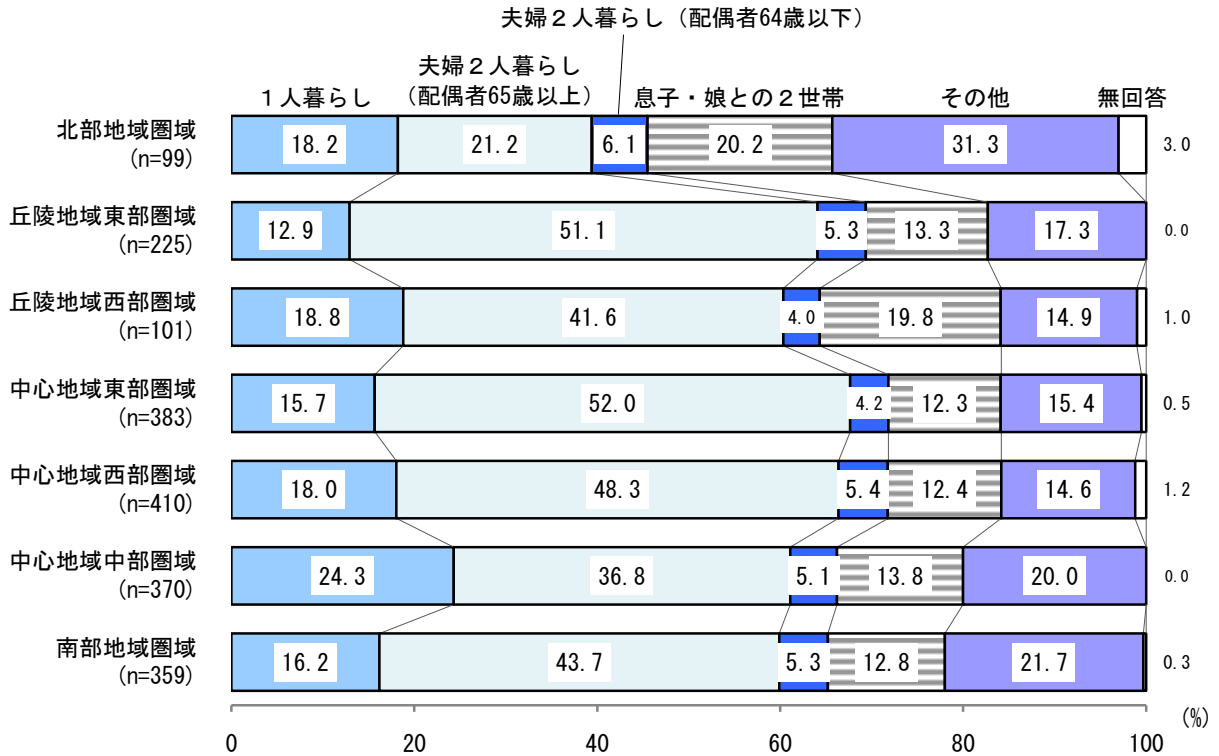
性・年齢別でみると、男性は「夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)」が高齢になるほど割合が高くなっているが、「息子・娘との2世帯」は年齢が上がるにつれ低くなっている。女性は「1人暮らし」が高齢になるほど割合が高く、75歳以上が31.1%となっている。(図表1-5-1)

【図表1-5-1 性・年齢別 家族構成】



日常生活圏域別でみると、「1人暮らし」は中心地域中部圏域が24.3%で最も高く、「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」は中心地域東部圏域が52.0%で最も高く、次いで丘陵地域東部圏域が51.1%となっている。（図表1-5-2）

【図表1-5-2 日常生活圏域別 家族構成】

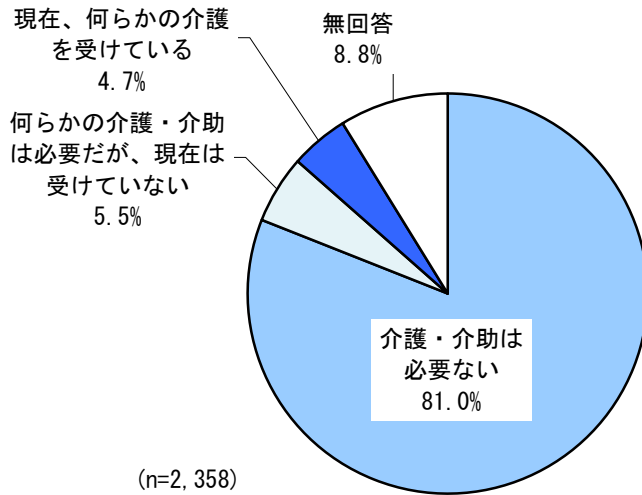


2 介護・介助の状況

(1) 介護・介助の必要性

Q5 あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。

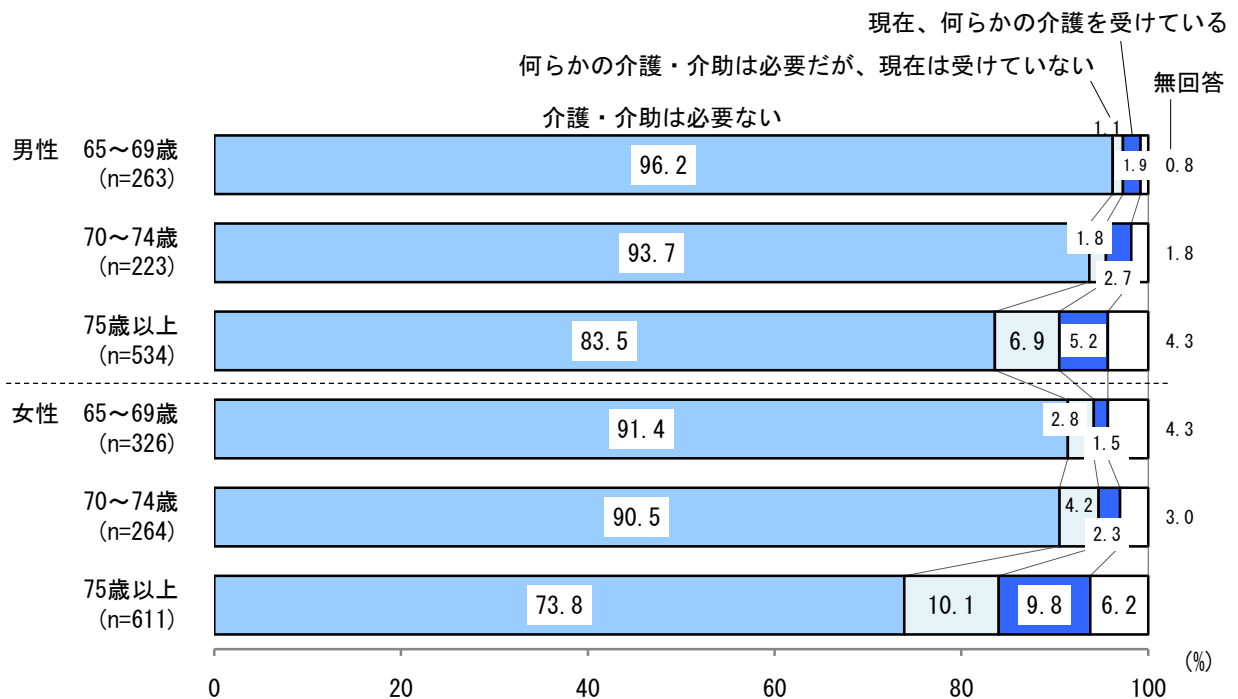
【図表2-1 介護・介助の必要性】



介護・介助の必要性については、「介護・介助は必要ない」が81.0%で最も多く、次いで「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」が5.5%、「現在、何らかの介護を受けている」が4.7%となっている。(図表2-1)

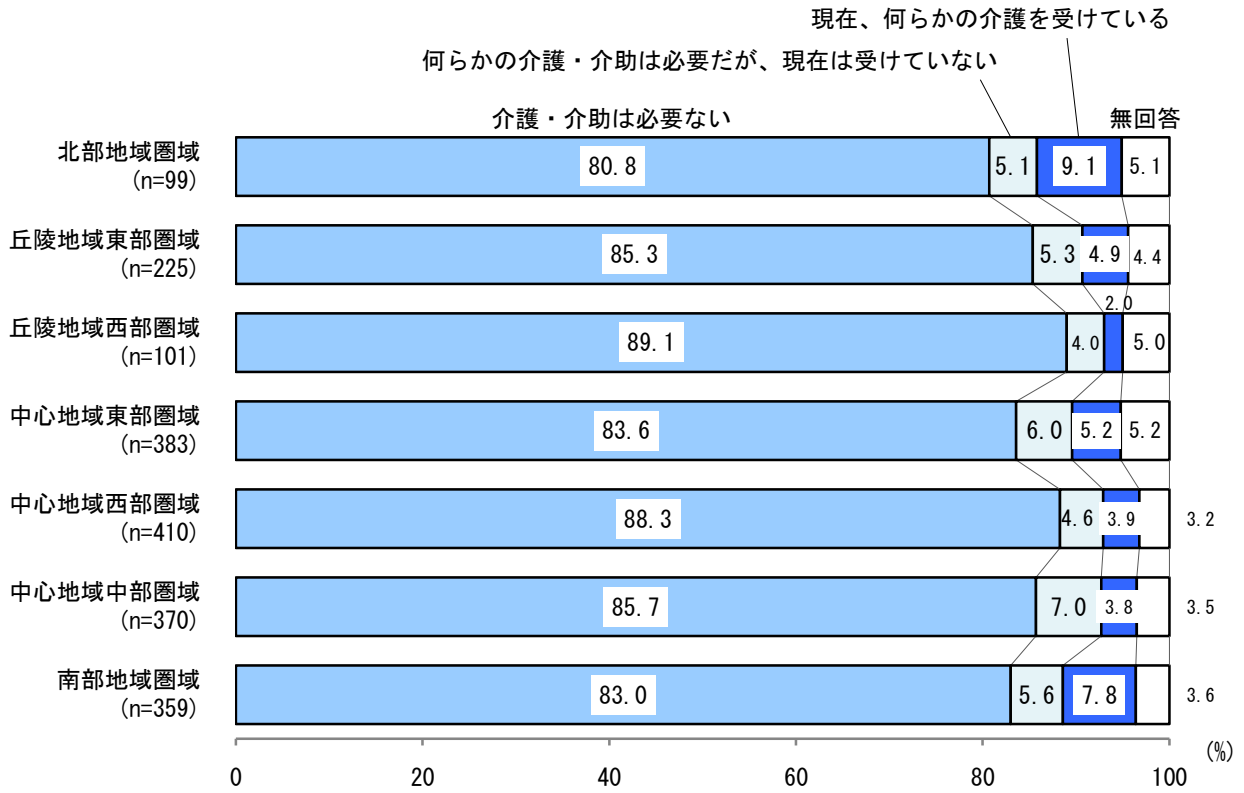
性・年齢別でみると、「介護・介助は必要ない」は男女とも高齢になるほど割合が低くなっている。(図表2-1-1)

【図表2-1-1 性・年齢別 介護・介助の必要性】



日常生活圏域別でみると、「介護・介助は必要ない」はいずれの圏域も8割を超えており、丘陵地域西部圏域が89.1%で最も高くなっている。(図表2-1-2)

【図表2-1-2 日常生活圏域別 介護・介助の必要性】

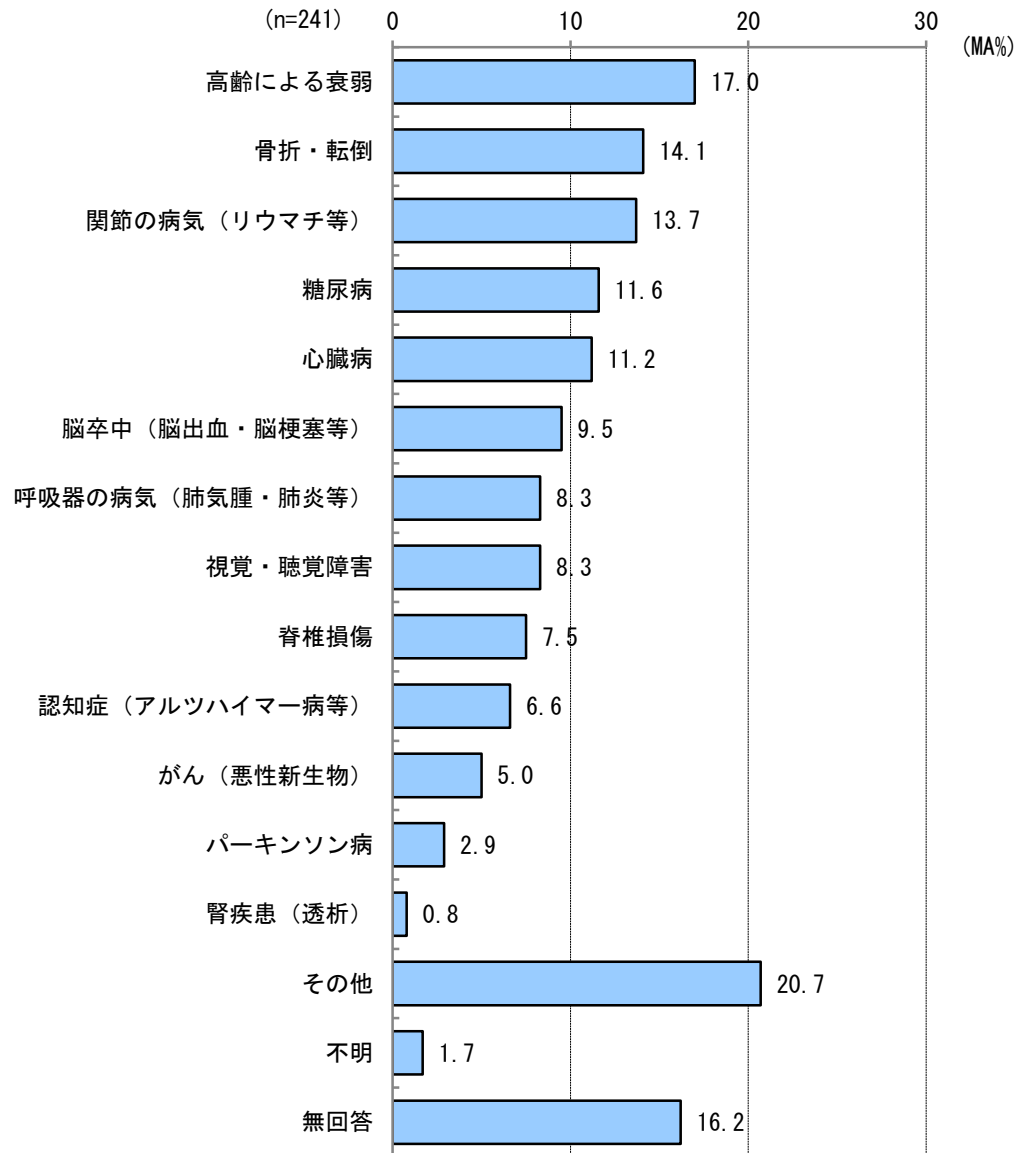


(2) 介護・介助が必要になった原因

Q5-1【Q5で「1. 介護・介助は必要ない」以外の方のみ】

①介護・介助が必要になった主な原因はなんですか。(いくつでも)

【図表2-2 介護・介助が必要になった原因】



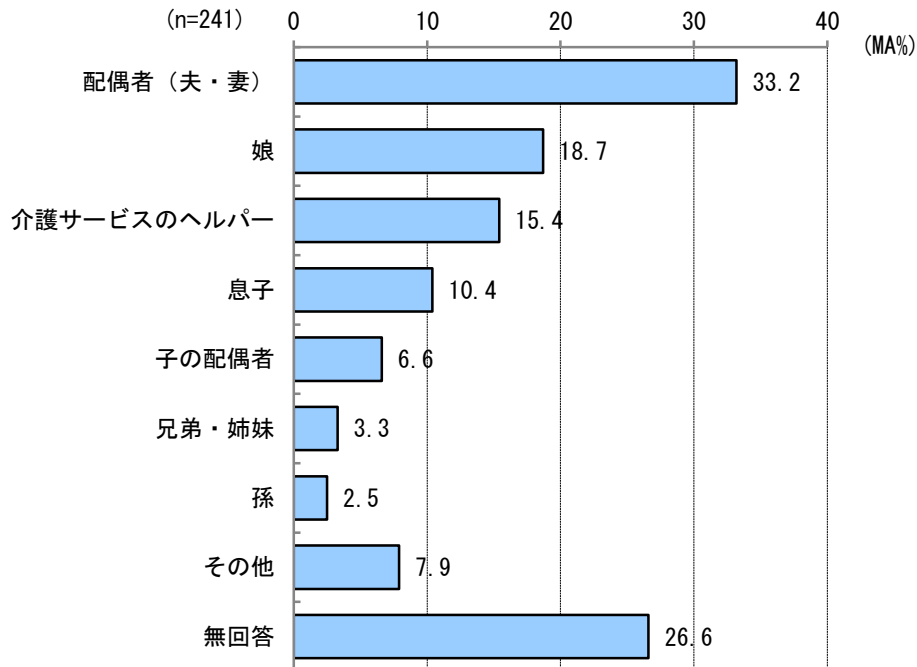
介護・介助が必要になった原因については、「高齢による衰弱」が17.0%で最も多く、次いで「骨折・転倒」が14.1%、「関節の病気 (リウマチ等)」が13.7%、「糖尿病」が11.6%、「心臓病」が11.2%となっている。(図表2-2)

(3) 主な介護・介助者

Q5-2【Q5で「1. 介護・介助は必要ない」以外の方のみ】

②主にどなたの介護、介助を受けていますか。(いくつでも)

【図表2-3 主な介護・介助者】



介護・介助は必要ない以外を回答した人に、主な介護・介助者についてたずねると、「配偶者（夫・妻）」が33.2%で最も多く、次いで「娘」が18.7%、「介護サービスのヘルパー」が15.4%となっている。（図表2-3）

性別で見ると、「配偶者（夫・妻）」は女性（25.3%）より男性（48.8%）のほうが23.5ポイント高く、それ以外の介護・介助者はいずれも女性のほうが高い割合となっている。（図表2-3-1）

【図表2-3-1 性別 主な介護・介助者】

	n	配偶者（夫・妻）	娘	介護サービスのヘルパー	息子	子の配偶者	兄弟・姉妹	孫	その他	無回答
男性	84	48.8	13.1	14.3	9.5	6.0	-	1.2	6.0	26.2
女性	154	25.3	22.1	16.2	11.0	6.5	5.2	3.2	9.1	26.0

家族構成別でみると、1人暮らしでは「介護サービスのヘルパー」(27.9%)が最も多く、息子・娘との2世帯では「配偶者(夫・妻)」と「娘」が同率(35.7%)で最も多くなっている。(図表2-3-2)

【図表2-3-2 家族構成別 主な介護・介助者】

	n	配偶者 (夫・妻)	娘	介護サービスのヘルパー	息子	子の配偶者	兄弟・姉妹	孫	その他	無回答
1人暮らし	86	-	15.1	27.9	11.6	3.5	7.0	1.2	16.3	31.4
夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	85	69.4	15.3	9.4	7.1	3.5	-	-	2.4	22.4
夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	8	50.0	25.0	12.5	12.5	-	-	-	-	37.5
息子・娘との2世帯	28	35.7	35.7	7.1	21.4	10.7	-	7.1	3.6	17.9
その他	33	18.2	21.2	6.1	3.0	21.2	6.1	9.1	6.1	30.3

週あたりの外出頻度別でみると、外出頻度にかかわらず「配偶者(夫・妻)」が最も多くなっている。(図表2-3-3)

【図表2-3-3 週あたりの外出頻度別 主な介護・介助者】

	n	配偶者 (夫・妻)	娘	介護サービスのヘルパー	息子	子の配偶者	兄弟・姉妹	孫	その他	無回答
ほとんど外出しない	50	30.0	22.0	14.0	6.0	8.0	4.0	4.0	10.0	28.0
週1回	55	34.5	18.2	14.5	9.1	10.9	3.6	3.6	9.1	21.8
週2～4回	90	36.7	21.1	16.7	12.2	5.6	3.3	1.1	6.7	25.6
週5回以上	38	31.6	13.2	15.8	15.8	2.6	-	2.6	5.3	28.9

友人・知人と会う頻度別でみると、会う頻度にかかわらず「配偶者（夫・妻）」が最も多く、“年に何度かある”は「娘」も同率（25.6%）で最も多くなっている。（図表2-3-4）

【図表2-3-4 友人・知人と会う頻度別 主な介護・介助者】

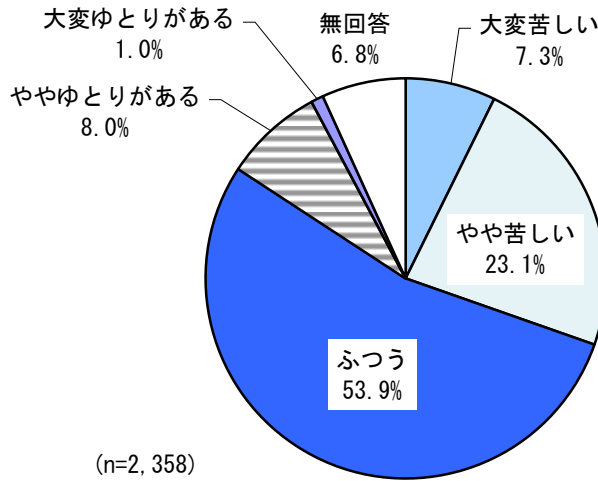
	n	配偶者 （夫・妻）	娘	介護サービス のへ	息子	子の 配偶者	兄弟・ 姉妹	孫	その他	無 回答
毎日ある	16	31.3	18.8	6.3	18.8	6.3	6.3	6.3	6.3	31.3
週に何度かある	51	33.3	9.8	21.6	7.8	5.9	2.0	-	9.8	21.6
月に何度かある	47	31.9	14.9	14.9	10.6	8.5	4.3	4.3	8.5	25.5
年に何度かある	43	25.6	25.6	16.3	11.6	11.6	4.7	4.7	7.0	30.2
ほとんどない	64	35.9	18.8	12.5	12.5	4.7	3.1	1.6	7.8	26.6

(MA%)

(4) 経済的な現在の暮らしの状況

Q6 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。

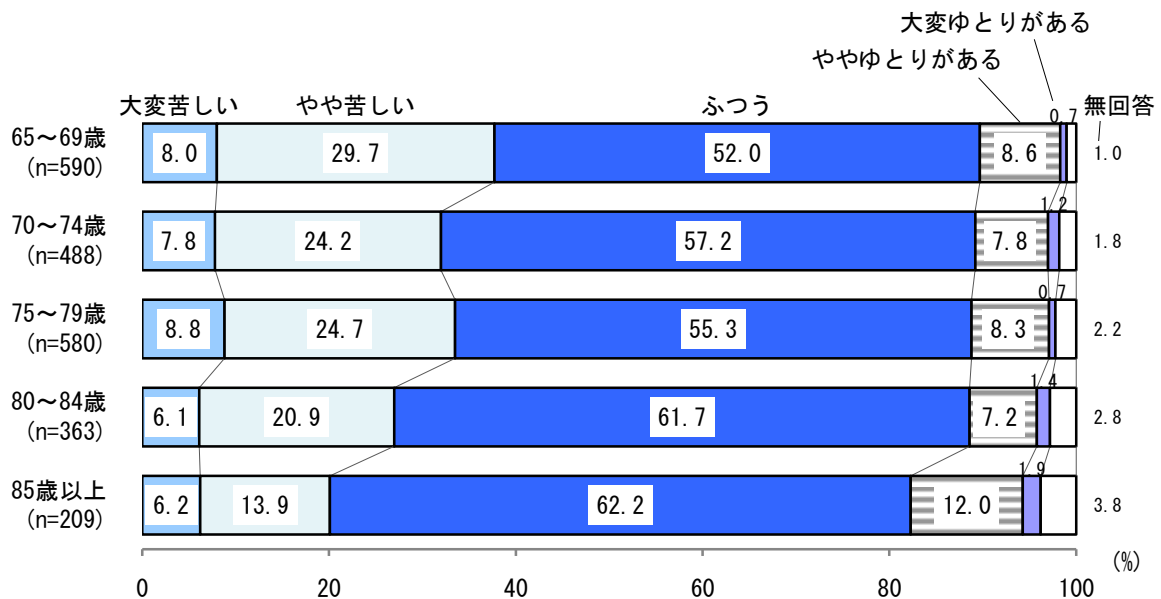
【図表2-4 経済的な現在の暮らしの状況】



経済的な現在の暮らしの状況については、「ふつう」が53.9%で最も多く、次いで「やや苦しい」が23.1%、「ややゆとりがある」が8.0%で、「大変苦しい」(7.3%)と「やや苦しい」をあわせた『苦しい』は30.4%、「ややゆとりがある」と「大変ゆとりがある」(1.0%)をあわせた『ゆとりがある』は9.0%となっている。(図表2-4)

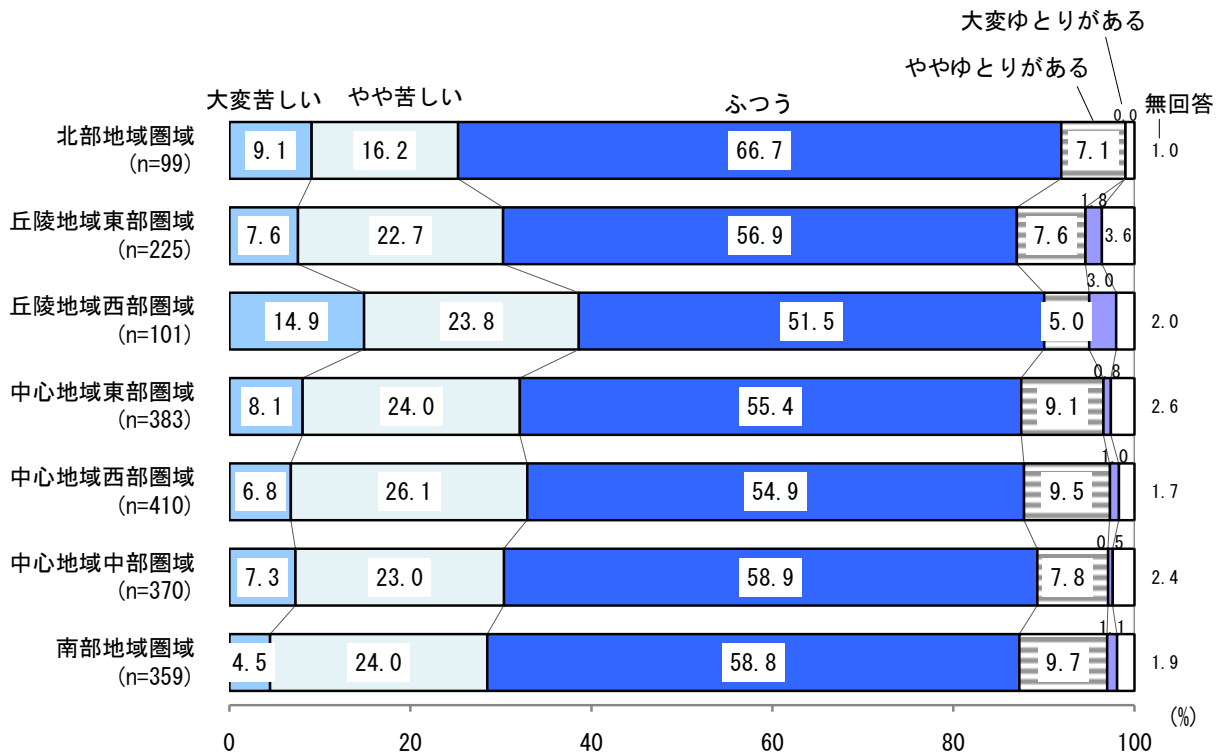
年齢別でみると、「ふつう」は85歳以上が62.2%で最も高く、『苦しい』は65～69歳が37.7%で最も高くなっている。(図表2-4-1)

【図表2-4-1 年齢別 経済的な現在の暮らしの状況】



日常生活圏域別でみると、『苦しい』は丘陵地域西部圏域が38.7%で最も高く、「ふつう」は北部地域圏域が66.7%で最も高くなっている。(図表2-4-1)

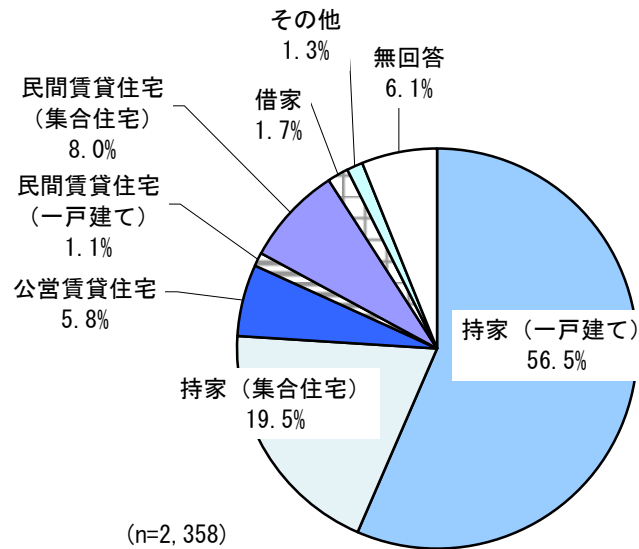
【図表2-4-1 年代別 経済的な現在の暮らしの状況】



(5) 住宅形態

Q7 お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか。

【図表2-5 住宅形態】



住宅形態については、「持家(一戸建て)」が56.5%で最も多く、次いで「持家(集合住宅)」が19.5%、「民間賃貸住宅(集合住宅)」が8.0%となっている。(図表2-5)

日常生活圏域別でみると、いずれの圏域も「持家(一戸建て)」が最も多く、北部地域圏域が97.0%で最も高くなっている。(図表2-5-1)

【図表2-5-1 日常生活圏域別 住宅形態】

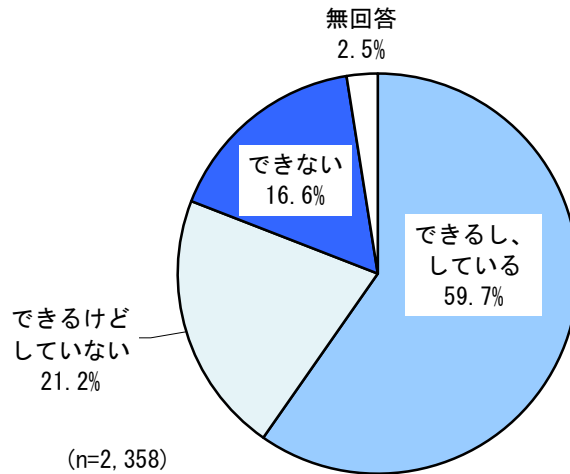
	n	持家(一戸建て)	持家(集合住宅)	公営賃貸住宅	民間賃貸住宅(一戸建て)	民間賃貸住宅(集合住宅)	借家	その他	無回答
北部地域圏域	99	97.0	1.0	-	-	-	1.0	1.0	-
丘陵地域東部圏域	225	72.9	12.0	8.4	0.9	2.2	0.4	0.4	2.7
丘陵地域西部圏域	101	38.6	24.8	27.7	-	3.0	2.0	3.0	1.0
中心地域東部圏域	383	59.5	14.4	10.4	1.0	11.0	1.3	1.0	1.3
中心地域西部圏域	410	59.5	26.6	1.5	0.5	7.8	2.2	0.5	1.5
中心地域中部圏域	370	58.9	16.2	0.8	1.6	14.6	3.8	2.2	1.9
南部地域圏域	359	49.9	30.1	7.0	2.2	7.5	0.6	1.9	0.8

3 運動・閉じこもり

(1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇ること

問2 Q1 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。

【図表3-1 階段を手すりや壁をつたわずに昇ること】

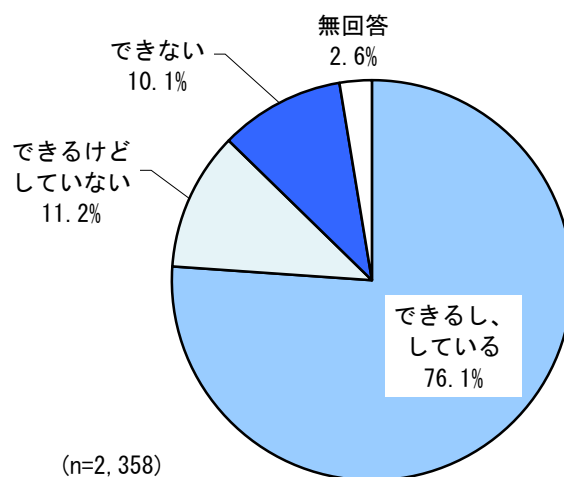


階段を手すりや壁をつたわずに昇ることについては、「できるし、している」が59.7%で最も多く、「できるけどしていない」が21.2%、「できない」が16.6%となっている。(図表3-1)

(2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がること

Q2 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。

【図表3-2 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がること】

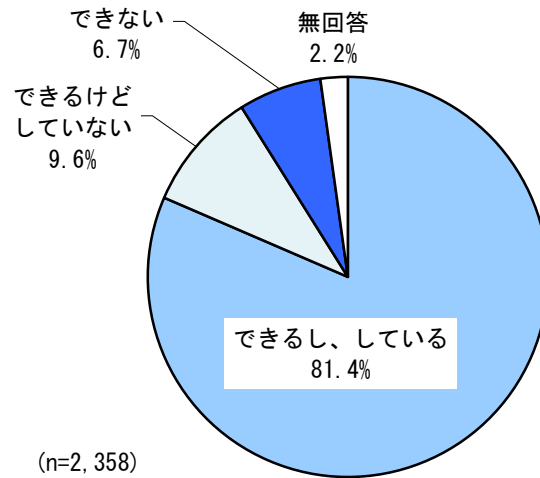


椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がることについては、「できるし、している」が76.1%で最も多く、次いで「できるけどしていない」が11.2%、「できない」が10.1%となっている。(図表3-2)

(3) 15分位続けて歩くこと

Q3 15分位続けて歩いていますか。

【図表3-3 15分位続けて歩くこと】

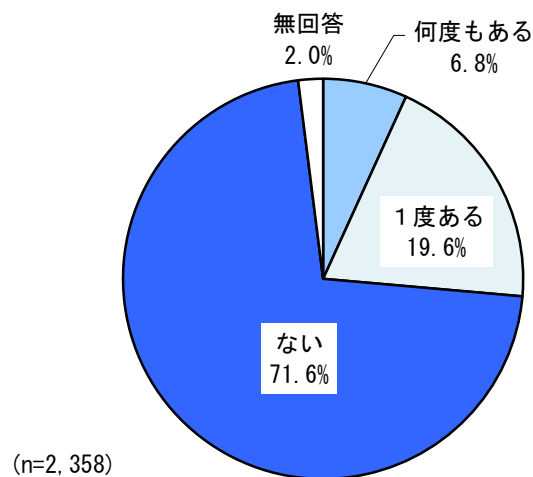


15分位続けて歩くことについては、「できるし、している」が81.4%で最も多く、次いで「できるけどしていない」が9.6%、「できない」が6.7%となっている。(図表3-3)

(4) 過去1年間に転んだ経験

Q4 過去1年間に転んだ経験がありますか。

【図表3-4 過去1年間に転んだ経験】

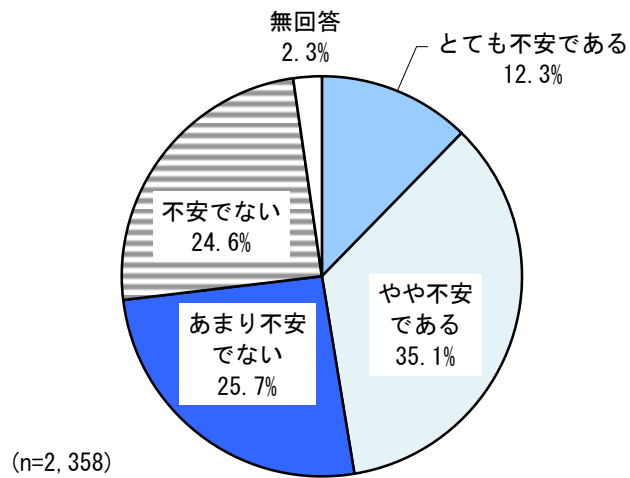


過去1年間に転んだ経験については、「ない」が71.6%で最も多く、次いで「1度ある」が19.6%、「何度もある」が6.8%となっている。(図表3-4)

(5) 転倒に対する不安

Q5 転倒に対する不安は大きいですか。

【図表3-5 転倒に対する不安】

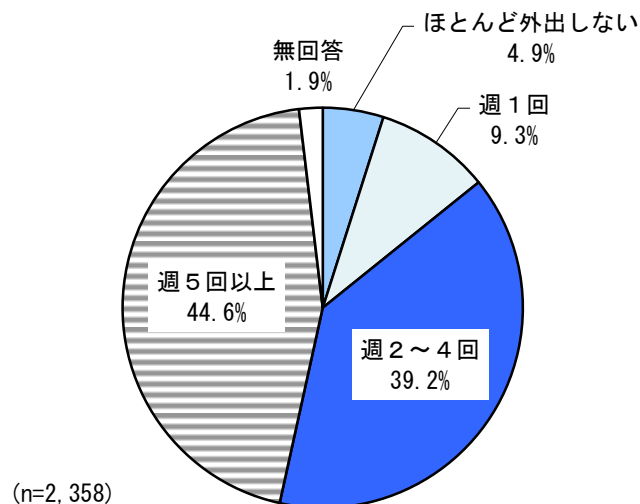


転倒に対する不安については、「やや不安である」が35.1%で最も多く、次いで「あまり不安でない」が25.7%、「不安でない」が24.6%となっている。(図表3-5)

(6) 週あたりの外出頻度

Q6 週に1回以上は外出していますか。

【図表3-6 週あたりの外出頻度】

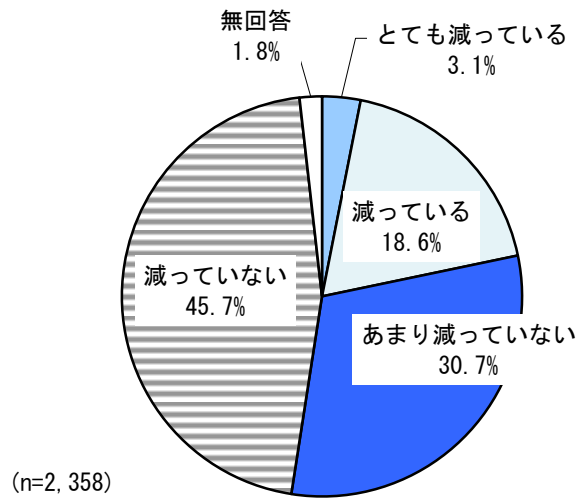


週あたりの外出頻度については、「週5回以上」が44.6%で最も多く、次いで「週2~4回」が39.2%、「週1回」が9.3%、「ほとんど外出しない」が4.9%となっている。(図表3-6)

(7) 昨年と比べた外出の回数

Q7 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。

【図表3-7 昨年と比べた外出の回数】

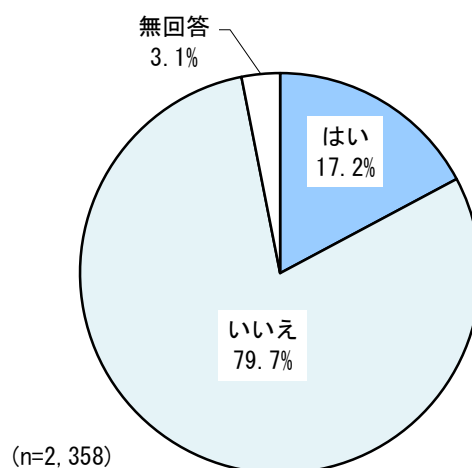


昨年と比べた外出の回数については、「減っていない」が45.7%で最も多く、次いで「あまり減っていない」が30.7%、「減っている」が18.6%となっている。(図表3-7)

(8) 外出を控えていること

Q8 外出を控えていますか。

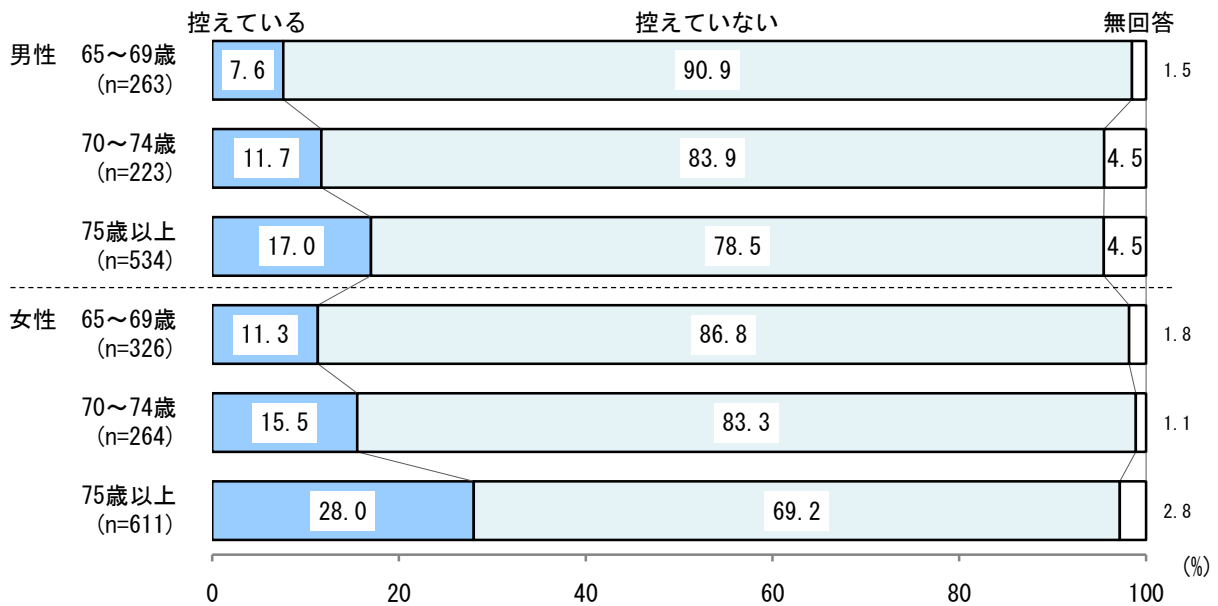
【図表3-8 外出を控えていること】



外出を控えているかについては、「いいえ」が79.7%に対し、「はい」が17.2%となっている。(図表3-8)

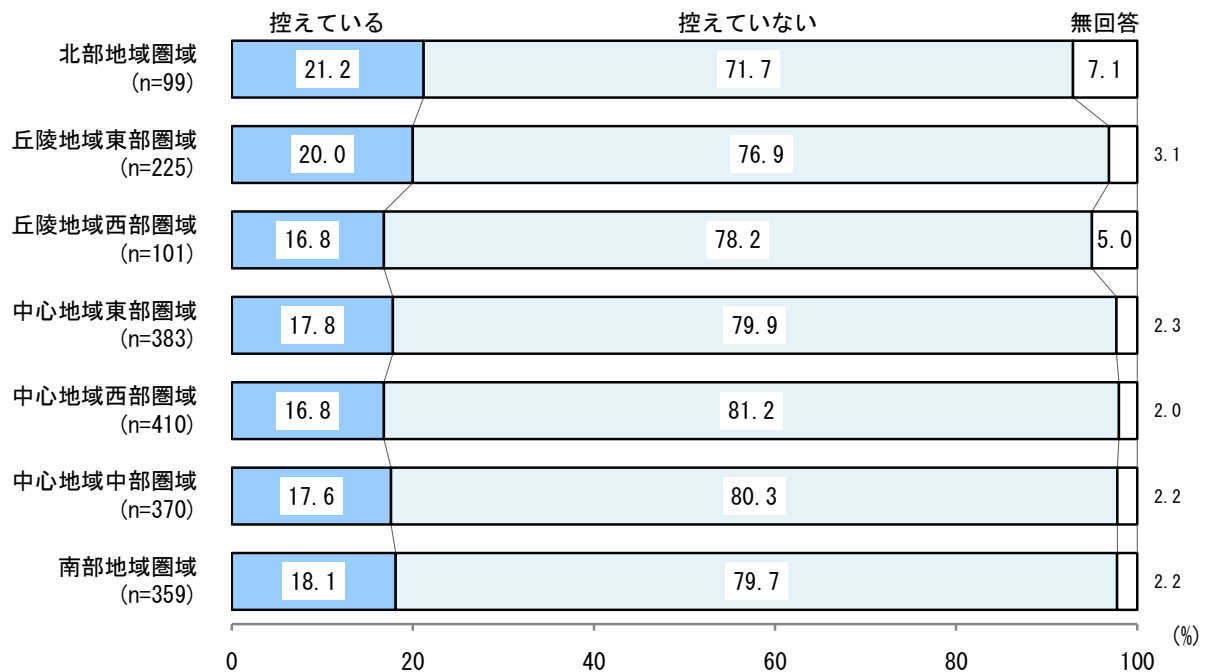
性・年齢別でみると、「控えている」は男女とも高齢になるほど割合が高くなっている。(図表3-8-1)

【図表3-8-1 性・年齢別 外出を控えていること】



日常生活圏域別でみると、「控えている」は北部地域圏域が21.2%で最も高く、次いで丘陵地域東部圏域が20.0%となっている。(図表3-8-2)

【図表3-8-2 日常生活圏域別 外出を控えていること】

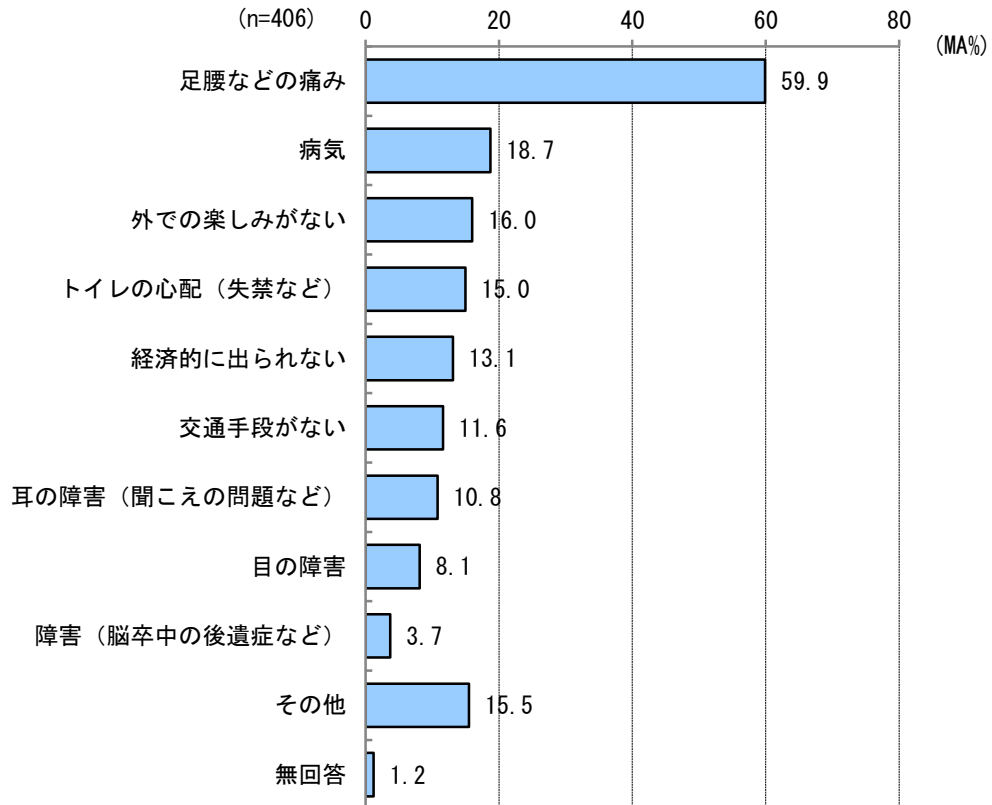


(9) 外出を控える理由

Q8-1【Q8で「1. はい」(外出を控えている)の方のみ】

①外出を控えている理由は、次のどれですか。(いくつでも)

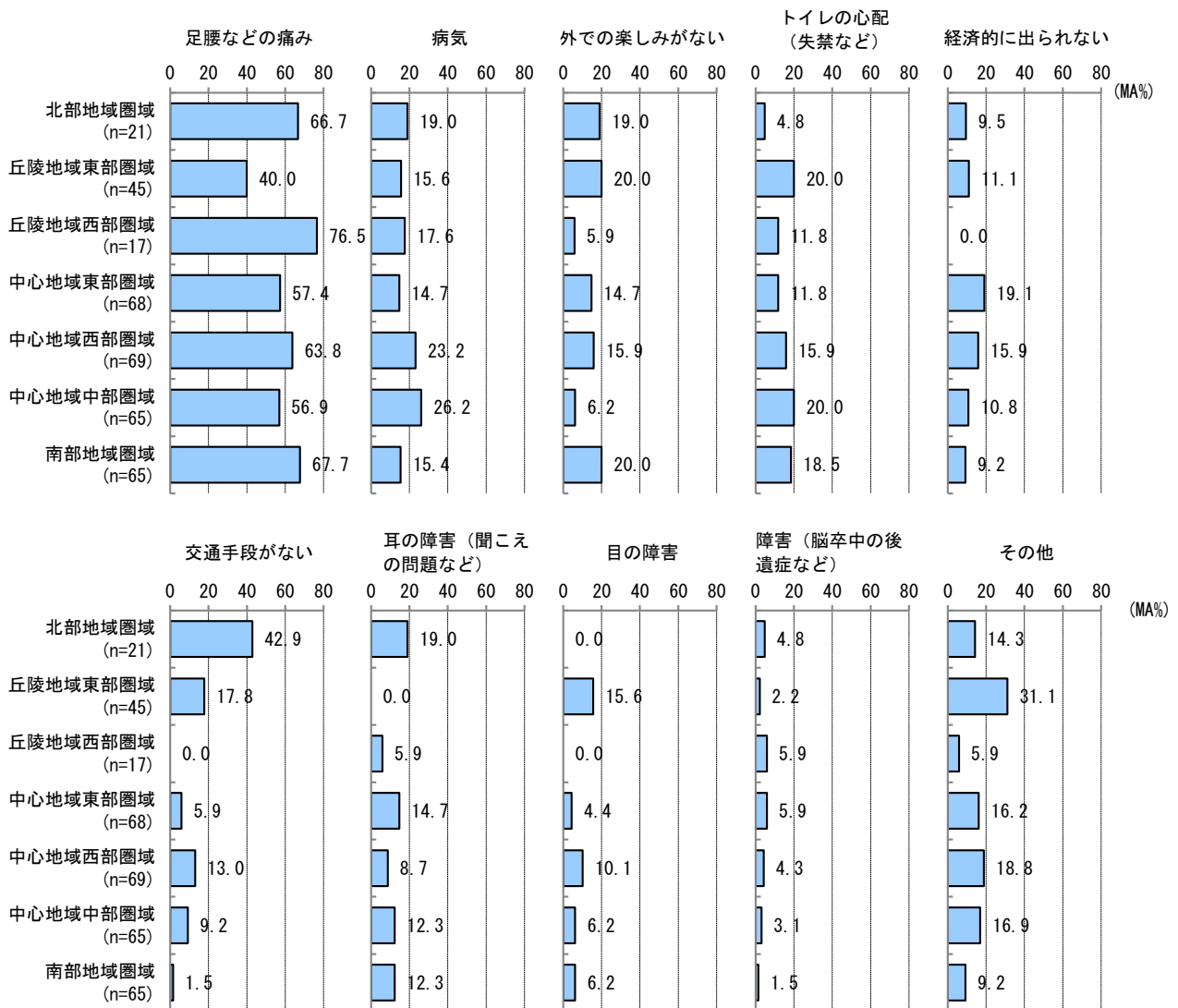
【図表3-9 外出を控える理由】



外出を控えていると回答した人に、その理由についてたずねると、「足腰などの痛み」が59.9%で最も多く、次いで「病気」が18.7%、「外での楽しみがない」が16.0%となっている。(図表3-9)

日常生活圏域別でみると、いずれの圏域も「足腰などの痛み」が最も多い。次いで北部地域圏域では「交通手段がない」が42.9%と高くなっている。(図表3-9-1)

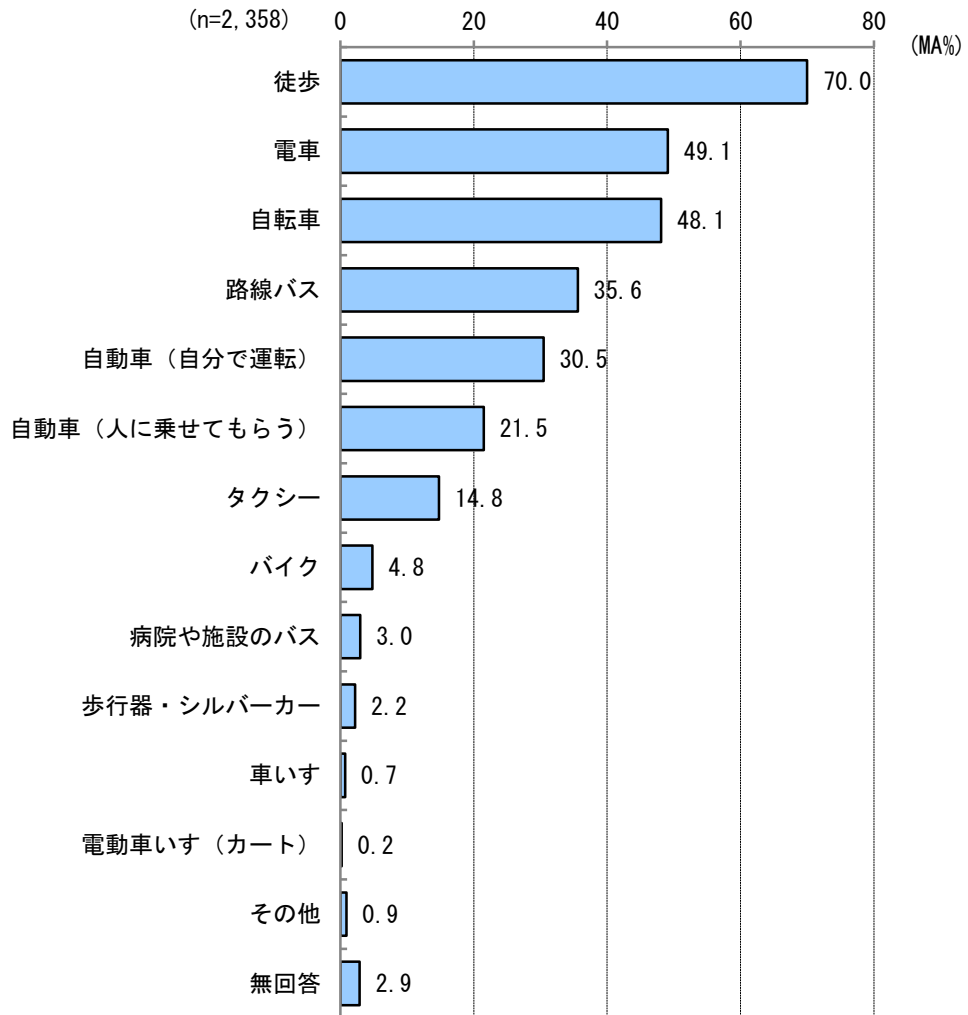
【図表3-9-1 日常生活圏域別 外出を控える理由】



(10) 外出時の移動手段

Q9 外出する際の移動手段は何ですか。(いくつでも)

【図表3-10 外出時の移動手段】



外出時の移動手段については、「徒歩」が70.0%で最も多く、次いで「電車」が49.1%、「自転車」が48.1%、「路線バス」が35.6%となっている。(図表3-10)

性・年齢別でみると、男女ともいずれの年齢も「徒歩」が最も多く、次いで男性の70歳以上は「自転車」、女性の70歳以上では「電車」が続いている。(図表3-10-1)

【図表3-10-1 性・年齢別 外出時の移動手段】

(MA%)

		第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
男性	65～69歳 (n=263)	徒歩 73.4	自動車(自分で運転) 62.0	電車/自転車 50.2	路線バス 25.5	
	70～74歳 (n=223)	徒歩 73.5	自転車 59.2	自動車(自分で運転) 53.8	電車 46.6	路線バス 33.2
	75歳以上 (n=534)	徒歩 66.5	自転車 51.3	電車 48.1	自動車(自分で運転) 40.6	路線バス 36.0
女性	65～69歳 (n=326)	徒歩 69.6	自転車 62.9	電車 51.5	路線バス 33.7	自動車(人に乗せてもらう) 33.1
	70～74歳 (n=264)	徒歩 75.4	電車 51.5	自転車 50.8	路線バス 43.9	自動車(人に乗せてもらう) 33.7
	75歳以上 (n=611)	徒歩 69.1	電車 46.6	路線バス 38.6	自転車 31.3	自動車(人に乗せてもらう) 28.0

日常生活圏域別でみると、北部地域圏域では「自動車(自分で運転)」が最も多いが、それ以外の圏域では「徒歩」が最も多くなっている。(図表3-10-2)

【図表3-10-2 日常生活圏域別 外出時の移動手段】

(MA%)

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
北部地域圏域 (n=99)	自動車(自分で運転) 57.6	自動車(人に乗せてもらう) 32.3	徒歩 29.3	路線バス 27.3	電車 16.2
丘陵地域東部圏域 (n=225)	徒歩 58.7	路線バス 53.8	電車 43.6	自動車(自分で運転) 42.2	自転車 34.2
丘陵地域西部圏域 (n=101)	徒歩 64.4	路線バス 61.4	電車 45.5	自動車(自分で運転) 33.7	自転車 25.7
中心地域東部圏域 (n=383)	徒歩 73.1	自転車 56.9	電車 52.7	路線バス 32.6	自動車(自分で運転) 28.5
中心地域西部圏域 (n=410)	徒歩 72.7	電車 47.6	自転車 44.9	路線バス 40.0	自動車(自分で運転) 31.2
中心地域中部圏域 (n=370)	徒歩 82.2	自転車 57.6	電車 56.8	路線バス 27.0	自動車(自分で運転) 20.3
南部地域圏域 (n=359)	徒歩 73.3	自転車 56.0	電車 52.9	路線バス 29.2	自動車(自分で運転) 24.5

健康診査の受診状況別でみると、いずれも「徒歩」が最も多く、“毎年受けている”、または“気になったときに受ける”人では7割台と高い。(図表3-10-3)

【図表3-10-3 健康診査の受診状況別 外出時の移動手段】

	(MA%)				
	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
毎年受けている (n=1,256)	徒歩 72.7	電車 53.0	自転車 51.6	路線バス 36.5	自動車(自分で運転) 32.1
気になったときに受ける (n=390)	徒歩 71.0	電車 52.8	自転車 49.7	路線バス 40.0	自動車(自分で運転) 31.3
治療のため、健診は受けていない (n=261)	徒歩 64.8	電車 41.0	路線バス 34.5	自転車 34.1	自動車(人に乗せてもらう) 25.3
受けていない (n=336)	徒歩 66.1	自転車 45.5	電車 40.8	路線バス 32.1	自動車(自分で運転) 30.4

歯科健康診査の受診状況別でみると、いずれも「徒歩」が最も多く、“毎年受けている”人で75.1%と最も高い。(図表3-10-3)

【図表3-10-3 歯科健康診査の受診状況別 外出時の移動手段】

	(MA%)				
	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
毎年受けている (n=890)	徒歩 75.1	電車 56.5	自転車 49.7	路線バス 42.1	自動車(自分で運転) 31.2
気になったときに受ける (n=607)	徒歩 69.7	自転車 51.1	電車 48.8	路線バス/自動車(自分で運転) 32.6	
治療のため、健診は受けていない (n=190)	徒歩 71.6	電車 46.3	自転車 40.5	路線バス 35.8	自動車(人に乗せてもらう) 27.9
受けていない (n=571)	徒歩 63.7	自転車 45.0	電車 41.0	路線バス 31.0	自動車(自分で運転) 29.1

定期的に通院している医療機関がある地域別でみると、ほとんどの地域で「徒歩」が最も多く、摂津市や大阪市内では8割台と高い。(図表3-10-4)

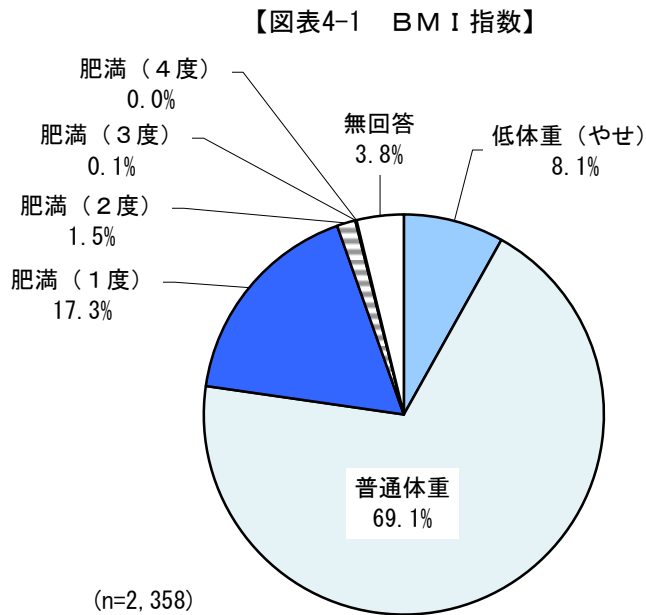
【図表3-10-4 定期的に通院している医療機関がある地域別 外出時の移動手段】

	(MA%)				
	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
通院していない (n=278)	徒歩 71.6	自転車 61.5	電車 52.9	自動車(自分で運 転) 37.1	路線バス 33.5
茨木市 (n=1,679)	徒歩 70.9	電車 49.4	自転車 47.2	路線バス 37.8	自動車(自分で運 転) 28.1
高槻市 (n=380)	徒歩 65.0	電車 46.3	自転車 44.5	路線バス 35.3	自動車(自分で運 転) 30.0
箕面市 (n=20)	徒歩/路線バス 70.0		自動車(自分で運 転) 65.0	電車 55.0	自転車/自動車 (人に乗せてもら う) 30.0
吹田市 (n=205)	徒歩 70.2	電車 50.7	路線バス 37.6	自動車(自分で運 転) 36.6	自転車 35.6
豊中市 (n=16)	徒歩 75.0	電車/自動車(自分で運 転) 62.5		自転車 31.3	路線バス/自動車 (人に乗せてもら う) 18.8
摂津市 (n=34)	徒歩 82.4	電車 58.8	自転車 50.0	路線バス 23.5	自動車(自分で運 転)/タクシー 20.6
池田市 (n=1)	徒歩/電車/路線バス/自動車(自分で運 転) 100.0				
大阪市内 (n=111)	徒歩 85.6	電車 75.7	自転車 46.8	路線バス 44.1	自動車(自分で運 転) 41.4
その他大阪府内 (n=29)	徒歩 72.4	電車 69.0	路線バス 51.7	自転車 44.8	タクシー 27.6
京都府内 (n=15)	徒歩/電車 66.7	66.7	路線バス 46.7	自転車/タクシー 40.0	
兵庫県内 (n=17)	徒歩 64.7	自転車 52.9	路線バス/自動車(自分で運 転) 41.2		電車 35.3
その他 (n=18)	徒歩 72.2	電車 50.0	自転車 38.9	路線バス/自動車(人に乗せてもら う) 33.3	

4 口腔・栄養について

(1) 身長と体重 (BMI 指数)

問3 Q1 身長・体重

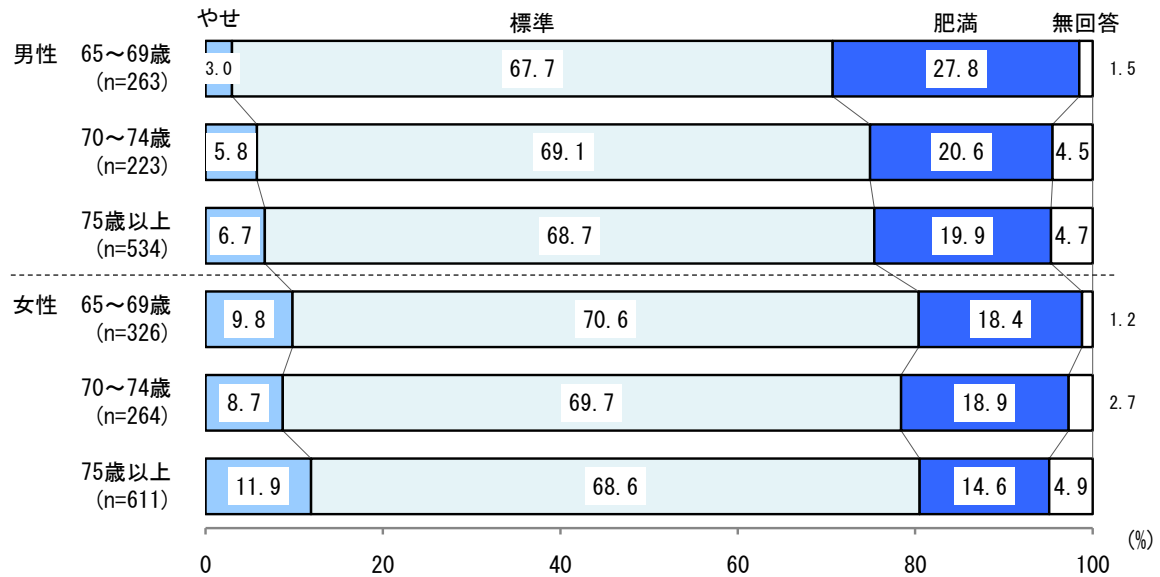


※BMI (Body Mass Index) とは、肥満の判定に用いられる体格指数。
 $(BMI = \text{体重(kg)} \div \text{身長(m)}^2)$
 18.5 未満は「やせ」、18.5～25 未満は「普通」、25 以上は「肥満」で、
 標準は22 といわれている。
 肥満 (1度) : 25以上30未満
 肥満 (2度) : 30以上35未満
 肥満 (3度) : 35以上40未満
 肥満 (4度) : 40以上

回答された身長と体重から割り出したBMI 指数は、平均で22.6となっている。「普通体重」(18.5以上25未満)が69.1%で最も多く、次いで「肥満 (1度)」が17.3%で、「肥満 (1度)」～「肥満 (4度)」をあわせた『肥満』は18.9%となっている。(図表4-1)

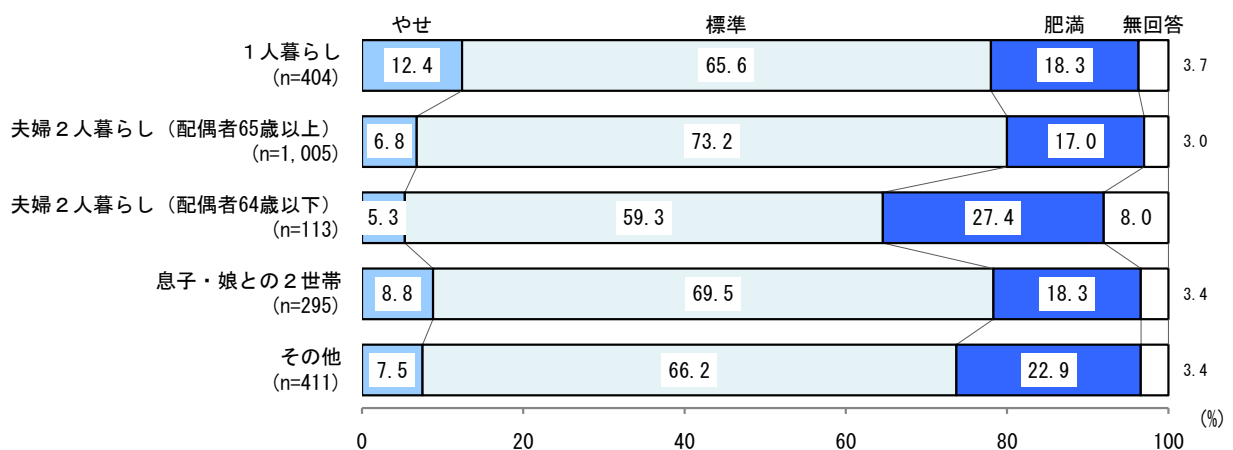
性・年齢別でみると、「やせ」はいずれの年代も男性より女性のほうが高いが、「肥満」はいずれの年代も女性より男性のほうが高くなっている。「やせ」は男女とも75歳以上で最も高く、「肥満」は男性は65～69歳（27.8%）、女性は70～74歳（18.9%）で最も高くなっている。（図表4-1-1）

【図表4-1-1 性・年齢別 BMI 指数】



家族構成別でみると、「やせ」は1人暮らしが12.4%で最も高く、「肥満」は夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）が27.4%で最も高くなっている。（図表4-1-2）

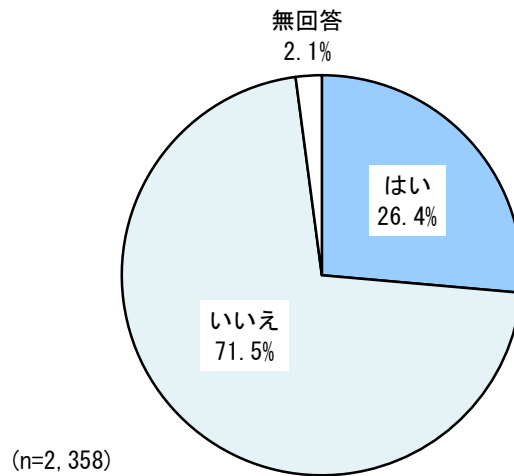
【図表4-1-2 家族構成別 BMI 指数】



(2) 半年前に比べて固いものが食べにくくなったか

Q 2 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。

【図表4-2 半年前に比べて固いものが食べにくくなったか】

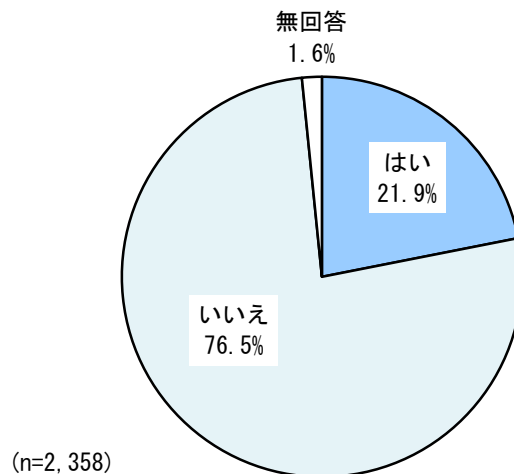


半年前に比べて固いものが食べにくくなったかについては、「いいえ」が71.5%に対し、「はい」が26.4%となっている。(図表4-2)

(3) お茶や汁物等でむせることがあるか

Q 3 お茶や汁物等でむせることがありますか。

【図表4-3 お茶や汁物等でむせることがあるか】

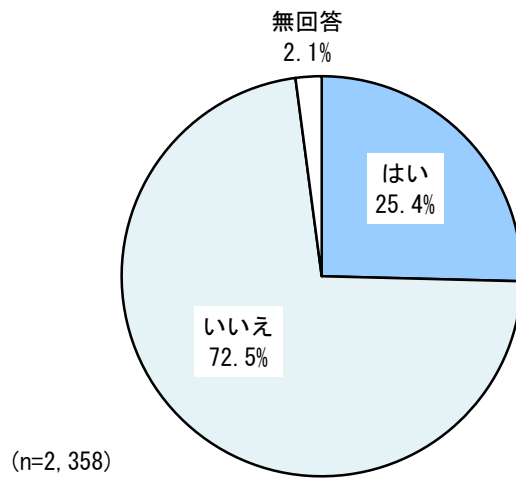


お茶や汁物等でむせることがあるかについては、「いいえ」が76.5%に対し、「はい」が21.9%となっている。(図表4-3)

(4) 口の渇きが気になるか

Q 4 口の渇きが気になりますか。

【図表4-4 口の渇きが気になるか】

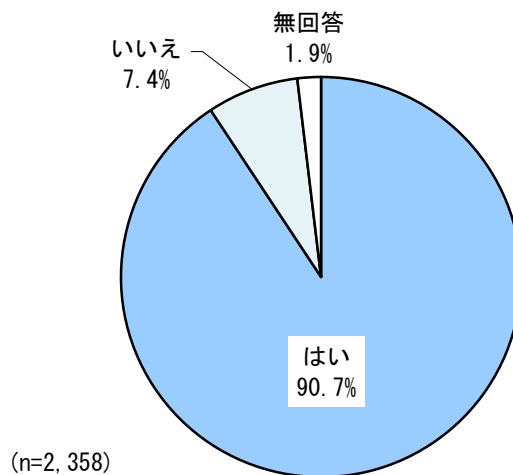


口の渇きが気になるかについては、「いいえ」が72.5%に対し、「はい」が25.4%となっている。(図表4-4)

(5) 歯磨きを毎日しているか

Q 5 歯磨き（人にやってもらう場合も含む）を毎日していますか。

【図表4-5 歯磨きを毎日しているか】

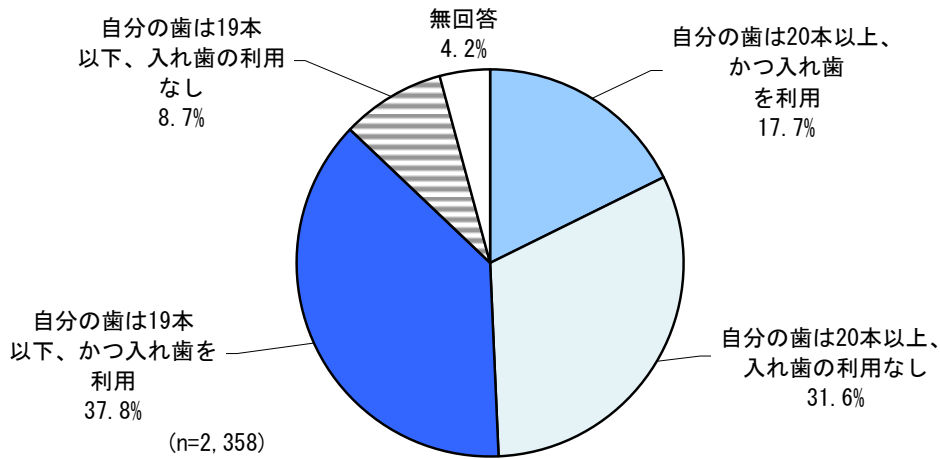


歯磨き（人にやってもらう場合も含む）を毎日しているかについては、「はい」が90.7%に対し、「いいえ」が7.4%となっている。(図表4-5)

(6) 歯の数と入れ歯の利用状況

Q6 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください。
(成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です)。

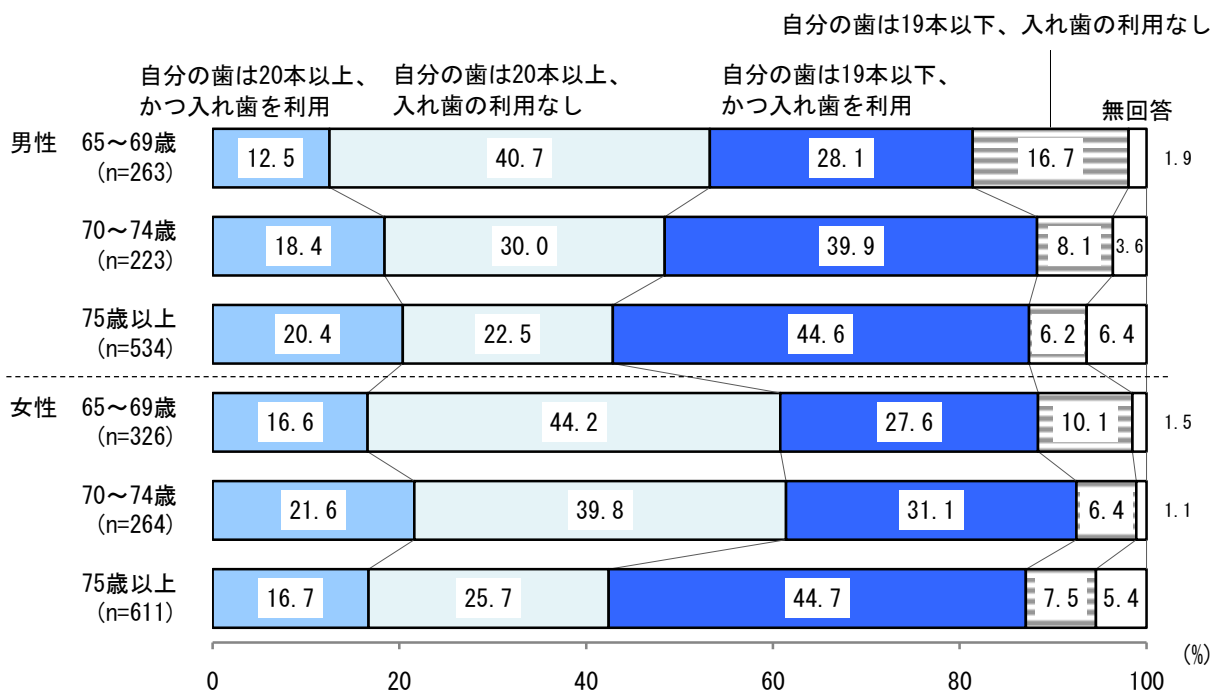
【図表4-6 歯の数と入れ歯の利用状況】



歯の数と入れ歯の利用状況については、「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」が37.8%で最も多く、次いで「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」が31.6%、「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」が17.7%、「自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし」が8.7%となっている。(図表4-6)

性・年齢別でみると、男性の65～69歳、女性の65～69歳、70～74歳は「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」が最も多いが、それ以上の年代は「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」が最も多くなっている。(図表4-6-1)

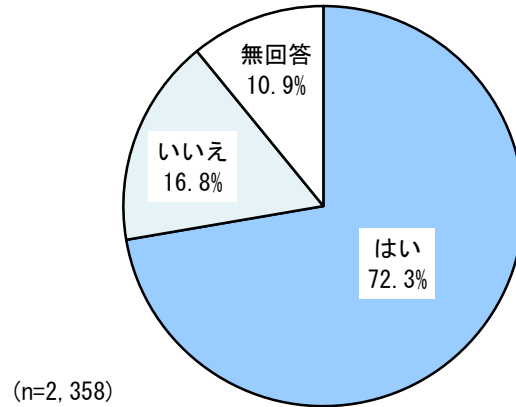
【図表4-6-1 性・年齢別 歯の数と入れ歯の利用状況】



(7) 噛み合わせは良いか

①噛み合わせは良いですか。

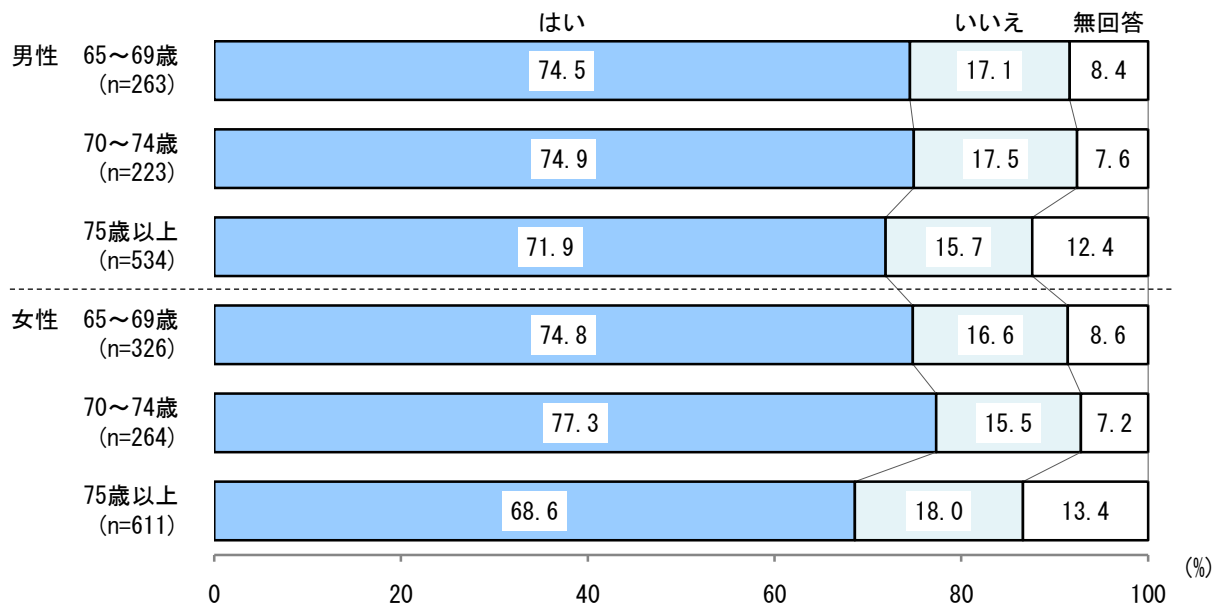
【図表4-7 噛み合わせは良いか】



噛み合わせは良いかについては、「はい」が72.3%に対し、「いいえ」が16.8%となっている。(図表4-7)

性・年齢別でみると、「はい」は男性はいずれの年代も7割台、女性も74歳までは7割台となっているが、75歳以上では68.6%と、他の年代に比べて低くなっている。(図表4-7-1)

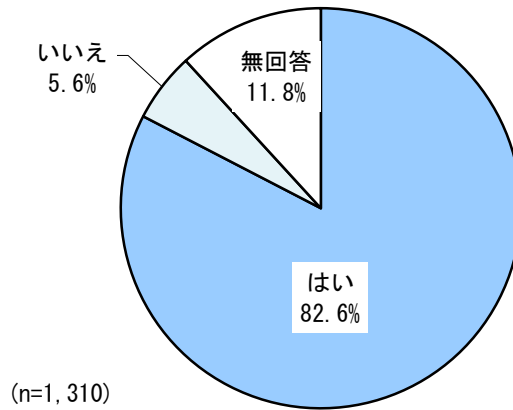
【図表4-7-1 性・年齢別 噛み合わせは良いか】



(8) 毎日入れ歯の手入れをしているか

②【Q6で「1. 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」「3. 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」の方のみ】毎日入れ歯の手入れをしていますか。

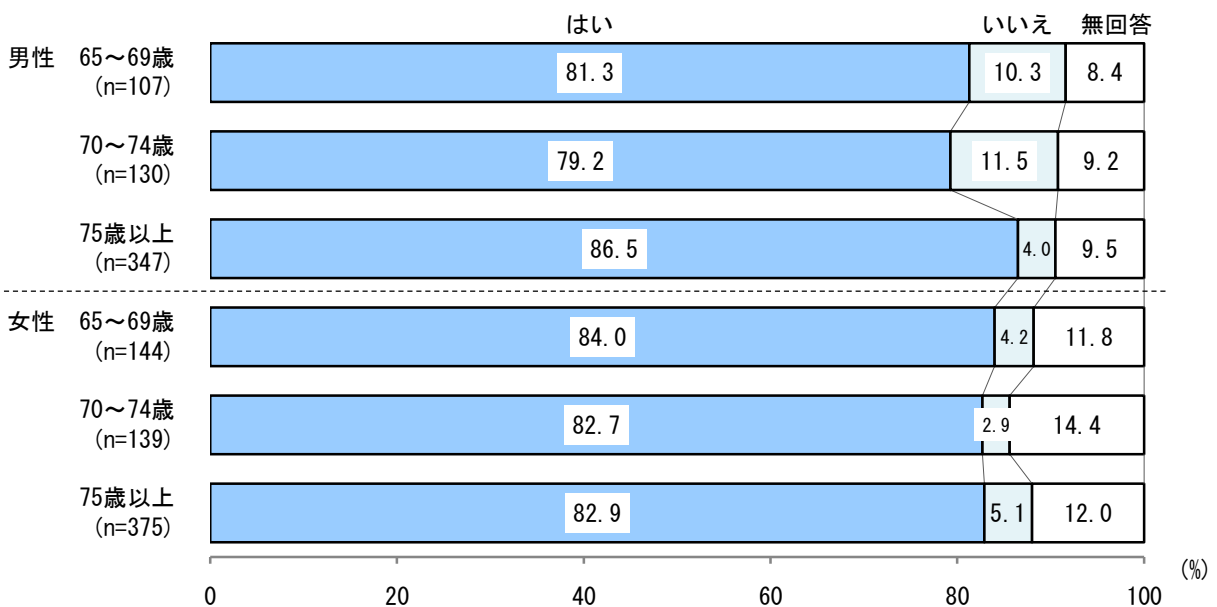
【図表4-8 毎日入れ歯の手入れをしているか】



入れ歯を利用していると回答した人に、毎日入れ歯の手入れをしているかについてたずねると、「はい」が82.6%に対し、「いいえ」が5.6%となっている。(図表4-8)

性・年齢別でみると、「はい」はいずれも8割前後を占めており、男性の75歳以上が86.5%で最も高くなっている。(図表4-8-1)

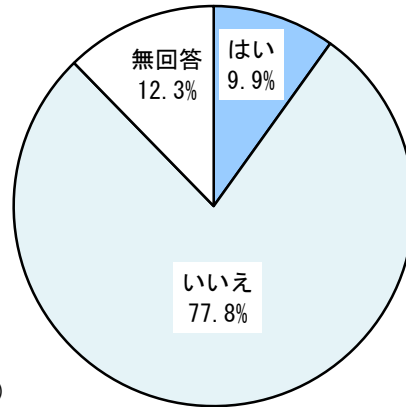
【図表4-8-1 性・年齢別 毎日入れ歯の手入れをしているか】



(9) 6か月間で2～3kg以上の体重減少の有無

Q7 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか。

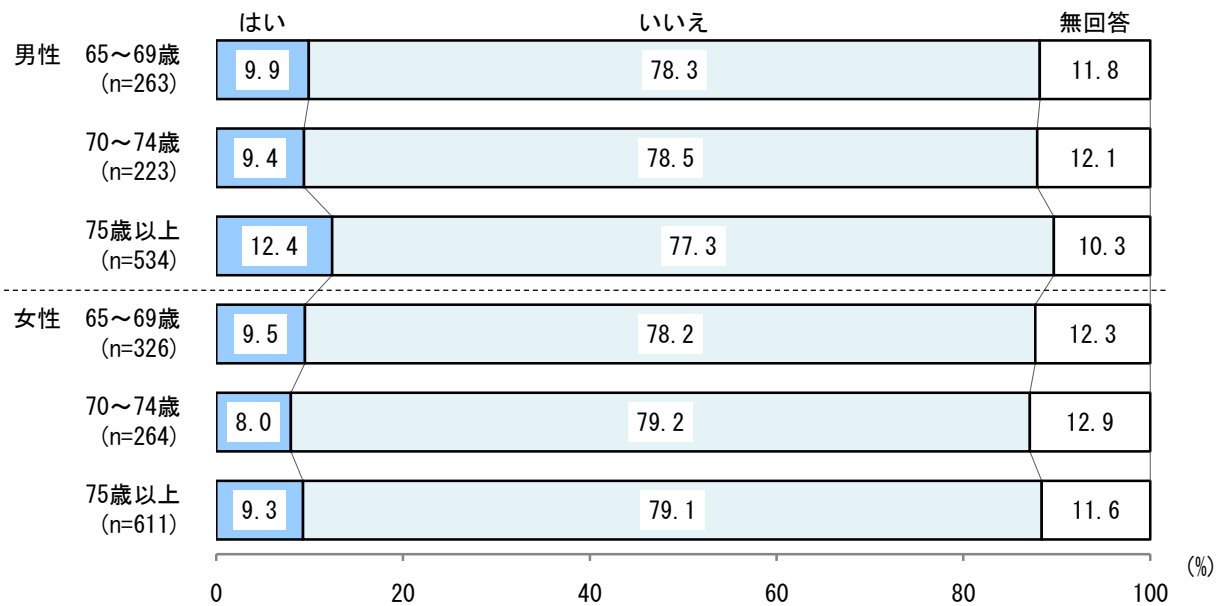
【図表4-9 6か月間で2～3kg以上の体重減少の有無】



6か月間で2～3kg以上の体重減少があったかについては、「いいえ」が77.8%に対し、「はい」が9.9%となっている。(図表4-9)

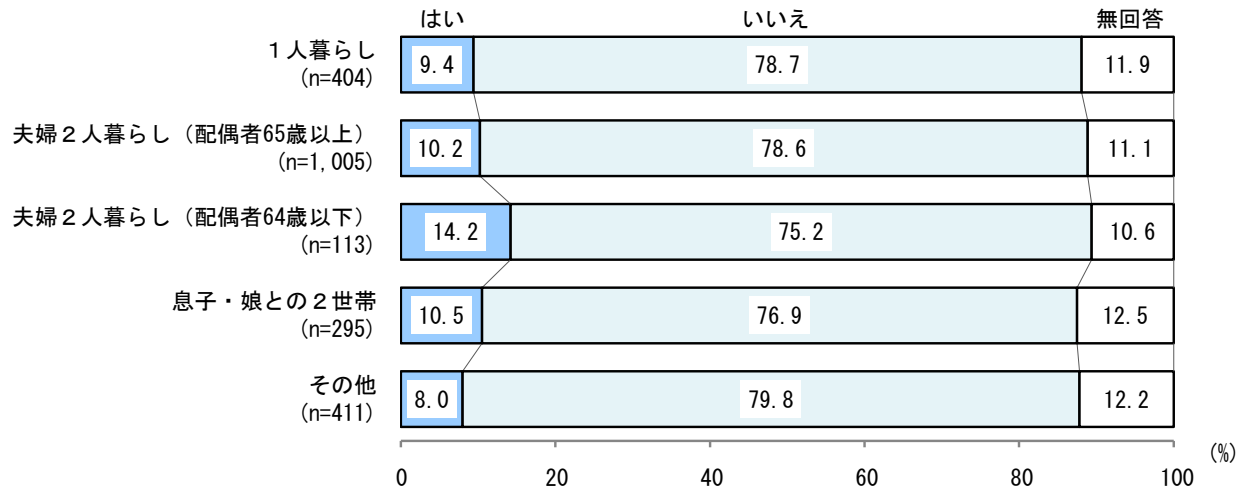
性・年齢別でみると、「はい」は男性の75歳以上が12.4%で最も高くなっている。(図表4-9-1)

【図表4-9-1 性・年齢別 6か月間で2～3kg以上の体重減少の有無】



家族構成別でみると、「はい」は“夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）”が14.2%で最も高く、次いで“息子・娘との2世帯”（10.5%）となっている。（図表4-9-2）

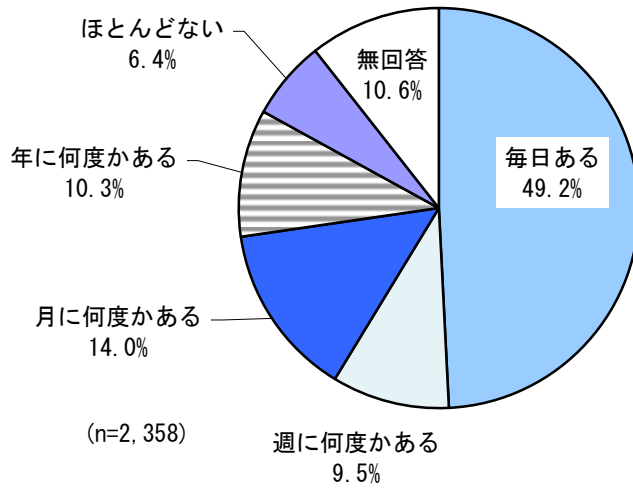
【図表4-9-2 家族構成別 6か月間で2～3kg以上の体重減少の有無】



(10) 誰かと食事をとる機会

Q8 どなたかと食事をとる機会がありますか。

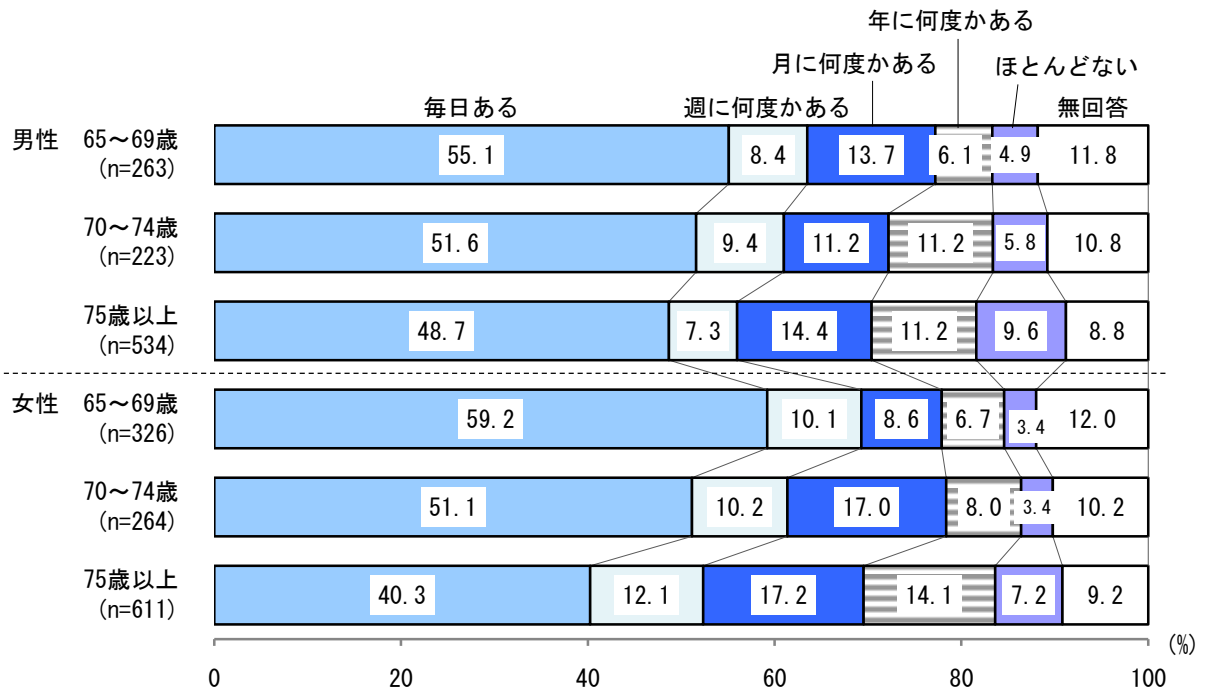
【図表4-10 誰かと食事をとる機会】



誰かと食事をとる機会の頻度は、「毎日ある」が49.2%で最も多く、次いで「月に何度かある」が14.0%、「年に何度かある」が10.3%となっており、一方で「ほとんどない」は6.4%となっている。(図表4-10)

性・年齢別でみると、いずれの年代も「毎日ある」が最も多く、男女とも65～69歳が最も高く、高齢になるほど割合は低くなっている。(図表4-10-1)

【図表4-10-1 性・年齢別 誰かと食事をとる機会】

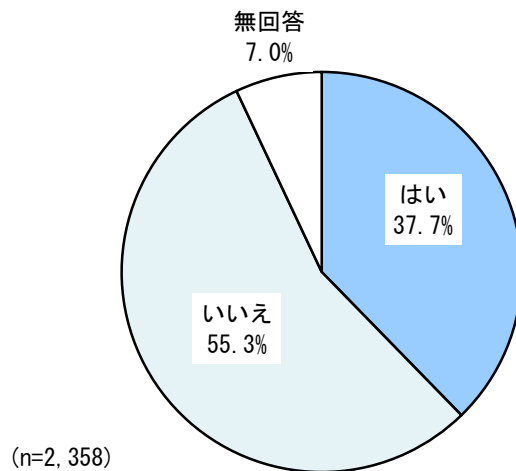


5 物忘れなどについて

(1) 物忘れが多いと感じるか

問4 Q1 物忘れが多いと感じますか。

【図表5-1 物忘れが多いと感じるか】

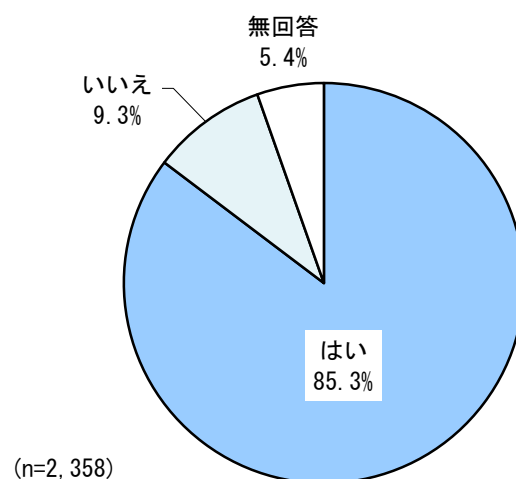


物忘れが多いと感じるかについては、「いいえ」が55.3%に対し、「はい」が37.7%となっている。(図表5-1)

(2) 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしているか

Q2 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか。

【図表5-2 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしているか】

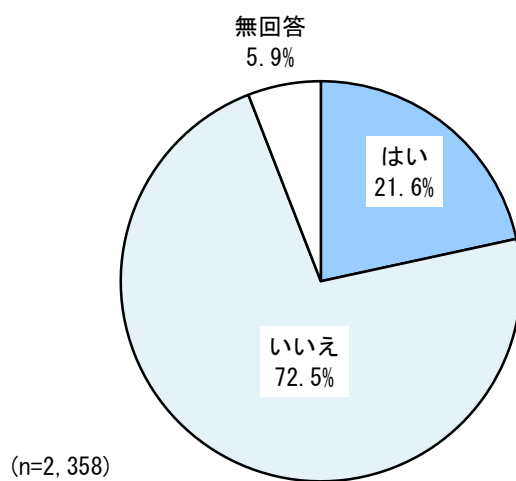


自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしているかについては、「はい」が85.3%に対し、「いいえ」が9.3%となっている。(図表5-2)

(3) 今日が何月何日かわからない時があるか

Q3 今日が何月何日かわからない時がありますか。

【図表5-3 今日が何月何日かわからない時があるか】



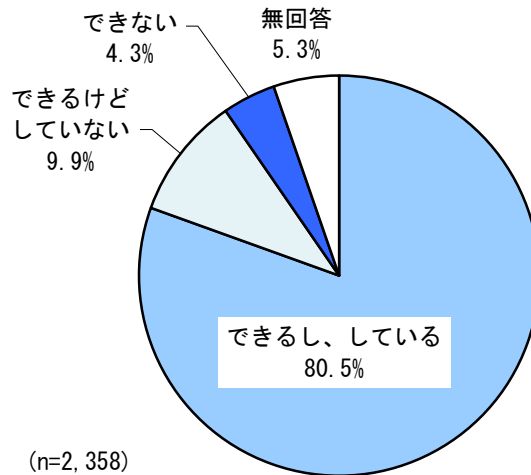
今日が何月何日かわからない時があるかについては、「いいえ」が72.5%に対し、「はい」が21.6%となっている。(図表5-3)

6 日常生活について

(1) バスや電車を利用した一人での外出

Q4 バスや電車を使って1人で外出していますか（自家用車でも可）。

【図表6-1 バスや電車を利用した一人での外出】

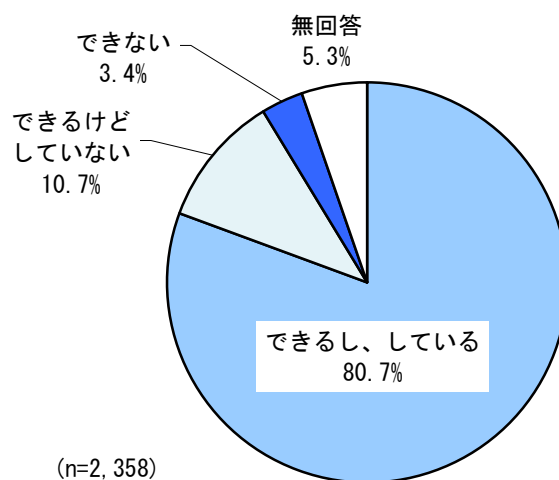


バスや電車を使った1人での外出（自家用車でも可）については、「できるし、している」が80.5%で最も多く、次いで「できるけどしていない」が9.9%、「できない」が4.3%となっている。（図表6-1）

(2) 自分で食品・日用品の買物

Q5 自分で食品・日用品の買物をしていますか。

【図表6-2 自分で食品・日用品の買物】

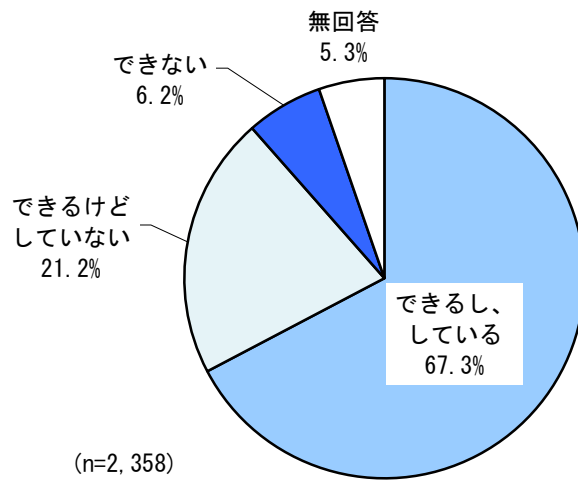


自分で食品・日用品の買物をするについては、「できるし、している」が80.7%で最も多く、次いで「できるけどしていない」が10.7%、「できない」が3.4%となっている。（図表6-2）

(3) 自分で食事の用意

Q 6 自分で食事の用意をしていますか。

【図表6-3 自分で食事の用意】

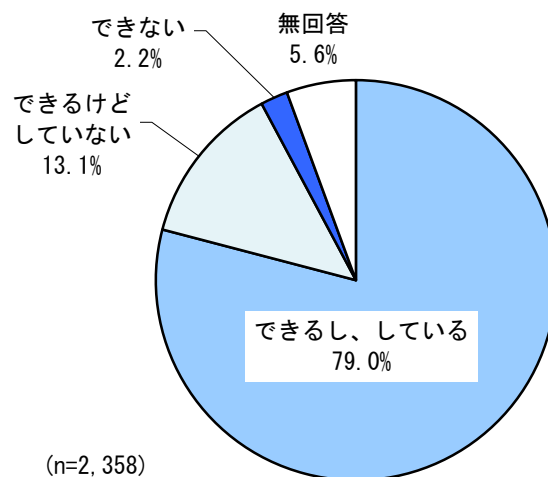


自分で食事の用意をすることについては、「できるし、している」が67.3%で最も多く、次いで「できるけどしていない」が21.2%、「できない」が6.2%となっている。(図表6-3)

(4) 自分で請求書の支払い

Q 7 自分で請求書の支払いをしていますか。

【図表6-4 自分で請求書の支払い】

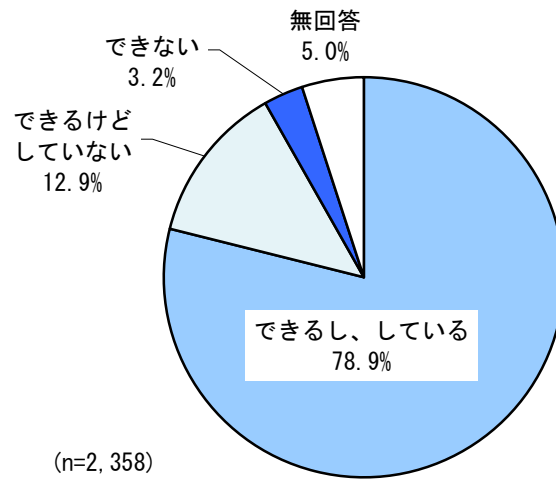


自分で請求書の支払いをすることは、「できるし、している」が79.0%で最も多く、次いで「できるけどしていない」が13.1%、「できない」が2.2%となっている。(図表6-4)

(5) 自分で預貯金の出し入れ

Q 8 自分で預貯金の出し入れをしていますか。

【図表6-5 自分で預貯金の出し入れ】



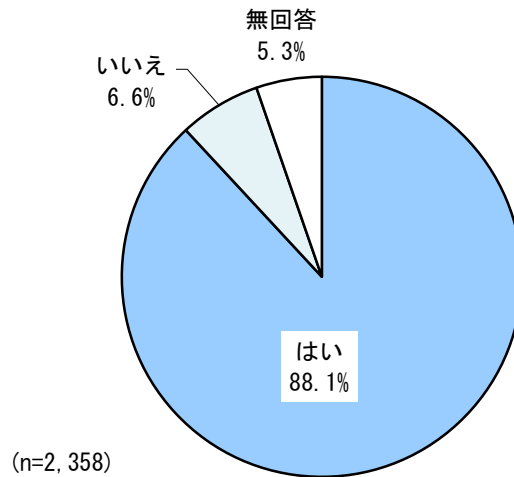
自分で預貯金の出し入れをすることについては、「できるし、している」が78.9%で最も多く、次いで「できるけどしていない」が12.9%、「できない」が3.2%となっている。(図表6-5)

7 社会参加について

(1) 年金などの書類が書けるか

Q9 年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか。

【図表7-1 年金などの書類が書けるか】

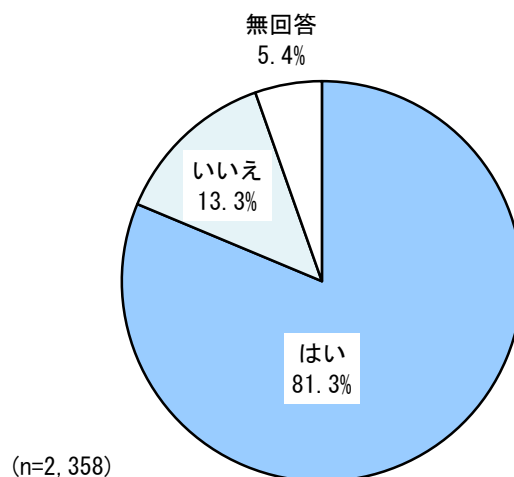


年金などの書類（役所や病院などに出す書類）を書けるかについては、「はい」が88.1%に対し、「いいえ」が6.6%となっている。（図表7-1）

(2) 新聞を読んでいるか

Q10 新聞を読んでいますか。

【図表7-2 新聞を読んでいるか】

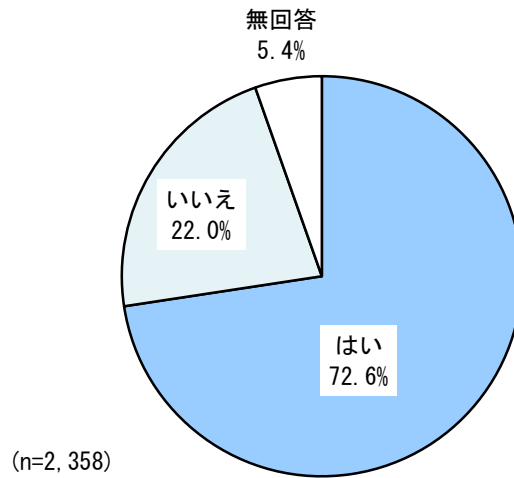


新聞を読んでいるかについては、「はい」が81.3%に対し、「いいえ」が13.3%となっている。（図表7-2）

(3) 本や雑誌を読んでいるか

Q11 本や雑誌を読んでいますか。

【図表7-3 本や雑誌を読んでいるか】

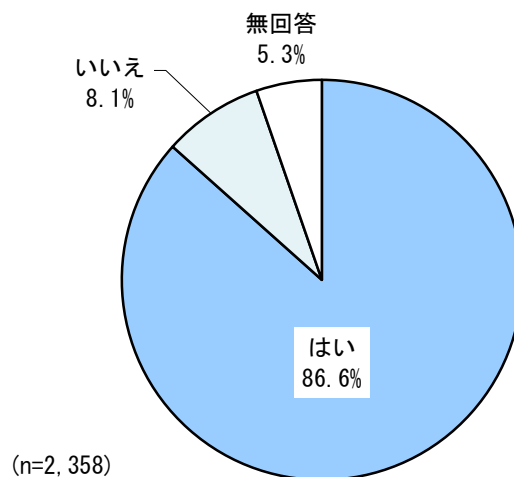


本や雑誌を読んでいるかについては、「はい」が72.6%に対し、「いいえ」が22.0%となっている。(図表7-3)

(4) 健康についての記事や番組に関心はあるか

Q12 健康についての記事や番組に関心がありますか。

【図表7-4 健康についての記事や番組に関心はあるか】

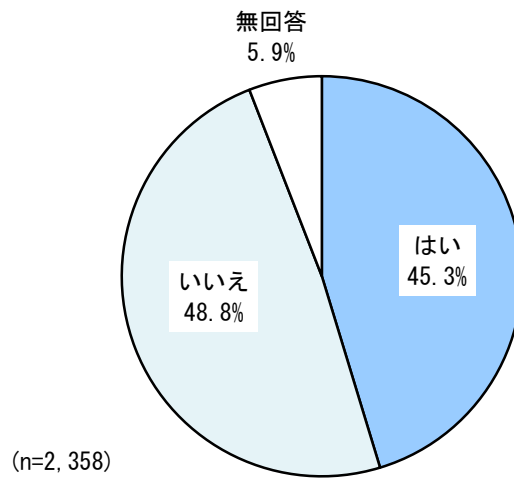


健康についての記事や番組に関心があるかについては、「はい」が86.6%に対し、「いいえ」が8.1%となっている。(図表7-4)

(5) 友人の家を訪ねているか

Q13 友人の家を訪ねていますか。

【図表7-5 友人の家を訪ねているか】

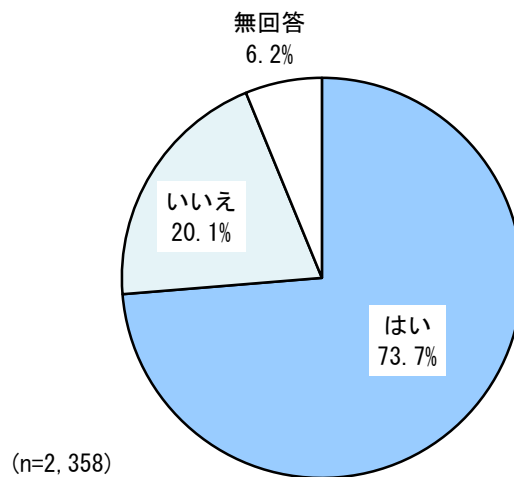


友人の家を訪ねているかについては、「はい」が45.3%、「いいえ」が48.8%となっている。
(図表7-5)

(6) 家族や友人の相談にのっているか

Q14 家族や友人の相談にのっていますか。

【図表7-6 家族や友人の相談にのっているか】

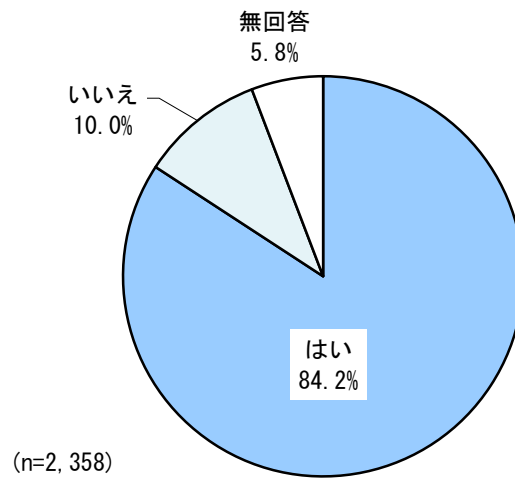


家族や友人の相談にのっているかについては、「はい」が73.7%に対し、「いいえ」が20.1%となっている。(図表7-6)

(7) 病人を見舞うことができるか

Q15 病人を見舞うことができますか。

【図表7-7 病人を見舞うことができるか】

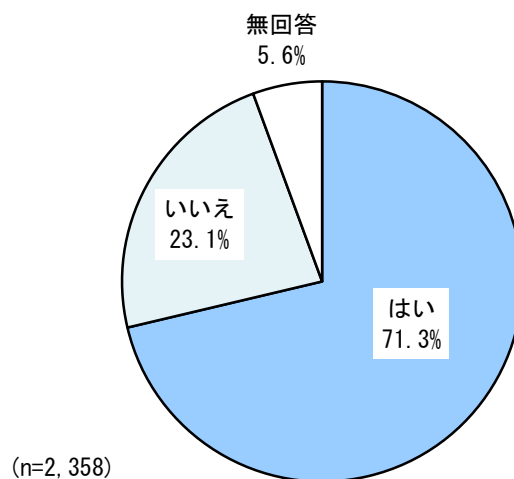


病人を見舞うことができるかについては、「はい」が84.2%に対し、「いいえ」が10.0%となっている。(図表7-7)

(8) 若い人に自分から話しかけることがあるか

Q16 若い人に自分から話しかけることがありますか。

【図表7-8 若い人に自分から話しかけることがあるか】

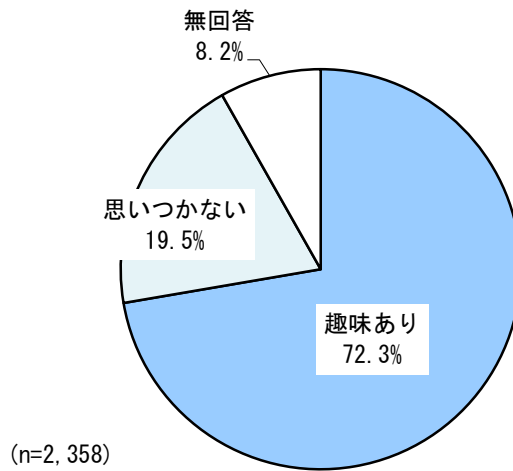


若い人に自分から話しかけることがあるかについては、「はい」が71.3%に対し、「いいえ」が23.1%となっている。(図表7-8)

(9) 趣味の有無

Q17 趣味はありますか。

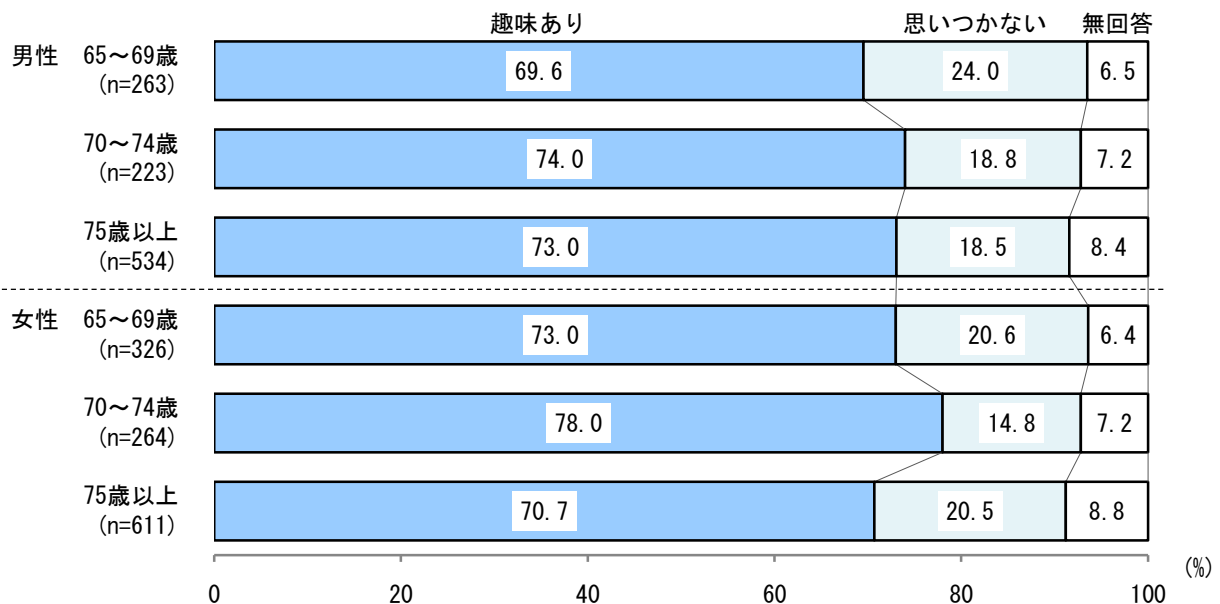
【図表7-9 趣味の有無】



趣味の有無については、「趣味あり」が72.3%に対し、「思いつかない」が19.5%となっている。(図表7-9)

性・年齢別で見ると、「趣味あり」は男女とも70～74歳が最も高く、特に女性の70～74歳(78.0%)で最も高くなっている。(図表7-9-1)

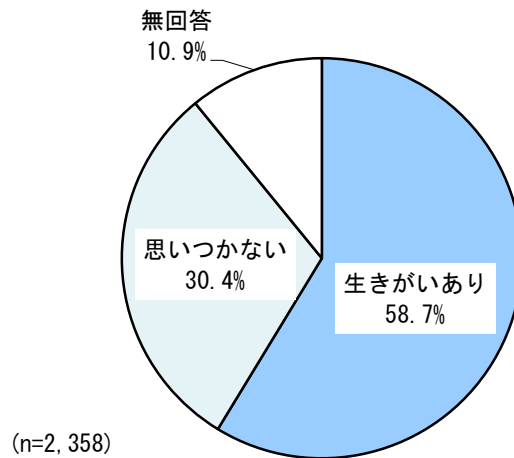
【図表7-9-1 性・年齢別 趣味の有無】



(10) 生きがいの有無

Q18 生きがいはありますか。

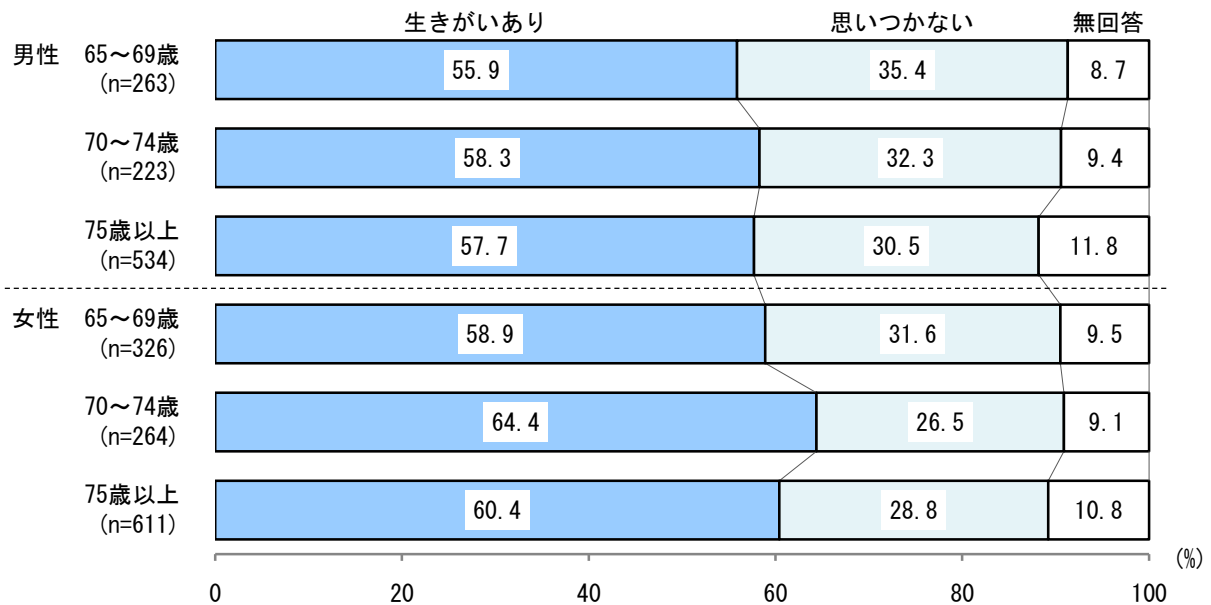
【図表7-10 生きがいの有無】



生きがいの有無については、「生きがいあり」が58.7%に対し、「思いつかない」が30.4%となっている。(図表7-10)

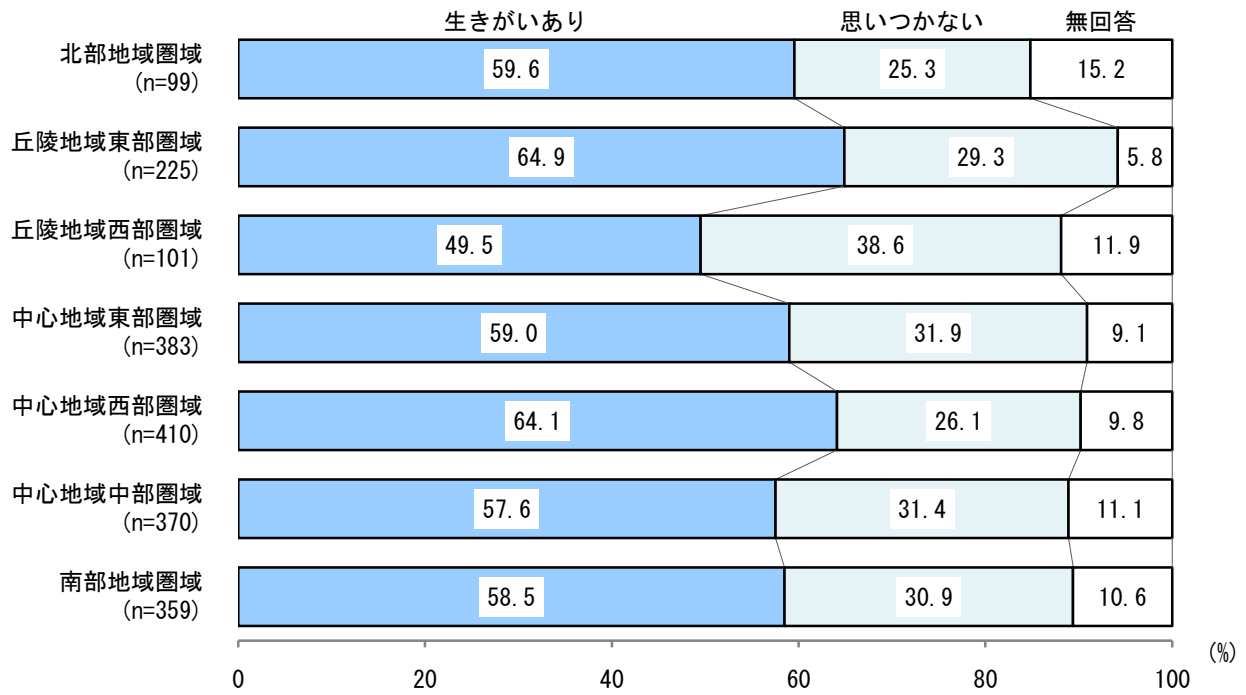
性・年齢別でみると、「生きがいあり」は女性の70～74歳が64.4%で最も高くなっている。(図表7-10-1)

【図表7-10-1 性・年齢別 生きがいの有無】



日常生活圏域別でみると、「生きがいあり」は丘陵地域東部圏域が64.9%で最も高く、次いで中心地域西部圏域（64.1%）となっている。（図表7-10-2）

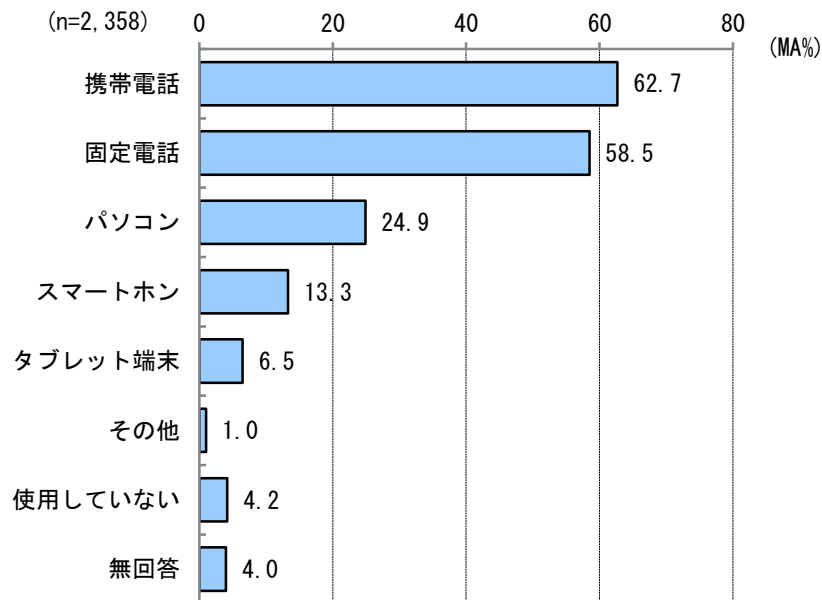
【図表7-10-2 日常生活圏域別 生きがいの有無】



(11) 日常生活で使用している情報通信機器

Q19 次の情報通信機器のうち日常生活でよく使用しているものはありますか。(いくつでも)

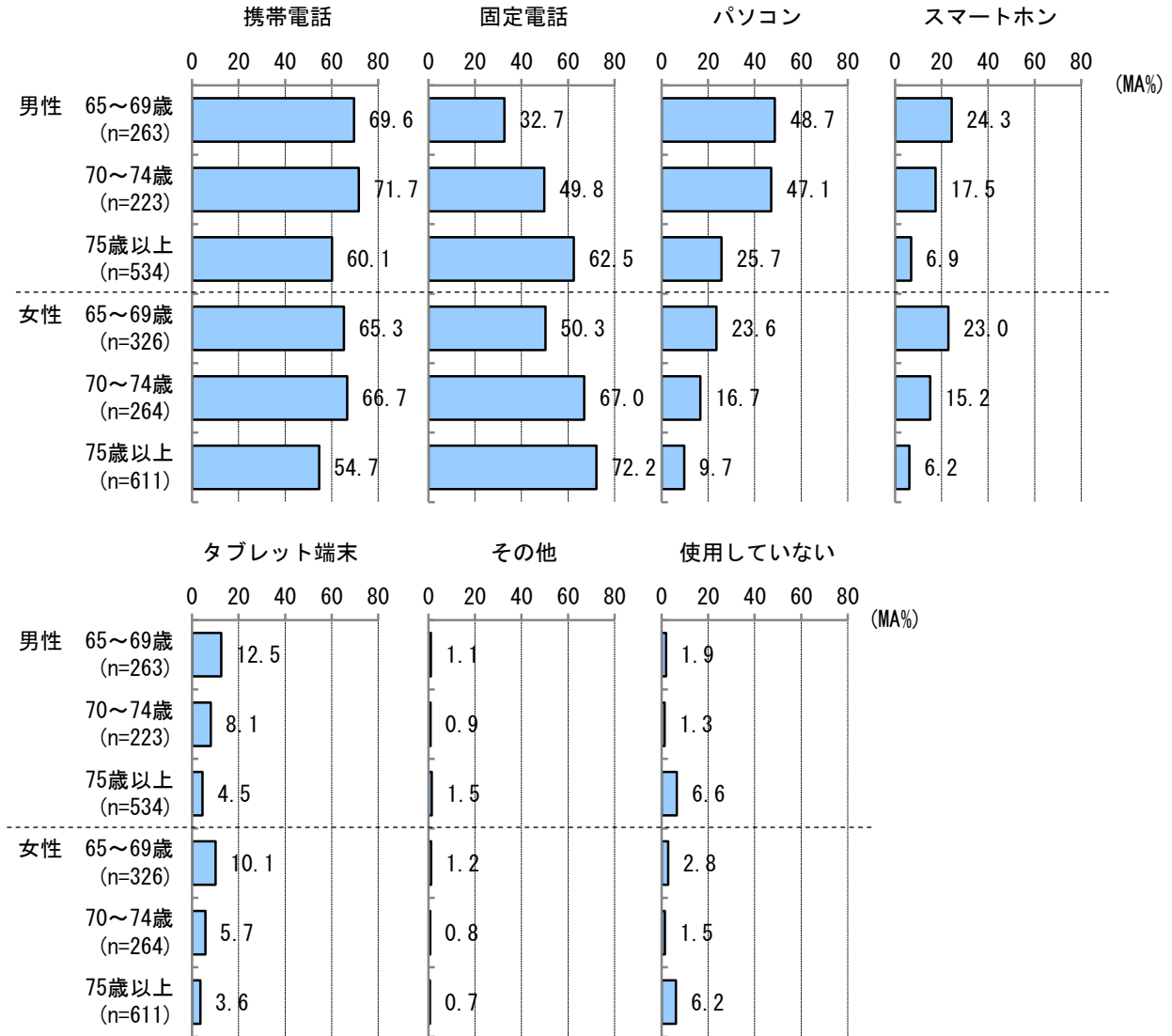
【図表7-11 日常生活で使用している情報通信機器】



日常生活で使用している情報通信機器については、「携帯電話」が62.7%で最も多く、次いで「固定電話」が58.5%、「パソコン」が24.9%、「スマートホン」が13.3%となっている。(図表7-11)

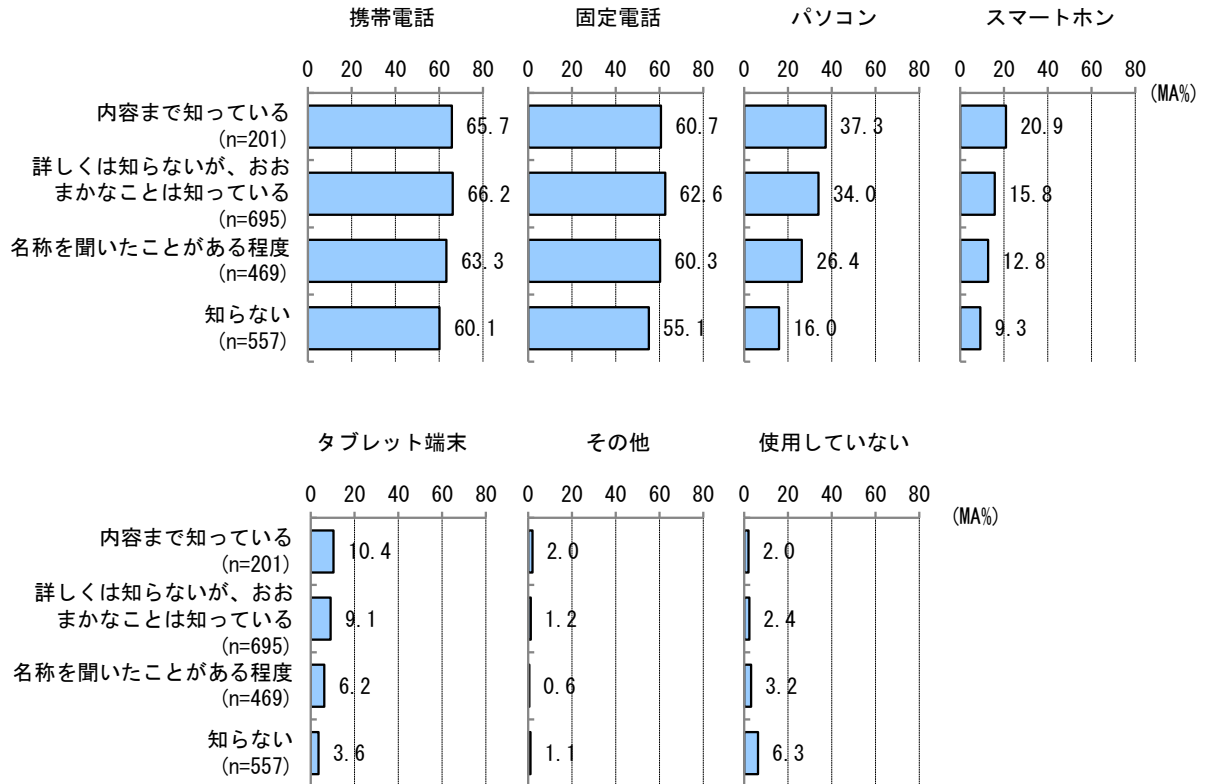
性・年齢別で見ると、女性の70～74歳、75歳以上の男女では「固定電話」が最も多いが、それ以外の年代では「携帯電話」が最も多くなっている。男女とも、「パソコン」、「スマートフォン」は高齢になるほど低くなっている。(図表7-11-1)

【図表7-11-1 性・年齢別 日常生活で使用している情報通信機器】



成年後見制度の認知度別でみると、いずれも「携帯電話」が最も多く、6割台となっている。「パソコン」「スマートホン」では成年後見制度を知っている人ほど高い割合となっている。(図表7-11-2)

【図表7-11-2 成年後見制度の認知度別 日常生活で使用している情報通信機器】



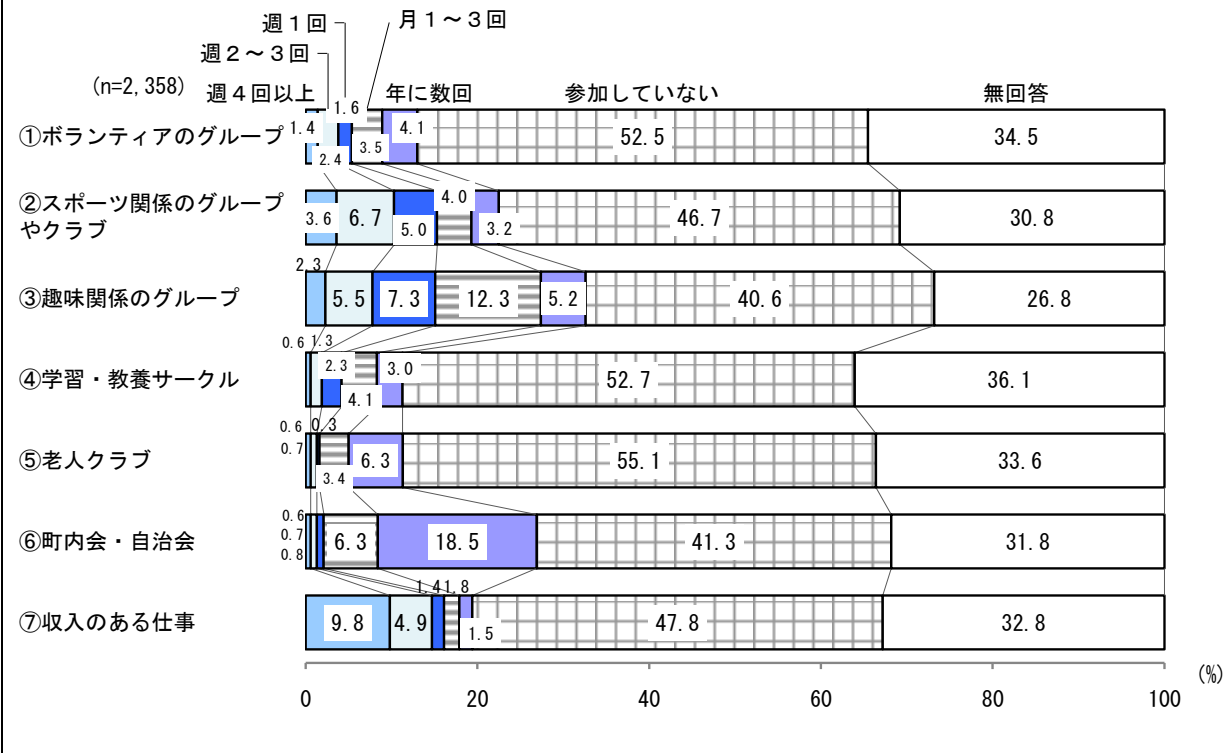
8 地域活動について

(1) 地域活動の参加頻度

問5 Q1 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。

※①～⑦それぞれに回答してください。

【図表8-1 地域活動の参加頻度】



地域活動の参加頻度については、いずれの活動も「参加していない」が最も多く、「①ボランティアのグループ」(52.5%)、「④学習・教養サークル」(52.7%)、「⑤老人クラブ」(55.1%)は5割を超えている。『週1回以上』(「週4回以上」と「週2～3回」、「週1回」をあわせた割合)は「⑦収入のある仕事」が16.1%で最も高く、次いで「②スポーツ関係のグループやクラブ」が15.3%、「③趣味関係のグループ」が15.1%となっている。(図表8-1)

性・年齢別でみると、「⑦収入のある仕事」の男性を除くすべての項目で、「参加していない」が男女とも65～69歳で最も高い割合となっている。「週4回以上」は“⑦収入のある仕事”の男性65～69歳が28.5%で最も高くなっている。(図表8-1-1)

【図表8-1-1 性・年齢別 地域活動の参加頻度】

		(%)							
			週 4 回 以上	週 2 ～ 3 回	週 1 回	月 1 ～ 3 回	年 に 数 回	参 加 し て い な い	無 回 答
①ボランティアのグループ	男性	65～69歳 (n=263)	1.5	1.9	1.1	4.9	5.3	66.5	18.6
		70～74歳 (n=223)	0.9	4.5	1.3	1.8	8.1	62.3	21.1
		75歳以上 (n=534)	3.0	1.9	2.4	4.3	6.4	46.8	35.2
	女性	65～69歳 (n=326)	1.5	1.5	3.1	4.3	2.5	62.6	24.5
		70～74歳 (n=264)	1.1	3.4	1.5	4.2	3.8	50.8	35.2
		75歳以上 (n=611)	0.3	2.0	0.8	2.3	1.8	42.7	50.1
②スポーツ関係のグループやクラブ	男性	65～69歳 (n=263)	2.3	4.9	3.0	5.7	6.8	61.2	16.0
		70～74歳 (n=223)	2.7	7.2	4.0	5.8	5.4	55.2	19.7
		75歳以上 (n=534)	4.5	6.0	3.6	6.2	4.7	42.7	32.4
	女性	65～69歳 (n=326)	4.0	8.0	10.7	1.8	1.8	53.4	20.2
		70～74歳 (n=264)	3.8	7.2	7.6	1.5	2.3	44.3	33.3
		75歳以上 (n=611)	3.4	6.9	3.6	2.5	1.1	38.3	44.2
③趣味関係のグループ	男性	65～69歳 (n=263)	1.1	2.3	3.0	10.3	10.3	57.0	16.0
		70～74歳 (n=223)	3.1	1.3	4.0	12.6	8.1	51.1	19.7
		75歳以上 (n=534)	3.9	4.7	6.4	11.0	6.0	37.5	30.5
	女性	65～69歳 (n=326)	1.2	4.3	8.3	15.0	5.2	46.6	19.3
		70～74歳 (n=264)	1.1	10.6	13.3	13.6	3.4	34.5	23.5
		75歳以上 (n=611)	2.5	6.9	7.4	13.9	2.0	32.1	35.4
④学習・教養サークル	男性	65～69歳 (n=263)	-	0.8	1.1	3.4	0.8	73.8	20.2
		70～74歳 (n=223)	0.4	1.3	0.9	4.0	3.1	65.5	24.7
		75歳以上 (n=534)	1.3	0.7	1.9	1.9	3.7	50.2	40.3
	女性	65～69歳 (n=326)	-	2.5	3.4	6.1	4.3	59.5	24.2
		70～74歳 (n=264)	1.5	2.3	3.0	5.7	3.4	47.7	36.4
		75歳以上 (n=611)	0.2	0.8	2.5	4.6	2.9	39.6	49.4
⑤老人クラブ	男性	65～69歳 (n=263)	-	-	-	1.5	4.9	74.1	19.4
		70～74歳 (n=223)	0.4	-	0.4	2.7	5.8	65.9	24.7
		75歳以上 (n=534)	0.7	1.3	0.4	5.2	8.2	50.0	34.1
	女性	65～69歳 (n=326)	0.3	-	0.3	0.3	4.6	69.0	25.5
		70～74歳 (n=264)	0.4	0.4	-	4.2	7.2	54.2	33.7
		75歳以上 (n=611)	1.0	0.8	0.3	4.3	6.5	40.9	46.2
⑥町内会・自治会	男性	65～69歳 (n=263)	0.4	0.8	1.1	7.2	17.9	55.5	17.1
		70～74歳 (n=223)	-	0.4	1.3	8.5	18.4	50.2	21.1
		75歳以上 (n=534)	1.1	0.9	0.6	5.2	21.5	37.5	33.1
	女性	65～69歳 (n=326)	0.6	-	1.5	5.8	19.6	50.0	22.4
		70～74歳 (n=264)	0.8	-	0.8	5.7	23.1	38.3	31.4
		75歳以上 (n=611)	0.2	1.0	0.2	6.5	14.6	31.8	45.8
⑦収入のある仕事	男性	65～69歳 (n=263)	28.5	14.8	2.7	4.2	3.0	38.0	8.7
		70～74歳 (n=223)	13.0	4.0	2.7	1.8	1.8	55.2	21.5
		75歳以上 (n=534)	5.8	2.8	0.7	2.1	1.9	49.8	36.9
	女性	65～69歳 (n=326)	14.4	8.0	2.1	2.5	1.2	52.8	19.0
		70～74歳 (n=264)	6.4	3.4	2.3	1.1	1.9	51.5	33.3
		75歳以上 (n=611)	2.3	1.8	0.5	0.7	0.2	44.4	50.2

◆第2節 介護予防・日常生活圏域二一ズ調査◆

日常生活圏域別でみると、「参加していない」は“①ボランティアのグループ”と“④学習・教養サークル”、“⑦収入のある仕事”で南部地域圏域が最も高くなっている。また、『週1回以上』は“②スポーツ関係のグループやクラブ”と“③趣味関係のグループ”で中心地域西部圏域が最も高くなっている。(図表8-1-2)

【図表8-1-2 日常生活圏域別 地域活動の参加頻度】

		週4回以上	週2〜3回	週1回	月1〜3回	年に数回	参加していない	無回答
①ボランティアのグループ	北部地域圏域 (n=99)	1.0	3.0	3.0	5.1	8.1	35.4	44.4
	丘陵地域東部圏域 (n=225)	0.9	3.1	2.2	3.1	5.8	49.8	35.1
	丘陵地域西部圏域 (n=101)	-	2.0	4.0	4.0	3.0	50.5	36.6
	中心地域東部圏域 (n=383)	1.3	2.6	1.3	4.7	3.1	53.8	33.2
	中心地域西部圏域 (n=410)	2.0	2.4	1.2	3.4	3.9	52.0	35.1
	中心地域中部圏域 (n=370)	0.8	2.2	1.6	1.6	4.9	54.6	34.3
	南部地域圏域 (n=359)	1.9	1.9	0.8	3.1	3.3	54.9	34.0
②スポーツ関係のグループやクラブ	北部地域圏域 (n=99)	1.0	4.0	4.0	5.1	9.1	34.3	42.4
	丘陵地域東部圏域 (n=225)	3.6	3.6	4.4	4.4	4.0	47.6	32.4
	丘陵地域西部圏域 (n=101)	1.0	4.0	9.9	4.0	2.0	46.5	32.7
	中心地域東部圏域 (n=383)	3.4	6.3	4.4	5.2	3.1	48.0	29.5
	中心地域西部圏域 (n=410)	3.7	10.2	8.0	4.1	1.5	45.1	27.3
	中心地域中部圏域 (n=370)	3.5	7.8	2.4	3.2	3.0	48.1	31.9
	南部地域圏域 (n=359)	4.7	5.3	4.7	2.8	3.9	47.4	31.2
③趣味関係のグループ	北部地域圏域 (n=99)	1.0	3.0	6.1	14.1	13.1	28.3	34.3
	丘陵地域東部圏域 (n=225)	4.4	5.8	6.7	12.4	7.6	37.8	25.3
	丘陵地域西部圏域 (n=101)	4.0	4.0	8.9	9.9	3.0	41.6	28.7
	中心地域東部圏域 (n=383)	1.6	4.2	6.3	17.2	4.4	38.4	27.9
	中心地域西部圏域 (n=410)	1.2	7.3	9.0	12.0	4.6	40.2	25.6
	中心地域中部圏域 (n=370)	2.4	5.9	5.9	10.0	4.3	44.1	27.3
	南部地域圏域 (n=359)	4.2	3.9	8.6	13.9	3.9	41.8	23.7
④学習・教養サークル	北部地域圏域 (n=99)	-	-	3.0	3.0	3.0	40.4	50.5
	丘陵地域東部圏域 (n=225)	0.9	2.2	2.2	7.1	4.4	46.2	36.9
	丘陵地域西部圏域 (n=101)	-	1.0	2.0	2.0	2.0	52.5	40.6
	中心地域東部圏域 (n=383)	0.5	0.5	1.8	4.2	3.1	54.6	35.2
	中心地域西部圏域 (n=410)	0.2	1.7	3.2	3.7	2.2	53.7	35.4
	中心地域中部圏域 (n=370)	1.1	1.4	1.1	5.4	3.8	51.9	35.4
	南部地域圏域 (n=359)	0.6	1.1	2.8	2.8	3.3	55.2	34.3
⑤老人クラブ	北部地域圏域 (n=99)	4.0	2.0	-	15.2	37.4	19.2	22.2
	丘陵地域東部圏域 (n=225)	1.3	-	0.4	3.6	8.0	53.8	32.9
	丘陵地域西部圏域 (n=101)	1.0	2.0	-	3.0	4.0	51.5	38.6
	中心地域東部圏域 (n=383)	0.3	1.0	-	2.6	6.3	57.2	32.6
	中心地域西部圏域 (n=410)	-	0.2	0.2	3.4	2.0	58.8	35.4
	中心地域中部圏域 (n=370)	0.5	0.8	0.5	1.9	5.9	57.6	32.7
	南部地域圏域 (n=359)	0.3	0.8	0.3	4.2	3.9	55.7	34.8
⑥町内会・自治会	北部地域圏域 (n=99)	-	1.0	4.0	19.2	28.3	18.2	29.3
	丘陵地域東部圏域 (n=225)	1.3	-	0.4	8.4	20.4	38.2	31.1
	丘陵地域西部圏域 (n=101)	-	1.0	-	5.0	17.8	38.6	37.6
	中心地域東部圏域 (n=383)	-	0.5	0.5	5.7	19.8	41.5	31.9
	中心地域西部圏域 (n=410)	0.5	1.5	0.2	5.6	15.4	44.4	32.4
	中心地域中部圏域 (n=370)	0.8	0.8	0.8	4.9	14.9	45.7	32.2
	南部地域圏域 (n=359)	0.8	0.6	1.7	5.3	22.0	39.3	30.4
⑦収入のある仕事	北部地域圏域 (n=99)	5.1	5.1	4.0	6.1	2.0	36.4	41.4
	丘陵地域東部圏域 (n=225)	10.2	5.3	0.4	1.8	1.8	48.9	31.6
	丘陵地域西部圏域 (n=101)	10.9	5.9	2.0	3.0	-	40.6	37.6
	中心地域東部圏域 (n=383)	10.2	5.5	1.3	1.3	1.6	49.1	31.1
	中心地域西部圏域 (n=410)	9.3	4.6	0.7	1.0	1.5	48.0	34.9
	中心地域中部圏域 (n=370)	8.9	3.8	1.1	2.4	2.2	49.2	32.4
	南部地域圏域 (n=359)	8.4	3.6	2.8	1.1	0.3	50.1	33.7

成年後見制度の認知度別でみると、『週1回以上』は“①ボランティアのグループ”、“③趣味関係のグループ”、“④学習・教養サークル”、“⑥町内会・自治会”、“⑦収入のある仕事”で内容まで知っているの割合が最も高くなっている。(図表8-1-3)

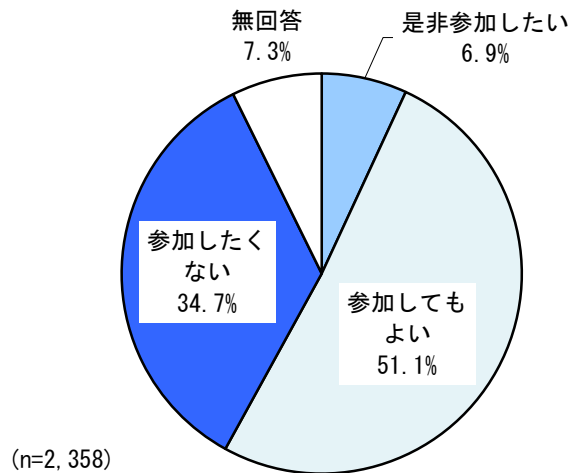
【図表8-1-3 成年後見制度の認知度別 地域活動の参加頻度】

		参加頻度							(%)
		週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答	
①ボランティアのグループ	内容まで知っている (n=201)	3.0	5.0	4.0	5.0	4.5	49.3	29.4	
	詳しくは知らないが、おおまかなことは知っている (n=695)	1.7	2.4	1.7	6.8	4.7	55.1	27.5	
	名称を聞いたことがある程度 (n=469)	0.9	3.0	0.9	2.3	5.1	57.6	30.3	
	知らない (n=557)	1.6	1.3	1.3	1.1	2.7	55.8	36.3	
②スポーツ関係のグループやクラブ	内容まで知っている (n=201)	4.0	11.9	4.5	6.0	8.0	42.3	23.4	
	詳しくは知らないが、おおまかなことは知っている (n=695)	4.3	8.8	7.9	3.6	4.3	47.5	23.6	
	名称を聞いたことがある程度 (n=469)	4.1	4.9	6.6	4.5	3.0	50.1	26.9	
	知らない (n=557)	2.9	3.8	2.5	3.6	1.4	51.7	34.1	
③趣味関係のグループ	内容まで知っている (n=201)	1.5	6.5	10.4	19.4	8.0	36.3	17.9	
	詳しくは知らないが、おおまかなことは知っている (n=695)	2.4	5.0	9.1	15.4	6.3	40.1	21.6	
	名称を聞いたことがある程度 (n=469)	2.1	5.1	9.8	10.7	6.0	42.6	23.7	
	知らない (n=557)	2.3	6.8	4.1	8.6	3.2	46.7	28.2	
④学習・教養サークル	内容まで知っている (n=201)	1.0	1.0	4.5	8.5	6.0	49.8	29.4	
	詳しくは知らないが、おおまかなことは知っている (n=695)	0.4	2.2	3.7	5.5	4.3	54.8	29.1	
	名称を聞いたことがある程度 (n=469)	0.4	1.3	1.9	2.8	1.7	58.6	33.3	
	知らない (n=557)	0.9	0.5	0.9	2.0	1.4	56.4	37.9	
⑤老人クラブ	内容まで知っている (n=201)	-	0.5	0.5	5.0	7.5	60.2	26.4	
	詳しくは知らないが、おおまかなことは知っている (n=695)	0.3	0.3	0.1	3.7	5.8	59.6	30.2	
	名称を聞いたことがある程度 (n=469)	0.4	0.9	0.2	3.8	5.8	58.8	30.1	
	知らない (n=557)	1.4	0.7	0.2	2.2	5.9	55.7	33.9	
⑥町内会・自治会	内容まで知っている (n=201)	-	2.5	2.5	8.5	24.9	42.8	18.9	
	詳しくは知らないが、おおまかなことは知っている (n=695)	0.6	0.4	0.7	6.9	21.4	41.6	28.3	
	名称を聞いたことがある程度 (n=469)	0.9	0.2	0.4	7.5	21.1	41.6	28.4	
	知らない (n=557)	0.9	0.5	1.1	2.5	13.6	47.8	33.6	
⑦収入のある仕事	内容まで知っている (n=201)	13.4	3.5	2.0	4.0	4.5	49.8	22.9	
	詳しくは知らないが、おおまかなことは知っている (n=695)	10.5	5.0	1.2	2.6	1.9	52.1	26.8	
	名称を聞いたことがある程度 (n=469)	9.0	5.8	1.9	1.3	0.9	51.0	30.3	
	知らない (n=557)	9.5	5.2	1.4	1.1	0.9	47.9	33.9	

(2) いきいきとした地域活動に参加者としての参加意向

Q2 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきとした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。

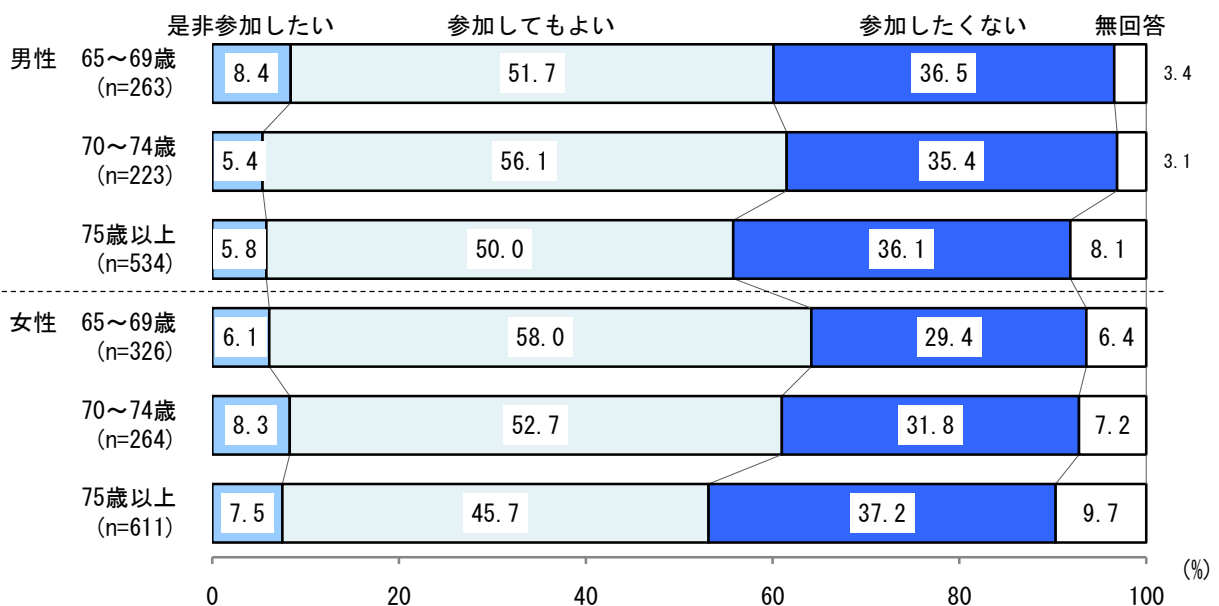
【図表8-2 いきいきとした地域活動に参加者としての参加意向】



いきいきとした地域活動に参加者としての参加意向については、「参加してもよい」が51.1%で最も多く、次いで「参加したくない」が34.7%、「是非参加したい」が6.9%となっている。「是非参加したい」と「参加してもよい」をあわせた『参加意向がある』は58.0%となっている。(図表8-2)

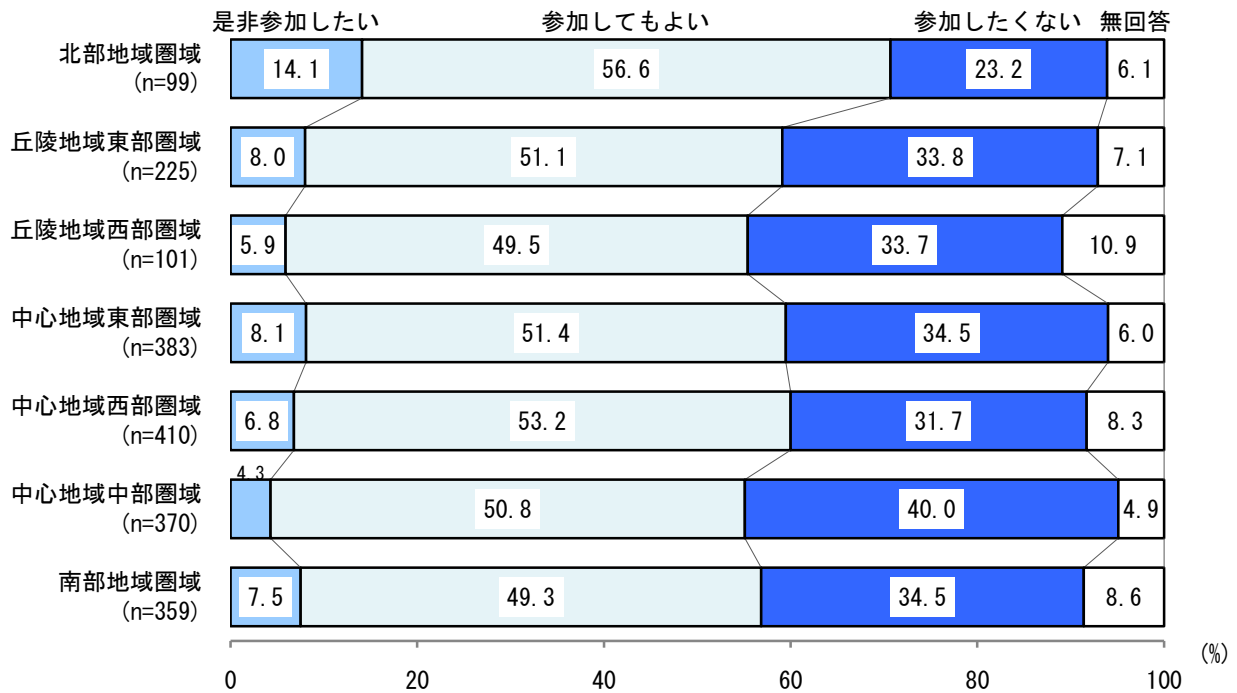
性・年齢別でみると、男女ともいずれも「参加してもよい」が最も多く、『参加意向がある』人は女性では65～69歳が64.1%で最も高く、高齢になるほど低くなっている。(図表8-2-1)

【図表8-2-1 性・年齢別 いきいきとした地域活動に参加者としての参加意向】



日常生活圏域別で見ると、『参加意向がある』人は北部地域圏域（70.7%）で最も高く、次いで中心地域西部圏域（60.0%）となっている。（図表8-2-2）

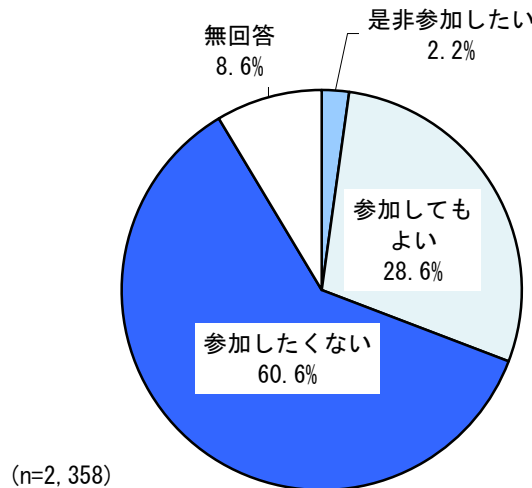
【図表8-2-2 日常生活圏域別 いきいきとした地域活動に参加者としての参加意向】



(3) いきいきとした地域活動に企画・運営としての参加意向

Q3 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきとした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか。

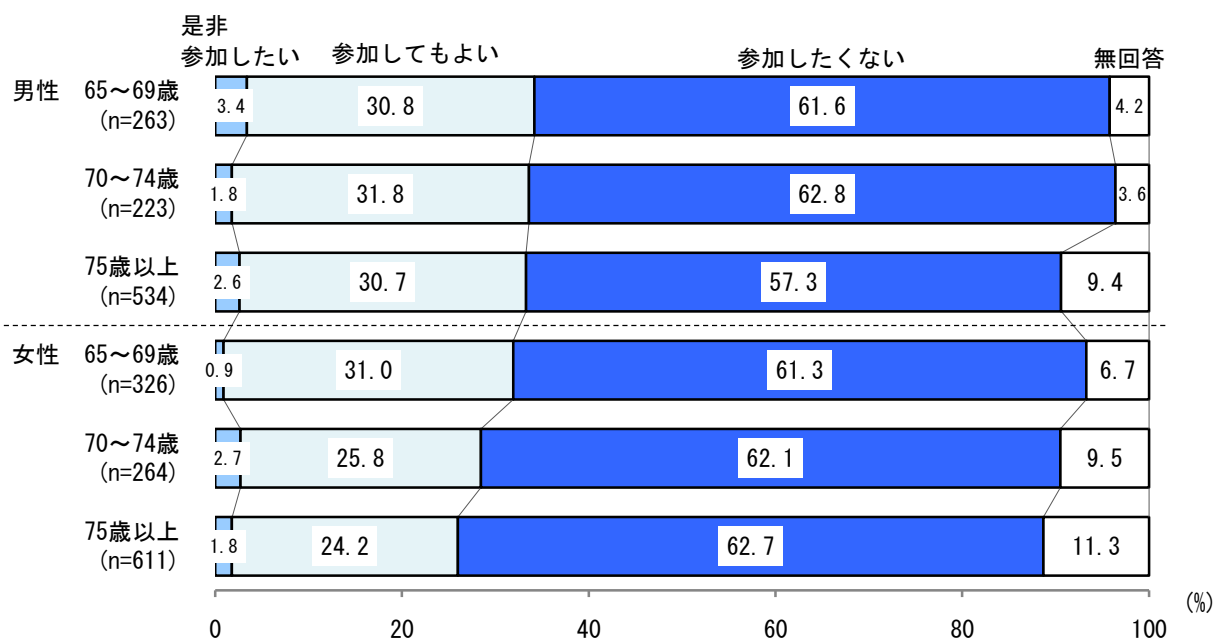
【図表8-3 いきいきとした地域活動に企画・運営としての参加意向】



いきいきとした地域活動に企画・運営（お世話役）としての参加意向については、「参加したくない」が60.6%で最も多く、次いで「参加してもよい」が28.6%、「是非参加したい」が2.2%となっている。「是非参加したい」と「参加してもよい」をあわせた『参加意向がある』は30.8%となっている。（図表8-3）

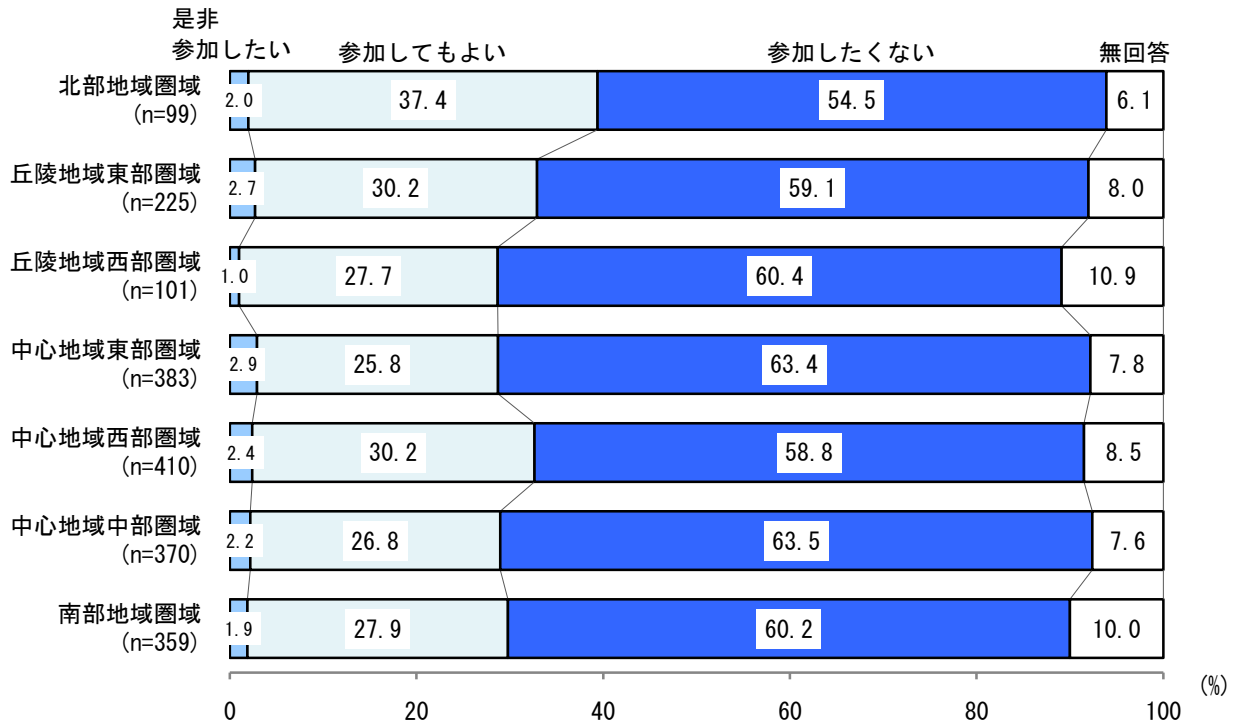
性・年齢別でみると、『参加意向がある』人は、女性では65～69歳が31.9%で最も高く、高齢になるほど割合は低くなっている。（図表8-3-1）

【図表8-3-1 性・年齢別 いきいきとした地域活動に企画・運営としての参加意向】



日常生活圏域別で見ると、『参加意向がある』人は北部地域圏域が39.4%で最も高く、次いで丘陵地域東部圏域（32.9%）となっている。（図表8-3-2）

【図表8-3-2 日常生活圏域別 いきいきとした地域活動に企画・運営としての参加意向】

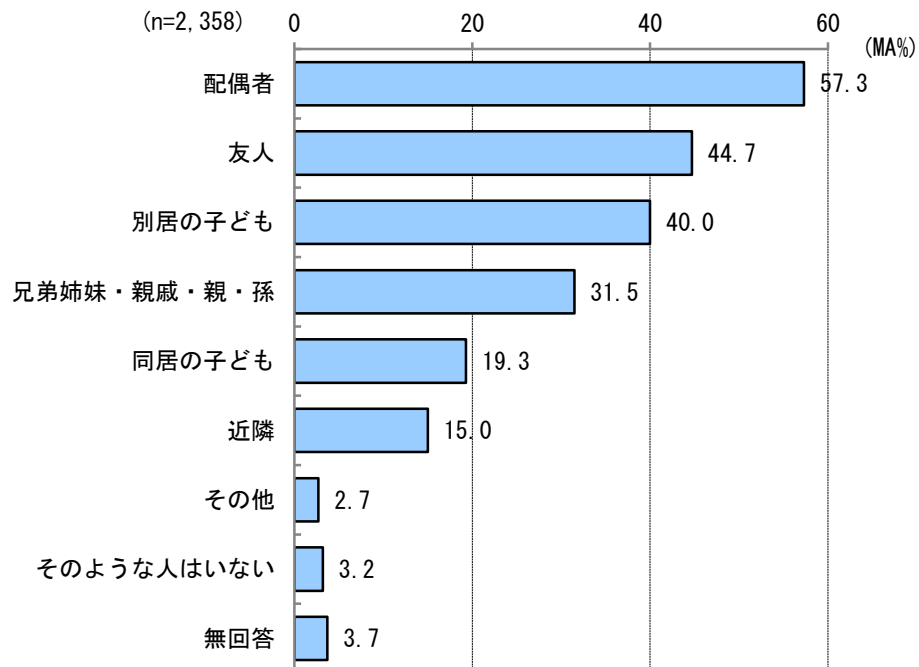


9 たすけあいについて

(1) 心配事や愚痴を聞いてくれる人

問6 Q1 あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人（いくつでも）

【図表9-1 心配事や愚痴を聞いてくれる人】



心配事や愚痴を聞いてくれる人については、「配偶者」が57.3%で最も多く、次いで「友人」が44.7%、「別居の子ども」が40.0%となっている。（図表9-1）

年齢別でみると、「配偶者」、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」、「友人」は高齢になるほど割合が低くなっている。（図表9-1-1）

【図表9-1-1 年齢別 心配事や愚痴を聞いてくれる人】

	n	(MA%)								
		配偶者	同居の子ども	別居の子ども	親兄弟・孫姉妹・親戚・	近隣	友人	その他	ない	そのような人はい
65～69歳	590	63.9	20.0	36.8	34.2	10.7	54.1	3.2	3.6	3.4
70～74歳	488	63.7	18.6	41.8	32.8	16.0	51.2	1.8	3.1	2.7
75歳以上	1,152	50.9	19.4	41.4	30.3	17.3	37.0	2.8	2.9	4.2

家族構成別でみると、1人暮らしは「友人」が52.0%で最も多く、夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）と夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）では「配偶者」が、息子・娘との2世帯は「同居の子ども」が最も高くなっている。（図表9-1-2）

【図表9-1-2 家族構成別 心配事や愚痴を聞いてくれる人】

	n	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	親・兄弟姉妹・親戚・孫	近隣	友人	その他	ない	そのような人は	無回答
1人暮らし	404	2.0	0.7	46.0	39.4	20.8	52.0	5.7	9.7	2.7	
夫婦2人暮らし （配偶者65歳以上）	1,005	83.3	3.5	47.8	27.0	14.8	41.8	1.9	1.3	3.6	
夫婦2人暮らし （配偶者64歳以下）	113	82.3	8.0	37.2	27.4	10.6	38.9	4.4	1.8	4.4	
息子・娘との2世帯	295	40.7	63.1	26.1	35.9	14.6	45.4	1.0	-	4.1	
その他	411	51.3	47.7	27.5	34.8	12.7	45.0	2.4	3.6	3.9	

地域活動の参加頻度別でみると、①ボランティアのグループでは“週1回”以外の頻度で「配偶者」が最も多くなっている。

②スポーツ関係のグループやクラブでは、“週4回以上”、“月1～3回”、“年に数回”、“参加していない”は「配偶者」が最も多くなっている。

③趣味関係のグループでは、“週2～3回”、“月1～3回”で「友人」が最も多くなっている。

④学習・教養サークルでは、「配偶者」は“週4回以上”が最も高くなっている。

⑤老人クラブでは、「友人」は“週2～3回”が最も高くなっている。

⑥町内会・自治会では、「友人」「兄弟姉妹・親戚・親・孫」「同居の子ども」「近隣」は“週1回”が最も高くなっている。

⑦収入のある仕事では、「友人」は月1回以上で5割台となっている。（図表9-1-3①②③）

【図表9-1-3 地域活動の参加頻度別 心配事や愚痴を聞いてくれる人①】

①ボランティアのグループ

	n	配偶者	友人	別居の子ども	親・兄弟姉妹・親戚・孫	同居の子ども	近隣	その他	ない	そのような人は	無回答
週4回以上	34	70.6	55.9	38.2	29.4	14.7	23.5	2.9	2.9	2.9	
週2～3回	56	64.3	57.1	46.4	26.8	8.9	23.2	3.6	-	3.6	
週1回	38	57.9	60.5	36.8	39.5	13.2	18.4	2.6	-	-	
月1～3回	82	64.6	62.2	47.6	30.5	14.6	20.7	6.1	1.2	-	
年に数回	97	74.2	53.6	40.2	38.1	17.5	24.7	4.1	1.0	1.0	
参加していない	1,237	61.9	41.1	41.2	33.1	20.2	11.2	2.2	3.7	0.9	

【図表9-1-3 地域活動の参加頻度別 心配事や愚痴を聞いてくれる人②】

②スポーツ関係のグループやクラブ

	n									(MA%)
		配偶者	友人	別居の子ども	親・孫 兄弟姉妹・親戚・	同居の子ども	近隣	その他	いそ ない いよ うな 人は	無 回 答
週4回以上	85	62.4	57.6	41.2	27.1	17.6	14.1	3.5	-	1.2
週2～3回	157	59.9	61.8	45.9	40.1	14.0	14.0	1.3	0.6	2.5
週1回	119	61.3	68.9	49.6	37.8	21.0	22.7	5.0	2.5	-
月1～3回	94	70.2	54.3	42.6	35.1	18.1	13.8	3.2	3.2	-
年に数回	76	69.7	65.8	47.4	35.5	19.7	25.0	1.3	2.6	-
参加していない	1,101	62.8	38.1	39.7	32.3	21.7	11.7	2.3	3.7	0.8

③趣味関係のグループ

	n									(MA%)
		配偶者	友人	別居の子ども	親・孫 兄弟姉妹・親戚・	同居の子ども	近隣	その他	いそ ない いよ うな 人は	無 回 答
週4回以上	54	63.0	63.0	48.1	29.6	22.2	20.4	5.6	-	-
週2～3回	130	46.9	63.1	45.4	38.5	20.8	20.0	3.1	1.5	3.1
週1回	172	62.8	60.5	40.7	34.9	18.6	19.8	2.3	2.3	1.2
月1～3回	290	61.0	62.4	51.0	34.8	17.2	20.0	2.4	0.3	1.4
年に数回	122	71.3	59.0	47.5	38.5	19.7	17.2	2.5	1.6	-
参加していない	958	62.0	34.2	38.5	31.4	20.8	10.1	2.1	4.5	0.8

④学習・教養サークル

	n									(MA%)
		配偶者	友人	別居の子ども	親・孫 兄弟姉妹・親戚・	同居の子ども	近隣	その他	いそ ない いよ うな 人は	無 回 答
週4回以上	14	71.4	50.0	35.7	28.6	14.3	7.1	-	-	-
週2～3回	30	66.7	73.3	60.0	43.3	13.3	13.3	-	-	-
週1回	54	57.4	66.7	42.6	48.1	24.1	22.2	5.6	-	-
月1～3回	96	60.4	65.6	59.4	38.5	19.8	27.1	6.3	1.0	3.1
年に数回	71	63.4	73.2	56.3	38.0	28.2	19.7	7.0	-	-
参加していない	1,242	63.2	39.9	39.3	32.1	20.0	11.5	1.9	3.7	0.9

【図表9-1-3 地域活動の参加頻度別 心配事や愚痴を聞いてくれる人③】

⑤老人クラブ

	n									(MA%)
		配偶者	友人	別居の子ども	親・兄弟・孫・姉妹・親戚・	同居の子ども	近隣	その他	いその ないよ うな 人は	無 回 答
週4回以上	14	57.1	57.1	42.9	21.4	21.4	14.3	-	-	7.1
週2～3回	16	31.3	62.5	43.8	12.5	12.5	25.0	18.8	-	-
週1回	7	42.9	57.1	42.9	42.9	-	28.6	-	14.3	-
月1～3回	81	53.1	50.6	40.7	32.1	21.0	22.2	2.5	1.2	-
年に数回	148	58.1	42.6	41.9	30.4	27.7	25.7	1.4	4.7	1.4
参加していない	1,300	63.5	43.6	41.2	33.7	20.2	11.4	2.3	3.0	1.0

⑥町内会・自治会

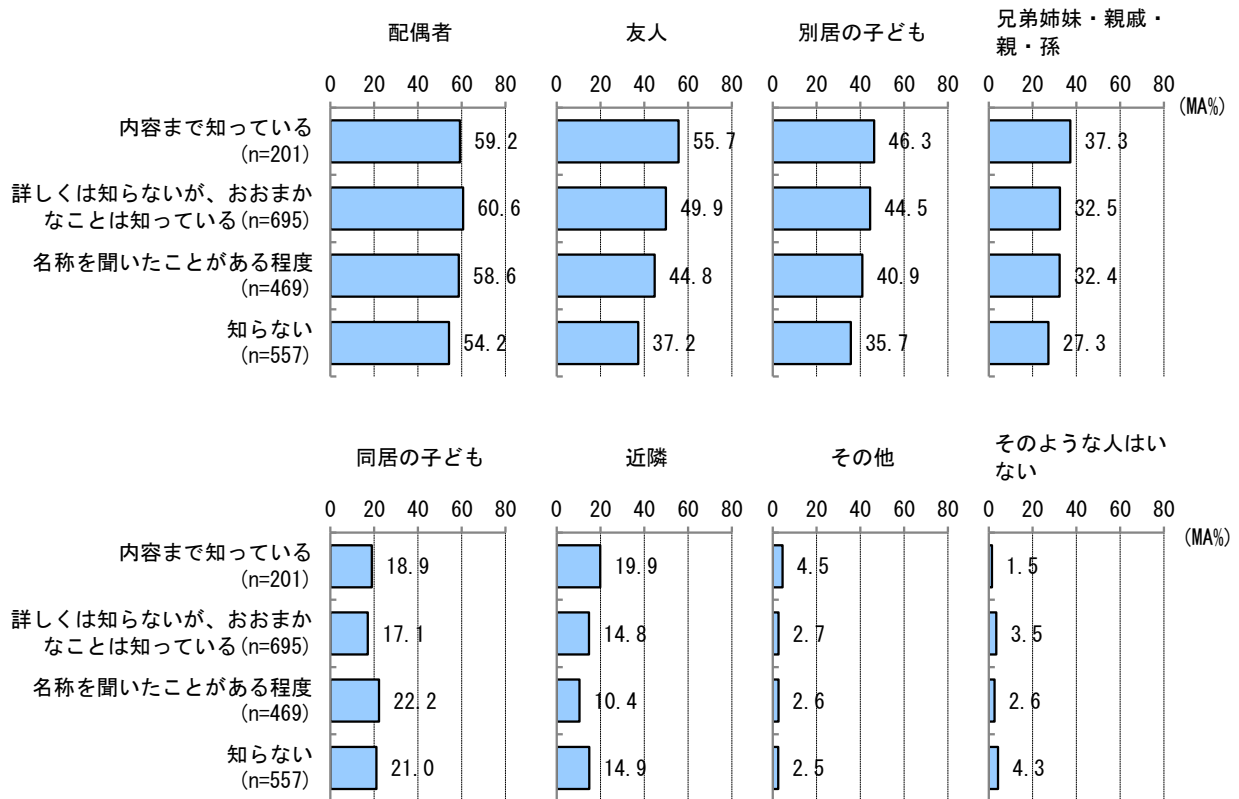
	n									(MA%)
		配偶者	友人	別居の子ども	親・兄弟・孫・姉妹・親戚・	同居の子ども	近隣	その他	いその ないよ うな 人は	無 回 答
週4回以上	13	69.2	61.5	38.5	15.4	7.7	38.5	-	15.4	-
週2～3回	17	41.2	52.9	35.3	41.2	23.5	35.3	-	5.9	-
週1回	18	66.7	72.2	33.3	55.6	27.8	44.4	-	-	-
月1～3回	148	59.5	45.3	48.0	31.8	14.2	26.4	3.4	2.0	1.4
年に数回	437	65.0	52.9	47.6	38.4	19.9	22.2	2.5	1.8	0.9
参加していない	975	61.6	40.5	38.4	30.7	21.2	8.5	2.2	3.7	1.1

⑦収入のある仕事

	n									(MA%)
		配偶者	友人	別居の子ども	親・兄弟・孫・姉妹・親戚・	同居の子ども	近隣	その他	いその ないよ うな 人は	無 回 答
週4回以上	231	68.4	51.1	35.9	26.8	18.6	11.7	6.1	3.5	0.4
週2～3回	115	70.4	51.3	39.1	29.6	13.0	12.2	4.3	3.5	-
週1回	34	55.9	52.9	32.4	35.3	17.6	8.8	2.9	8.8	-
月1～3回	43	76.7	58.1	48.8	37.2	18.6	14.0	2.3	-	-
年に数回	35	82.9	48.6	48.6	34.3	22.9	22.9	-	-	-
参加していない	1,126	60.3	43.1	42.0	34.5	21.2	13.5	1.7	3.1	1.2

成年後見制度の認知度別でみると、いずれも「配偶者」が最も多く、「同居の子ども」以外の項目で“内容まで知っている”が最も高くなっている。(図表9-1-4)

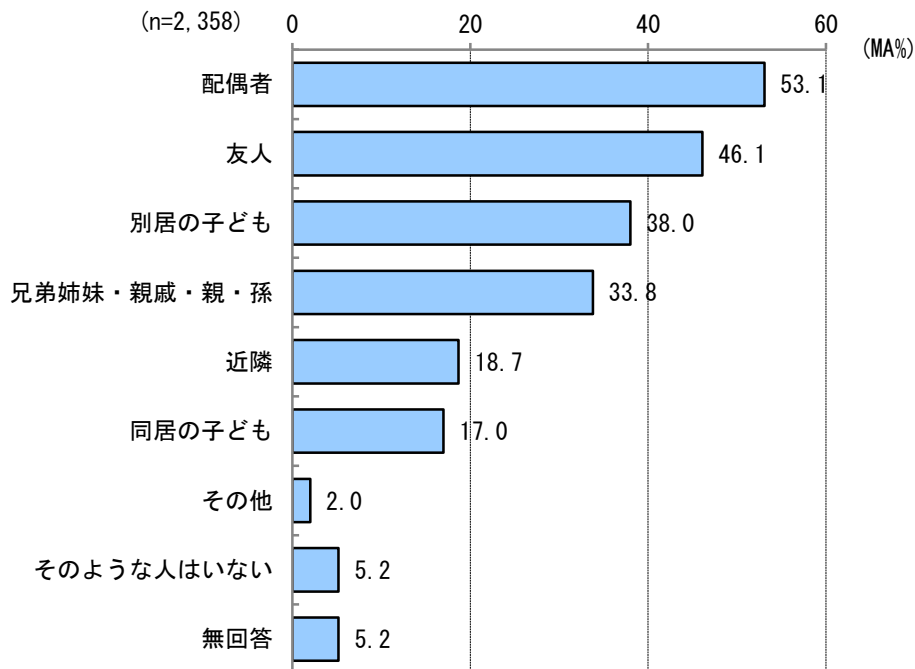
【図表9-1-4 成年後見制度の認知度別 心配事や愚痴を聞いてくれる人】



(2) 心配事や愚痴を聞いてあげる人

Q2 反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人（いくつでも）

【図表9-2 心配事や愚痴を聞いてあげる人】



心配事や愚痴を聞いてあげる人については、「配偶者」が53.1%で最も多く、次いで「友人」が46.1%、「別居の子ども」が38.0%となっている。(図表9-2)

年齢別でみると、いずれの年代も「配偶者」が最も多く、「同居の子ども」と「友人」は高齢になるほど割合が低くなっている。(図表9-2-1)

【図表9-2-1 年齢別 心配事や愚痴を聞いてあげる人】

	n	(MA%)								
		配偶者	同居の子ども	別居の子ども	親兄弟・孫姉妹・親戚・	近隣	友人	その他	ない	そのような人はい
65～69歳	590	58.8	19.7	39.5	36.9	14.9	54.6	2.0	3.7	4.1
70～74歳	488	59.2	16.8	41.4	36.5	19.7	52.5	2.7	4.3	4.5
75歳以上	1,152	47.1	15.6	35.5	31.2	20.5	38.9	1.6	6.5	5.8

家族構成別でみると、1人暮らしは「友人」が53.2%で最も多く、夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）と夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）では「配偶者」が、息子・娘との2世帯は「同居の子ども」が最も高くなっている。（図表9-2-2）

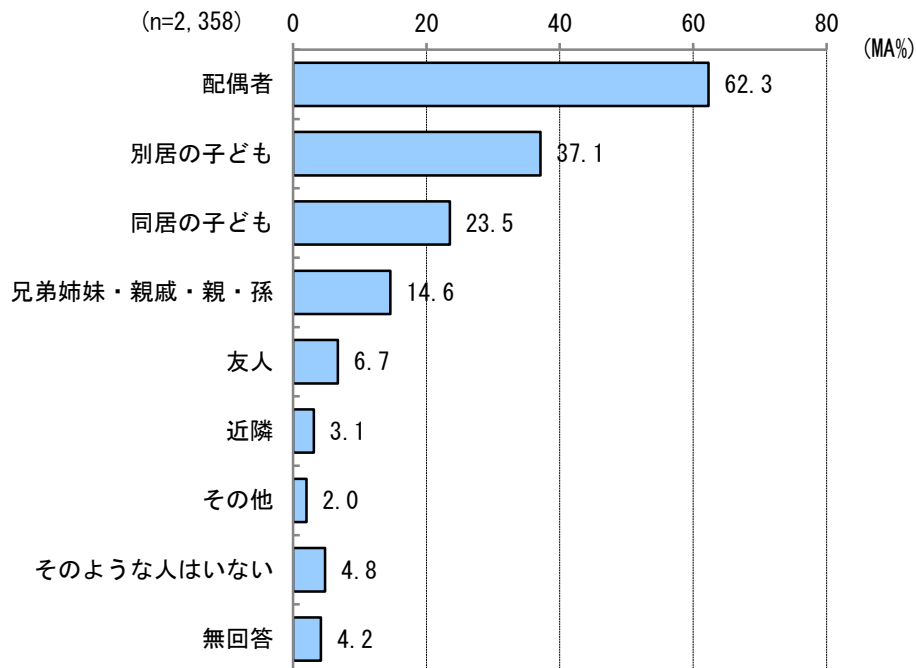
【図表9-2-2 家族構成別 心配事や愚痴を聞いてあげる人】

	n	(MA%)								
		配偶者	同居の子ども	別居の子ども	親・兄弟・孫・姉妹・親戚・	近隣	友人	その他	ない	そのような人はい
1人暮らし	404	1.0	1.0	40.1	37.9	24.0	53.2	2.2	13.9	3.7
夫婦2人暮らし （配偶者65歳以上）	1,005	76.8	3.2	45.4	30.7	18.0	43.2	1.3	2.8	4.5
夫婦2人暮らし （配偶者64歳以下）	113	77.0	8.0	39.8	29.2	15.0	41.6	1.8	3.5	6.2
息子・娘との2世帯	295	40.0	52.5	23.7	37.6	19.0	45.8	1.7	3.7	7.5
その他	411	47.2	42.8	26.5	36.0	16.8	47.4	3.6	4.9	5.8

(3) 看病や世話をしてくれる人

Q3 あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人（いくつでも）

【図表9-3 看病や世話をしてくれる人】



病気で寝込んだときに看病や世話をしてくれる人については、「配偶者」が62.3%で最も多く、次いで「別居の子ども」が37.1%、「同居の子ども」が23.5%となっている。(図表9-3)

年齢別でみると、いずれの年代も「配偶者」が最も多く、「配偶者」と「そのような人はいない」は高齢になるほど割合が低くなっている。(図表9-3-1)

【図表9-3-1 年齢別 看病や世話をしてくれる人】

	n	(MA%)								
		配偶者	同居の子ども	別居の子ども	親兄弟姉妹・親戚・孫	近隣	友人	その他	ない	そのような人はいない
65～69歳	590	71.0	23.2	32.5	13.1	1.4	5.8	1.4	6.8	3.4
70～74歳	488	69.3	21.9	37.1	14.3	3.1	7.2	2.5	4.9	3.1
75歳以上	1,152	54.9	24.6	39.1	16.1	4.0	6.8	2.3	3.9	4.8

家族構成別でみると、1人暮らしは「別居の子ども」が54.2%で最も多く、夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）と夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）では「配偶者」が、息子・娘との2世帯は「同居の子ども」が最も高くなっている。（図表9-3-2）

【図表9-3-2 家族構成別 看病や世話をしてくれる人】

	n	(MA%)								
		配偶者	同居の子ども	別居の子ども	親兄弟・孫姉妹・親戚・	近隣	友人	その他	ない	そのような人は
1人暮らし	404	1.5	1.2	54.2	26.2	5.4	15.3	4.5	18.3	3.0
夫婦2人暮らし （配偶者65歳以上）	1,005	88.9	4.5	40.7	10.6	3.0	4.9	0.8	2.1	3.5
夫婦2人暮らし （配偶者64歳以下）	113	94.7	10.6	35.4	12.4	2.7	6.2	0.9	0.9	3.5
息子・娘との2世帯	295	48.1	74.6	22.4	16.6	2.7	4.7	2.0	1.4	6.4
その他	411	57.2	58.6	22.1	13.4	1.5	3.9	3.4	2.2	5.1

地域活動の参加頻度別でみると、①ボランティアのグループ、②スポーツ関係のグループやクラブ、③趣味関係のグループ、④学習・教養サークル、⑦収入のある仕事ではいずれも「配偶者」が最も多くなっている。

⑤老人クラブ、⑥町内会・自治会では、「別居の子ども」は“週2～3回”が最も高くなっている。（図表9-1-3①②③）

【図表9-3-3 地域活動の参加頻度別 看病や世話をしてくれる人①】

①ボランティアのグループ

	n	(MA%)								
		配偶者	別居の子ども	同居の子ども	親兄弟・孫姉妹・親戚・	友人	近隣	その他	ない	そのような人は
週4回以上	34	79.4	41.2	17.6	20.6	14.7	8.8	5.9	2.9	-
週2～3回	56	67.9	48.2	12.5	17.9	14.3	14.3	-	3.6	3.6
週1回	38	63.2	31.6	18.4	21.1	13.2	2.6	7.9	7.9	-
月1～3回	82	72.0	46.3	20.7	14.6	12.2	8.5	2.4	2.4	1.2
年に数回	97	78.4	42.3	21.6	11.3	8.2	4.1	2.1	4.1	2.1
参加していない	1,237	66.1	36.4	23.5	14.3	4.4	1.4	1.7	5.0	1.3

【図表9-3-3 地域活動の参加頻度別 看病や世話をしてくれる人②】

②スポーツ関係のグループやクラブ

	n									(MA%)
		配偶者	別居の子ども	同居の子ども	親・兄弟・孫・姉妹・親戚・	友人	近隣	その他	いその ない ような 人は	無回答
週4回以上	85	67.1	35.3	18.8	21.2	9.4	3.5	2.4	1.2	-
週2～3回	157	68.2	42.0	21.0	14.0	10.8	4.5	1.3	2.5	0.6
週1回	119	71.4	44.5	24.4	10.9	8.4	2.5	0.8	2.5	-
月1～3回	94	73.4	42.6	23.4	17.0	6.4	2.1	2.1	3.2	1.1
年に数回	76	76.3	46.1	23.7	17.1	11.8	2.6	-	2.6	-
参加していない	1,101	65.8	35.7	25.2	14.2	4.3	2.0	2.0	5.3	1.5

③趣味関係のグループ

	n									(MA%)
		配偶者	別居の子ども	同居の子ども	親・兄弟・孫・姉妹・親戚・	友人	近隣	その他	いその ない ような 人は	無回答
週4回以上	54	70.4	44.4	22.2	18.5	14.8	3.7	1.9	1.9	-
週2～3回	130	56.9	43.1	28.5	15.4	4.6	4.6	2.3	3.8	2.3
週1回	172	69.2	39.5	23.3	16.9	12.8	5.2	2.3	2.3	1.2
月1～3回	290	65.5	48.6	23.1	15.2	8.6	4.8	2.1	1.7	1.4
年に数回	122	77.0	45.1	29.5	17.2	6.6	1.6	-	2.5	0.8
参加していない	958	65.7	35.1	23.1	14.0	3.4	1.4	2.1	6.1	1.4

④学習・教養サークル

	n									(MA%)
		配偶者	別居の子ども	同居の子ども	親・兄弟・孫・姉妹・親戚・	友人	近隣	その他	いその ない ような 人は	無回答
週4回以上	14	85.7	35.7	28.6	14.3	-	-	-	-	-
週2～3回	30	73.3	60.0	16.7	10.0	13.3	3.3	-	3.3	6.7
週1回	54	63.0	44.4	25.9	27.8	16.7	7.4	5.6	1.9	1.9
月1～3回	96	62.5	54.2	24.0	14.6	13.5	7.3	2.1	7.3	3.1
年に数回	71	66.2	54.9	28.2	21.1	15.5	5.6	2.8	1.4	1.4
参加していない	1,242	67.3	35.4	23.4	13.8	3.8	1.4	1.7	5.2	1.0

【図表9-3-3 地域活動の参加頻度別 看病や世話をしてくれる人③】

⑤老人クラブ

	n	配偶者	別居の子ども	同居の子ども	親兄弟・孫姉妹・親戚・	友人	近隣	その他	いないような人は	(MA%)	
										無回答	
週4回以上	14	71.4	28.6	28.6	14.3	14.3	7.1	-	14.3	7.1	
週2～3回	16	37.5	50.0	31.3	18.8	12.5	18.8	-	-	-	
週1回	7	42.9	42.9	-	42.9	14.3	14.3	-	-	14.3	
月1～3回	81	59.3	48.1	33.3	11.1	8.6	2.5	2.5	2.5	1.2	
年に数回	148	64.9	42.6	33.1	20.3	5.4	2.7	2.0	3.4	1.4	
参加していない	1,300	67.5	37.2	23.0	14.2	5.1	1.8	1.8	4.7	1.2	

⑥町内会・自治会

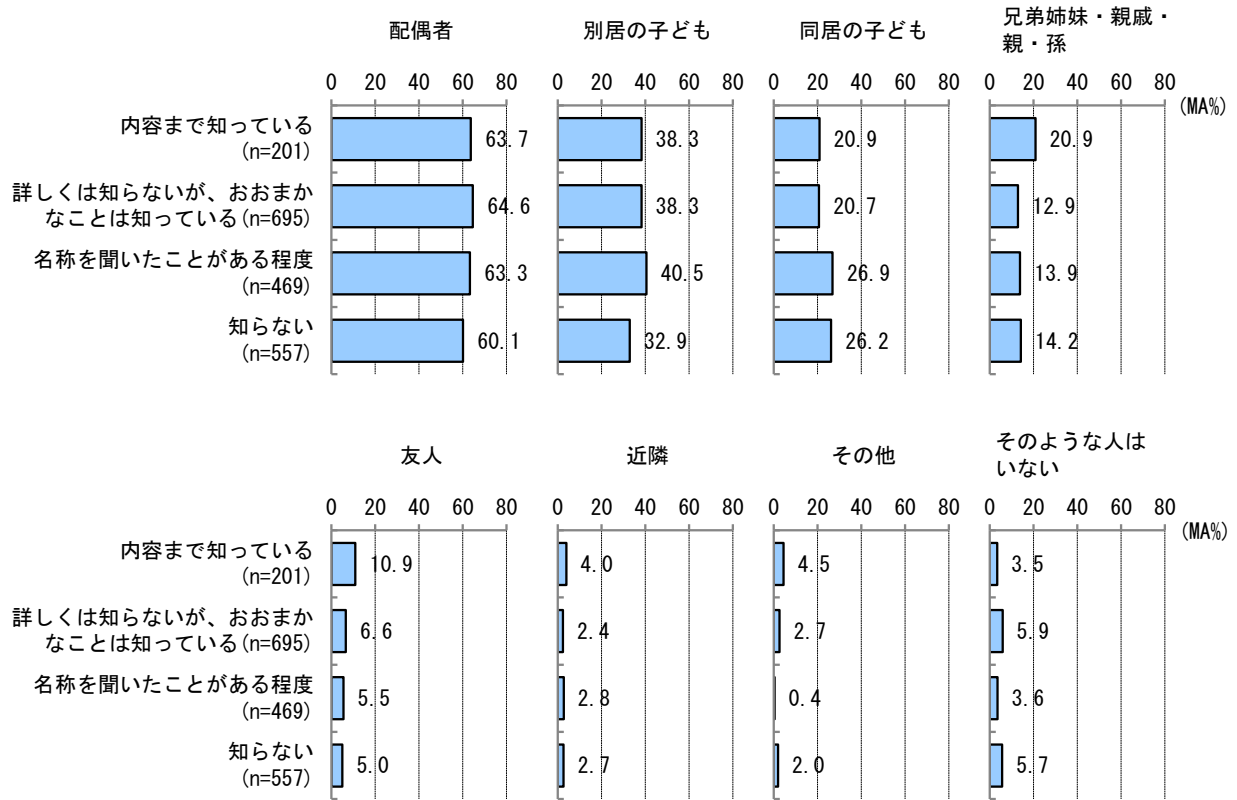
	n	配偶者	別居の子ども	同居の子ども	親兄弟・孫姉妹・親戚・	友人	近隣	その他	いないような人は	(MA%)	
										無回答	
週4回以上	13	76.9	30.8	15.4	7.7	7.7	7.7	7.7	15.4	7.7	
週2～3回	17	41.2	52.9	29.4	23.5	11.8	11.8	5.9	-	-	
週1回	18	83.3	38.9	50.0	27.8	16.7	5.6	-	-	5.6	
月1～3回	148	62.8	53.4	20.9	13.5	5.4	2.7	1.4	3.4	1.4	
年に数回	437	68.6	46.0	25.9	18.8	7.1	3.2	2.1	3.7	1.1	
参加していない	975	66.4	32.6	23.3	13.2	4.6	1.4	1.9	5.1	1.4	

⑦収入のある仕事

	n	配偶者	別居の子ども	同居の子ども	親兄弟・孫姉妹・親戚・	友人	近隣	その他	いないような人は	(MA%)	
										無回答	
週4回以上	231	76.2	33.8	24.7	14.7	8.7	1.3	3.0	3.9	0.9	
週2～3回	115	70.4	44.3	18.3	10.4	7.0	2.6	2.6	5.2	0.9	
週1回	34	58.8	35.3	23.5	17.6	5.9	5.9	5.9	5.9	2.9	
月1～3回	43	81.4	39.5	23.3	20.9	11.6	4.7	2.3	2.3	-	
年に数回	35	85.7	40.0	28.6	14.3	8.6	2.9	-	2.9	-	
参加していない	1,126	64.5	37.7	23.9	15.6	5.1	2.2	1.6	5.1	1.2	

成年後見制度の認知度別でみると、いずれも「配偶者」が最も多く、いずれも6割台と高くなっている。(図表9-3-4)

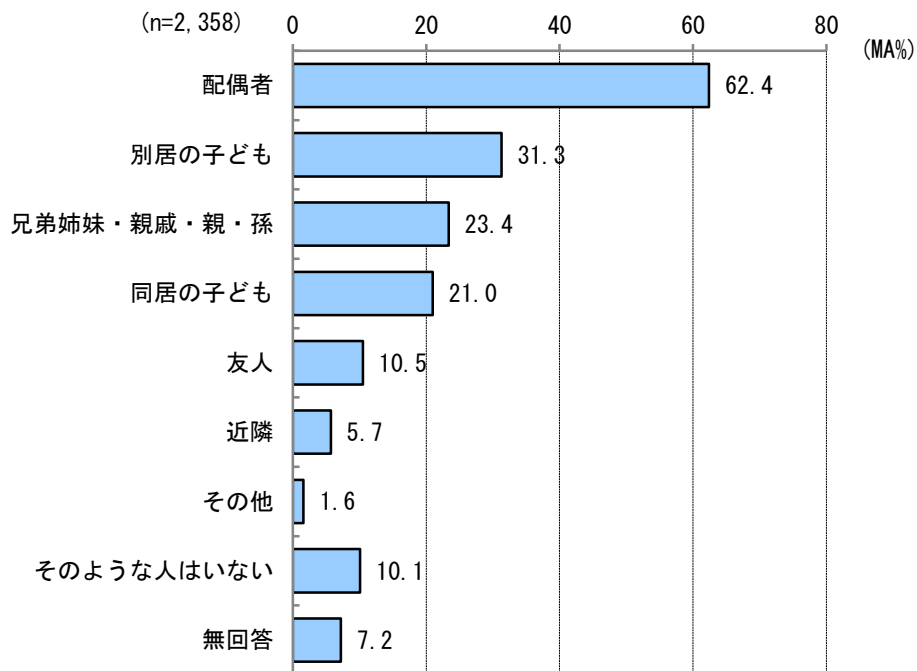
【図表9-3-4 成年後見制度の認知度別 看病や世話をしてくれる人】



(4) 看病や世話をしあける人

Q 4 反対に、看病や世話をしあける人 (いくつでも)

【図表9-4 看病や世話をしあける人】



看病や世話をしあける人については、「配偶者」が62.4%で最も多く、次いで「別居の子ども」が31.3%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が23.4%となっている。(図表9-4)

年齢別でみると、いずれの年代も「配偶者」が最も多く、「配偶者」と「同居の子ども」、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」は高齢になるほど割合が低くなっている。(図表9-4-1)

【図表9-4-1 年齢別 看病や世話をしあける人】

	n	(MA%)								
		配偶者	同居の子ども	別居の子ども	親・兄弟姉妹・親戚・孫	近隣	友人	その他	ない	そのような人はいない
65～69歳	590	71.7	25.6	36.3	30.5	3.9	10.7	2.0	7.5	3.9
70～74歳	488	69.7	21.5	37.9	24.2	6.8	11.9	2.0	6.6	5.3
75歳以上	1,152	54.9	18.5	25.7	19.9	5.8	9.5	1.2	13.1	9.2

家族構成別でみると、1人暮らしは「別居の子ども」が35.9%で最も多く、夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）と夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）では「配偶者」が、息子・娘との2世帯は「同居の子ども」が最も高くなっている。（図表9-4-2）

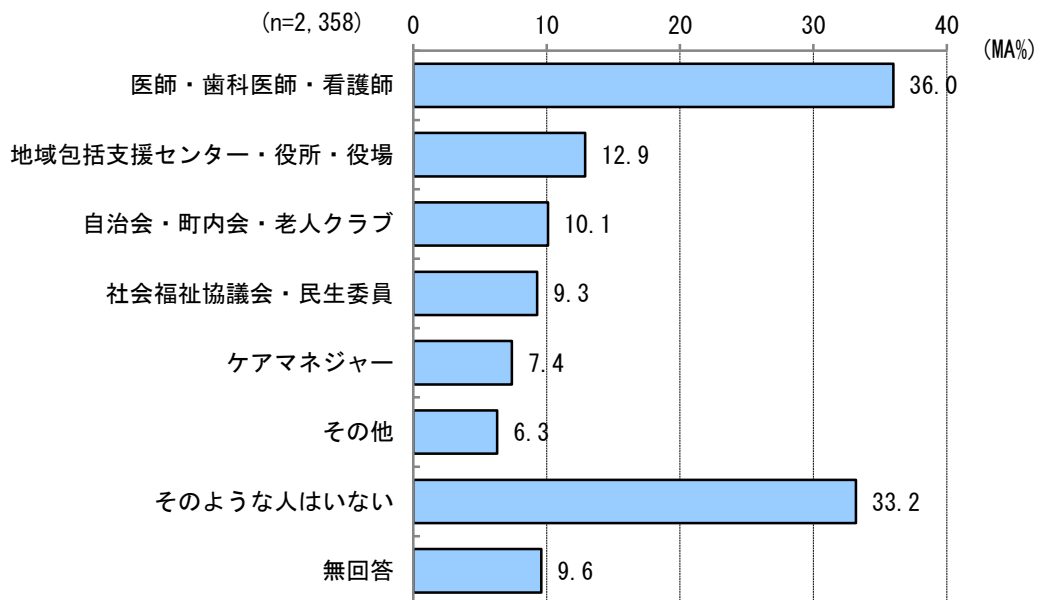
【図表9-4-2 家族構成別 看病や世話をしている人】

	n	(MA%)								
		配偶者	同居の子ども	別居の子ども	親・兄弟・孫・姉妹・親戚・	近隣	友人	その他	ない	そのような人はい
1人暮らし	404	2.2	0.5	35.9	28.7	6.4	18.1	2.2	32.4	9.2
夫婦2人暮らし （配偶者65歳以上）	1,005	88.9	3.9	34.5	20.5	6.2	8.5	0.9	3.0	5.4
夫婦2人暮らし （配偶者64歳以下）	113	85.8	9.7	36.3	21.2	5.3	8.0	0.9	4.4	8.0
息子・娘との2世帯	295	51.2	61.7	21.7	26.1	4.1	10.2	1.7	8.5	9.5
その他	411	57.9	56.9	23.8	24.6	4.4	8.5	2.9	9.2	6.6

(5) 相談相手（家族・友人・知人以外）

Q5 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください。（いくつでも）

【図表9-5 相談相手（家族・友人・知人以外）】



家族や友人・知人以外で相談する相手については、「医師・歯科医師・看護師」が36.0%で最も多く、次いで「地域包括支援センター・役所・役場」が12.9%、「自治会・町内会・老人クラブ」が10.1%となっている。（図表9-5）

年齢別でみると、「医師・歯科医師・看護師」、「自治会・町内会・老人クラブ」、「社会福祉協議会・民生委員」、「ケアマネジャー」は高齢になるほど割合が高くなっている。（図表9-5-1）

【図表9-5-1 年齢別 相談相手（家族・友人・知人以外）】

	n	(MA%)							
		医師・ 歯科 医師・ 看護師	地 域 ・ 包 括 支 援 セ ン ター ・ 役 所 ・ 役 場	老 人 ク ラ ブ ・ 町 内 会 ・ 自 治 会	民 生 委 員 ・ 社 会 福 祉 協 議 会	ケ ア マ ネ ジ ャ ー	そ の 他	な い の よ う な 人 は い	無 回 答
65～69歳	590	28.0	11.4	7.1	4.2	2.9	7.8	44.6	8.6
70～74歳	488	36.7	14.8	9.6	9.4	7.4	7.4	33.4	7.4
75歳以上	1,152	39.5	13.2	11.9	11.9	9.8	5.3	26.9	11.0

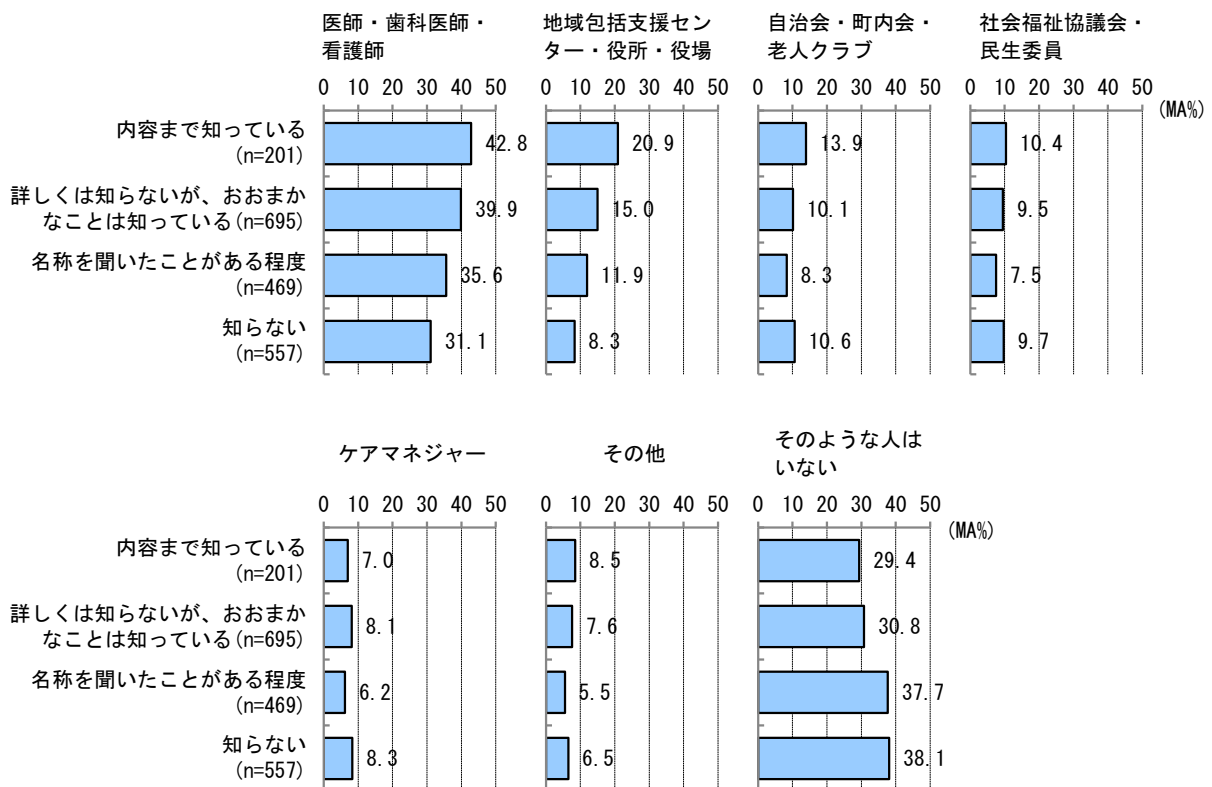
日常生活圏域別でみると、丘陵地域西部圏域と中心地域東部圏域は「そのような人はいない」が最も多いが、それ以外の圏域では「医師・歯科医師・看護師」が最も多くなっている。
(図表9-5-2)

【図表9-5-2 日常生活圏域別 相談相手（家族・友人・知人以外）】

	n	医師・ 歯科医師・ 看護師	地域 包括 支援 センター ・役所 ・役場	自治会・ 町内会・ 老人 クラブ	社会 福祉 協議会 ・ 民生 委員	ケ ア マ ネ ジ ャ ー	そ の 他	な い そ の よ う な 人 は い ない	無 回 答
北部地域圏域	99	26.3	13.1	22.2	20.2	16.2	7.1	17.2	12.1
丘陵地域東部圏域	225	36.9	16.0	9.3	6.7	4.4	5.8	34.2	8.4
丘陵地域西部圏域	101	25.7	8.9	14.9	10.9	2.0	5.0	38.6	12.9
中心地域東部圏域	383	35.0	15.9	8.6	9.7	9.9	8.1	36.0	6.3
中心地域西部圏域	410	40.2	10.2	10.2	7.1	6.1	6.8	29.3	12.0
中心地域中部圏域	370	38.6	13.5	8.4	11.6	8.4	6.5	33.8	7.3
南部地域圏域	359	33.7	13.6	11.7	7.5	8.6	6.1	33.4	11.1

成年後見制度の認知度別でみると、“内容まで知っている”、“詳しくは知らないがおおまかなことは知っている”は「医師・歯科医師・看護師」が最も多く、“名称を聞いたことがある程度”、“知らない”では「そのような人はいない」が最も多くなっている。(図表9-5-3)

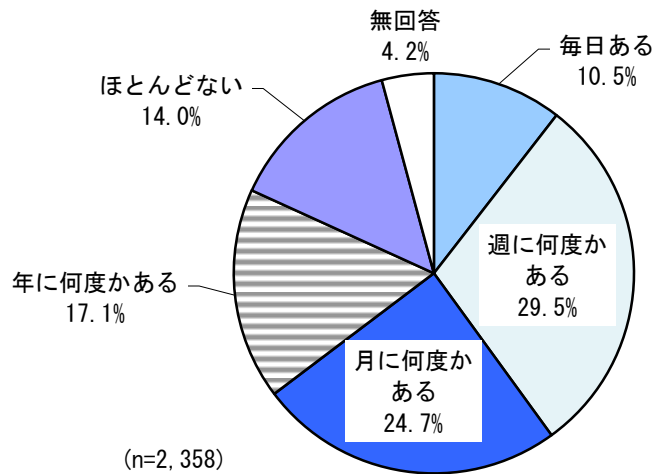
【図表9-5-3 成年後見制度の認知度別 相談相手（家族・友人・知人以外）】



(6) 友人・知人と会う頻度

Q6 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。

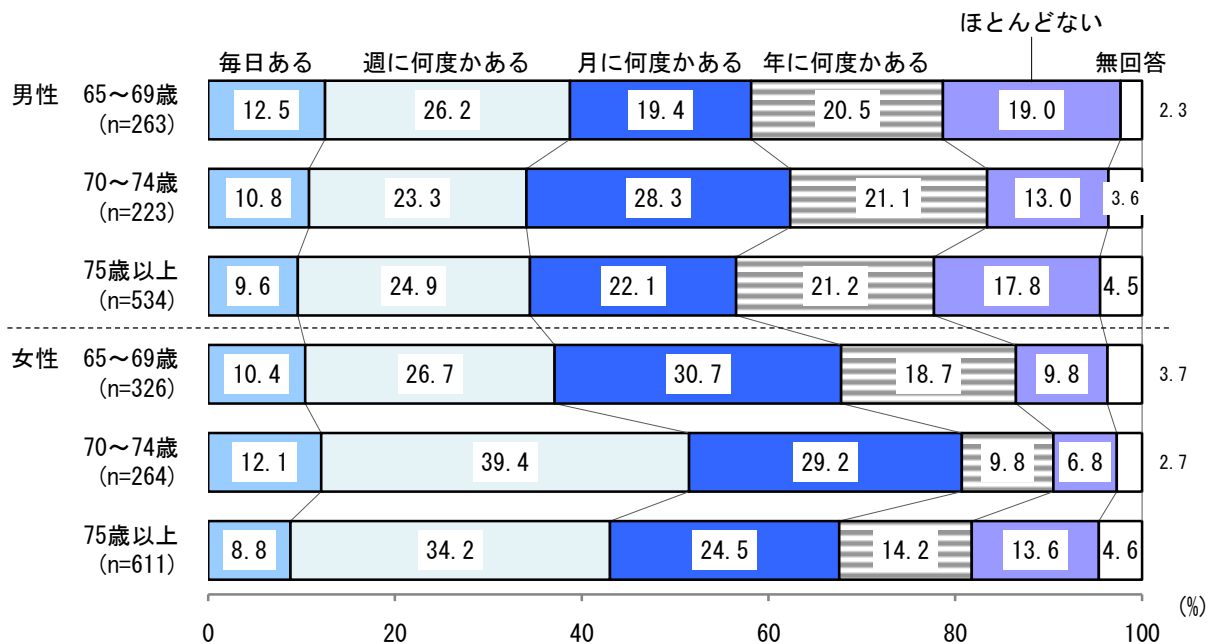
【図表9-6 友人・知人と会う頻度】



友人・知人と会う頻度については、「週に何度かある」が29.5%で最も多く、次いで「月に何度かある」が24.7%、「年に何度かある」が17.1%となっている。(図表9-6)

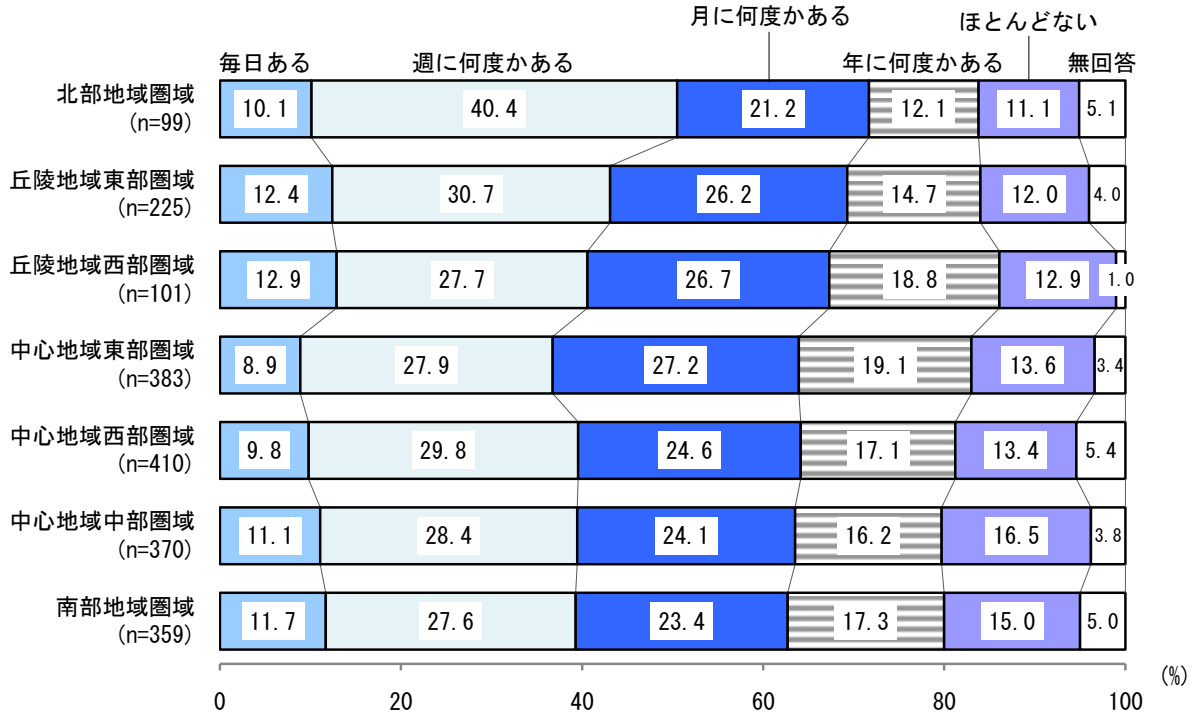
性・年齢別でみると、男性の65～69歳、75歳以上、女性の70歳以上では「週に何度かある」が最も多く、男性の70～74歳、女性の65～69歳は「月に何度かある」が最も多くなっている。一方、「ほとんどない」は男性の65～69歳(19.0%)で最も高い割合となっている。(図表9-6-1)

【図表9-6-1 性・年齢別 友人・知人と会う頻度】



日常生活圏域別でみると、いずれの圏域も「週に何度かある」が最も多く、「毎日ある」は丘陵地域西部圏域（12.9%）が最も高く、「ほとんどない」は中心地域中部圏域（16.5%）で最も高くなっている。（図表9-6-2）

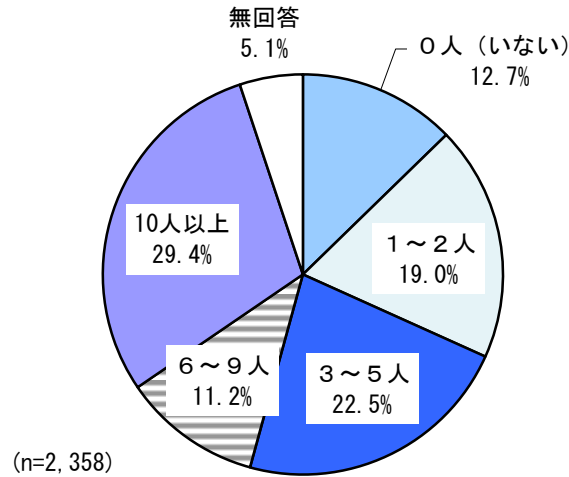
【図表9-6-2 日常生活圏域別 友人・知人と会う頻度】



(7) 1か月に会った友人・知人の人数

Q7 この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか。同じ人には何度会っても1人と数えることとします。

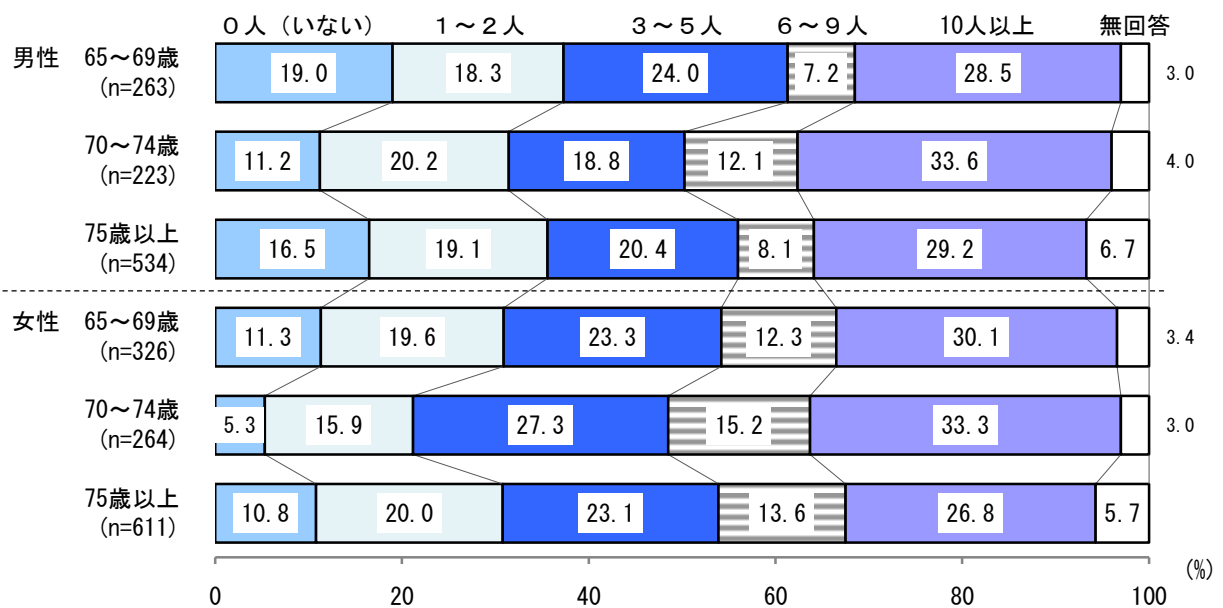
【図表9-7 1か月に会った友人・知人の人数】



この1か月間で会った友人・知人の人数は、「10人以上」が29.4%で最も多く、次いで「3～5人」が22.5%、「1～2人」が19.0%、「0人 (いない)」が12.7%となっている。(図表9-7)

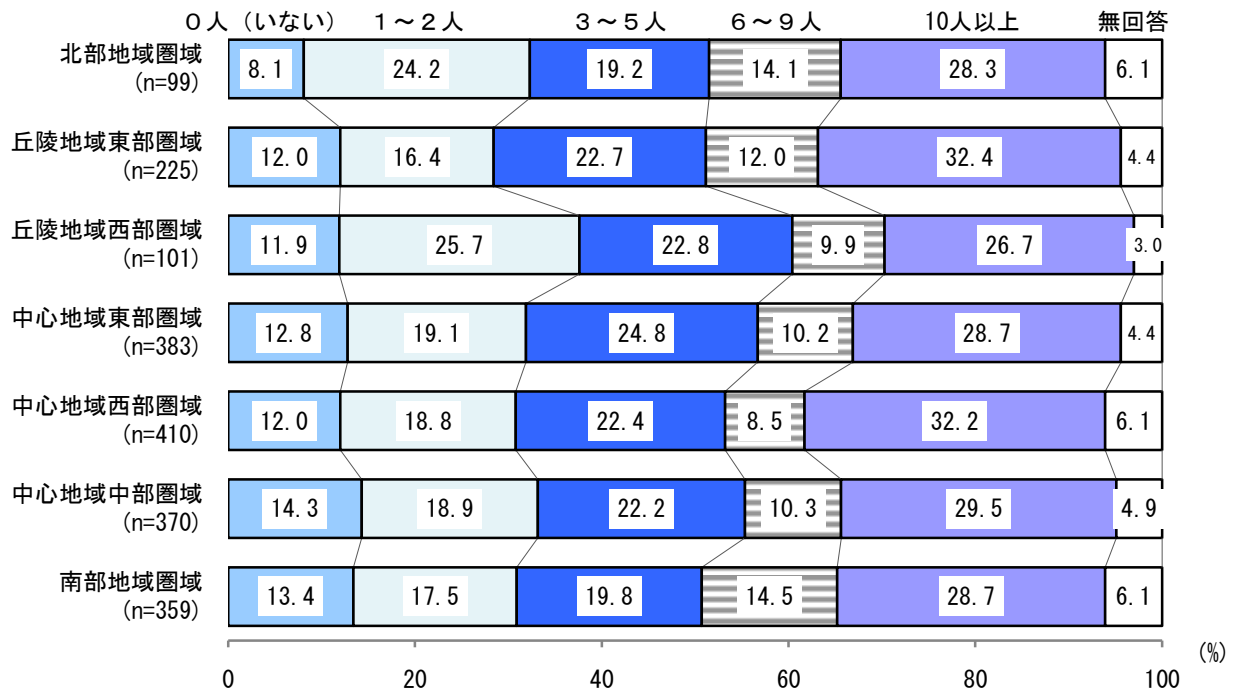
性・年齢別でみると、「10人以上」は男女とも70～74歳で最も高く、「0人 (いない)」は男性の65～69歳で最も高くなっている。(図表9-7-1)

【図表9-7-1 性・年齢別 1か月に会った友人・知人の人数】



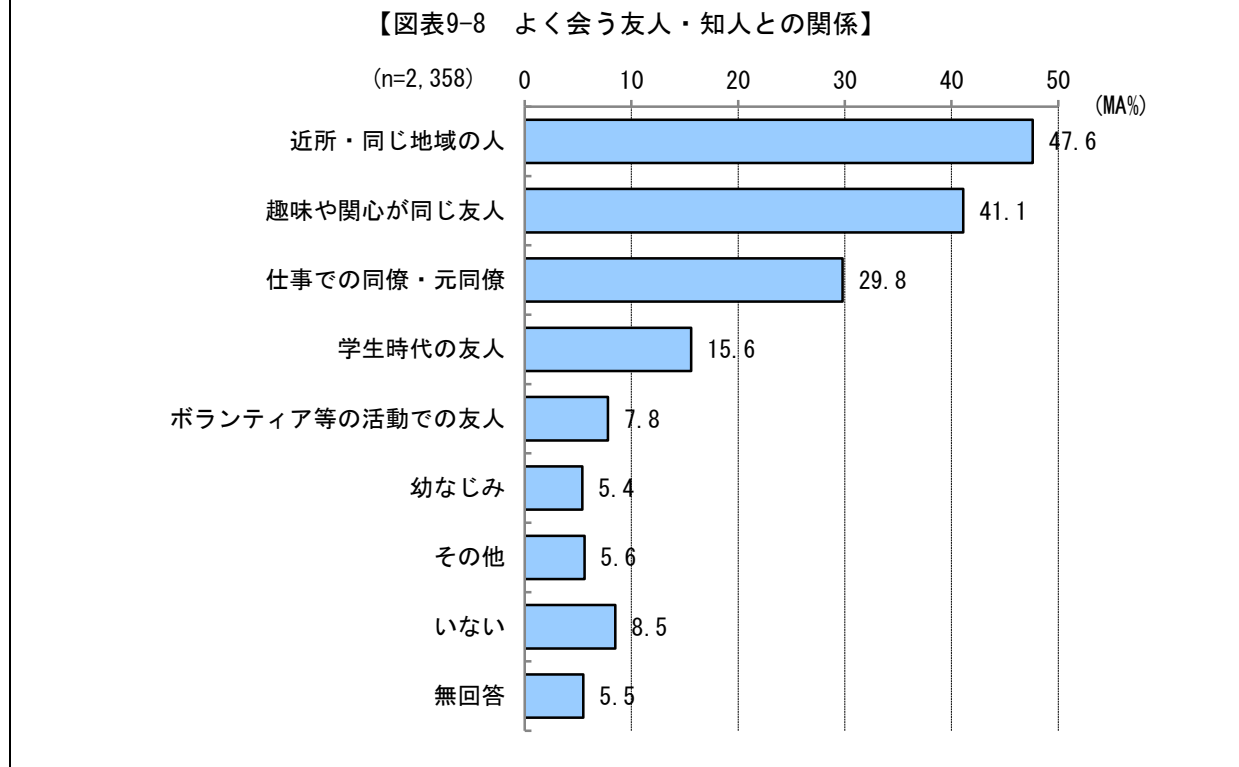
日常生活圏域別で見ると、「10人以上」は丘陵地域東部圏域が32.4%で最も高く、「0人（いない）」は中心地域中部圏域が14.3%で最も高くなっている。（図表9-7-2）

【図表9-7-2 日常生活圏域別 1か月に会った友人・知人の人数】



(8) よく会う友人・知人との関係

Q8 よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか。(いくつでも)



よく会う友人・知人との関係については、「近所・同じ地域の人」が47.6%で最も多く、次いで「趣味や関心が同じ友人」が41.1%、「仕事での同僚・元同僚」が29.8%となっている。

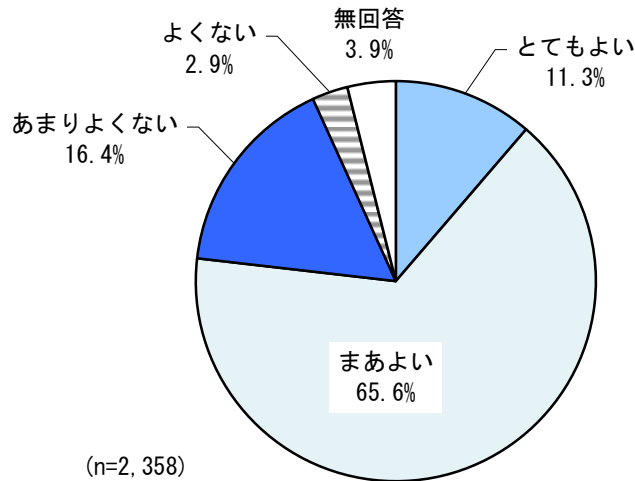
(図表9-8)

10 健康について

(1) 主観的健康観

問7 Q1 現在のあなたの健康状態はいかがですか。

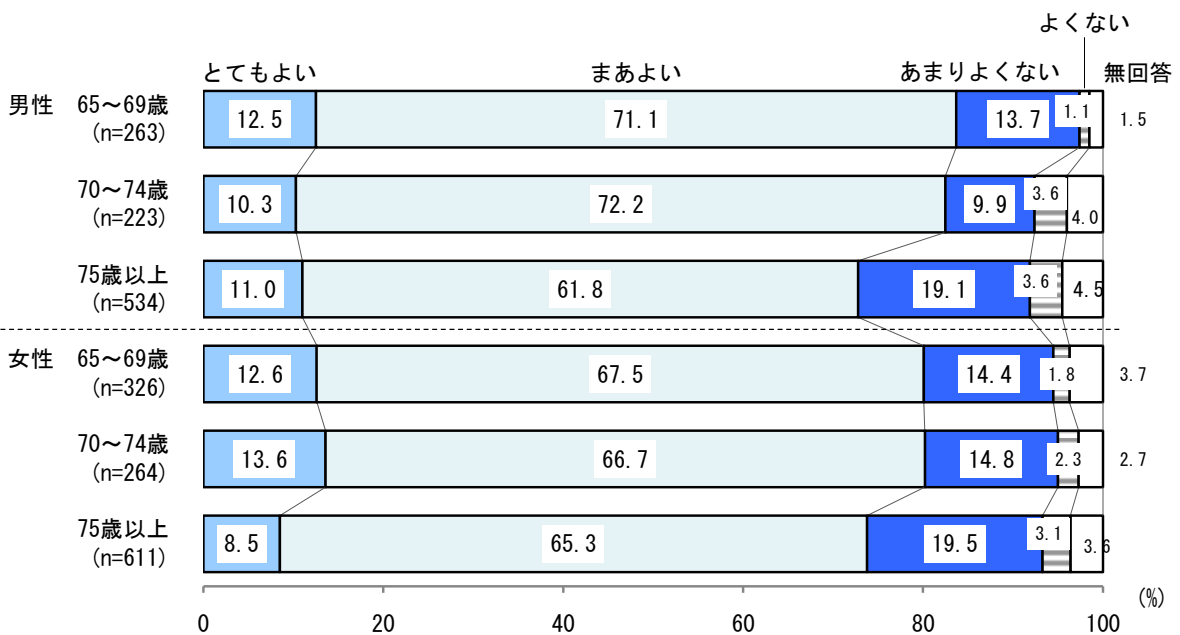
【図表10-1 主観的健康観】



主観的健康観については、「まあよい」が65.6%で最も多く、次いで「あまりよくない」が16.4%、「とてもよい」が11.3%となっており、「とてもよい」と「まあよい」をあわせた『よい』は76.9%、「あまりよくない」と「よくない」をあわせた『よくない』は19.3%となっている。(図表10-1)

性・年齢別でみると、『よい』は男性では65～69歳(83.6%)、女性では70～74歳(80.3%)が最も高くなっている。(図表10-1-1)

【図表10-1-1 性・年齢別 主観的健康観】

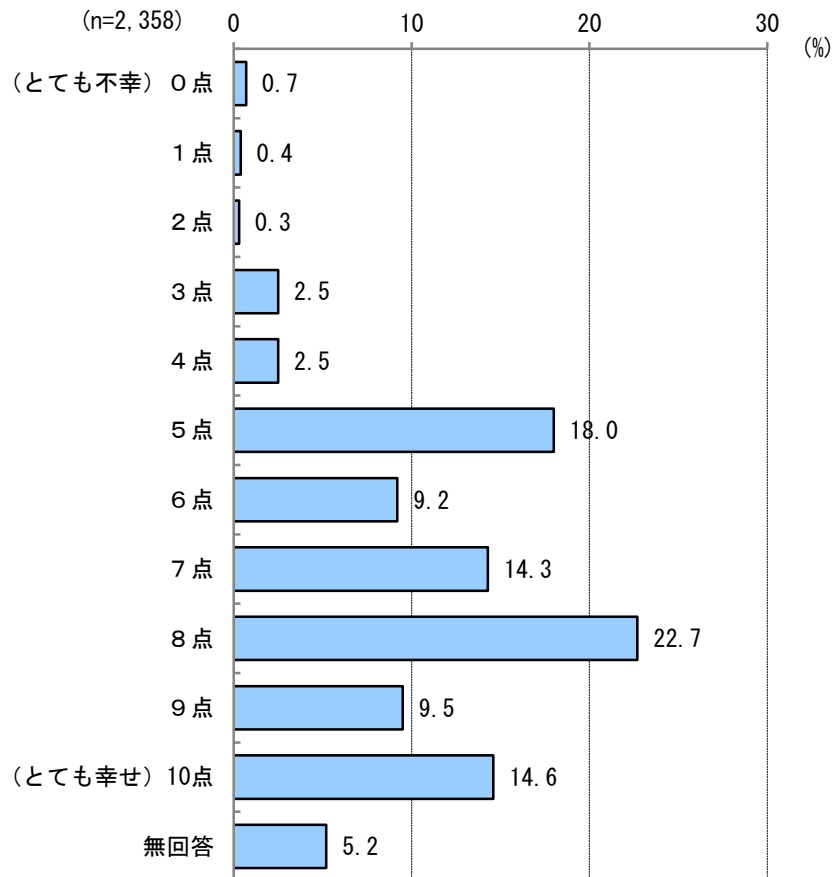


(2) 現在の幸福度

Q2 あなたは、現在どの程度幸せですか。

(「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください。)

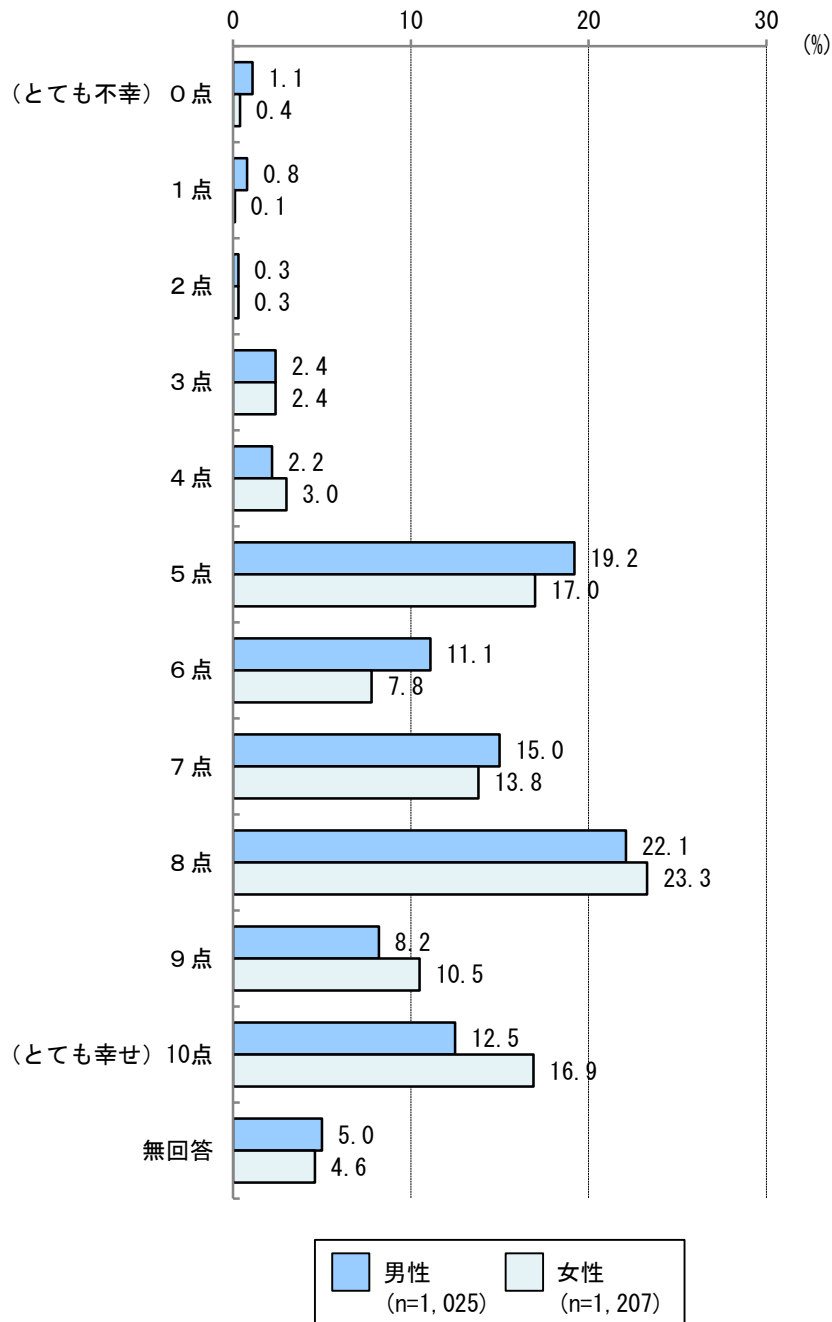
【図表10-2 現在の幸福度】



“とても不幸”を0点、“とても幸せ”を10点として採点した現在の幸福度は、「8点」が22.7%で最も多く、次いで「5点」が18.0%、「10点」が14.6%で、平均は7.1点となっている。(図表10-2)

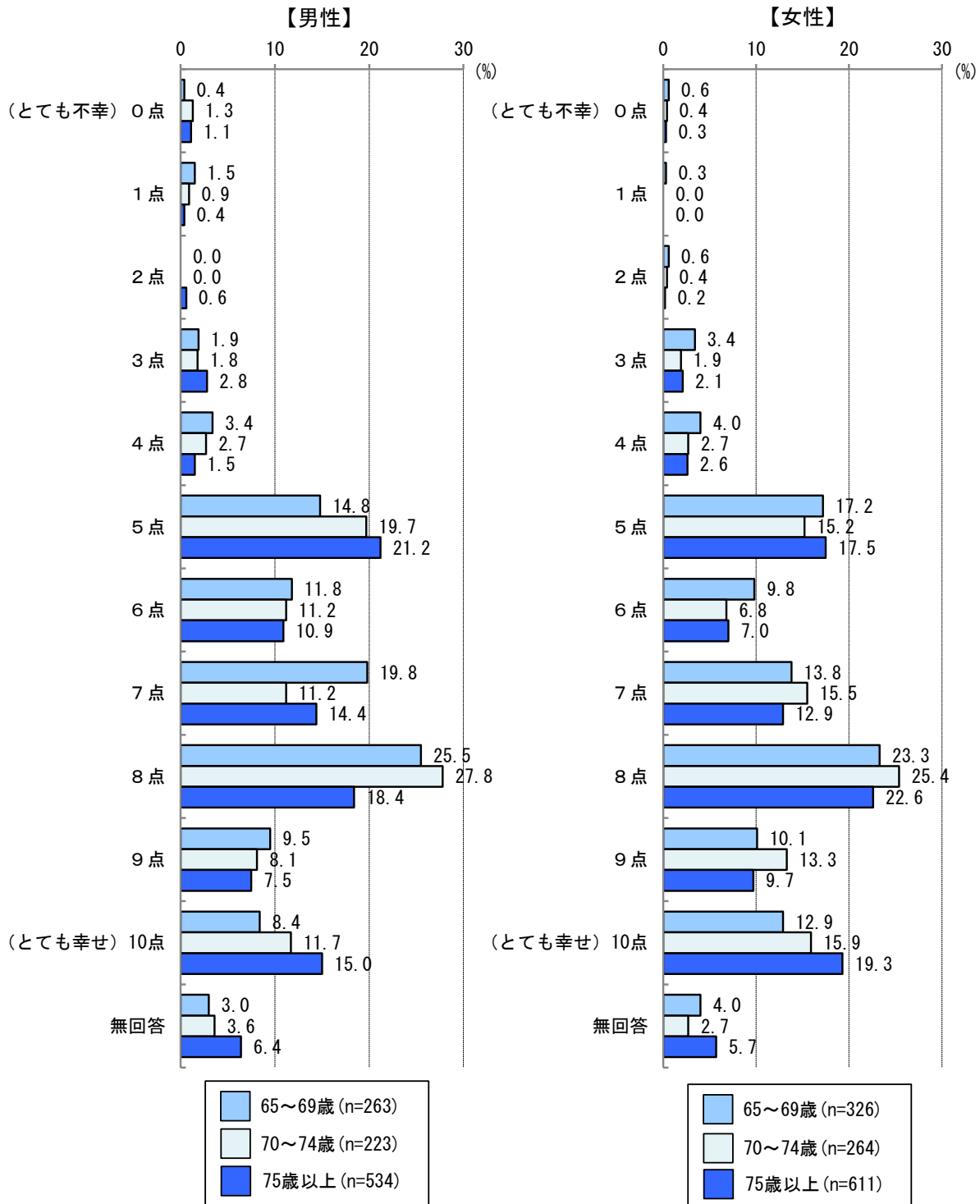
性別で見ると、「5点」～「7点」は女性より男性のほうが高いが、「8点」以上は女性のほうが高くなっている。(図表10-2-1)

【図表10-2-1 性別 現在の幸福度】



性・年齢別でみると、「10点」は男女とも75歳以上で最も高いが、「8点」や「9点」は75歳以上が最も低くなっている。(図表10-2-2)

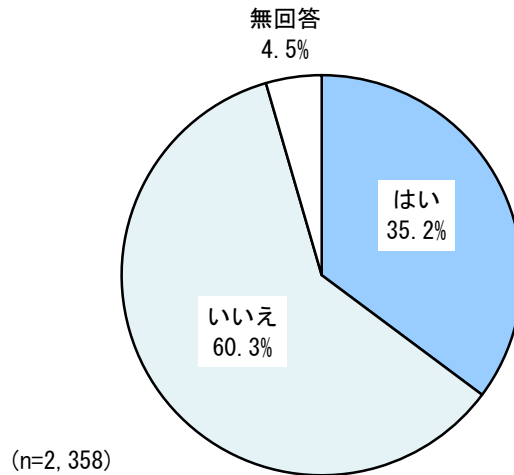
【図表10-2-2 性・年齢別 現在の幸福度】



(3) 1か月間にゆううつな気持ちになったりすることがあったか

Q3 この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。

【図表10-3 1か月間にゆううつな気持ちになったりすることがあったか】

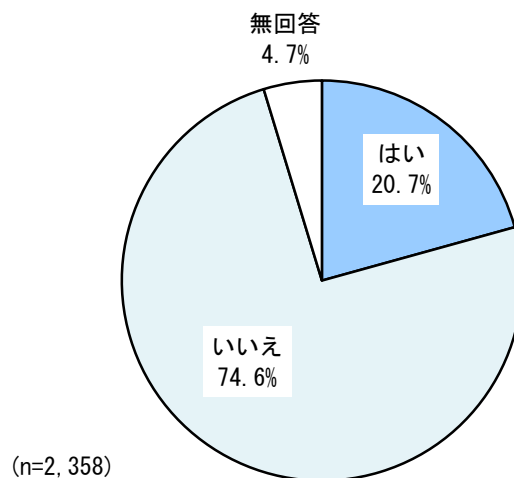


この1か月間、ゆううつな気持ちになったりすることがあったかについては、「いいえ」が60.3%に対し、「はい」が35.2%となっている。(図表10-3)

(4) 1か月間に物事に対して心から楽しめない感じがよくあったか

Q4 この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。

【図表10-4 1か月間に物事に対して心から楽しめない感じがよくあったか】

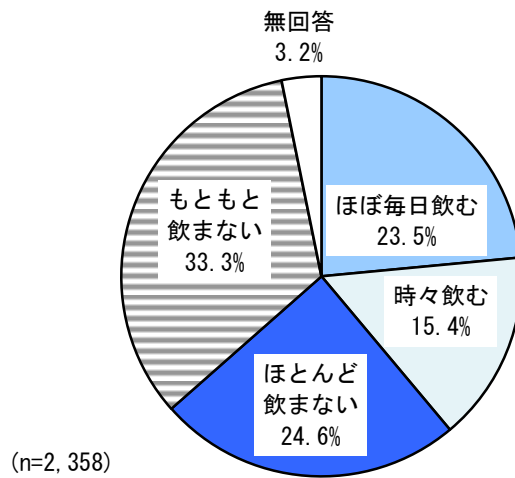


この1か月間、物事に対して心から楽しめない感じがよくあったかについては、「いいえ」が74.6%に対し、「はい」が20.7%となっている。(図表10-4)

(5) 飲酒習慣

Q5 お酒は飲みますか。

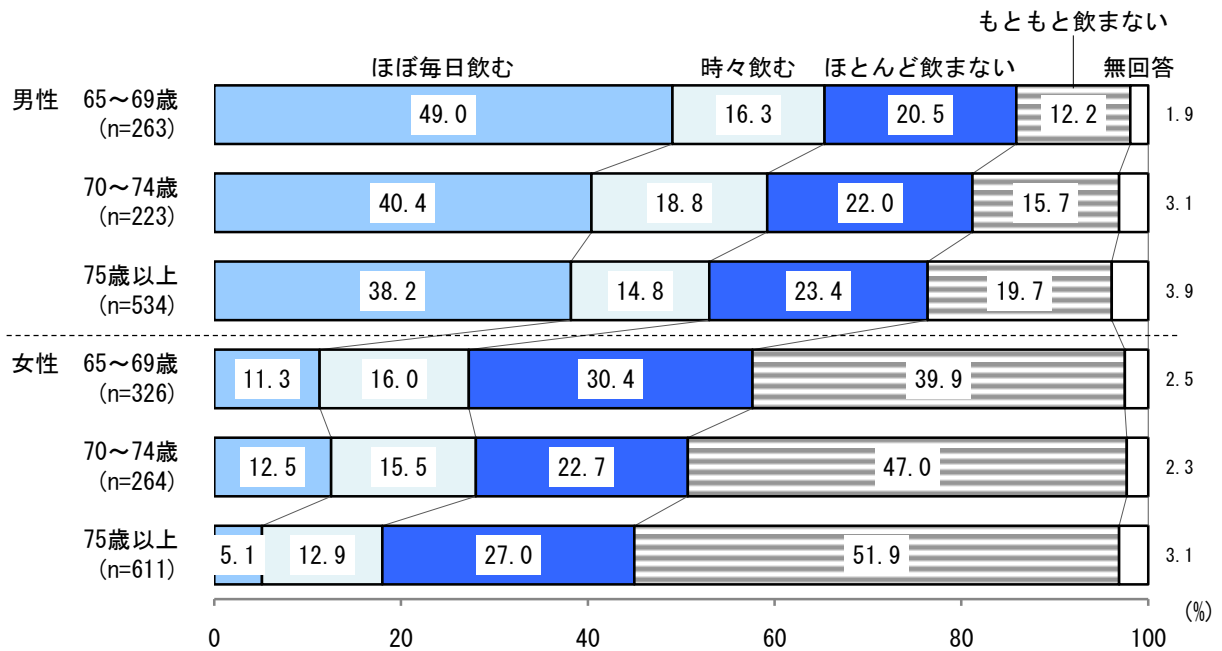
【図表10-5 飲酒習慣】



飲酒習慣については、「もともと飲まない」が33.3%で最も多く、次いで「ほとんど飲まない」が24.6%、「ほぼ毎日飲む」が23.5%となっている。(図表10-5)

性・年齢別でみると、「毎日飲む」は男性の65～69歳(49.0%)で最も高く、高齢になるほど低くなっている。「もともと飲まない」は男女とも高齢になるほど高い割合となっている。(図表10-5-1)

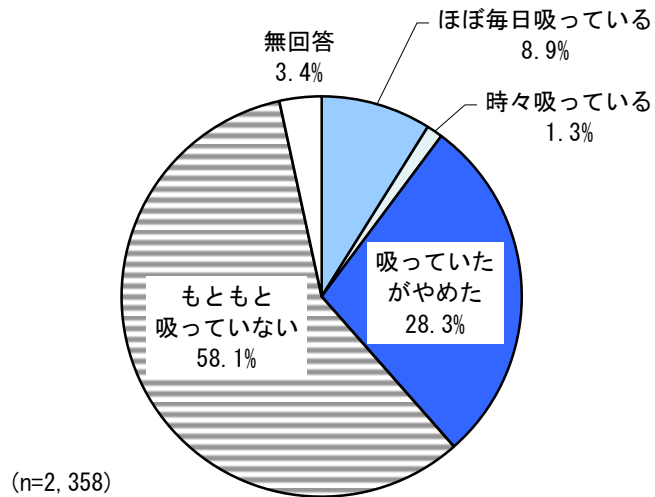
【図表10-5-1 性・年齢別 飲酒習慣】



(6) 喫煙習慣

Q6 タバコは吸っていますか。

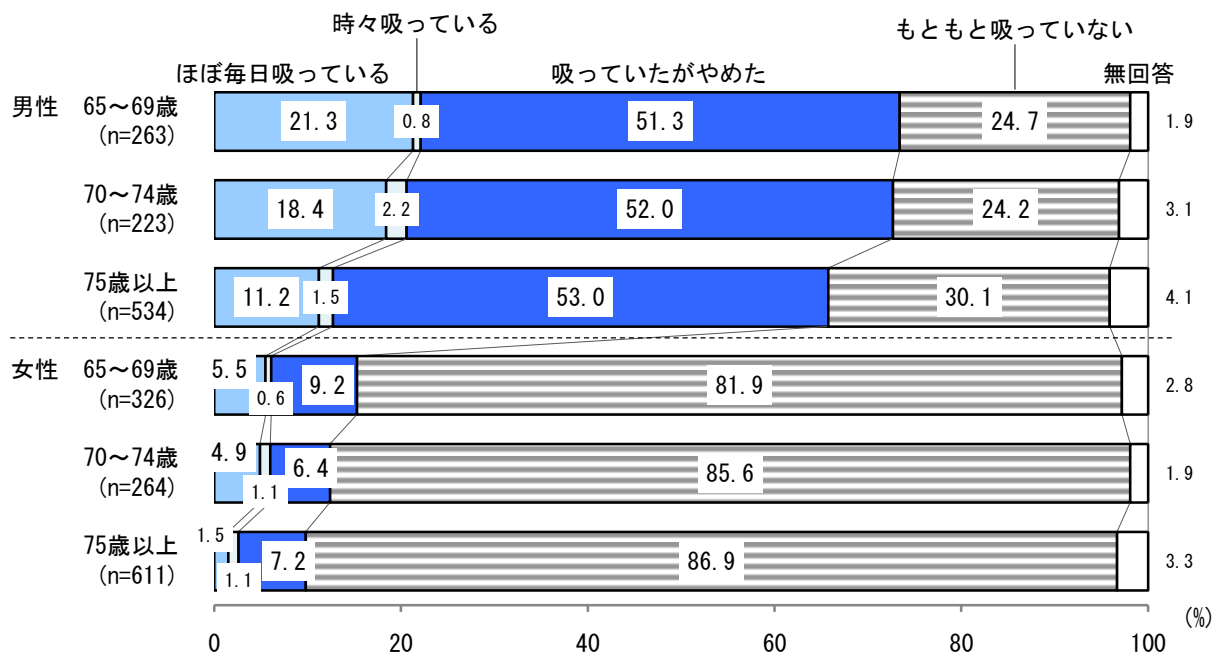
【図表10-6 喫煙習慣】



喫煙習慣については、「もともと吸っていない」が58.1%で最も多く、次いで「吸っていたがやめた」が28.3%、「ほぼ毎日吸っている」が8.9%となっている。(図表10-6)

性・年齢別でみると、女性はいずれの年代も「もともと吸っていない」が8割以上を占めている。「ほぼ毎日吸っている」は男性の65～69歳(21.3%)で最も高く、高齢になるほど割合は低くなり、「吸っていたがやめた」は高齢になるほど高い割合となっている。(図表10-6-1)

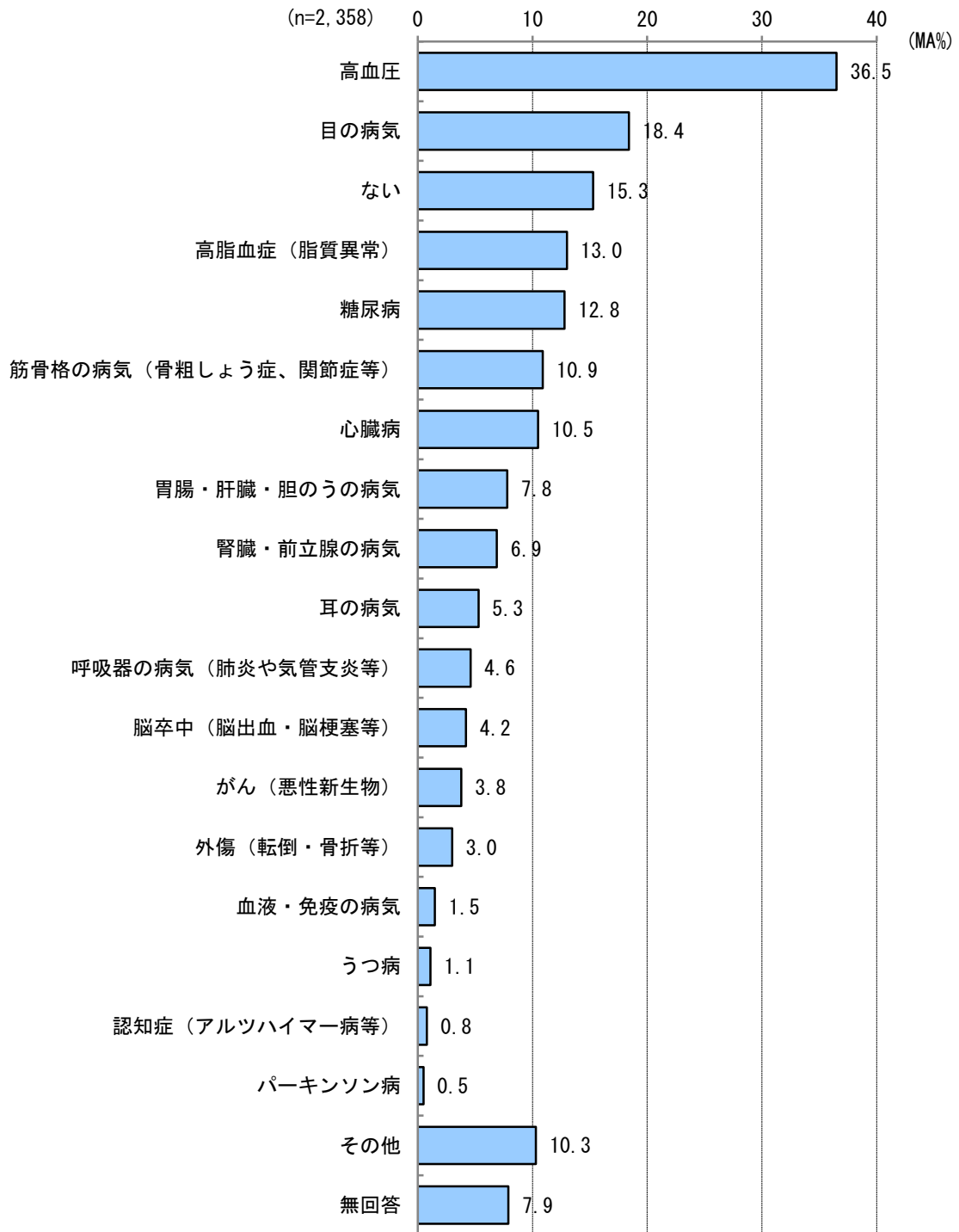
【図表10-6-1 性・年齢別 喫煙習慣】



(7) 現在治療中または後遺症のある病気

Q7 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。(いくつでも)

【図表10-7 現在治療中または後遺症のある病気】



現在治療中、または後遺症のある病気については、「高血圧」が36.5%で最も多く、次いで「目の病気」が18.4%、「ない」が15.3%、「高脂血症 (脂質異常)」が13.0%となっている。(図表10-7)

性・年齢別でみると、男女ともいずれの年代も「高血圧」が最も多く、次いで男女とも65～69歳は「ない」となっている。男性の75歳以上と女性の70歳以上の年代では「目の病気」が続いている。(図表10-7-1)

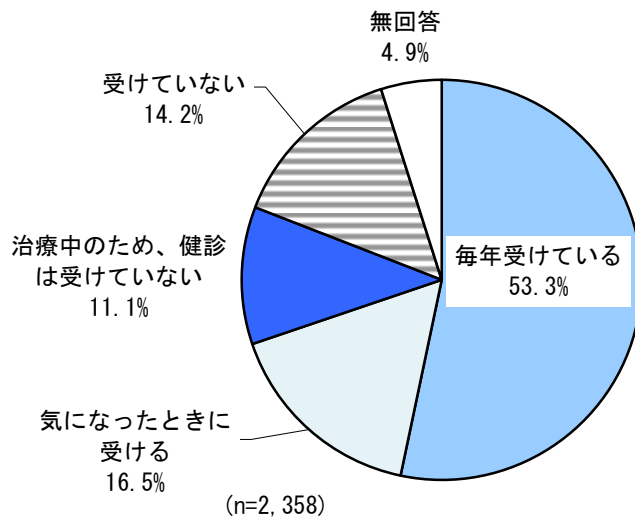
【図表10-7-1 性・年齢別 現在治療中または後遺症のある病気】

		(MA%)				
		第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
男性	65～69歳 (n=263)	高血圧 39.2	ない 20.2	糖尿病 17.9	目の病気 12.2	高脂血症(脂質異常) 11.8
	70～74歳 (n=223)	高血圧 35.9	糖尿病 17.5	ない 16.1	目の病気 13.5	高脂血症(脂質異常) 12.6
	75歳以上 (n=534)	高血圧 37.5	目の病気 20.0	腎臓・前立腺の 病気 17.2	糖尿病 16.5	心臓病 16.5
女性	65～69歳 (n=326)	高血圧 29.4	ない 23.9	高脂血症(脂質 異常) 18.1	目の病気 14.7	筋骨格の病気 (骨粗しょう 症、関節症等) 8.3
	70～74歳 (n=264)	高血圧 37.9	目の病気 18.2	ない 17.8	高脂血症(脂質 異常) 14.8	糖尿病 11.4
	75歳以上 (n=611)	高血圧 39.4	目の病気 24.1	筋骨格の病気 (骨粗しょう 症、関節症等) 23.6	高脂血症(脂質 異常) 13.6	心臓病 10.0

(8) 健康診査の受診状況

Q 8 毎年健康診査（健診）を受けていますか。（○はひとつ）

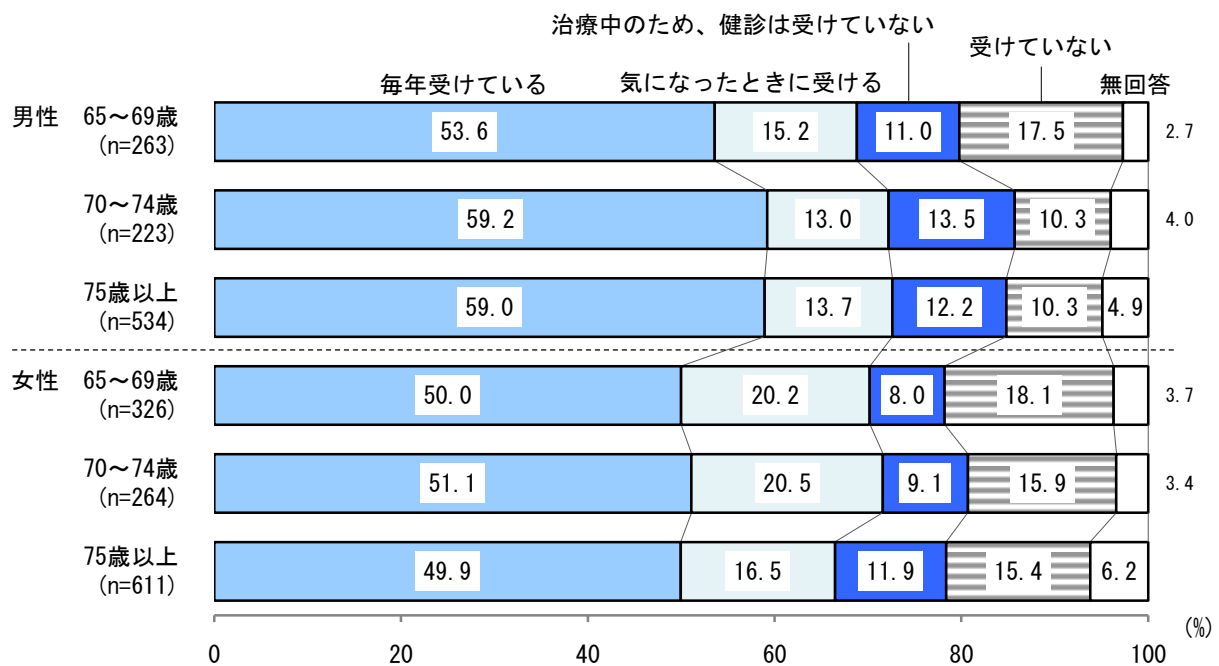
【図表10-8 健康診査の受診状況】



健康診査の受診状況については、「毎年受けている」が53.3%で最も多く、次いで「気になったときに受ける」が16.5%、「受けていない」が14.2%となっている。（図表10-8）

性・年齢別でみると、「毎年受けている」は男性の70～74歳が59.2%で最も高く、いずれの年代も約半数を占めている。一方、「受けていない」は男女とも65～69歳で最も高くなっている。（図表10-8-1）

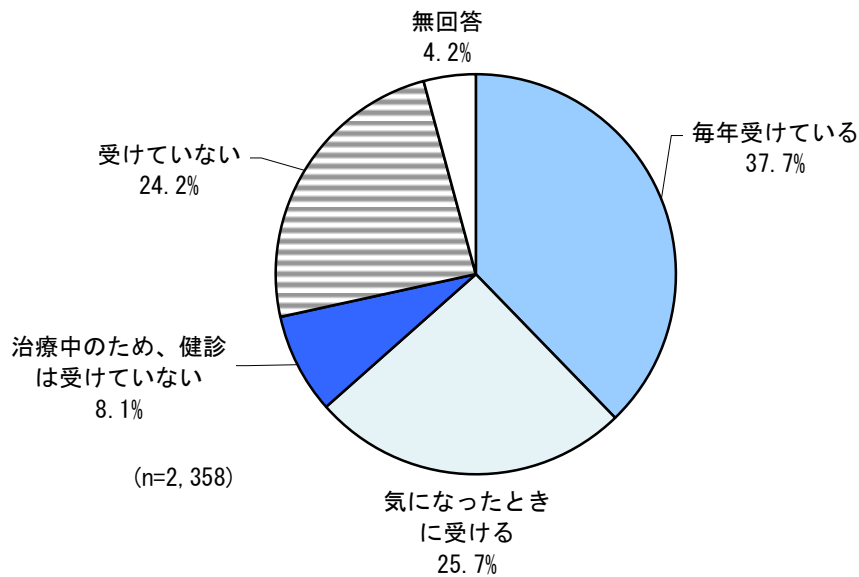
【図表10-8-1 性・年齢別 健康診査の受診状況】



(9) 歯科健康診査の受診状況

Q9 毎年歯科健康診査を受けていますか。(○はひとつ)

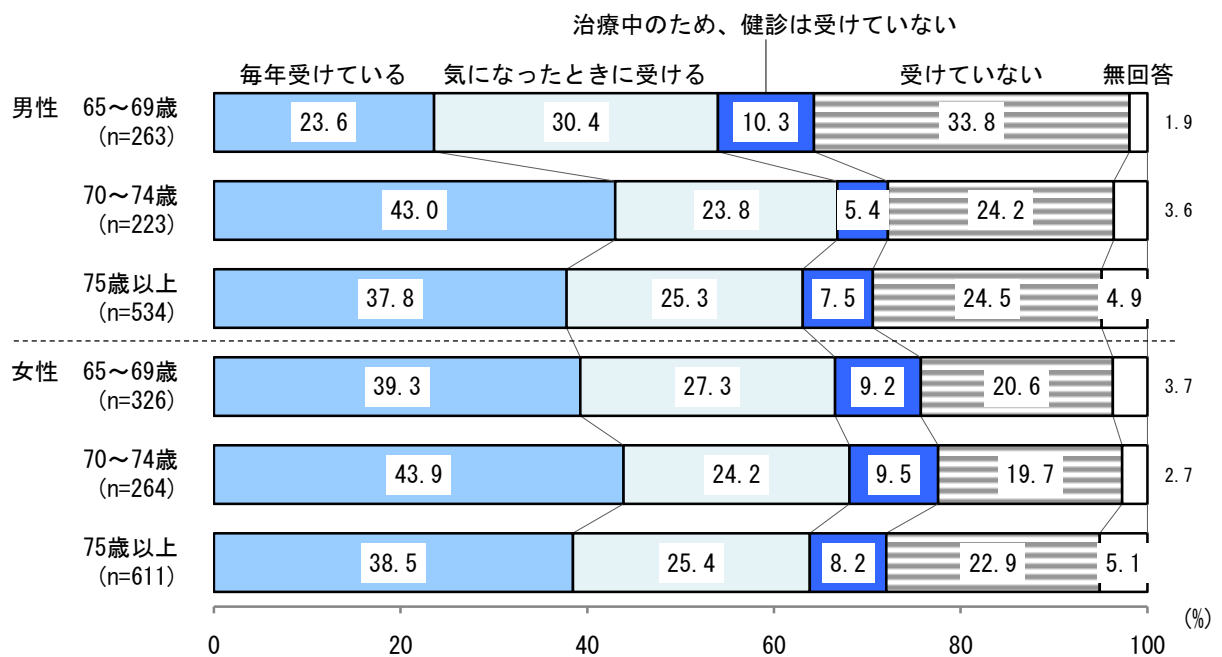
【図表10-9 歯科健康診査の受診状況】



歯科健康診査の受診状況については、「毎年受けている」が37.7%で最も多く、次いで「気になったときに受ける」が25.7%、「受けていない」が24.2%となっている。(図表10-9)

性・年齢別でみると、「毎年受けている」は男性の65～69歳(23.6%)で最も低く、女性の70～74歳が43.9%で最も高くなっている。(図表10-9-1)

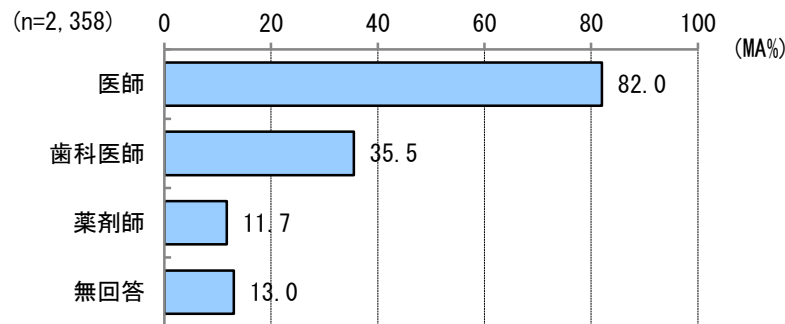
【図表10-9-1 性・年齢別 歯科健康診査の受診状況】



(10) かかりつけの医療提供者

Q10 健康や病気のことについて気軽に相談できる「かかりつけの医療提供者」をお持ちですか。(いくつでも)

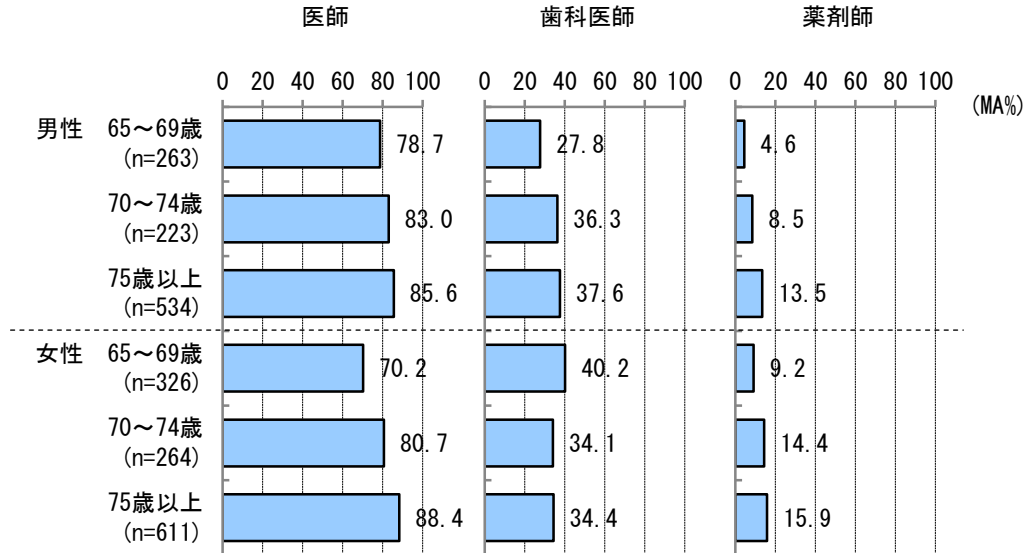
【図表10-10 かかりつけの医療提供者】



かかりつけの医療提供者については、「医師」が82.0%で最も多く、次いで「歯科医師」が35.5%、「薬剤師」が11.7%となっている。(図表10-10)

性・年齢別でみると、男女ともいずれの年代も「医師」が最も多く、男女とも75歳以上で最も高くなっている。(図表10-10-1)

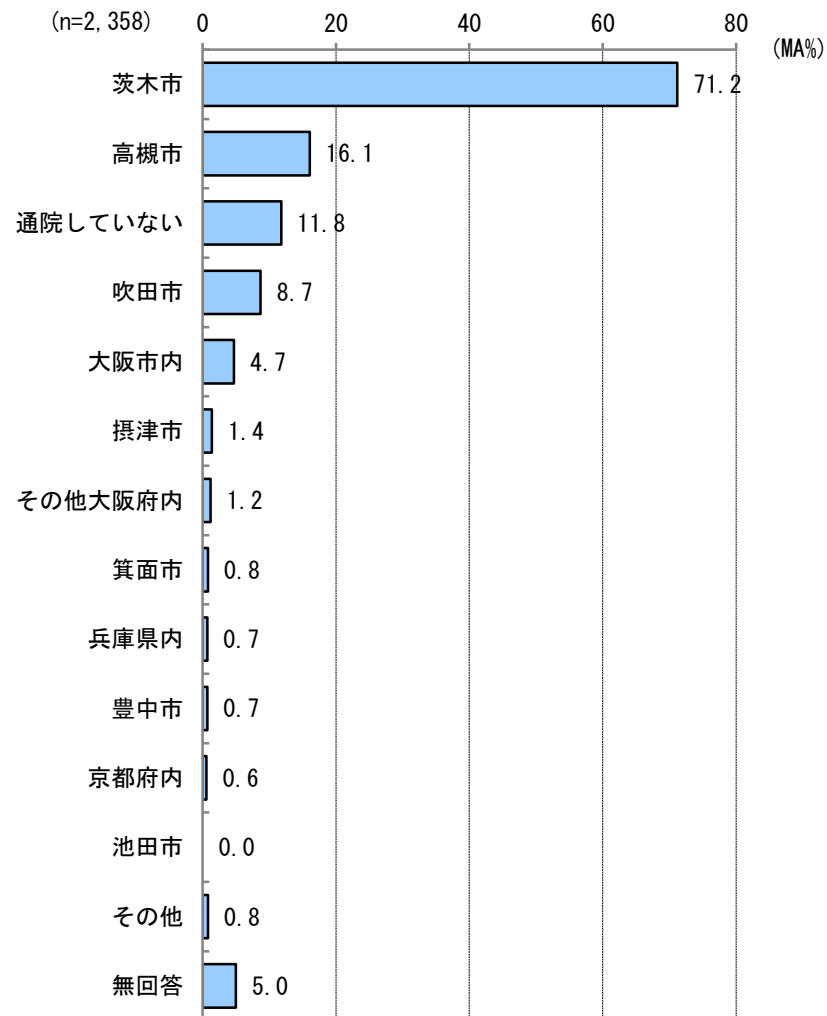
【図表10-10-1 性・年齢別 かかりつけの医療提供者】



(11) 定期的に通院している医療機関がある地域

Q11 あなたは、定期的に通院していますか。通院されている場合、通院先の医療機関はどこにありますか。(いくつでも)

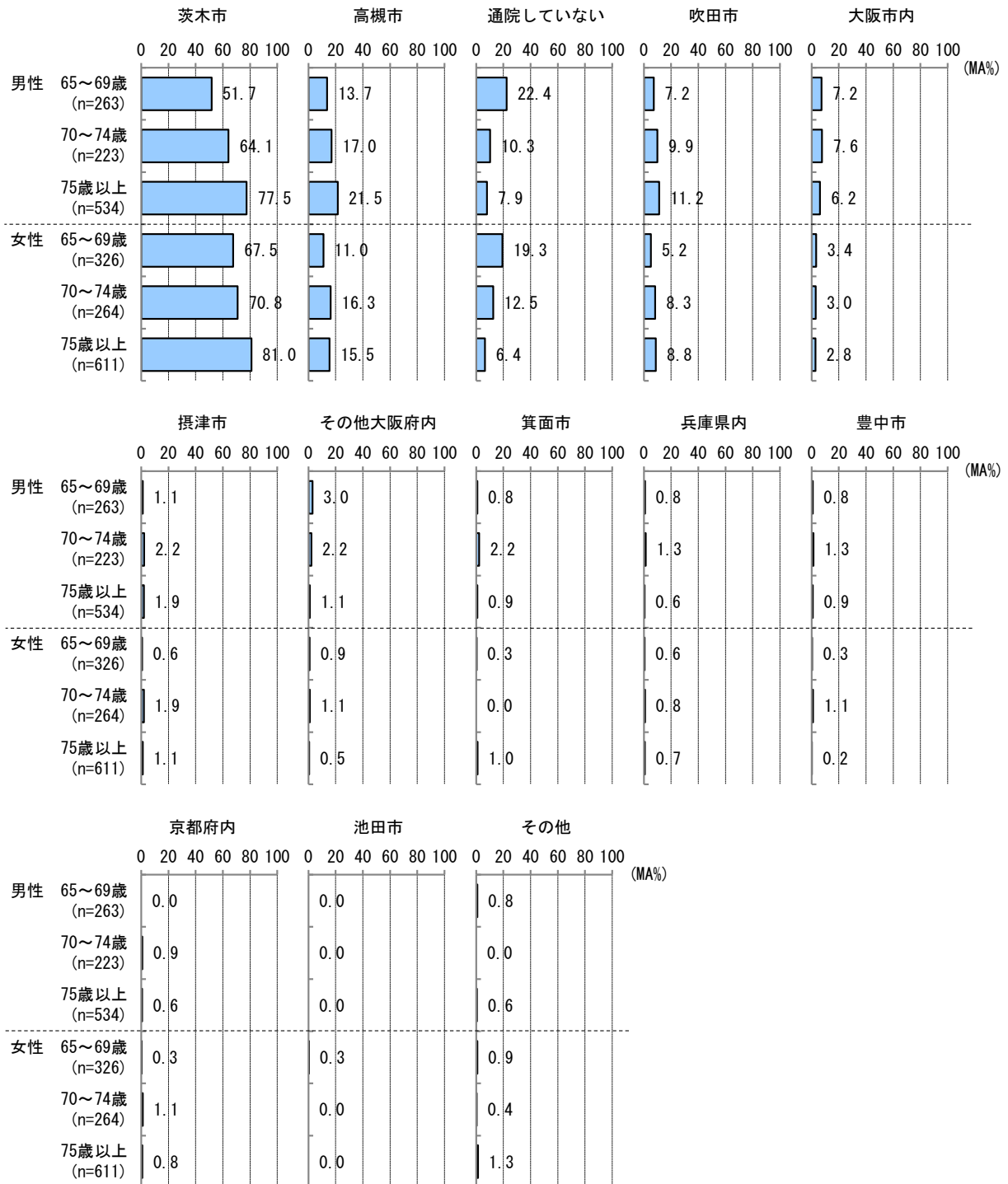
【図表10-11 定期的に通院している医療機関がある地域】



定期的に通院している医療機関がある地域は、「茨木市」が71.2%で最も多く、次いで「高槻市」が16.1%、「通院していない」が11.8%、「吹田市」が8.7%となっている。(図表10-11)

性・年齢別でみると、男女ともいずれの年代も「茨木市」が最も多く、高齢になるほど高い割合となっている。「通院していない」は男女とも65～69歳で最も高く、高齢になるほど低くなっている。(図表10-11-1)

【図表10-11-1 性・年齢別 定期的に通院している医療機関がある地域】

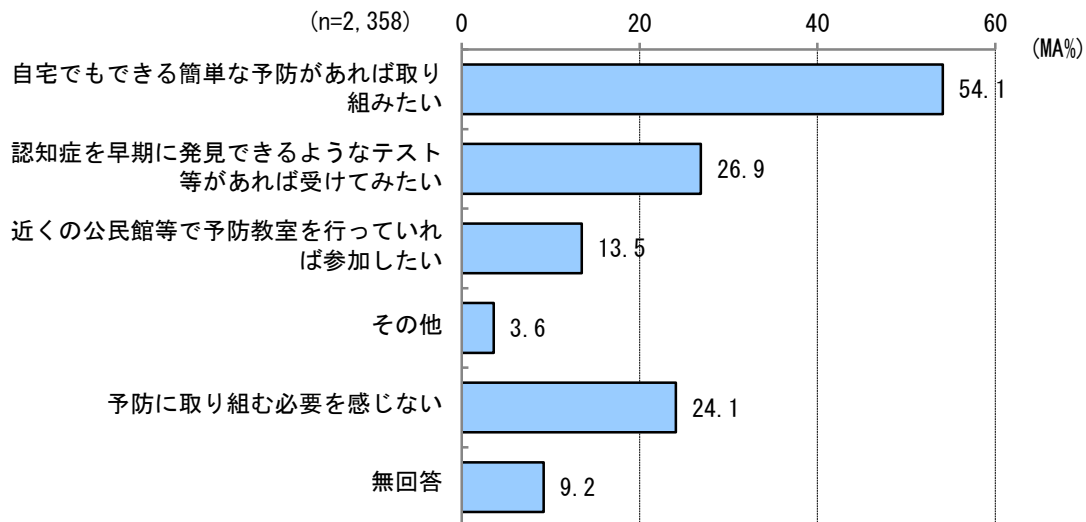


11 認知症について

(1) 認知症予防に対する考え

問8 Q1 認知症の予防についてどのように考えていますか。(いくつでも)

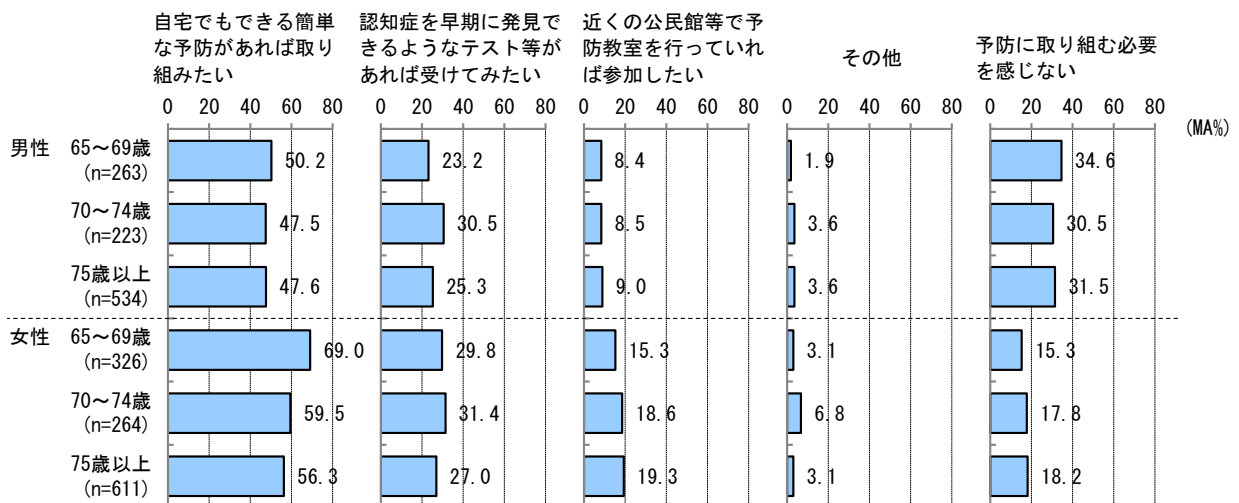
【図表11-1 認知症予防に対する考え】



認知症予防に対する考えについては、「自宅でもできる簡単な予防があれば取り組みたい」が54.1%で最も多く、次いで「認知症を早期に発見できるようなテスト等があれば受けてみたい」が26.9%、「近くの公民館等で予防教室を行っていただければ参加したい」が13.5%となっている。(図表11-1)

性・年齢別でみると、「自宅でもできる簡単な予防があれば取り組みたい」はいずれの年代も男性より女性のほうが高く、女性の65～69歳が69.0%で最も高くなっている。(図表11-1-1)

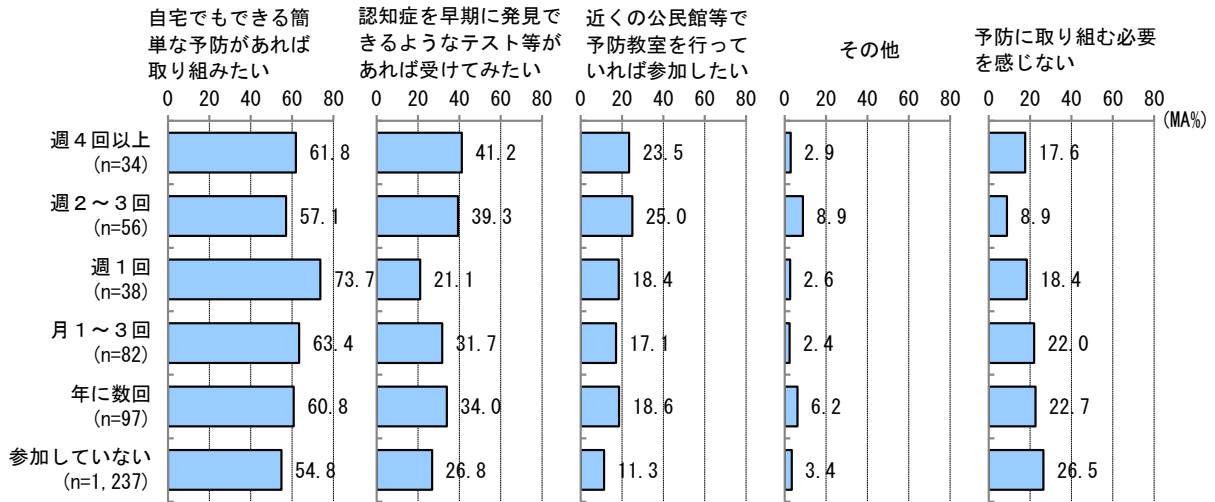
【図表11-1-1 性・年齢別 認知症予防に対する考え】



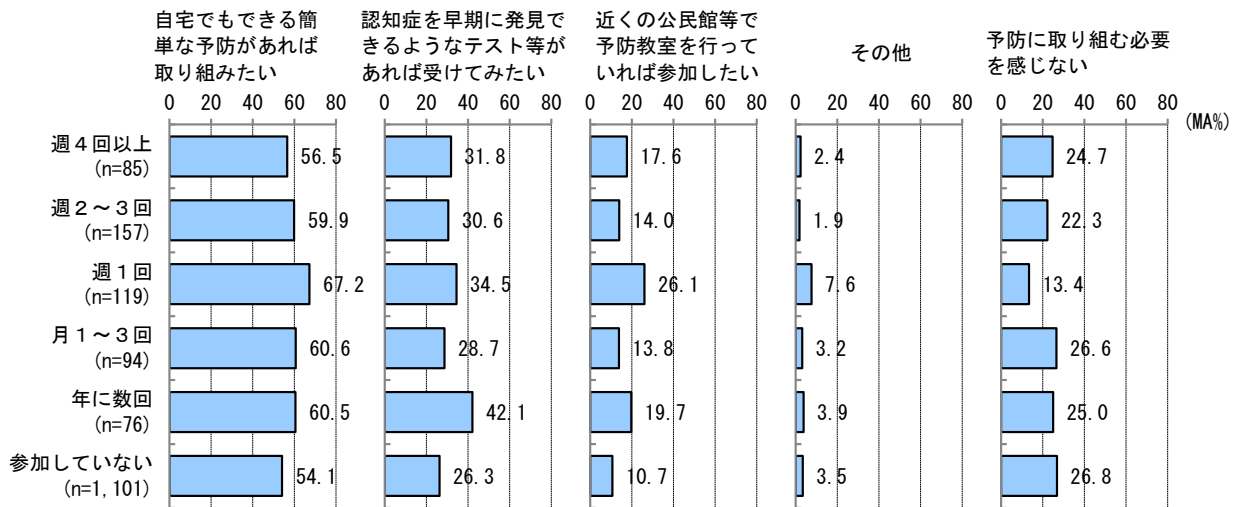
地域活動の参加頻度別でみると、いずれの地域活動も参加頻度にかかわらず「自宅でもできる簡単な予防があれば取り組みたい」が最も多くなっている。(図表11-1-2①②③)

【図表11-1-2 地域活動の参加頻度別 認知症予防に対する考え①】

①ボランティアのグループ

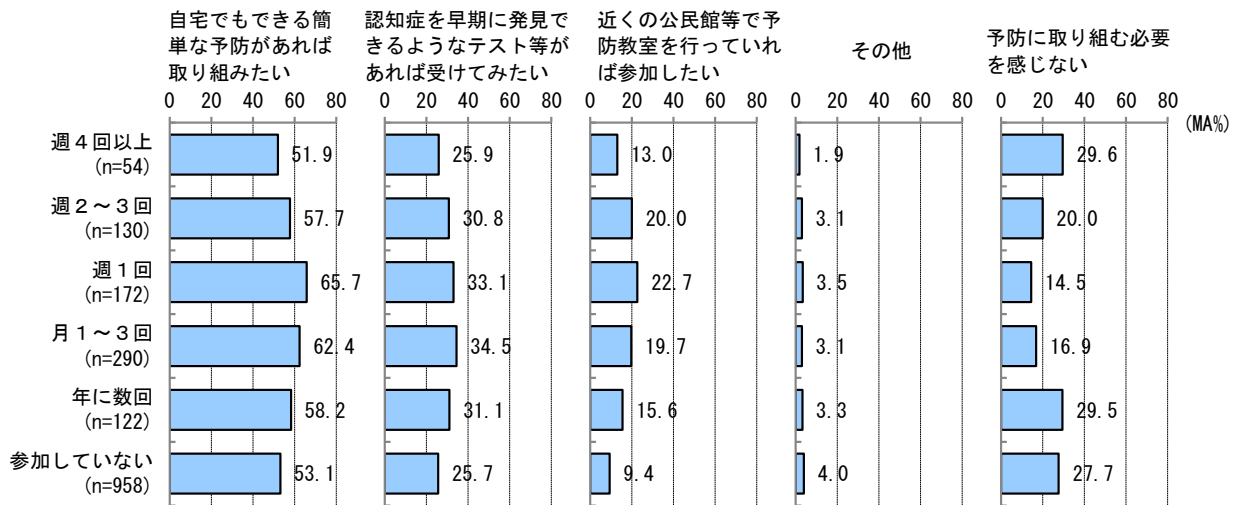


②スポーツ関係のグループやクラブ

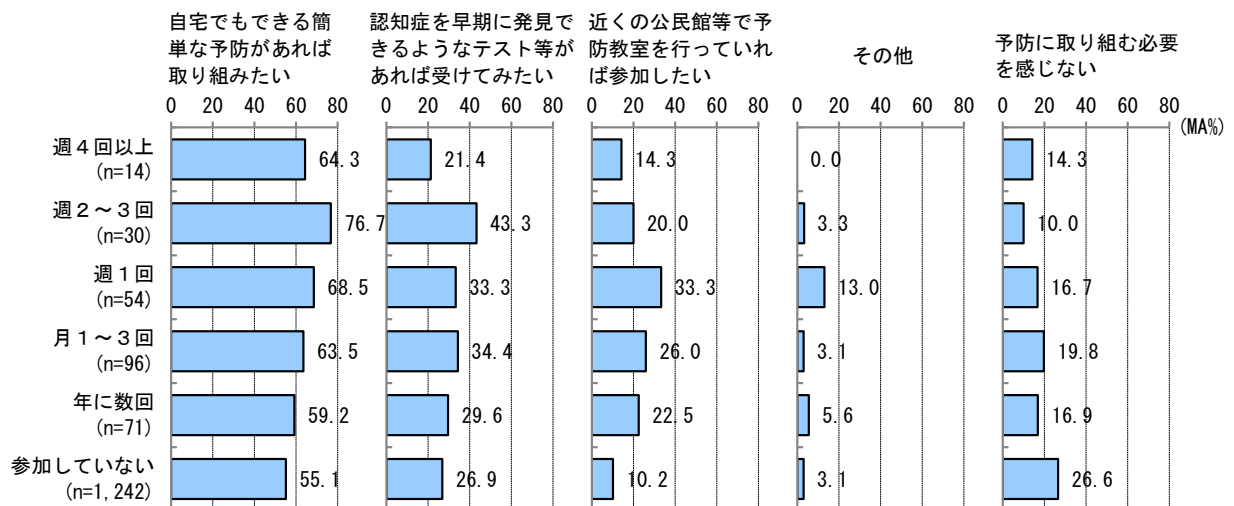


【図表11-1-1 性・年齢別 認知症予防に対する考え①】

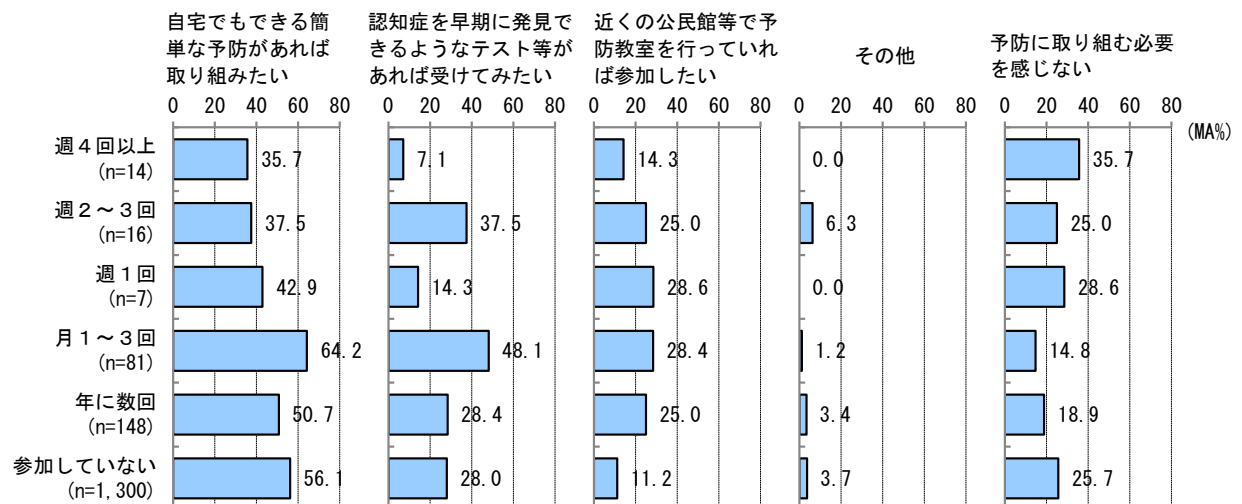
③趣味関係のグループ



④学習・教養サークル

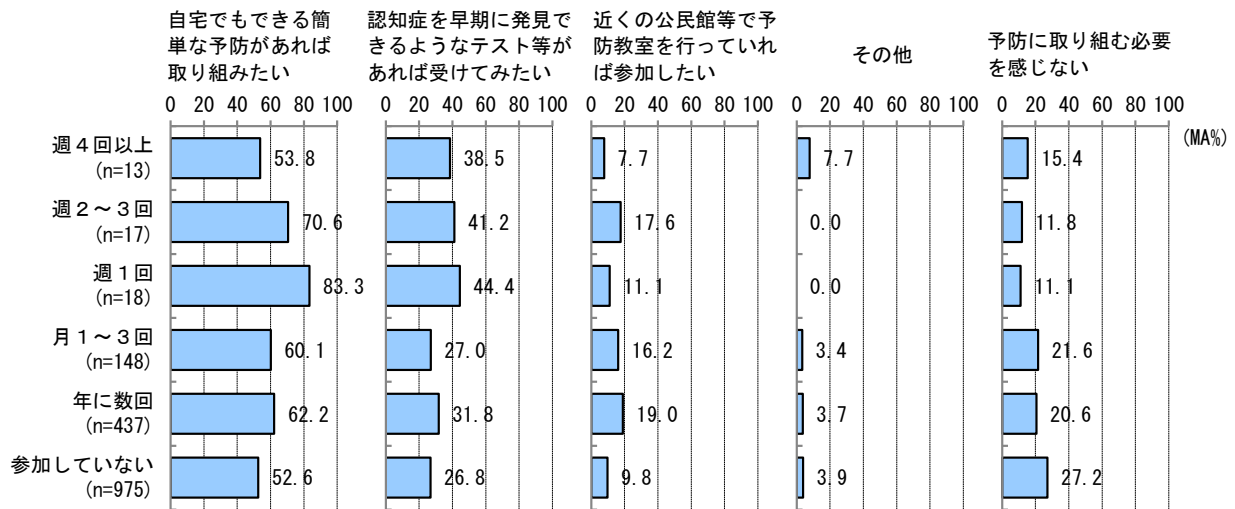


⑤老人クラブ

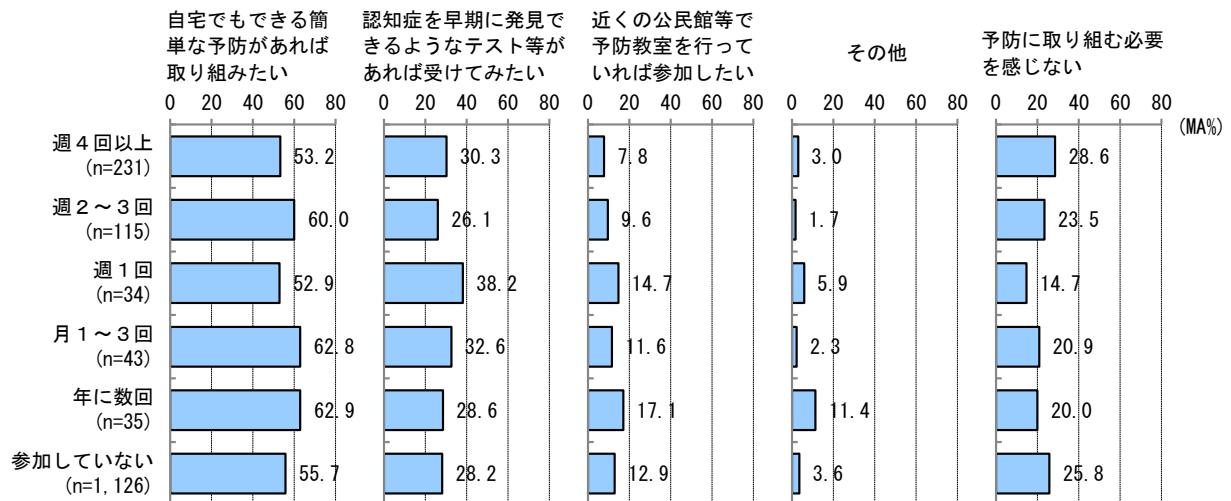


【図表11-1-1 性・年齢別 認知症予防に対する考え③】

⑥町内会・自治会



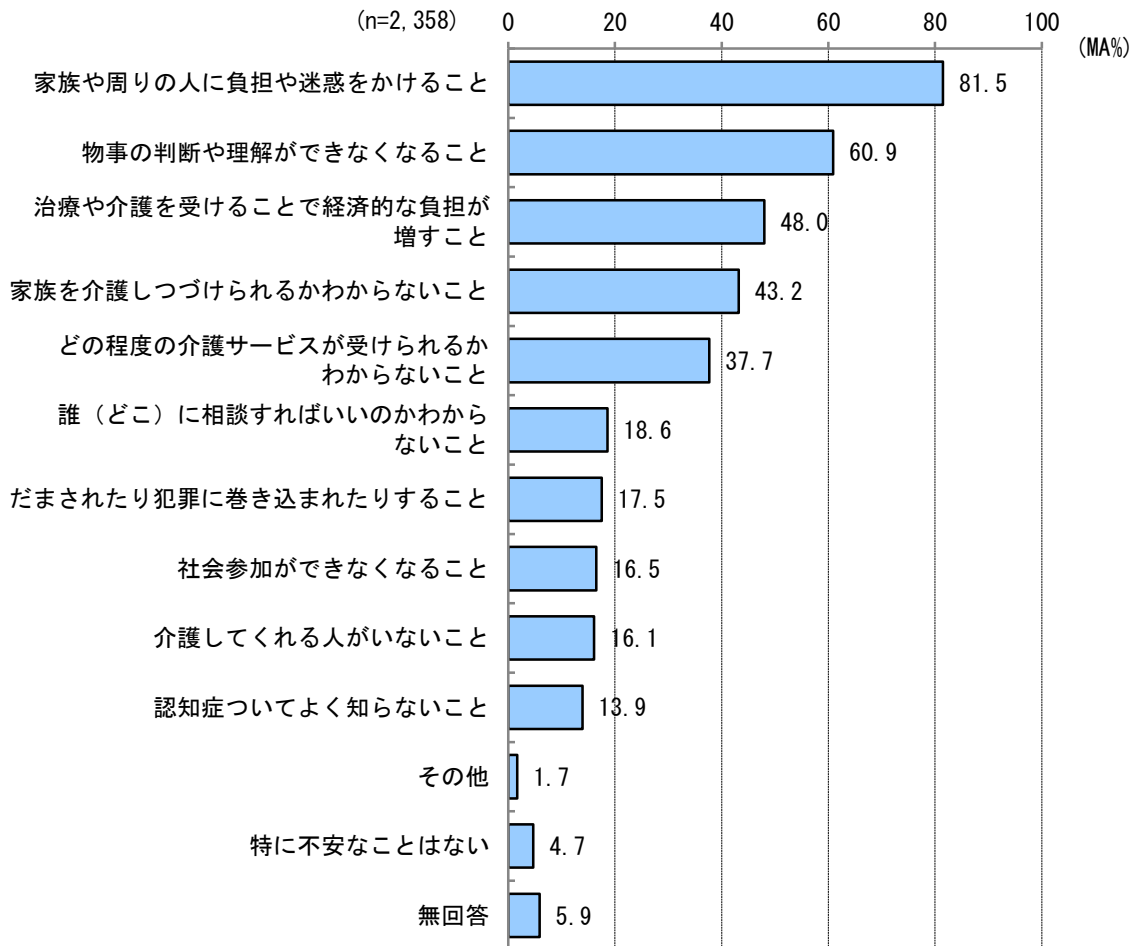
⑦収入のある仕事



(2) 自身や家族が認知症になったら不安なこと

Q2 あなたやあなたの家族が認知症になったら不安なことは何ですか。(いくつでも)

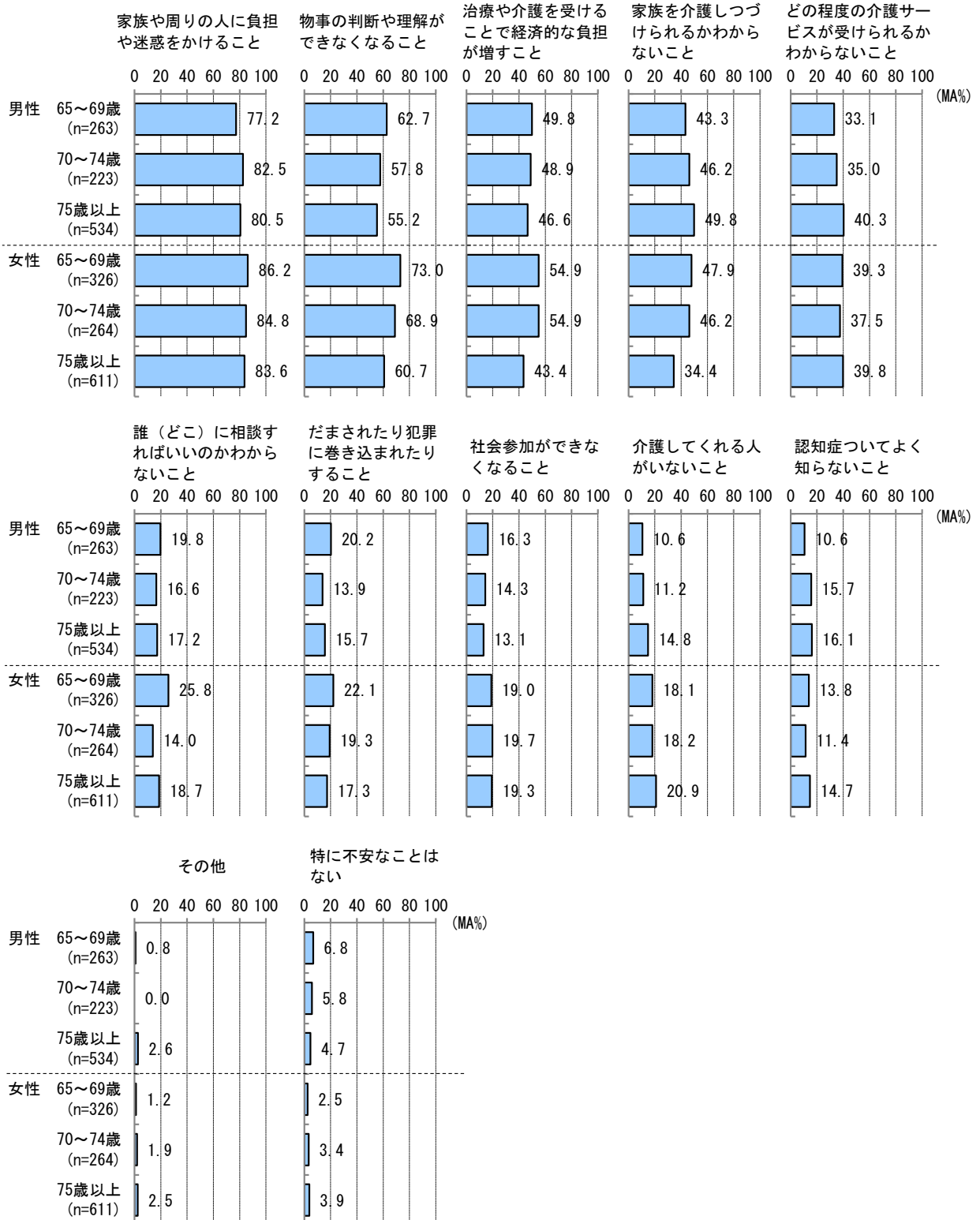
【図表11-2 自身や家族が認知症になったら不安なこと】



自身や家族が認知症になったら不安なことについては、「家族や周りの人に負担や迷惑をかけること」が81.5%で最も多く、次いで「物事の判断や理解ができなくなること」が60.9%、「治療や介護を受けることで経済的な負担が増すこと」が48.0%となっている。(図表11-2)

性・年齢別でみると、男女ともいずれの年代も「家族や周りの人に負担や迷惑をかけること」が最も多く、なかでも女性の65～69歳（86.2%）で最も高くなっている。また、「物事の判断や理解ができなくなること」や「治療や介護を受けることで経済的な負担が増すこと」は、高齢になるほど割合が低くなっている。（図表11-2-1）

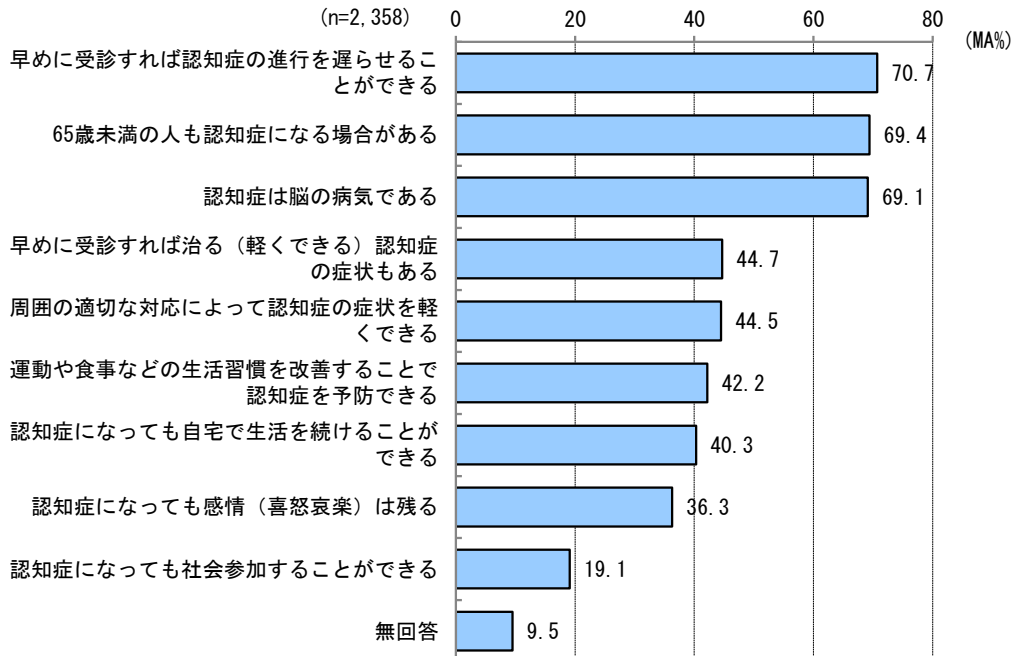
【図表11-2-1 性・年齢別 自身や家族が認知症になったら不安なこと】



(3) 認知症について知っていること

Q3 認知症についてあなたの知っていることを次の中から選んでください。(いくつでも)

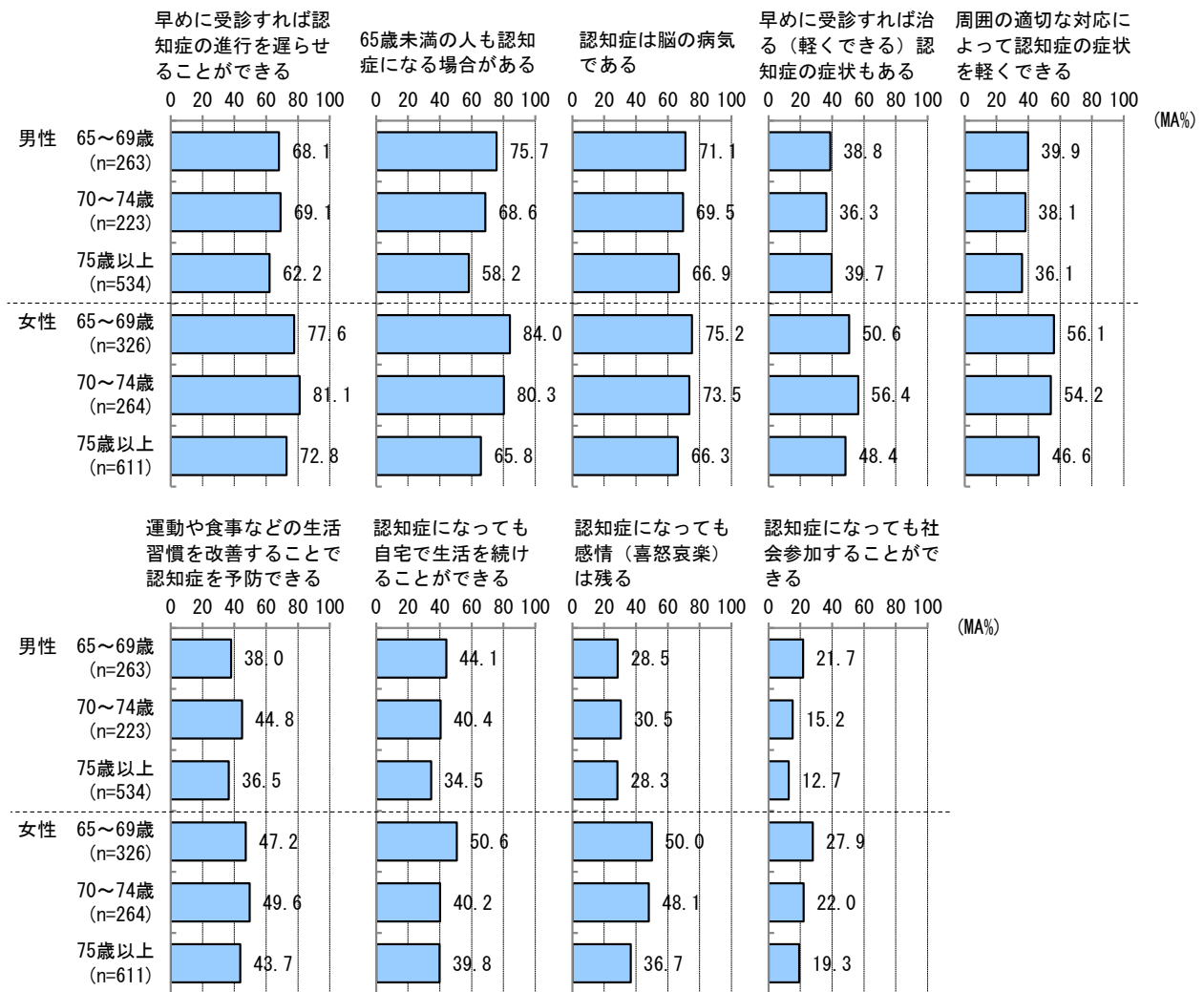
【図表11-3 認知症について知っていること】



認知症について知っていることについては、「早めに受診すれば認知症の進行を遅らせることができる」が70.7%で最も多く、次いで「65歳未満の人も認知症になる場合がある」が69.4%、「認知症は脳の病気である」が69.1%、「早めに受診すれば治る（軽くできる）認知症の症状もある」が44.7%となっている。（図表11-3）

性・年齢別でみると、男女とも65～69歳は「65歳未満の人も認知症になる場合がある」が最も多く、男性の70歳以上は「認知症は脳の病気である」、女性の70歳以上は「早めに受診すれば認知症の進行を遅らせることができる」が最も多くなっている。また、「65歳未満の人も認知症になる場合がある」や「早めに受診すれば治る（軽くできる）認知症の症状もある」、「周囲の適切な対応によって認知症の症状を軽くできる」、「運動や食事などの生活習慣を改善することで認知症を予防できる」、「認知症になっても感情（喜怒哀楽）は残る」、「認知症になっても社会参加することができる」はいずれの年代も男性より女性のほうが高い割合となっている。（図表11-3-1）

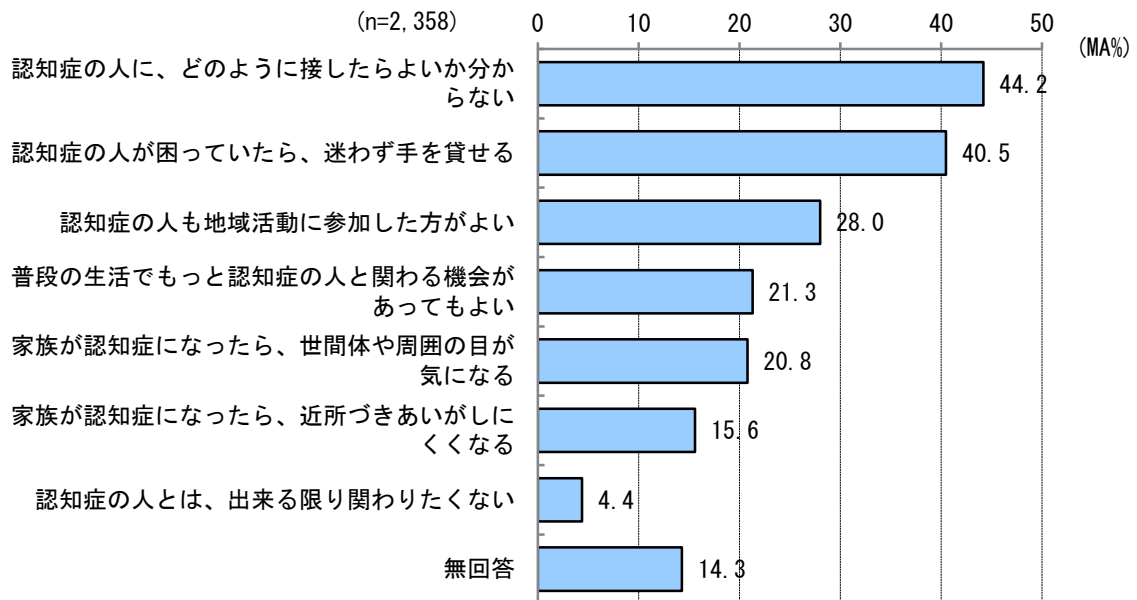
【図表11-3-1 性・年齢別 認知症について知っていること】



(4) 認知症の人との関わり方

Q 4 認知症についての次の意見に対して、あなたの考えに近いものを選んでください。(いくつでも)

【図表11-4 認知症の人との関わり方】

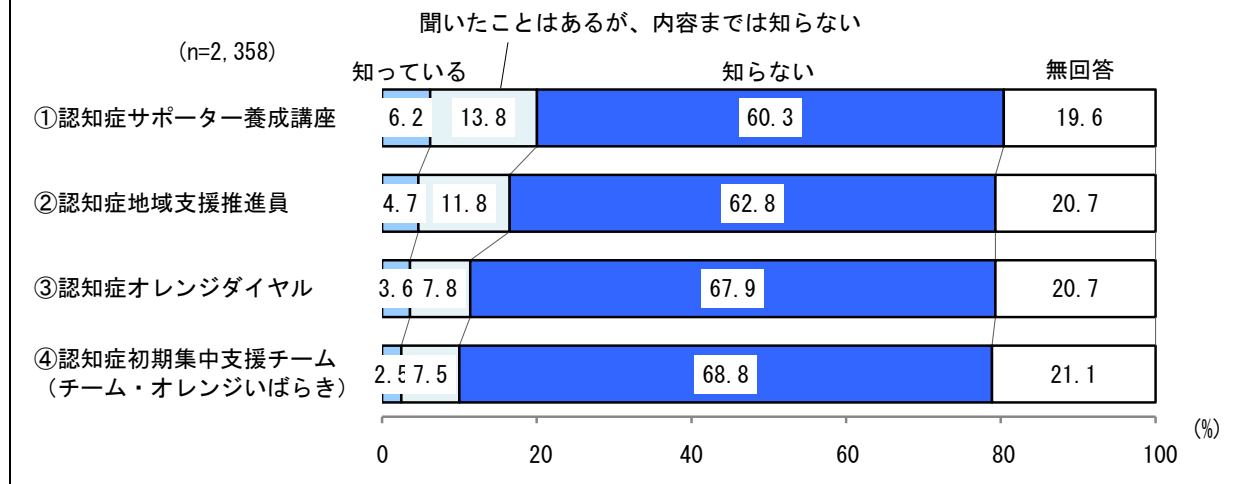


認知症の人との関わり方については、「認知症の人に、どのように接したらよいか分からない」が44.2%で最も多く、次いで「認知症の人が困っていたら、迷わず手を貸せる」が40.5%、「認知症の人でも地域活動に参加した方がよい」が28.0%となっている。(図表11-4)

(5) 認知症に関する市の事業の認知度

Q5 市では認知症に関する以下の事業を実施していますが、ご存知ですか。※①～④それぞれに回答してください。(〇はひとつ)

【図表11-5 認知症に関する市の事業の認知度】



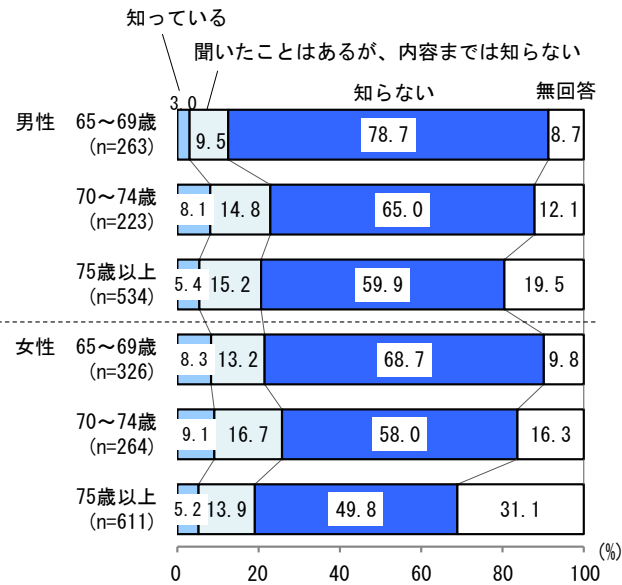
認知症に関する市の事業の認知度についてたずねた。

いずれの項目も「知らない」が6割台と高い。「知っている」は“①認知症サポーター養成講座”が6.2%で最も高く、「聞いたことはあるが、内容までは知らない」をあわせた認知度も“①認知症サポーター養成講座”が20.0%で最も高く、次いで“②認知症地域支援推進員”が16.5%となっている。(図表11-5)

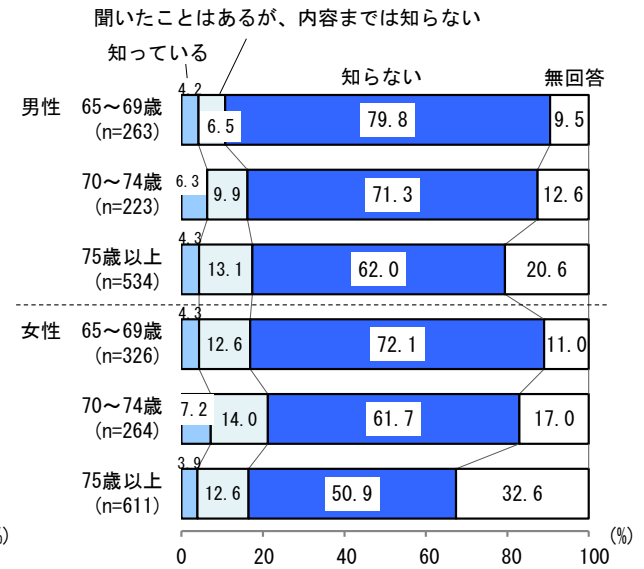
性・年代別でみると、“①認知症サポーター養成講座”の認知度は、男性の70歳以上と女性の74歳までの年代で2割を超えている。“②認知症地域支援推進員”の認知度は、女性の70～74歳が21.2%で最も高くなっている。(図表11-5-1)

【図表11-5-1 性・年齢別 認知症に関する市の事業の認知度】

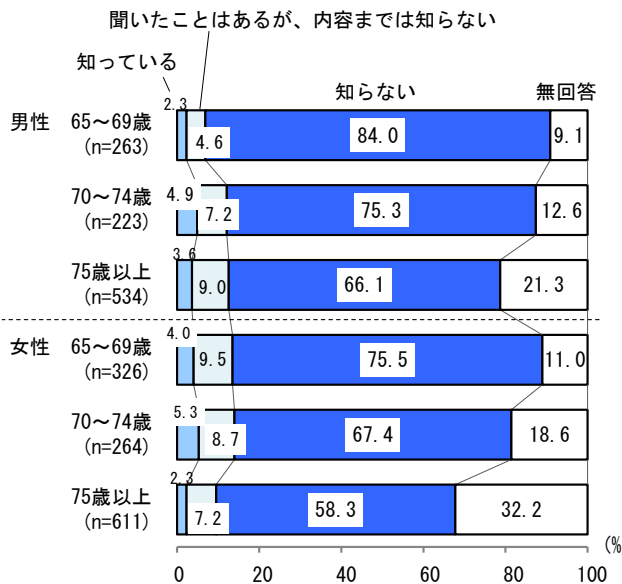
①認知症サポーター養成講座



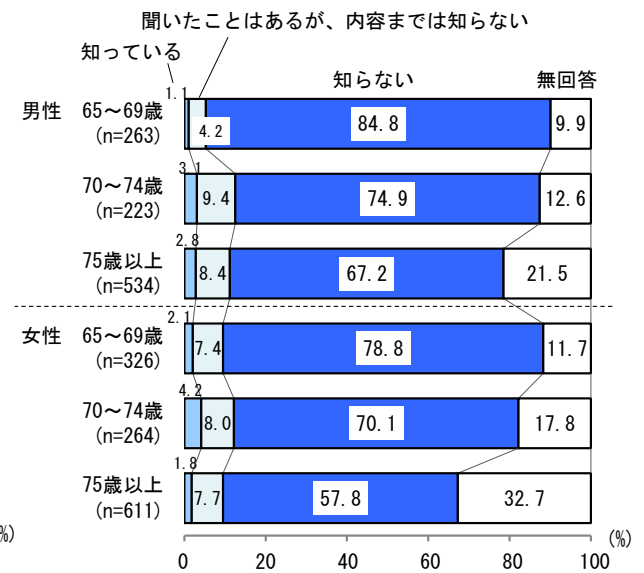
②認知症地域支援推進員



③認知症オレンジダイヤル



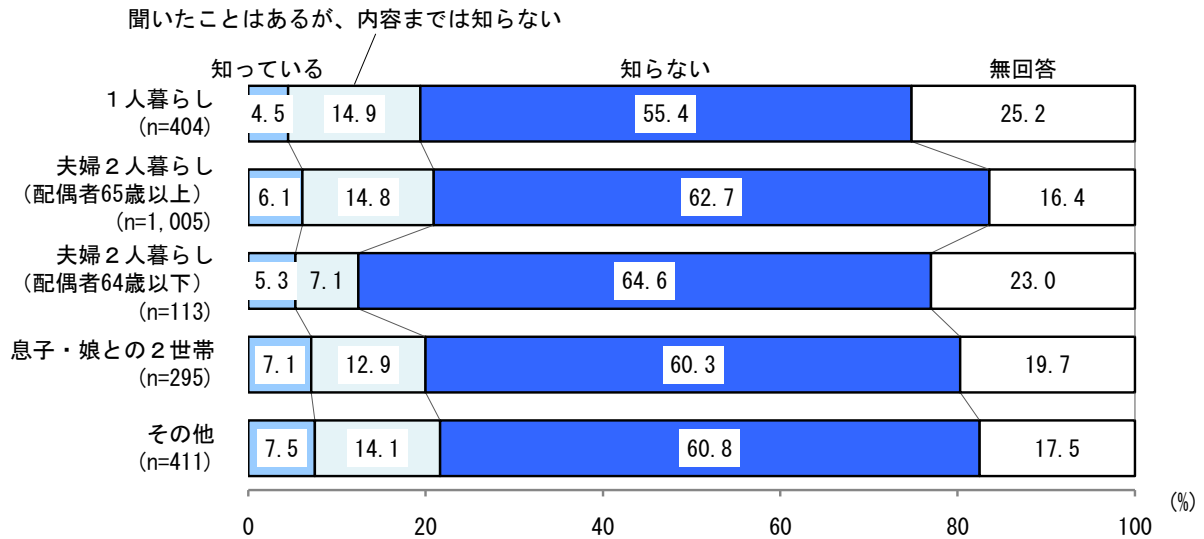
④認知症初期集中支援チーム(チーム・オレンジいばらき)



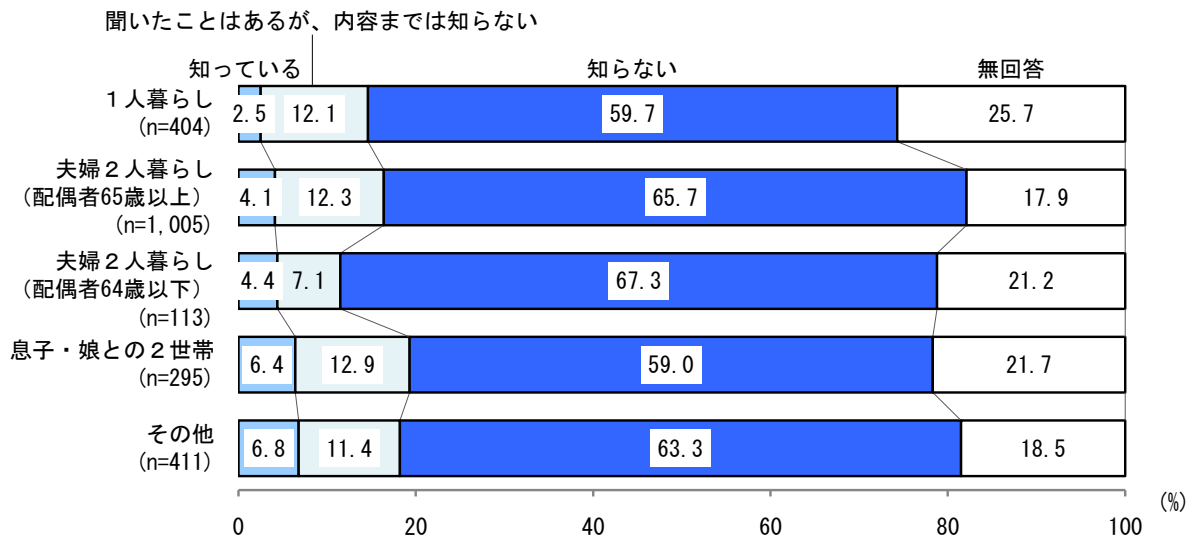
家族構成別でみると、いずれの事業も家族構成にかかわらず「知らない」が過半数を占めている。(図表11-5-2①②)

【図表11-5-2 家族構成別 認知症に関する市の事業の認知度①】

①認知症サポーター養成講座

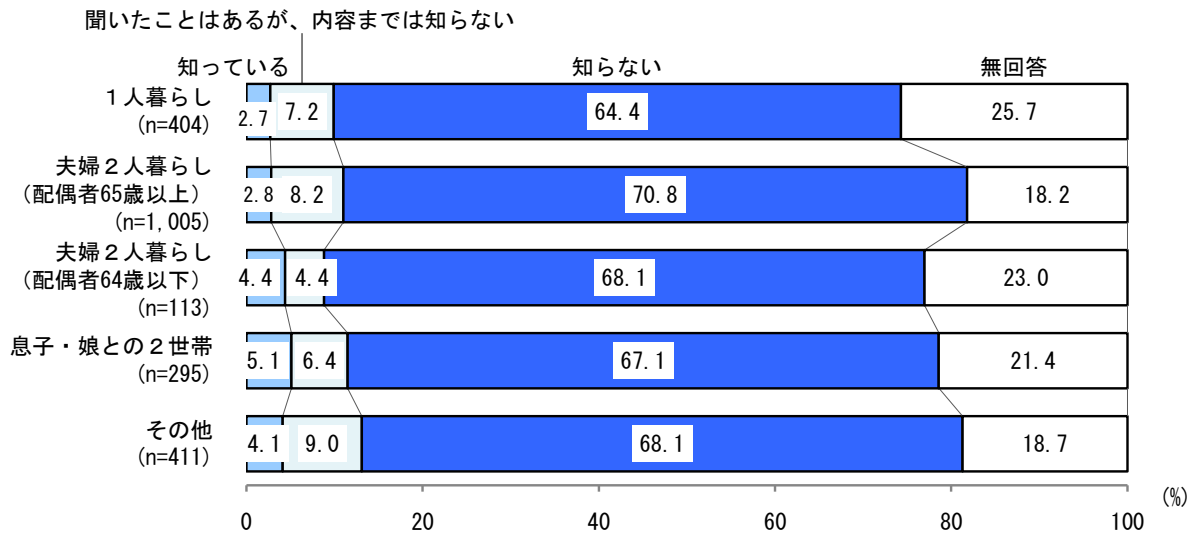


②認知症地域支援推進員

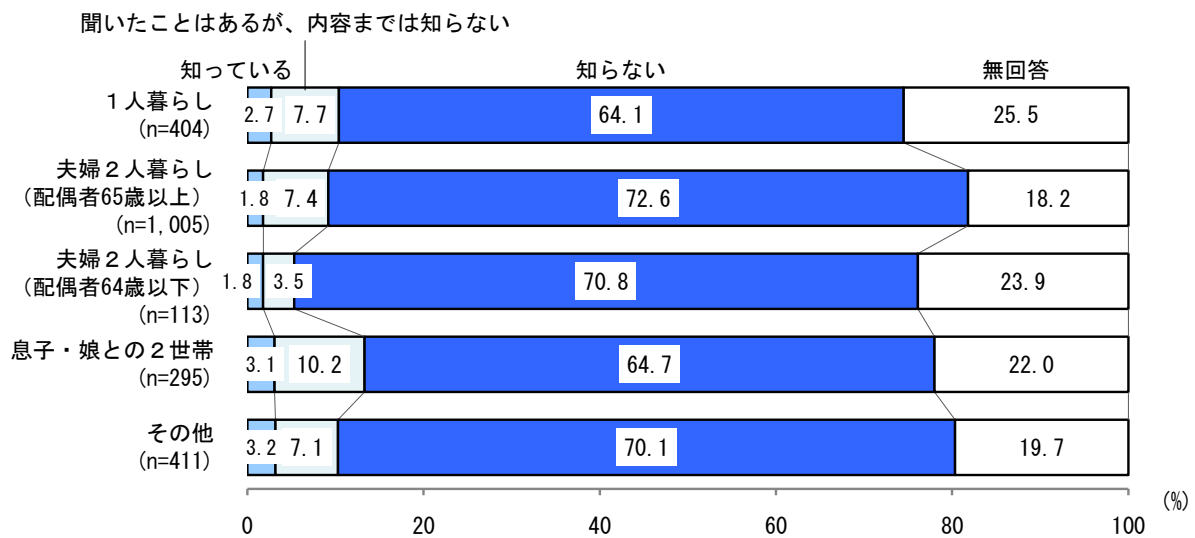


【図表11-5-2 家族構成別 認知症に関する市の事業の認知度②】

③認知症オレンジダイヤル



④認知症初期集中支援チーム (チーム・オレンジいばらき)

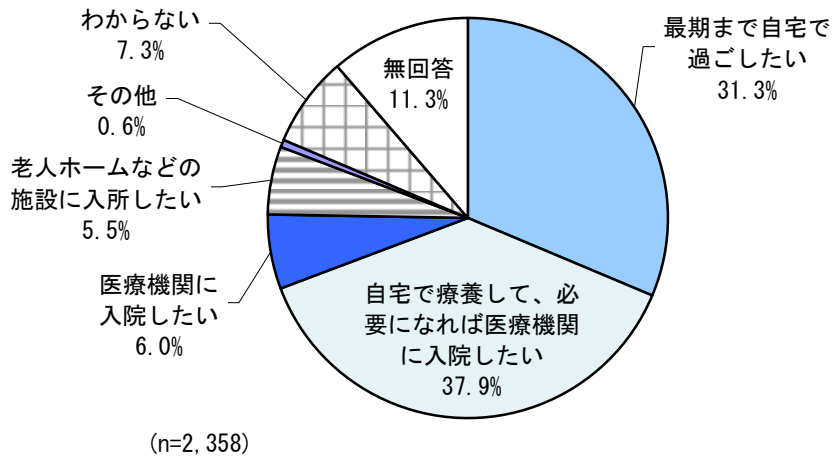


12 今後の暮らしに対する考えについて

(1) 人生の最期を過ごしたい場所

問9 Q1 人生の最期を過ごしたい場所はどこですか。(〇はひとつ)

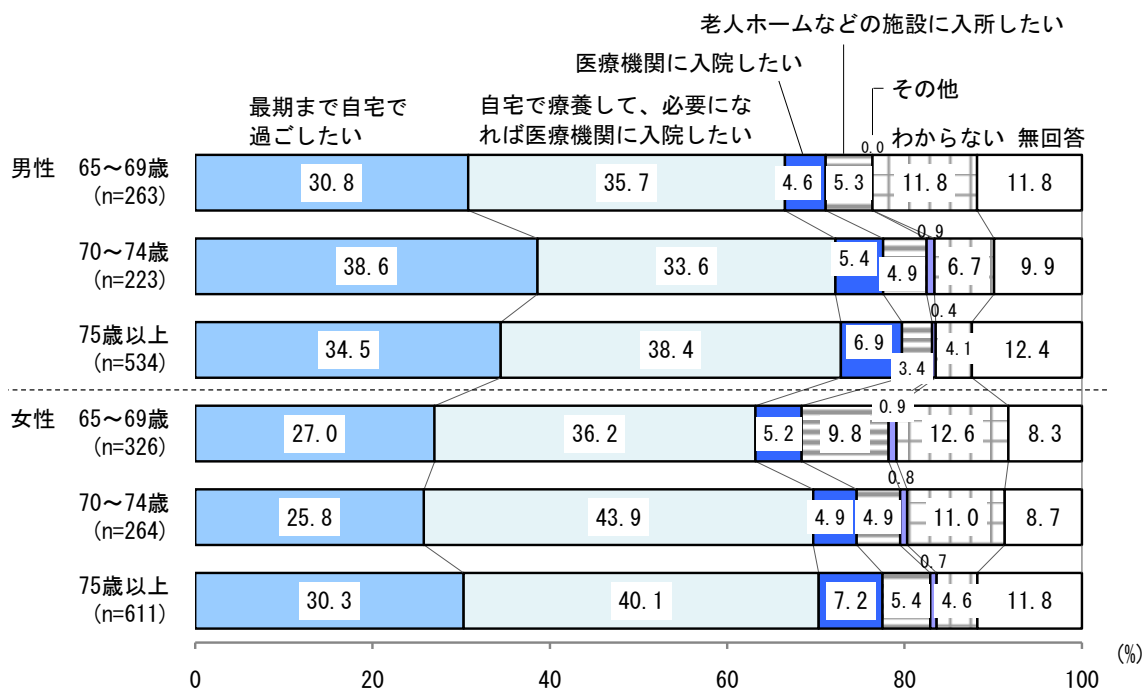
【図表12-1 人生の最期を過ごしたい場所】



人生の最期を過ごしたい場所については、「自宅療養して、必要になれば医療機関に入院したい」が37.9%で最も多く、次いで「最期まで自宅で過ごしたい」が31.3%、「医療機関に入院したい」が6.0%となっている。(図表12-1)

性・年齢別でみると、「最期まで自宅で過ごしたい」はいずれの年代も女性より男性のほうが高く、男性の70～74歳が38.6%で最も高い。一方、「自宅療養して、必要になれば医療機関に入院したい」はいずれの年代も男性より女性のほうが高く、女性の70～74歳が43.9%で最も高くなっている。(図表12-1-1)

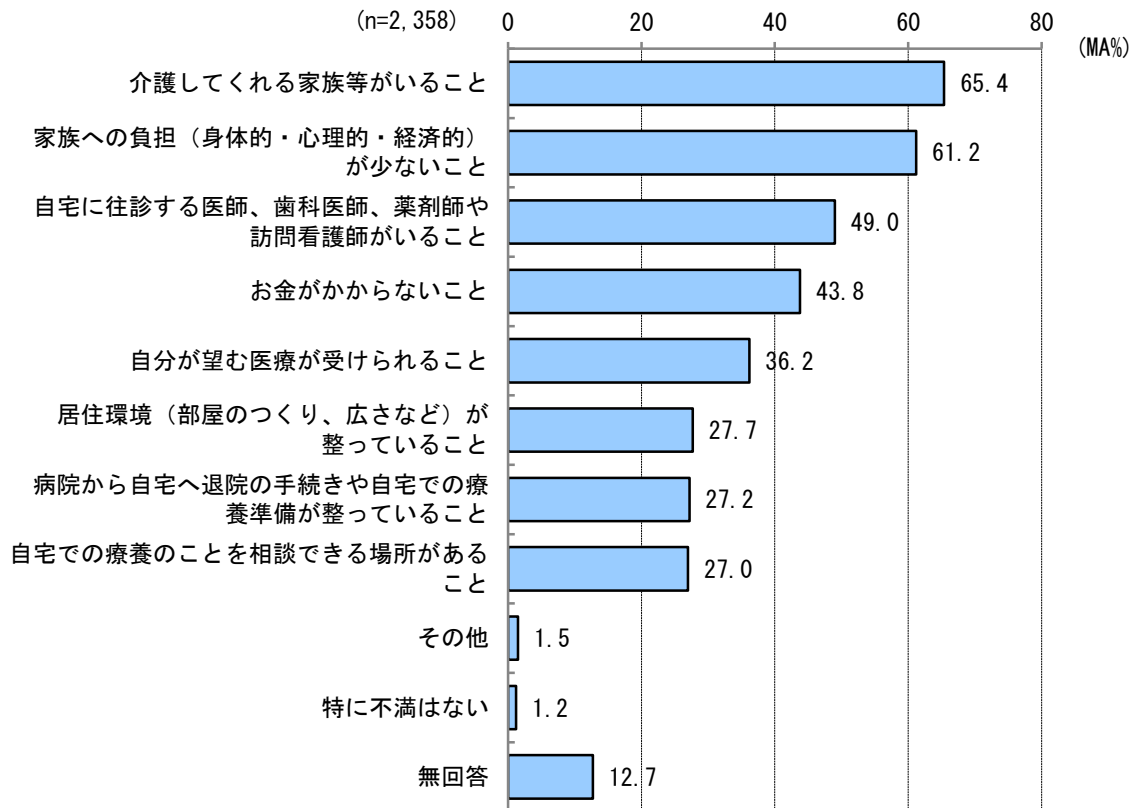
【図表12-1-1 性・年齢別 人生の最期を過ごしたい場所】



(2) 自宅で療養生活を送るために必要な条件

Q2 自宅で療養生活を送るために必要な条件は何だと思いますか。(いくつでも)

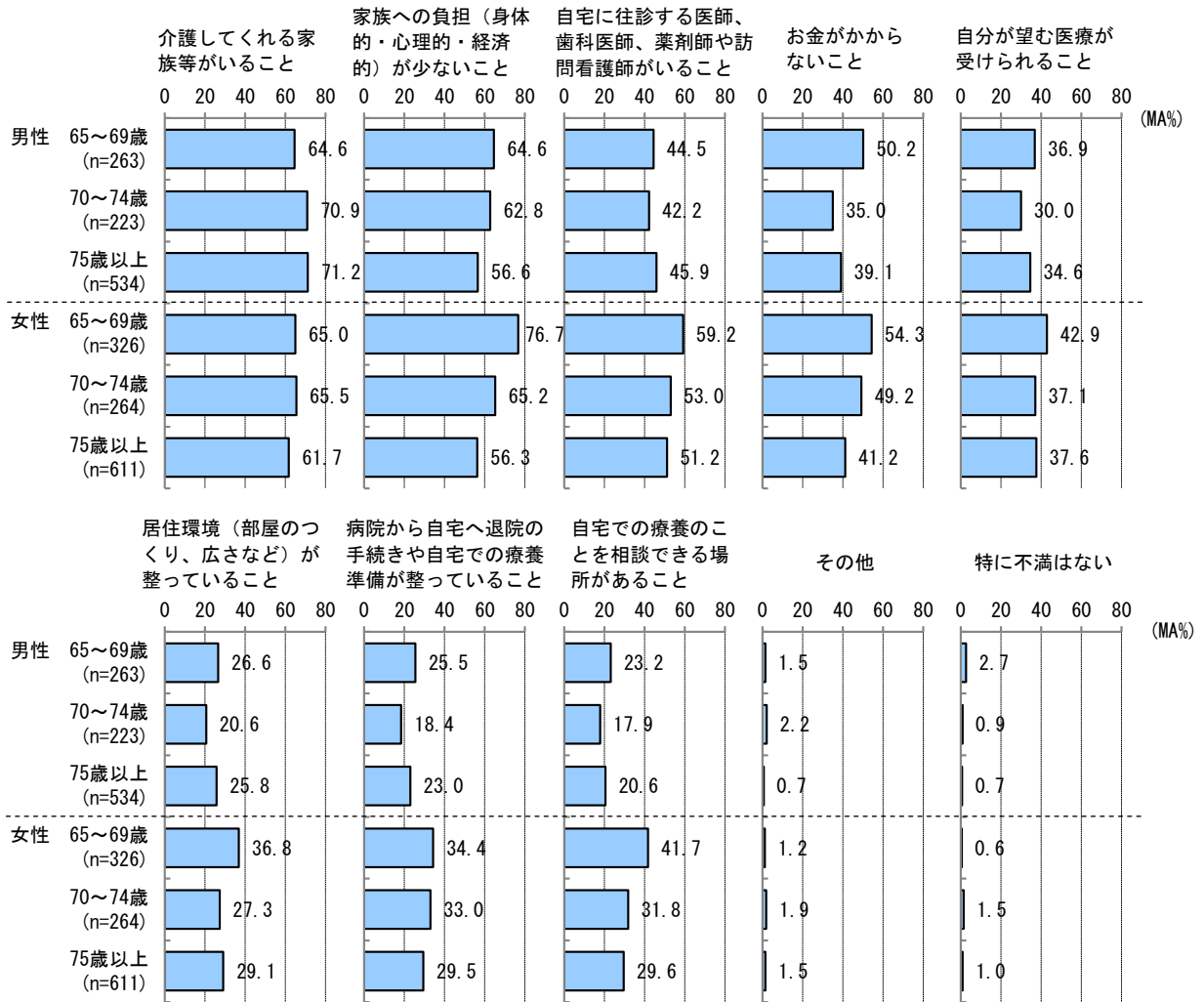
【図表12-2 自宅で療養生活を送るために必要な条件】



自宅で療養生活を送るために必要な条件については、「介護してくれる家族等がいること」が65.4%で最も多く、次いで「家族への負担（身体的・心理的・経済的）が少ないこと」が61.2%、「自宅に往診する医師、歯科医師、薬剤師や訪問看護師がいること」が49.0%となっている。（図表12-2）

性・年齢別でみると、男性はいずれの年代も「介護してくれる家族等がいること」が最も多く、65～69歳は「家族への負担（身体的・心理的・経済的）が少ないこと」（64.6%）も同率で最も多くなっている。女性は、65～69歳では「家族への負担（身体的・心理的・経済的）が少ないこと」（76.7%）が最も多いが、75歳以上では「介護してくれる家族等がいること」が最も多くなっている。（図表12-2-1）

【図表12-2-1 性・年齢別 自宅で療養生活を送るために必要な条件】

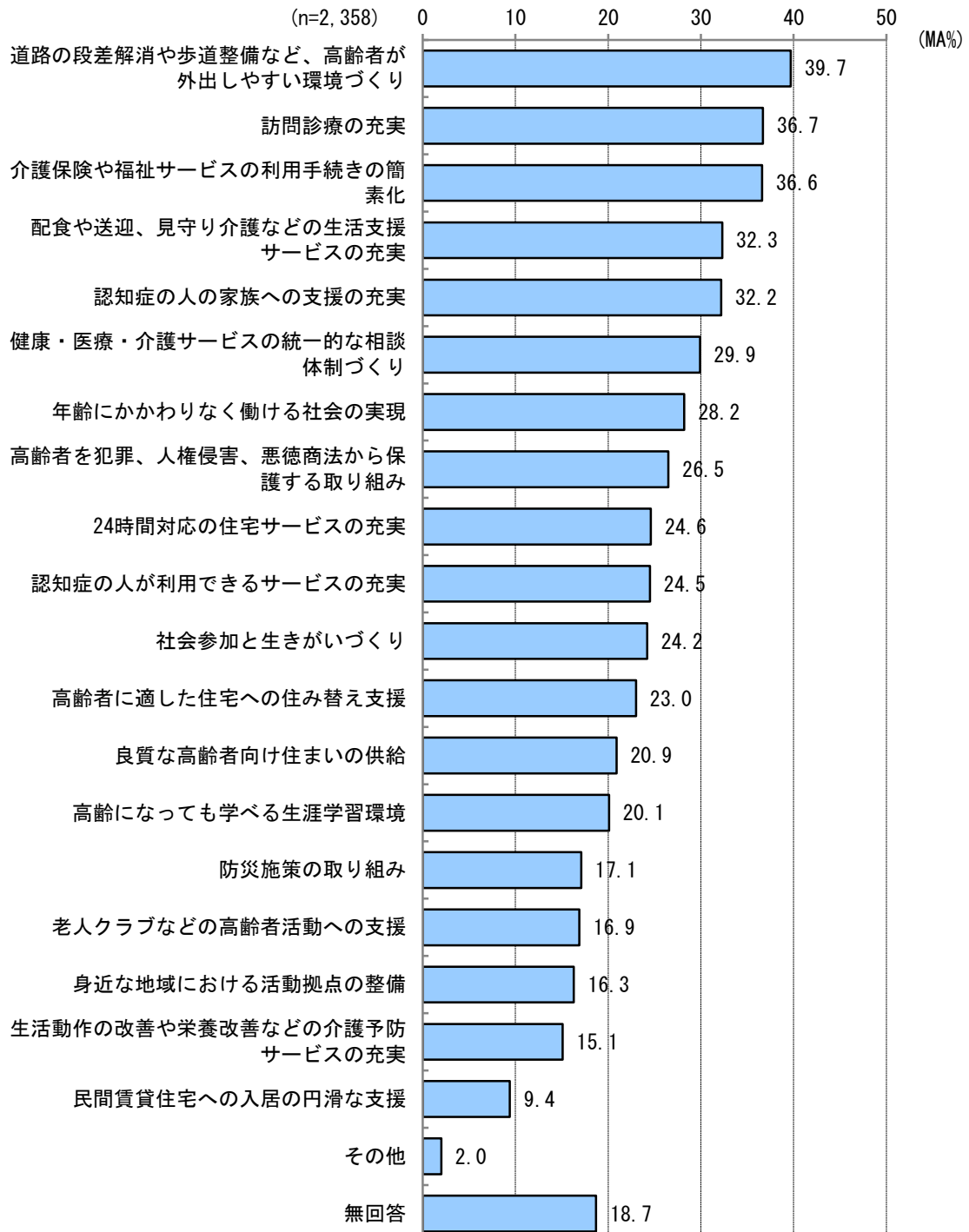


13 高齢者施策全般について

(1) 高齢者人口の増加に対応するために重点を置くべき施策

問10 Q1 今後、高齢者人口の増加に対応するために、茨木市はどのような施策に重点を置くべきだと思いますか。(いくつでも)

【図表13-1 高齢者人口の増加に対応するために重点を置くべき施策】



高齢者人口の増加に対応するために重点を置くべき施策については、「道路の段差解消や歩道整備など、高齢者が外出しやすい環境づくり」が39.7%で最も多く、次いで「訪問診療の

充実」が36.7%、「介護保険や福祉サービスの利用手続きの簡素化」が36.6%となっている。

(図表13-1)

性・年齢別でみると、男性の65～69歳は「年齢にかかわらず働ける社会の実現」が44.1%で最も多く、女性の65～69歳では「介護保険や福祉サービスの利用手続きの簡素化」が50.6%で最も多くなっている。男女とも70歳以上の年代では「道路の段差解消や歩道整備など、高齢者が外出しやすい環境づくり」が最も多く、男性より女性のほうが高い割合となっている。

(図表13-1-1)

【図表13-1-1 性・年齢別 高齢者人口の増加に対応するために重点を置くべき施策】

		(MA%)				
		第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
男性	65～69歳 (n=263)	年齢にかかわらず働ける社会の実現 44.1	配食や送迎、見守り介護などの生活支援サービスの充実 36.9	認知症の人の家族への支援の充実 35.7	道路の段差解消や歩道整備など、高齢者が外出しやすい環境づくり 34.6	訪問診療の充実 32.7
	70～74歳 (n=223)	道路の段差解消や歩道整備など、高齢者が外出しやすい環境づくり 35.0	訪問診療の充実 31.8	介護保険や福祉サービスの利用手続きの簡素化 30.0	認知症の人の家族への支援の充実／年齢にかかわらず働ける社会の実現 29.1	
	75歳以上 (n=534)	道路の段差解消や歩道整備など、高齢者が外出しやすい環境づくり 38.8	訪問診療の充実 35.8	介護保険や福祉サービスの利用手続きの簡素化 30.9	健康・医療・介護サービスの統一的な相談体制づくり 29.6	配食や送迎、見守り介護などの生活支援サービスの充実 28.1
女性	65～69歳 (n=326)	介護保険や福祉サービスの利用手続きの簡素化 50.6	道路の段差解消や歩道整備など、高齢者が外出しやすい環境づくり 45.4	認知症の人の家族への支援の充実 43.3	配食や送迎、見守り介護などの生活支援サービスの充実 37.4	健康・医療・介護サービスの統一的な相談体制づくり 37.1
	70～74歳 (n=264)	道路の段差解消や歩道整備など、高齢者が外出しやすい環境づくり 45.5	介護保険や福祉サービスの利用手続きの簡素化 45.1	訪問診療の充実 39.4	認知症の人の家族への支援の充実 39.0	配食や送迎、見守り介護などの生活支援サービスの充実 38.3
	75歳以上 (n=611)	道路の段差解消や歩道整備など、高齢者が外出しやすい環境づくり 41.6	訪問診療の充実 40.9	介護保険や福祉サービスの利用手続きの簡素化 38.1	配食や送迎、見守り介護などの生活支援サービスの充実 32.1	認知症の人の家族への支援の充実 29.1

人生の最期を過ごしたい場所別でみると、“最期まで自宅で過ごしたい”、“自宅で療養して、必要になれば医療機関に入院したい”では「道路の段差解消や歩道整備など、高齢者が外出しやすい環境づくり」(42.9%)が最も多く、“医療機関に入院したい”、“老人ホームなどの施設に入所したい”では「介護保険や福祉サービスの利用手続きの簡素化」が最も多くなっている。(図表13-1-2)

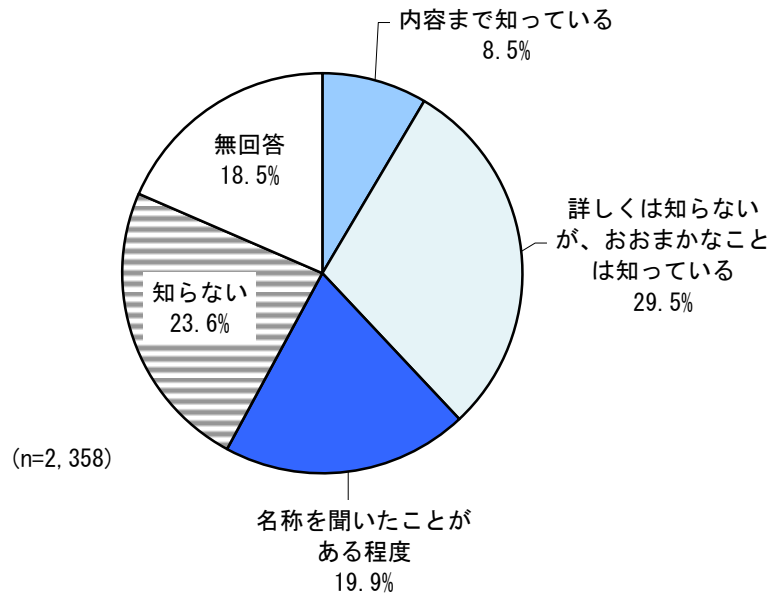
【図表13-1-2 人生の最期を過ごしたい場所別 高齢者人口の増加に対応するために重点を置くべき施策】

	(MA%)				
	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
最期まで自宅で過ごしたい (n=739)	道路の段差解消や歩道整備など、高齢者が外出しやすい環境づくり 42.9	訪問診療の充実 41.8	介護保険や福祉サービスの利用手続きの簡素化 37.1	年齢にかかわらず働く社会の実現 34.1	認知症の人の家族への支援の充実 34.0
自宅で療養して、必要になれば医療機関に入院したい (n=893)	道路の段差解消や歩道整備など、高齢者が外出しやすい環境づくり 48.2	訪問診療の充実 44.1	介護保険や福祉サービスの利用手続きの簡素化 43.1	認知症の人の家族への支援の充実 39.5	配食や送迎、見守り介護などの生活支援サービスの充実 39.4
医療機関に入院したい (n=142)	介護保険や福祉サービスの利用手続きの簡素化 51.4	道路の段差解消や歩道整備など、高齢者が外出しやすい環境づくり 45.1	高齢者に適した住宅への住み替え支援 44.4	訪問診療の充実／配食や送迎、見守り介護などの生活支援サービスの充実 43.0	
老人ホームなどの施設に入所したい (n=130)	介護保険や福祉サービスの利用手続きの簡素化 47.7	配食や送迎、見守り介護などの生活支援サービスの充実 43.1	訪問診療の充実 39.2	道路の段差解消や歩道整備など、高齢者が外出しやすい環境づくり／高齢者に適した住宅への住み替え支援 38.5	
その他 (n=15)	高齢者に適した住宅への住み替え支援／良質な高齢者向け住まいの供給 33.3		認知症の人の家族への支援の充実／高齢者を犯罪、人権侵害、悪徳商法から保護する取り組み 26.7	訪問診療の充実／配食や送迎、見守り介護などの生活支援サービスの充実 20.0	
わからない (n=173)	道路の段差解消や歩道整備など、高齢者が外出しやすい環境づくり 38.7	介護保険や福祉サービスの利用手続きの簡素化 33.5	年齢にかかわらず働く社会の実現 32.9	健康・医療・介護サービスの統合的な相談体制づくり 31.2	配食や送迎、見守り介護などの生活支援サービスの充実 29.5

(2) 成年後見制度の認知度

Q2 あなたは、「成年後見制度」を知っていますか。

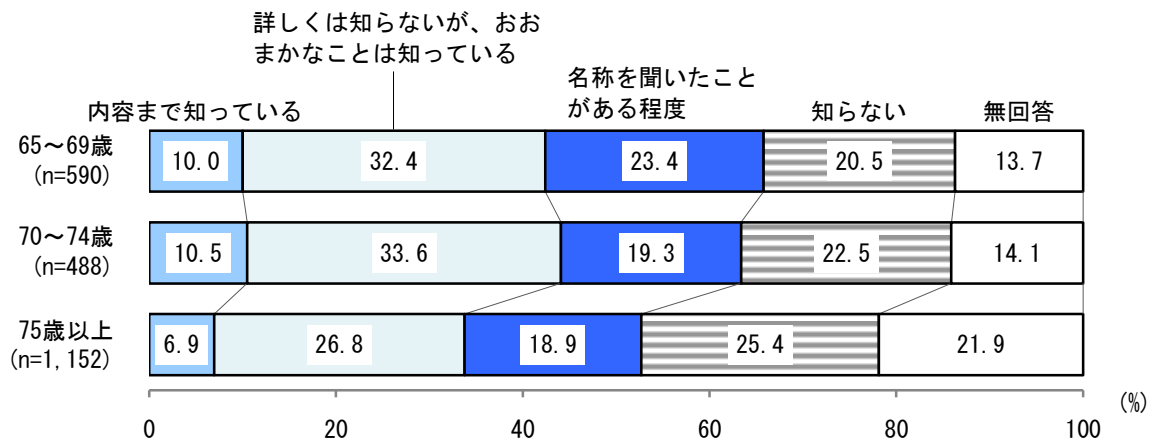
【図表13-2 成年後見制度の認知度】



成年後見制度の認知度については、「詳しくは知らないが、おおまかなことは知っている」が29.5%で最も多く、次いで「知らない」が23.6%、「名称を聞いたことがある程度」が19.9%、「内容まで知っている」が8.5%となっており、周知度（「内容まで知っている」と「詳しくは知らないが、おおまかなことは知っている」、「名称を聞いたことがある程度」をあわせた割合）は57.9%となっている。（図表13-2）

年齢別で見ると、いずれの年代も「詳しくは知らないが、おおまかなことは知っている」が最も多く、周知度は65～69歳（65.8%）で最も高く、75歳以上が52.6%で最も低くなっている。（図表13-2-1）

【図表13-2-1 年齢別 成年後見制度の認知度】

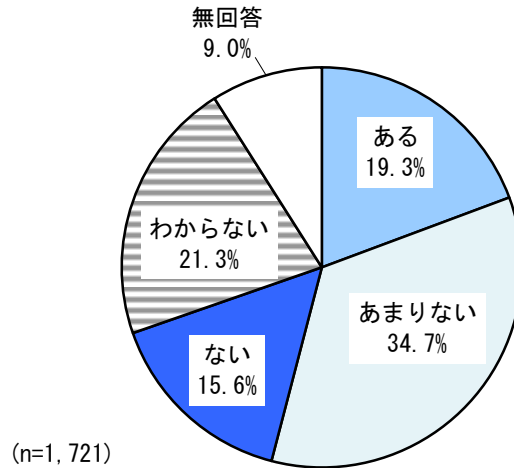


(3) 成年後見制度の関心度

Q2-1【Q2で「1. 内容まで知っている」以外を回答した方に】

あなたは成年後見制度に関心はありますか。

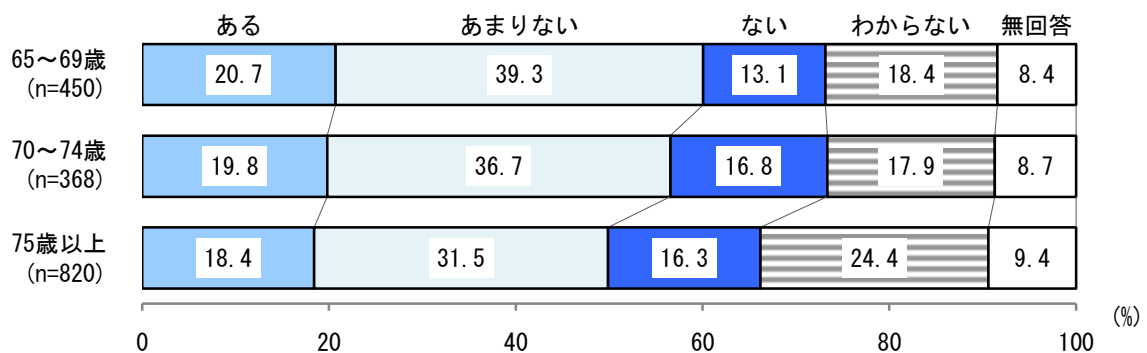
【図表13-3 成年後見制度の関心度】



成年後見制度について、内容まで知っているとは回答した人以外に、成年後見制度の関心度についてたずねると、「あまりない」が34.7%で最も多く、次いで「ある」が19.3%、「ない」が15.6%となっている。(図表13-3)

年齢別でみると、いずれの年代も「あまりない」が最も多く、「ある」は65～69歳(20.7%)で最も高くなっている。(図表13-3-1)

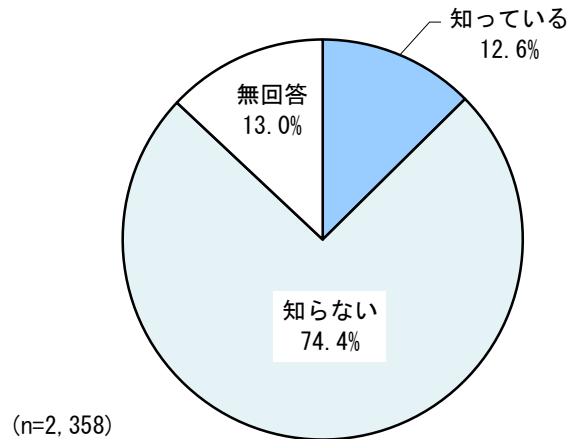
【図表13-3-1 年齢別 成年後見制度の関心度】



(4) はつらつパスポート（みんなで連携編）の認知度

Q3 自宅等で安心して療養生活がおくれるように、市では「はつらつパスポート（みんなで連携編）」を作成し、要介護（要支援）認定等を受けて介護サービス等を利用される人に配布していますが、ご存知ですか。

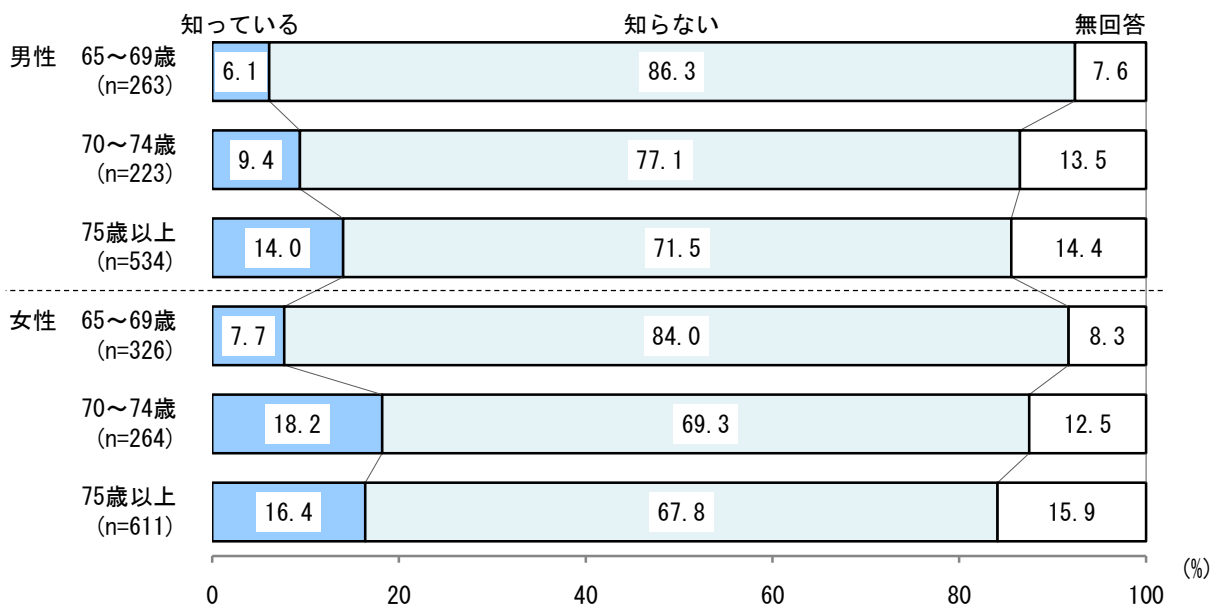
【図表13-4 はつらつパスポート（みんなで連携編）の認知度】



はつらつパスポート（みんなで連携編）の認知度については、「知らない」が74.4%に対し、「知っている」が12.6%となっている。（図表13-4）

性・年齢別でみると、「知っている」は男性では高齢になるほど割合が高く、女性では70～74歳が18.2%で最も高くなっている。（図表13-4-1）

【図表13-4-1 性・年齢別 はつらつパスポート（みんなで連携編）の認知度】



14 自由意見

Q 4 茨木市の保健福祉サービスや介護保険制度などについて、ご意見・ご要望がございましたら、自由にお書きください。なお、ご記入いただきました内容につきましては、個別に対応及び回答はいたしませんので、ご了承ください。

分類	件数
アンケートに関する意見	31
茨木市行政への意見、要望	31
現在利用していないのでわからない、思いつかない、特に要望はない	30
高齢者の外出支援策の充実（市の循環バス等の増便、バス代・タクシー代の補助）、高齢者の運転免許自主返納の特典が必要	29
国民健康保険、介護保険等の経済的負担（高い、安く、料金設定のしかた等）	27
福祉サービスへの要望（各種優遇・福祉サービスの周知・窓口のワンストップ化等）	22
介護予防対策の実施、充実（地域で運動できる場・集える場を増やしてほしい等）	22
福祉サービス、介護保険制度、介護関係者に感謝	19
介護保険制度への不安、要望、充実	18
これからも人の迷惑や行政の世話にならないよう頑張っていく、認知症にならないよう自立・予防に努めたい、元気でいたい	18
自分・家族の健康状態、生活状況	18
医療、医療機関に対する要望	16
保健福祉サービス・介護保険制度・市のサービスが全くわからない、これから勉強したい、広報等で周知してほしい 情報提供を充実させてほしい	16
特別養護老人ホーム等施設の増設、要望（安価、いつでも入所できる施設等）、施設の見学会・情報提供等を希望	15
将来への不安（介護が受けられるか、将来一人になった時の生活等）	11
在宅介護の充実（家族介護者に対する優遇、短期あずかり等）	11
介護認定への不満、要望（結果への不満、認定期間の長さ）	9
一人暮らしの高齢者に対する配慮（見守り対策、訪問等）	9
将来世話になるときがきたらよろしく願います	7
相談体制の充実、相談場所の認知	6
まちなかのバリアフリーに対する要望（段差、階段、道路、歩道等）、防犯カメラ・外灯の設置 若者の自転車のスピードを取り締まってほしい	6
介護職員への不満、要望（増員希望、仕事内容）	5
介護保険を利用しない人には保険料の返金するなど、何かメリットが必要	5
地域福祉への意見（自治会や地域のコミュニティの充実等）	4
高齢者住宅を整備してほしい、情報提供してほしい	3
はつらつパスポートを希望する、はつらつパスポート希望者への説明会を実施してほしい	3
元気な高齢者、働きたい高齢者への支援の充実、高齢者の社会参加の支援	3
利用せねば損、使わな損の面が利用者側にもかなりあるのではないかと。 高齢者も甘えすぎではいけない。	2
生活保護受給者に対する意見	1
老人のための公園の充実	1
家賃援助してほしい	1
高齢者ドライバーの取り締まりをしてほしい	1
視覚障害者への配慮をしてほしい	1
老人福祉センターが利用しにくくなった	1
その他	11
延べ件数	413

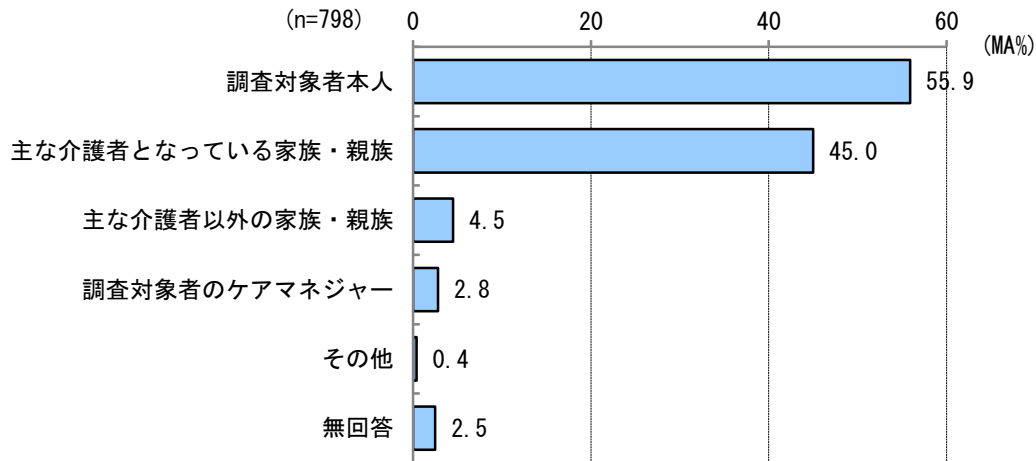
【第3節 在宅介護実態調査】

第3節 在宅介護実態調査

1 回答者の属性

(1) アンケートの記入者

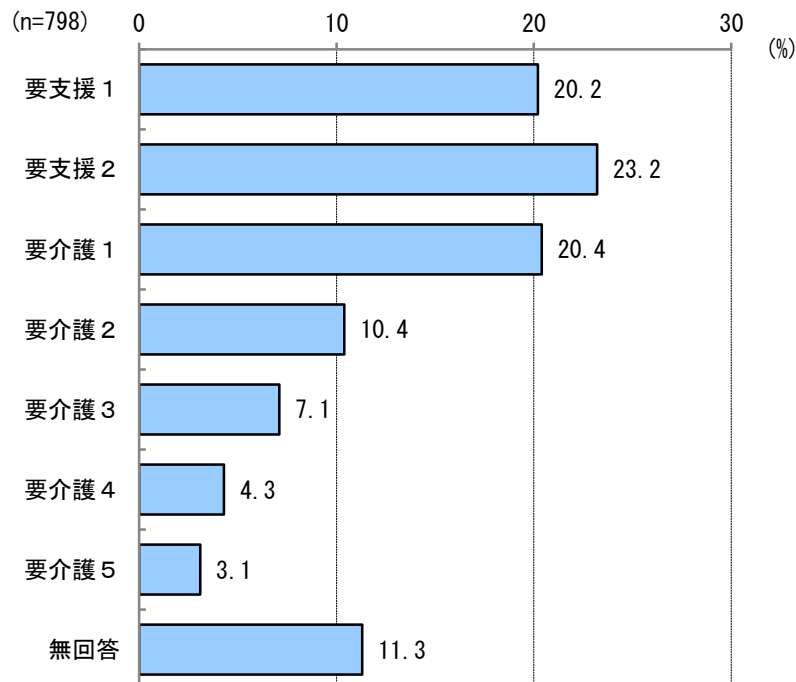
【図表1-1 アンケートの記入者】



アンケート記入者は、「調査対象者本人」が55.9%で最も多く、次いで「主な介護者となっている家族・親族」が45.0%、「主な介護者以外の家族・親族」が4.5%、「調査対象者のケアマネジャー」が2.8%となっている。(図表1-1)

(2) 主な介護者が介護をしている方の要介護度

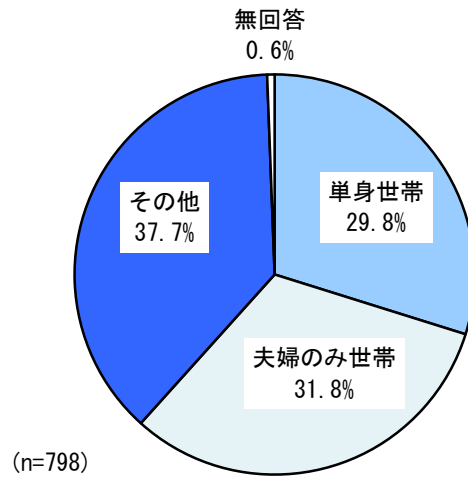
【図表1-2 主な介護者が介護をしている方の要介護度】



主な介護者が介護をしている方の要介護度は、「要支援2」が23.2%で最も多く、次いで「要介護1」(20.4%)、「要支援1」(20.2%)となっている。(図表1-2)

(3) 世帯類型

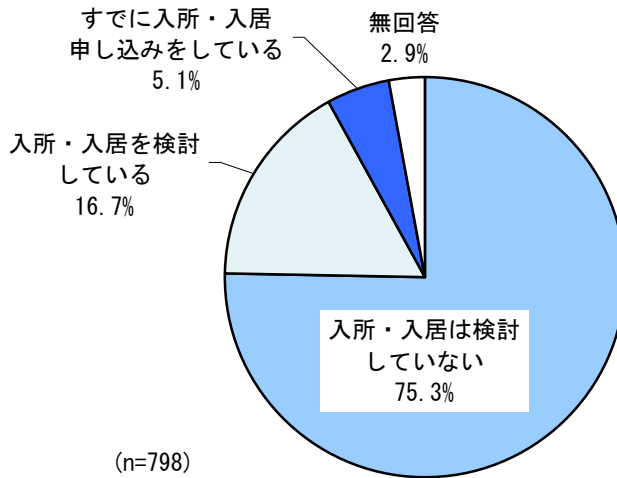
【図表1-3 世帯類型】



調査対象者の世帯類型は、「夫婦のみ世帯」が31.8%、最も多いのは「その他」、次いで「単身世帯」が29.8%となっている。(図表1-3)

(4) 施設等への入所・入居の検討状況

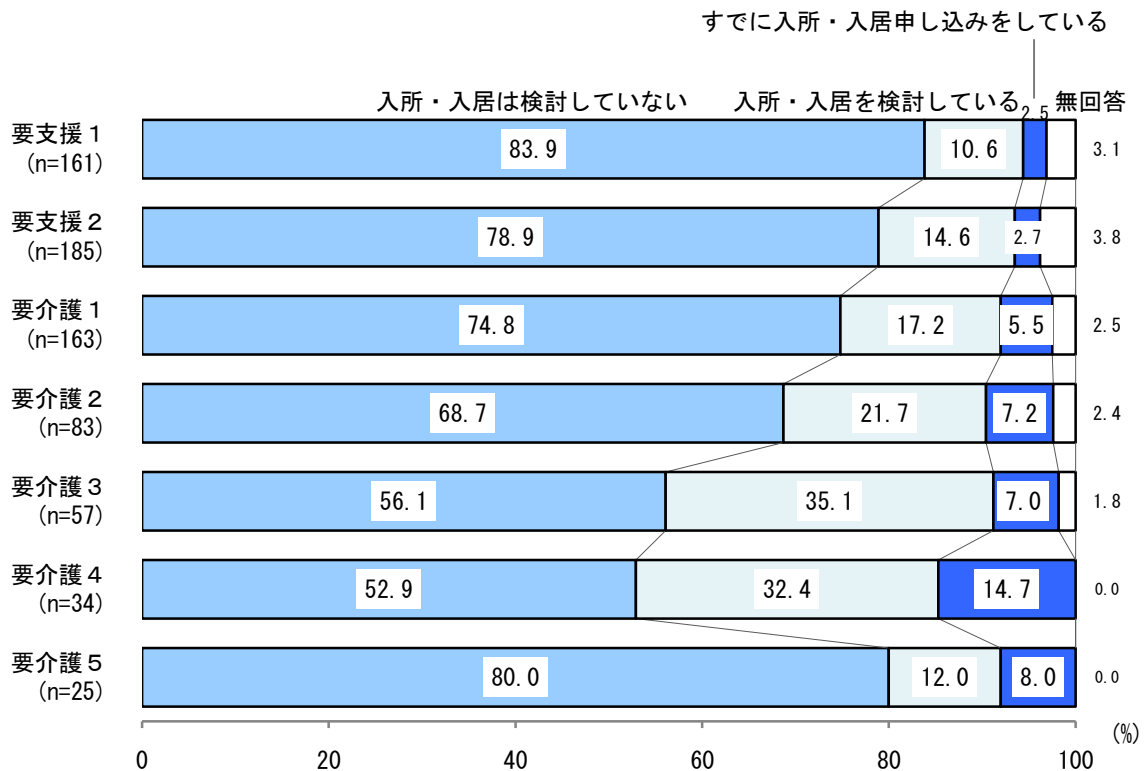
【図表1-4 施設等への入所・入居の検討状況】



施設等への入所・入居の検討状況については、「入所・入居は検討していない」が75.3%で最も多く、次いで「入所・入居を検討している」が16.7%、「すでに入所・入居申し込みをしている」が5.1%となっている。(図表1-4)

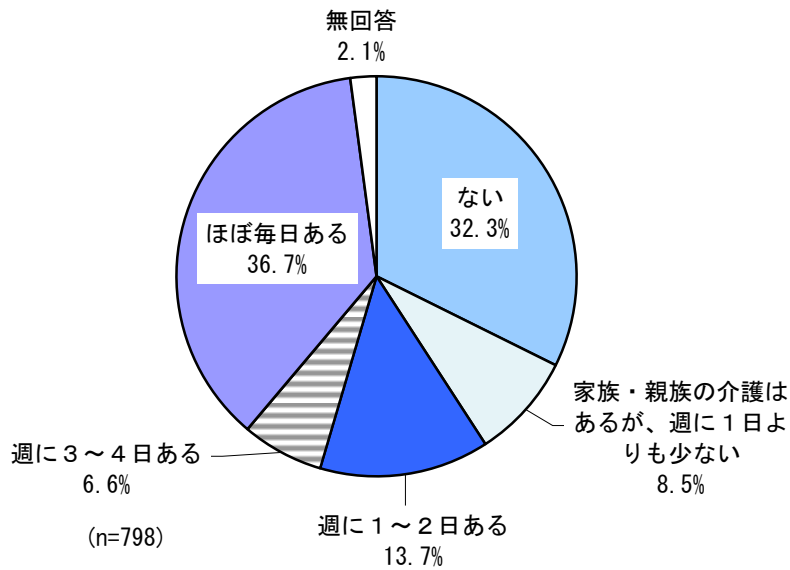
要介護度別でみると、「入所・入居は検討していない」は要介護4が52.9%で最も低く、軽度になるほど高い割合となっている。(図表1-4-1)

【図表1-4-1 要介護度別 施設等への入所・入居の検討状況】



(5) 家族や親族からの週あたりの介護状況

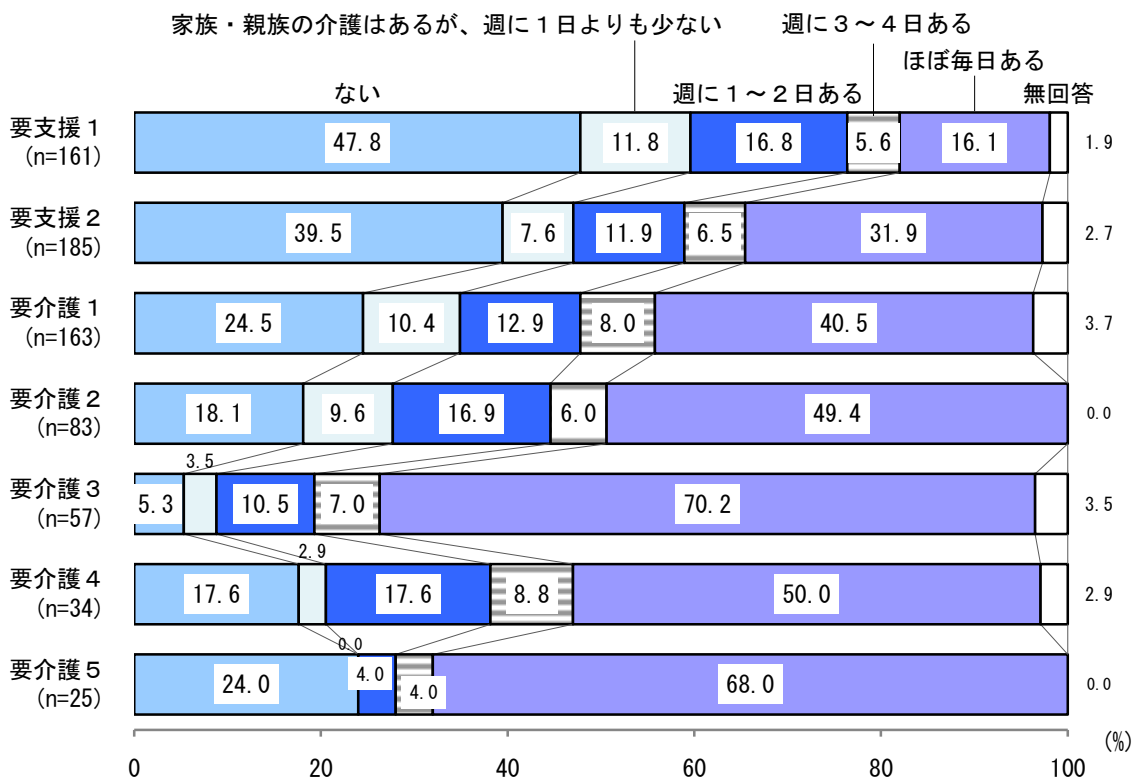
【図表1-5 家族や親族からの週あたりの介護状況】



家族や親族からの週あたりの介護状況については、「ほぼ毎日ある」が36.7%で最も多く、次いで「ない」が32.3%、「週に1～2日ある」が13.7%となっている。「家族・親族の介護はあるが、週に1日より少ない」(8.5%)と「週に1～2日ある」、「週に3～4日ある」(6.6%)、「ほぼ毎日ある」をあわせた『ある』は65.5%となっている。(図表1-5)

要介護度別でみると、「ない」は要支援1(47.8%)で最も高く、要介護3(5.3%)で最も低くなっている。「ほぼ毎日ある」は要介護3(70.2%)で最も高く、『ある』も要介護3が91.2%で最も高くなっている。(図表1-5-1)

【図表1-5-1 要介護度別 家族や親族からの週あたりの介護状況】

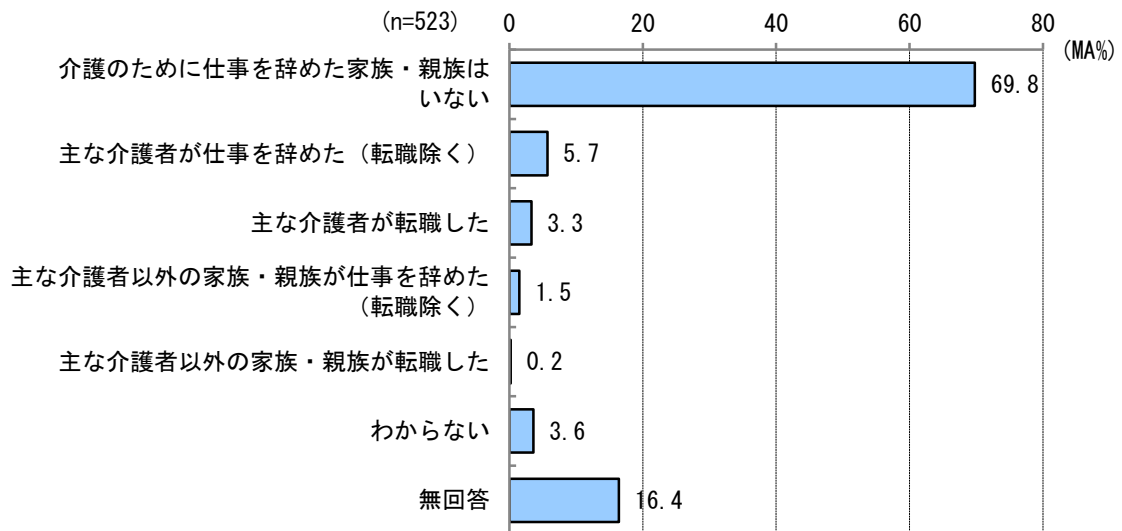


2 主な介護者について

(1) 過去1年間で介護を理由に仕事を辞めた人

問1 ご家族やご親族の中で、ご本人様（認定調査対象者様）の介護を主な理由として、過去1年間に仕事を辞めた方はいますか。（現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません）（複数選択可）

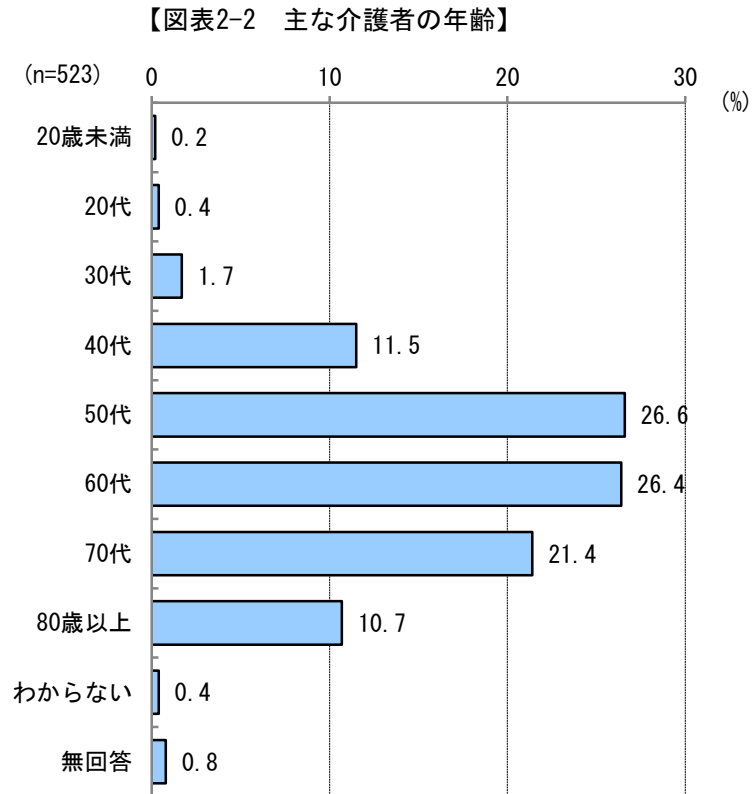
【図表2-1 過去1年間で介護を理由に仕事を辞めた人】



過去1年間で介護を理由に仕事を辞めた人については、「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が69.8%で最も多く、次いで「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」が5.7%、「主な介護者が転職した」が3.3%となっている。（図表2-1）

(2) 主な介護者の年齢

問2 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください。(1つを選択)

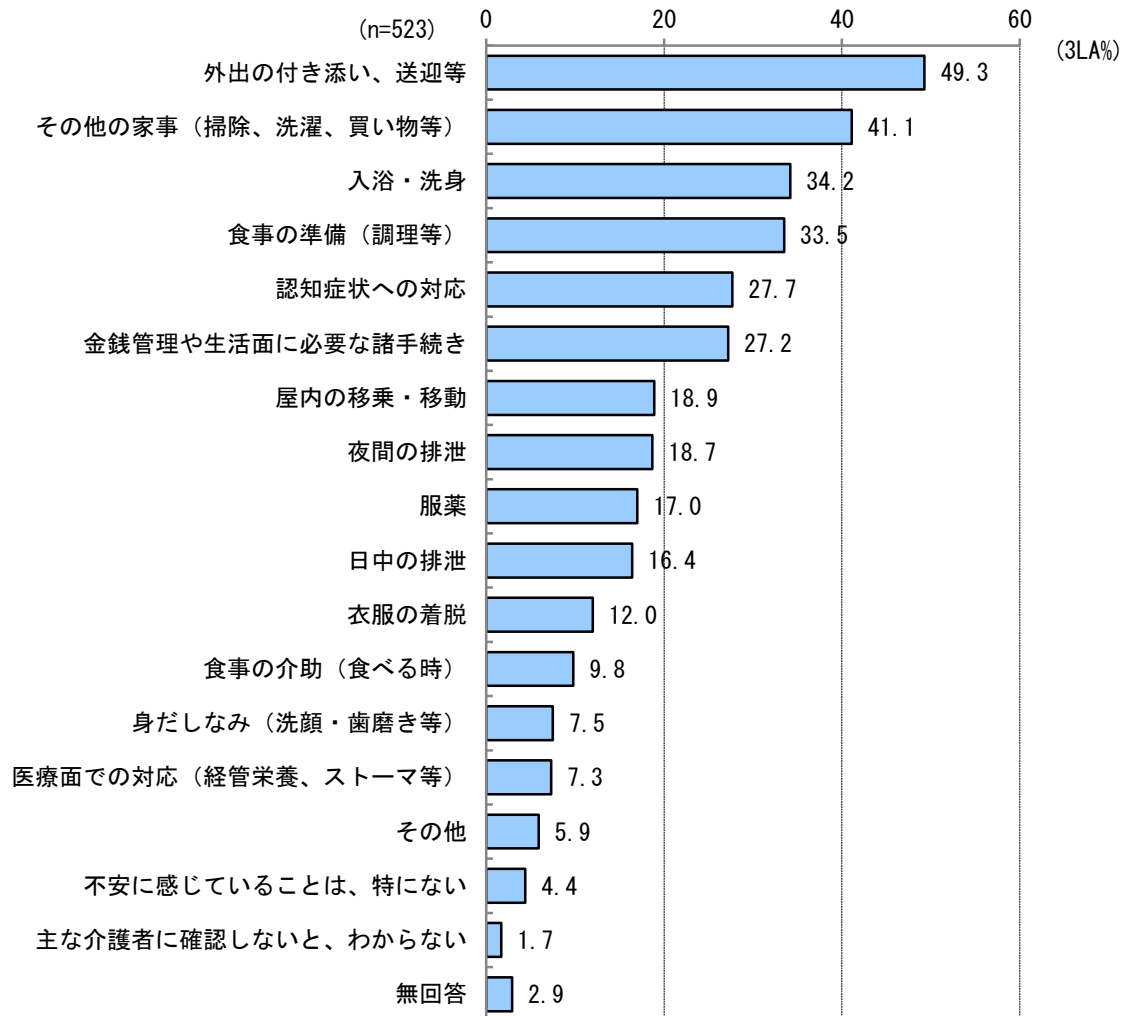


主な介護者の年齢は、「50代」が26.6%で最も多く、次いで「60代」が26.4%、「70代」が21.4%、「40代」が11.5%となっている。(図表2-2)

(3) 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者が不安に感じる介護等

問3 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください。(現状で行っているか否かは問いません)(3つまで選択可)

【図表2-3 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者が不安に感じる介護等】



現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者が不安に感じる介護等については、「外出の付き添い、送迎等」が49.3%で最も多く、次いで「その他の家事 (掃除、洗濯、買い物等)」が41.1%、「入浴・洗身」が34.2%、「食事の準備 (調理等)」が33.5%となっている。(図表2-3)

主な介護者の年齢別でみると、いずれの年代も「外出の付き添い、送迎等」が最も多く、40歳未満では「食事の準備（調理等）」が同率（41.7%）で最も多くなっている。（図表2-3-1）

【図表2-3-1 主な介護者の年齢別 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者が不安に感じる介護等】
(3LA%)

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
40歳未満 (n=12)	外出の付き添い、送迎等／食事の準備（調理等） 41.7		その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）／認知症状への対応／金銭管理や生活面に必要な諸手続き／日中の排泄 25.0		
40代 (n=60)	外出の付き添い、送迎等 56.7	その他の家事（掃除、洗濯、買い物等） 40.0	入浴・洗身 33.3	食事の準備（調理等） 31.7	認知症状への対応／屋内の移乗・移動 26.7
50代 (n=139)	外出の付き添い、送迎等 43.9	その他の家事（掃除、洗濯、買い物等） 43.2	食事の準備（調理等） 36.7	認知症状への対応 33.8	入浴・洗身 31.7
60代 (n=138)	外出の付き添い、送迎等 44.9	入浴・洗身 38.4	その他の家事（掃除、洗濯、買い物等） 37.7	食事の準備（調理等） 31.2	夜間の排泄 30.4
70歳以上 (n=168)	外出の付き添い、送迎等 56.0	その他の家事（掃除、洗濯、買い物等） 43.5	入浴・洗身 34.5	食事の準備（調理等） 32.7	金銭管理や生活面に必要な諸手続き 28.6

働きながら介護を続けることの意向別でみると、続けている人では「外出の付き添い、送迎等」（47.5%）が最も多く、続けていくのは難しい人では「認知症状への対応」（51.5%）が最も多くなっている。（図表2-3-2）

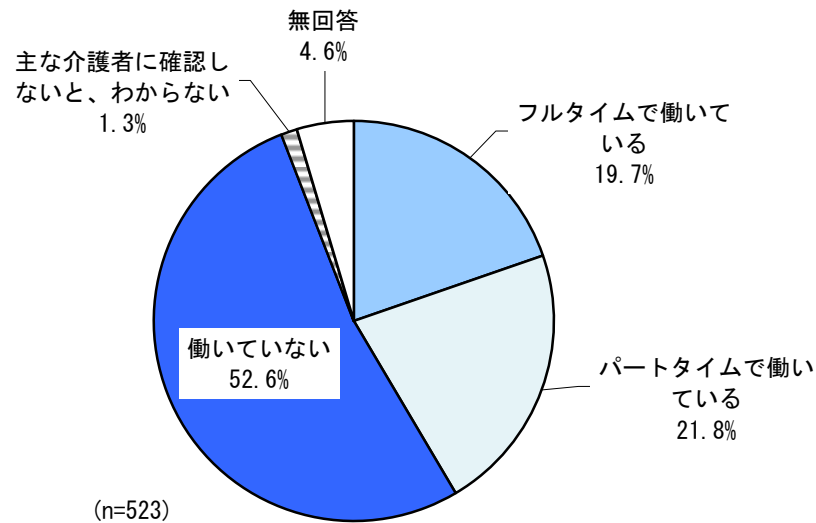
【図表2-3-2 働きながら介護を続けることの意向別 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者が不安に感じる介護等】
(3LA%)

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
続けていける (n=158)	外出の付き添い、送迎等 47.5	その他の家事（掃除、洗濯、買い物等） 39.9	入浴・洗身 32.3	食事の準備（調理等） 31.0	認知症状への対応 27.2
続けていくのは難しい (n=33)	認知症状への対応 51.5	外出の付き添い、送迎等 45.5	その他の家事（掃除、洗濯、買い物等） 39.4	入浴・洗身 39.4	食事の準備（調理等） 39.4

(4) 主な介護者の現在の勤務形態

問4 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください。(1つを選択)

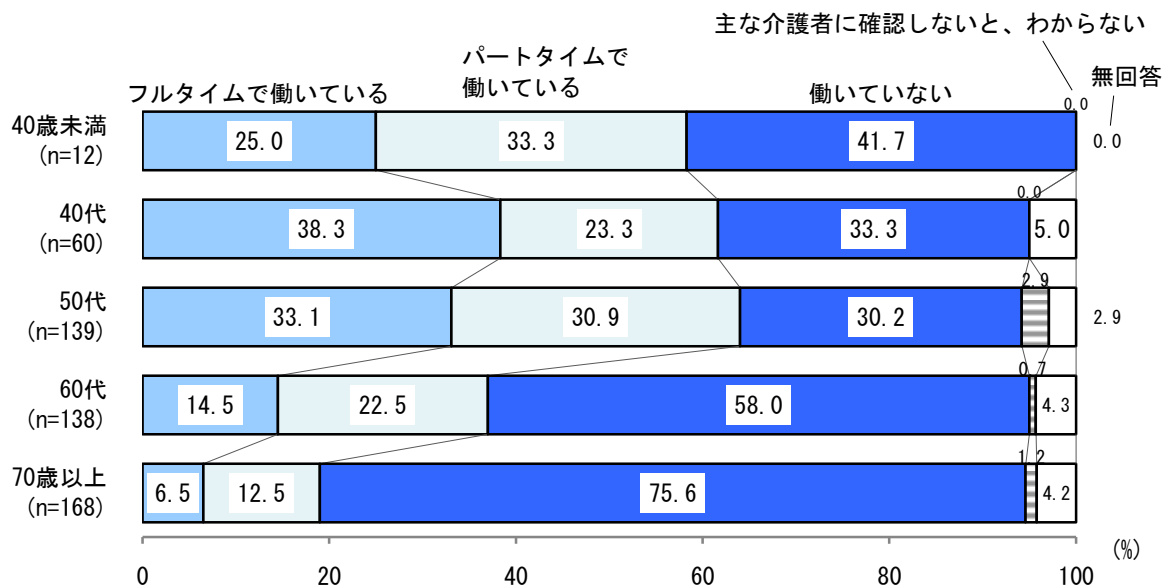
【図表2-4 主な介護者の現在の勤務形態】



主な介護者の現在の勤務形態は、「働いていない」が52.6%で最も多く、次いで「パートタイムで働いている」が21.8%、「フルタイムで働いている」が19.7%となっている。(図表2-4)

主な介護者の年齢別でみると「フルタイムで働いている」は40代が38.3%で最も高く、次いで50代(33.1%)となっている。60代以上の年代は「働いていない」が過半数を占めている。(図表2-4-1)

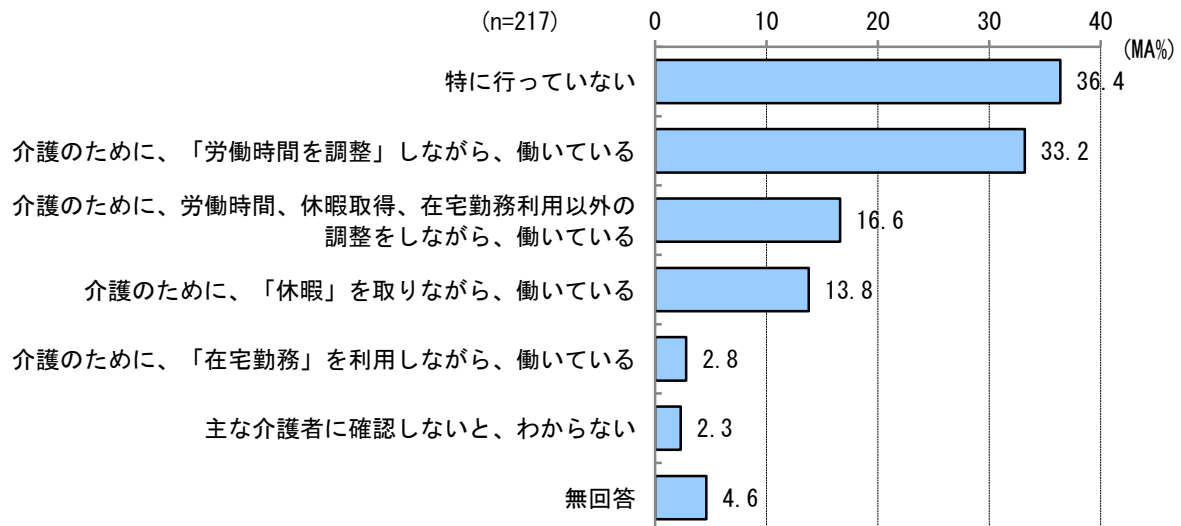
【図表2-4-1 主な介護者の年齢別 主な介護者の現在の勤務形態】



(5) 介護をするにあたって、調整している働き方

問5 問4で「1.」「2.」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか。(複数選択可)

【図表2-5 主な介護者の現在の勤務形態】

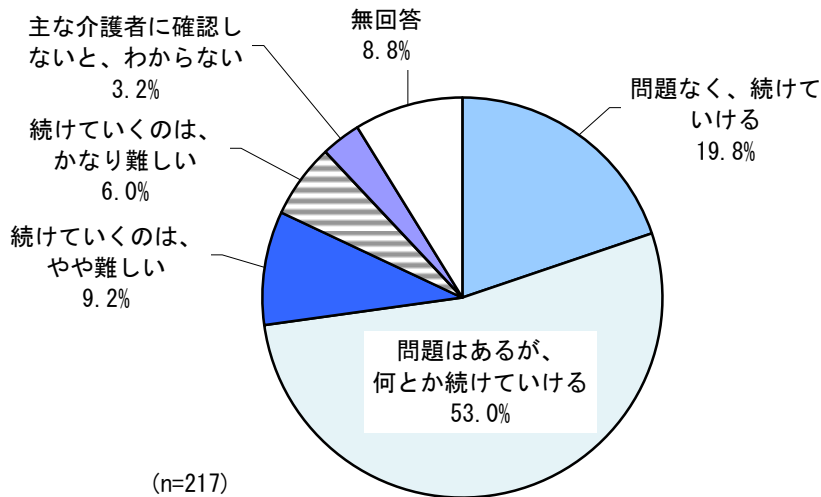


主な介護者がフルタイムまたはパートタイムで働いていると回答した人に、介護をするにあたって、調整している働き方についてたずねると、「特に行っていない」が36.4%で最も多く、次いで「介護のために、「労働時間を調整」しながら、働いている」が33.2%、「介護のために、左記以外の調整をしながら、働いている」が16.6%、「介護のために、「休暇」を取りながら、働いている」が13.8%となっている。(図表2-5)

(6) 働きながら介護を続けることの意向

問6 問4で「1.」「2.」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか。(1つを選択)

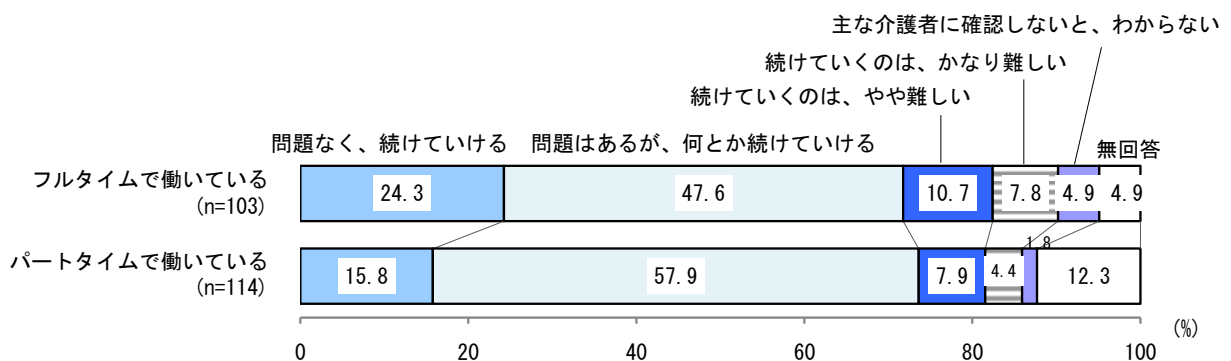
【図表2-6 働きながら介護を続けることの意向】



介護をするにあたって、働き方の調整等を行っていない、または労働時間を調整しながら働いていると回答した人に、働きながら介護を続けることの意向についてたずねると、「問題はあるが、何とか続けていける」が53.0%で最も多く、次いで「問題なく、続けていける」が19.8%、「続けていくのは、やや難しい」が9.2%となっている。(図表2-6)

主な介護者の現在の勤務形態別でみると、フルタイム、パートタイムにかかわらず「問題はあるが、何とか続けていける」が最も多く、「問題なく、続けていける」はパートタイムで働いている人(15.8%)よりフルタイムで働いている人のほうが8.5ポイント高くなっている。(図表2-6-1)

【図表2-6-1 主な介護者の現在の勤務形態別 働きながら介護を続けることの意向】



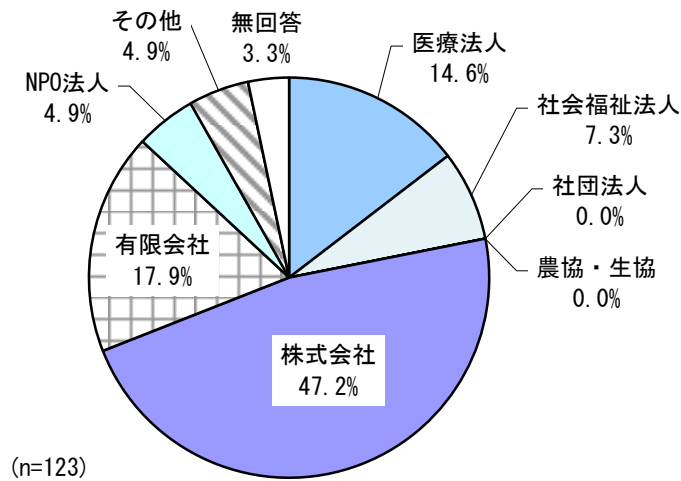
【第 4 節 介護保険事業者調査】

第4節 介護保険事業者調査

1 法人の概要

(1) 法人種別

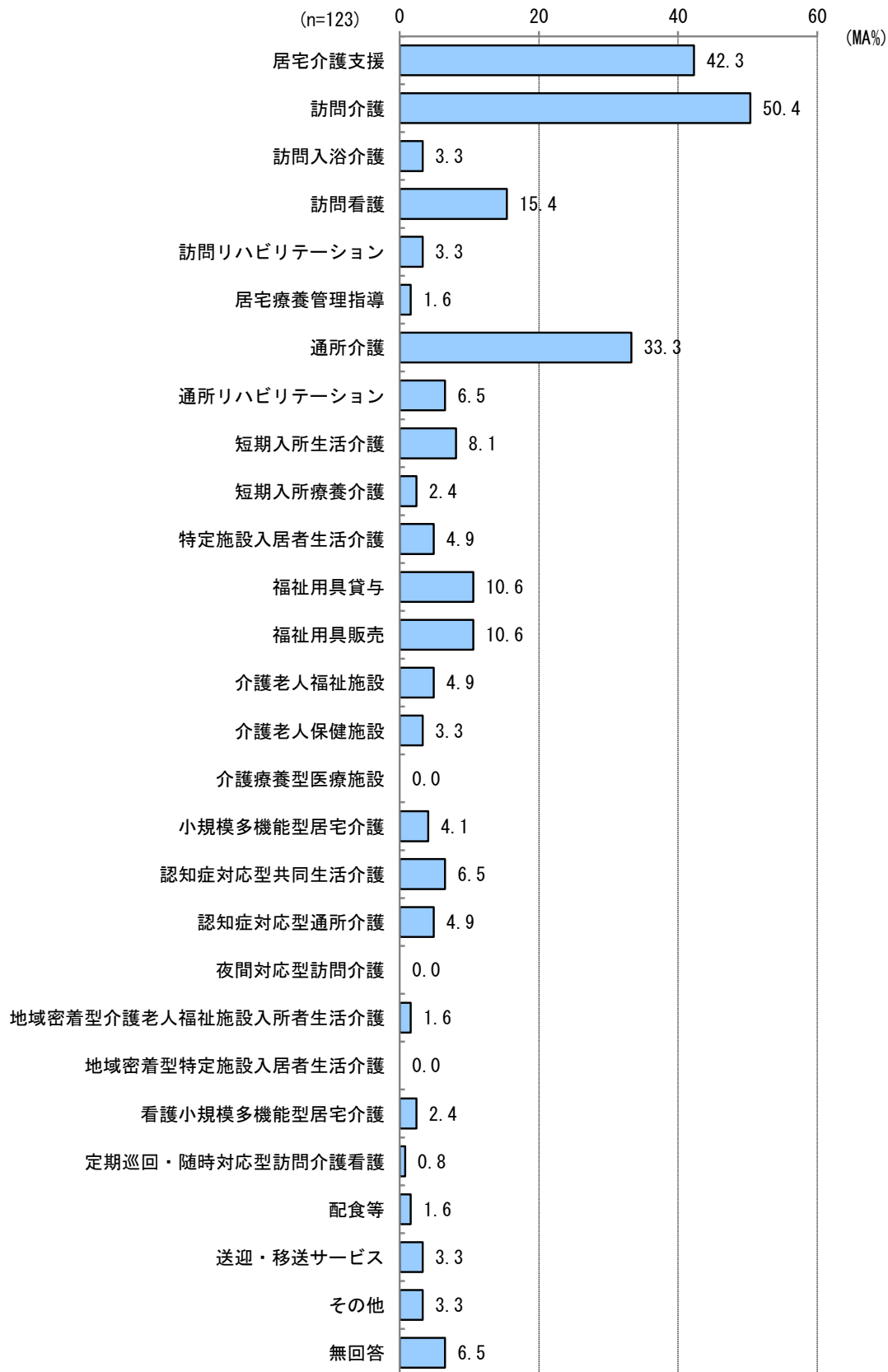
【図表1-1 法人種別】



法人種別は、「株式会社」が47.2%で最も多く、次いで「有限会社」が17.9%、「医療法人」が14.6%となっている。(図表1-1)

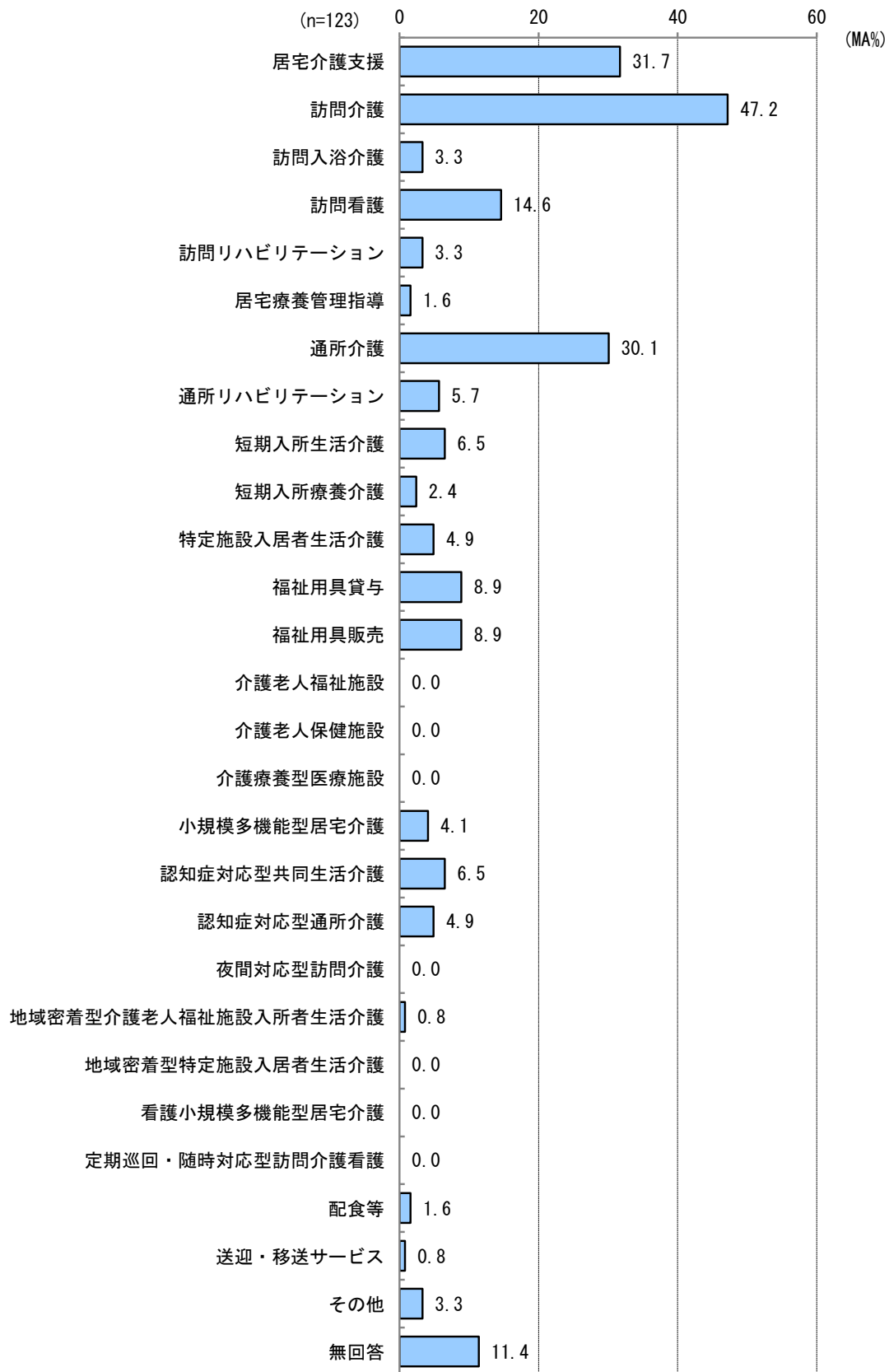
(2) 現在提供しているサービス

【図表1-2 現在提供している介護サービス】



現在提供している介護サービスは、「訪問介護」が50.4%で最も多く、次いで「居宅介護支援」が42.3%、「通所介護」が33.3%となっている。(図表1-2)

【図表1-3 現在提供している予防サービス】



現在提供している予防サービスは、「訪問介護」が47.2%で最も多く、次いで「居宅介護支援」が31.7%、「通所介護」が30.1%となっている。(図表1-3)

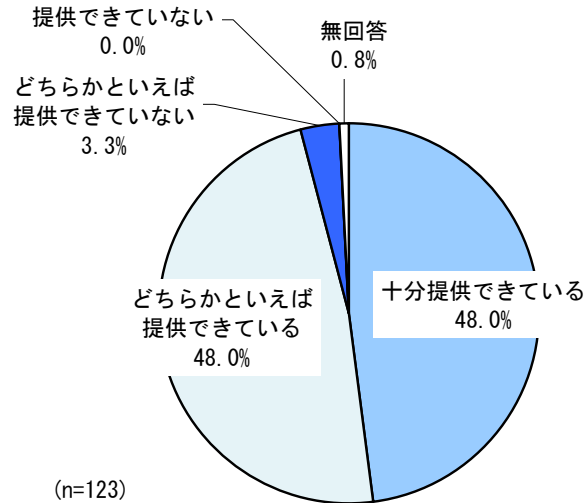
2 サービス提供に対する自己評価と質向上のための支援について

(1) サービス提供に対する自己評価

問3 サービス提供に対する自己評価について

全体的にサービスは利用者のニーズに応じて提供されていると思いますか。(〇は1つ)

【図表2-1 サービス提供に対する自己評価】

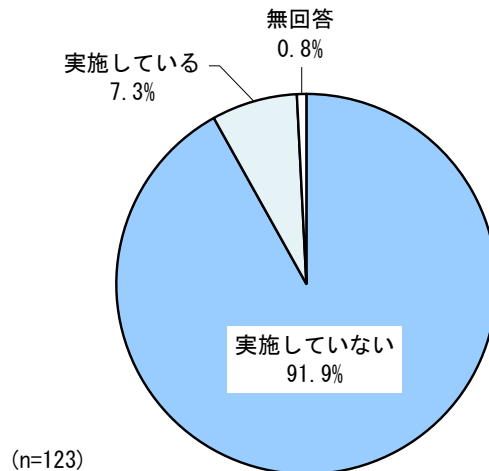


利用者の希望どおりのサービス提供状況については、「十分提供できている」、「どちらかといえば提供できている」がそれぞれ48.0%で最も多く、次いで「どちらかといえば提供できていない」が3.3%となっている。(図表2-1)

(2) 介護保険サービス外の事業の実施状況

問4 貴法人で宿泊サービス付きの通所介護など介護保険サービス外の事業を実施していますか。(〇は1つ)

【図表2-2 介護保険サービス外の事業の実施状況】

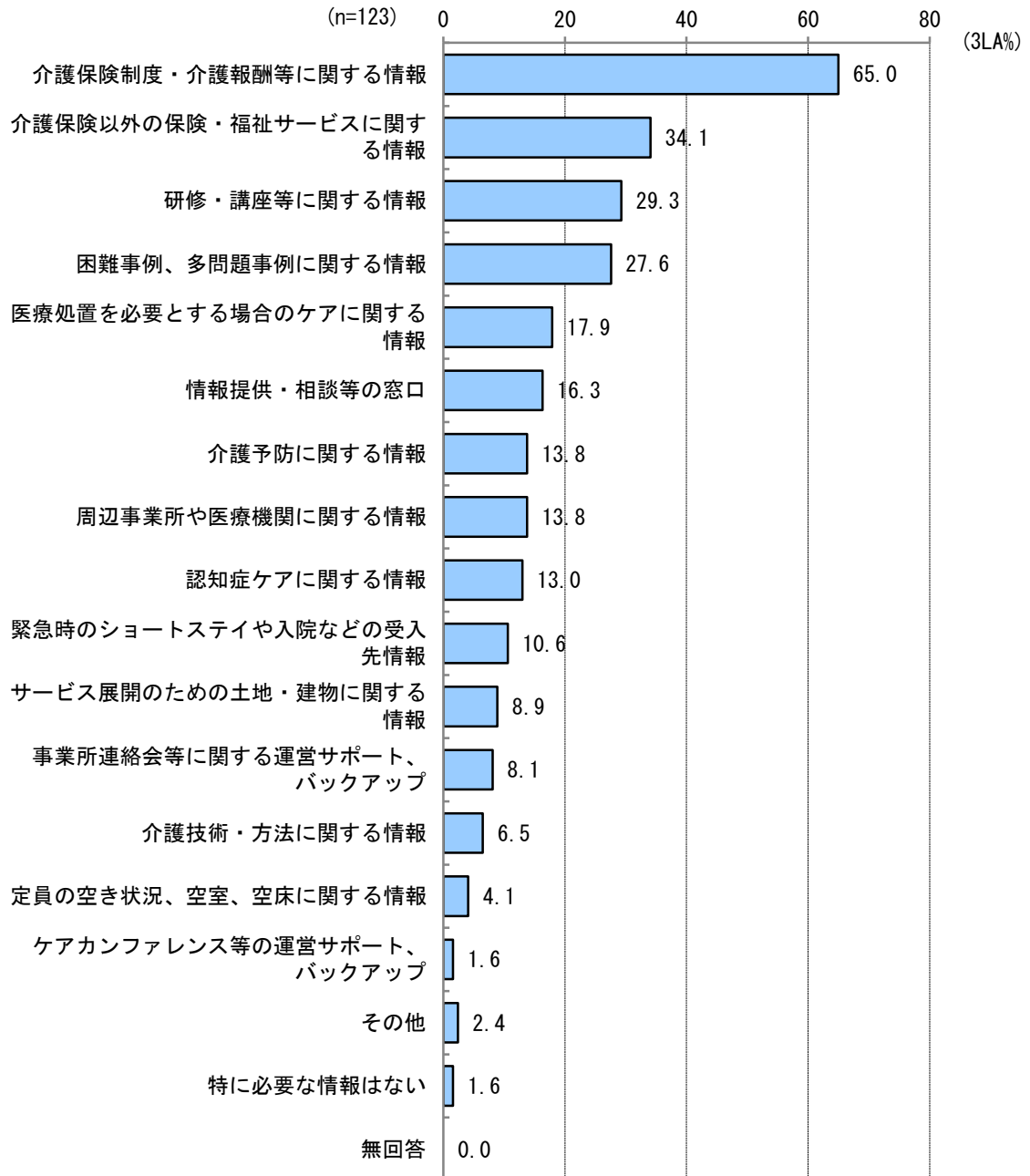


介護保険サービス外の事業の実施状況は、「実施していない」が91.9%に対し、「実施している」が7.3%となっている。(図表2-2)

(3) 運営やサービス向上のために必要な情報や支援

問5 貴法人の運営やサービスの向上のために、どのような情報や支援が必要ですか。以下から最も必要と考えられる情報・支援を選択してください。(〇は3つまで)

【図表2-3 運営やサービス向上のために必要な情報や支援】



運営やサービス向上のために必要な情報や支援については、「介護保険制度・介護報酬等に関する情報」が65.0%で最も多く、次いで「介護保険以外の保険・福祉サービスに関する情報」が34.1%、「研修・講座等に関する情報」が29.3%となっている。(図表2-3)

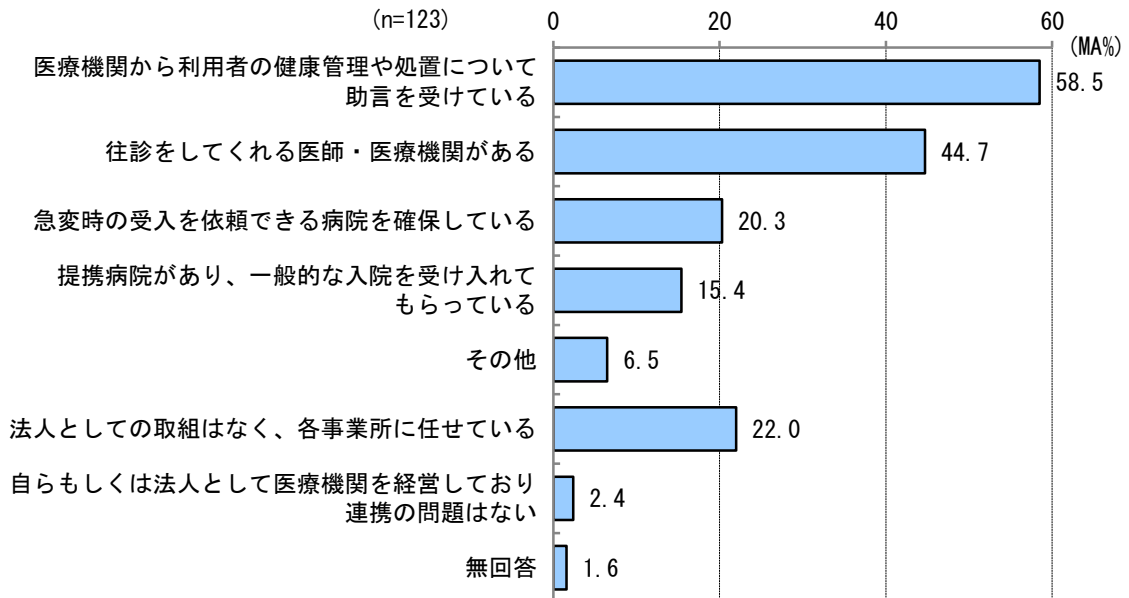
3 医療との連携について

(1) 医療機関との連携について取り組んでいること

問6 医療との連携について

(1) 医療機関との連携について、法人として取り組んでいることがありますか。

【図表3-1 医療機関との連携について取り組んでいること】

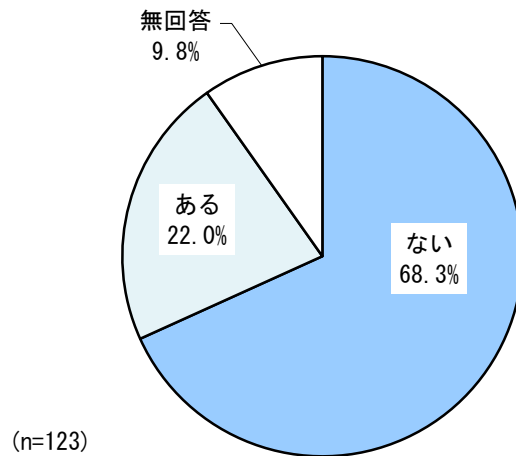


医療機関との連携で法人として取り組んでいることについては、「医療機関から利用者の健康管理や処置について助言を受けている」が58.5%で最も多く、次いで「往診をしてくれる医師・医療機関がある」が44.7%、「急変時の受入を依頼できる病院を確保している」が20.3%、「提携病院があり、一般的な入院を受け入れてもらっている」が15.4%となっている。(図表3-1)

(2) 医療機関との連携について困難に感じること

(2) 医療機関との連携について、困難に感じることはありますか。(〇は1つ)

【図表3-2 医療機関との連携について困難に感じること】

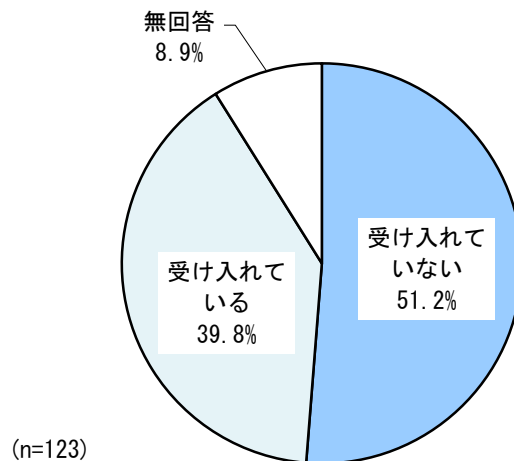


医療機関との連携で困難に感じることは、「ない」が68.3%に対し、「ある」が22.0%となっている。(図表3-2)

(3) 医療ニーズの高い利用者の受入状況

(3) 医療ニーズの高い利用者を受け入れていますか。(〇は1つ)

【図表3-3 医療ニーズの高い利用者の受入状況】



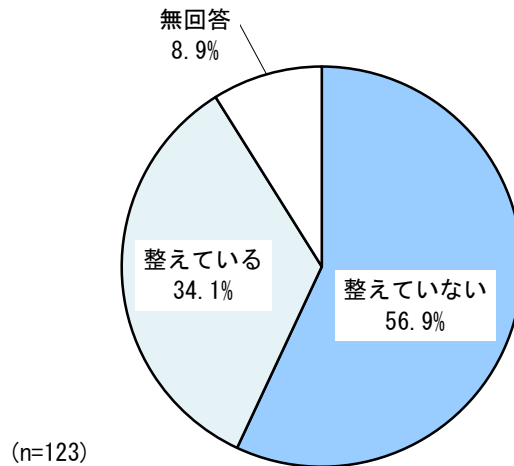
医療ニーズの高い利用者の受入状況については、「受け入れていない」が51.2%に対し、「受け入れている」が39.8%となっている。(図表3-3)

(4) 看取りの体制の整備状況

(4) 看取り^{*}の体制を整備していますか。(○は1つ)

(※ここでいう看取りとは、看取り加算の算定にかかわらず、終末期のケアに係わることを指します。)

【図表3-4 看取りの体制の整備状況】

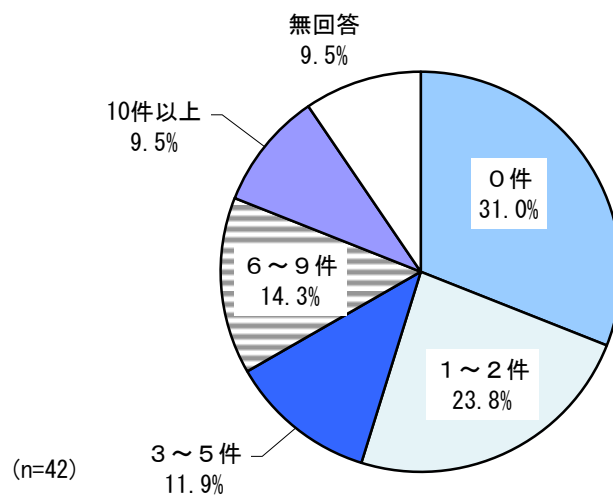


看取りの体制の整備状況については、「整えていない」が56.9%に対し、「整えている」が34.1%となっている。(図表3-4)

(5) 施設（事業所）での看取りに係わった実人数

(5) 平成27年4月から平成28年3月末までの施設（事業所）での看取りに係わった実人数

【図表3-5 施設（事業所）での看取りに係わった実人数】



施設（事業所）での看取りに係わった実人数は、「0件」が31.0%で最も多く、次いで「1～2件」が23.8%、「6～9件」が14.3%となっている。(図表3-5)

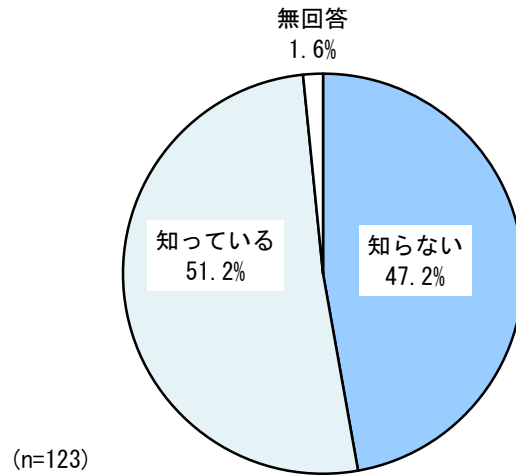
4 はつらつパスポートについて

(1) はつらつパスポートの認知度

問7 はつらつパスポート～みんなで連携編～について

(1) はつらつパスポート～みんなで連携編～を知っていますか。(〇は1つ)

【図表4-1 はつらつパスポートの認知度】

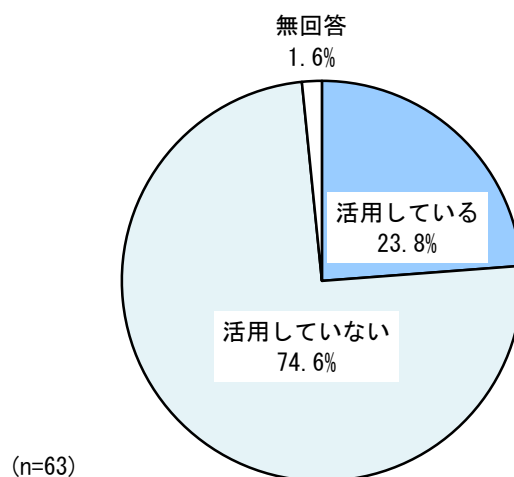


はつらつパスポート～みんなで連携編～の認知度は、「知っている」が51.2%に対し、「知らない」が47.2%となっている。(図表4-1)

(2) はつらつパスポートの活用状況

(2) はつらつパスポートを活用していますか。(〇は1つ)

【図表4-2 はつらつパスポートの活用状況】



はつらつパスポートを知っていると回答した事業者に、はつらつパスポートの活用状況についてたずねると、「活用していない」が74.6%で、「活用している」は23.8%となっている。(図表4-2)

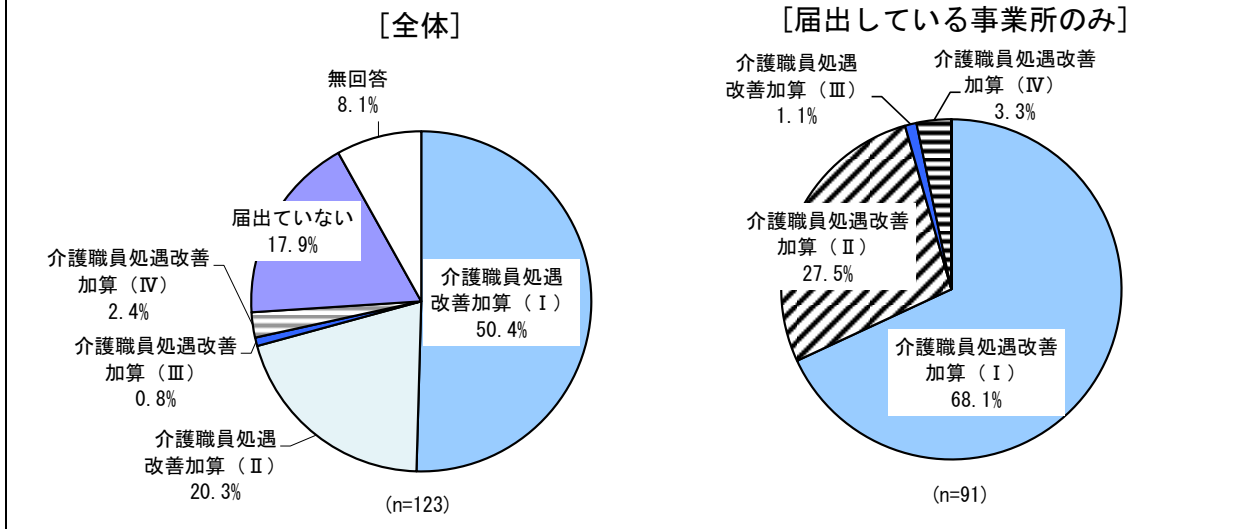
5 職員の処遇改善に向けた取り組みについて

(1) 介護職員処遇改善加算の算定の届出状況

問8 職員の処遇改善に向けた取組について

(1) 介護職員処遇改善加算の算定を届出していますか。(○は1つ)

【図表5-1 介護職員処遇改善加算の算定の届出状況】

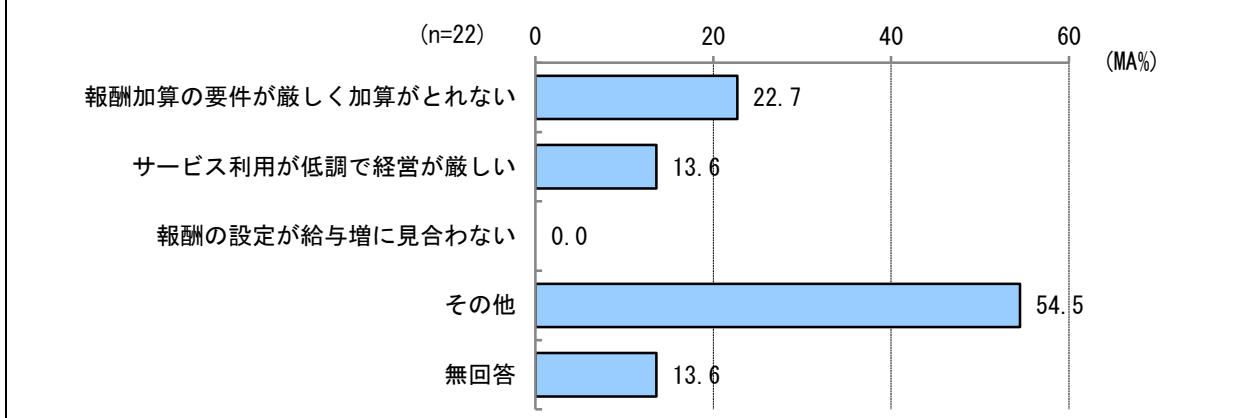


介護職員処遇改善加算の算定の届出状況は、「届出していない」が17.9%で、届出している事業所は73.9%となっている。そのうち、「介護職員処遇改善加算(Ⅰ)」が50.4% (届出している事業所では68.1%)で最も多く、次いで「介護職員処遇改善加算(Ⅱ)」が20.3%(同27.5%)となっている。(図表5-1)

(2) 介護職員処遇改善加算の算定の届出を行わない理由

(2) 介護職員処遇改善加算の算定の届出を行わない理由は。(○はいくつでも)

【図表5-2 介護職員処遇改善加算の算定の届出を行わない理由】



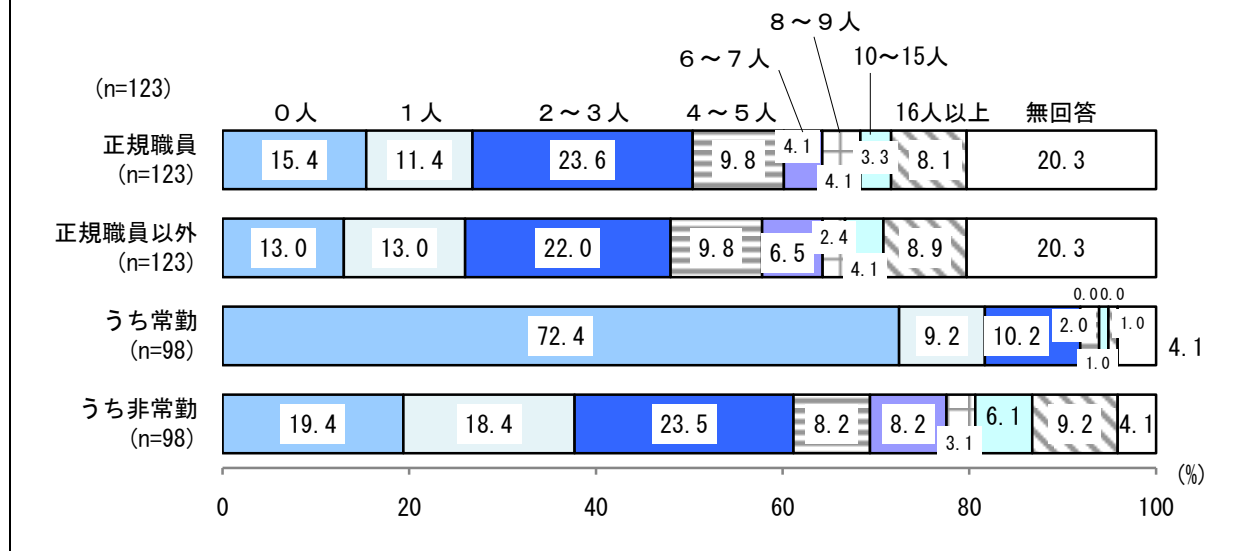
介護職員処遇改善加算の算定の届出を行わない理由については、「報酬加算の要件が厳しく加算がとれない」が22.7%で最も多く、次いで「サービス利用が低調で経営が厳しい」が13.6%となっている。「その他」(12件)は「対象外サービス」や「介護職員いない」といった記入が多い。(図表5-2)

(3) 平成27年度における介護職員の採用人数

問9 職員の採用等の状況について（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

(1) 平成27年度における介護職員の採用状況について

【図表5-3 平成27年度における介護職員の採用人数】



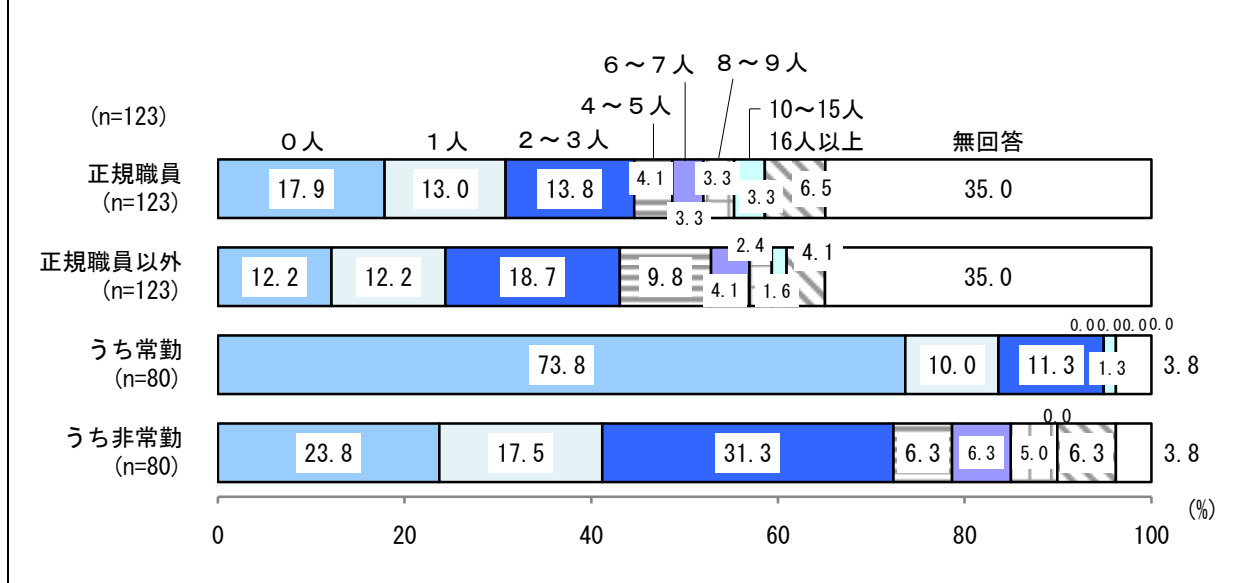
平成27年度における介護職員の採用人数については、正規職員では「2～3人」が23.6%で最も多く、次いで「0人」が15.4%となっている。

正規職員以外では、「2～3人」が22.0%で最も多く、次いで「0人」と「1人」がともに13.0%で続いている。正規職員以外のうち、常勤は「0人」が72.4%で最も多く、非常勤は「2～3人」が23.5%で最も多く、次いで「0人」が19.4%、「1人」が18.4%となっている。（図表5-3）

(4) 平成27年度における介護職員の離職人数

(2) 平成27年度における介護職員の離職状況について

【図表5-4 平成27年度における介護職員の離職人数】



平成27年度における介護職員の離職人数については、正規職員では「0人」が17.9%で最も多く、次いで「2~3人」が13.8%となっている。

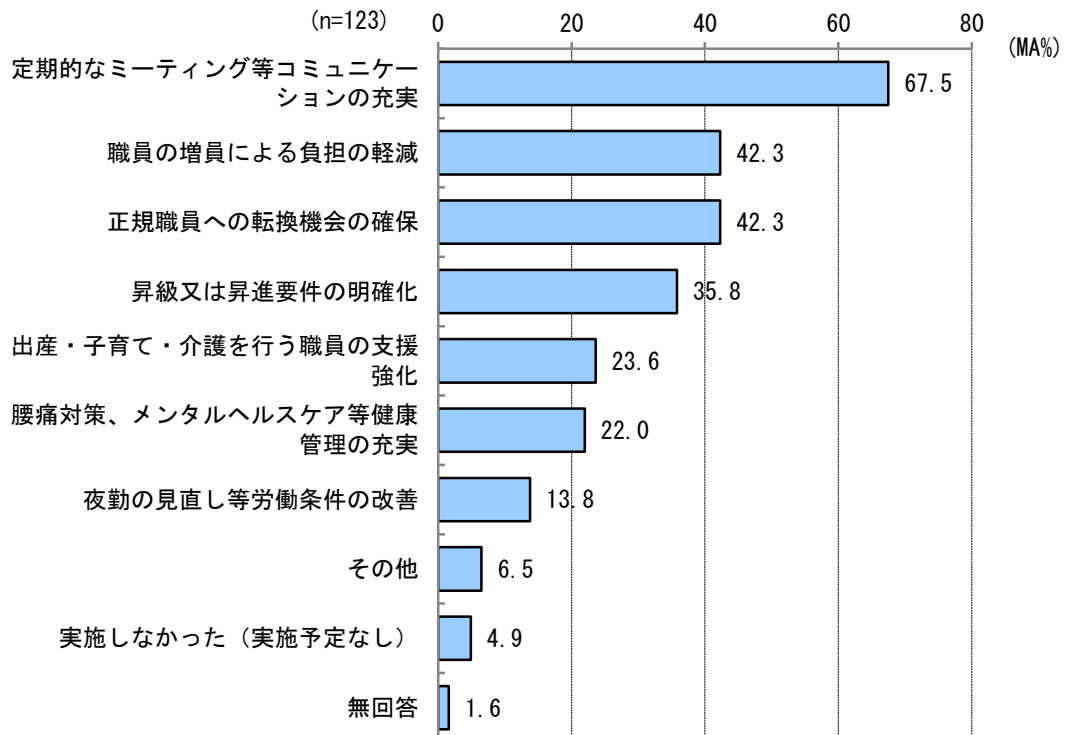
正規職員以外では、「2~3人」が18.7%で最も多く、次いで「0人」と「1人」がともに12.2%で続いている。正規職員以外のうち、常勤は「0人」が73.8%で最も多く、非常勤は「2~3人」が31.3%で最も多く、次いで「0人」が23.8%、「1人」が17.5%となっている。

(図表5-4)

(5) 職員の処遇向上のために取り組んでいること

問10 職員の処遇向上のために取り組んでいることはありますか。(〇はいくつでも)

【図表5-5 職員の処遇向上のために取り組んでいること】

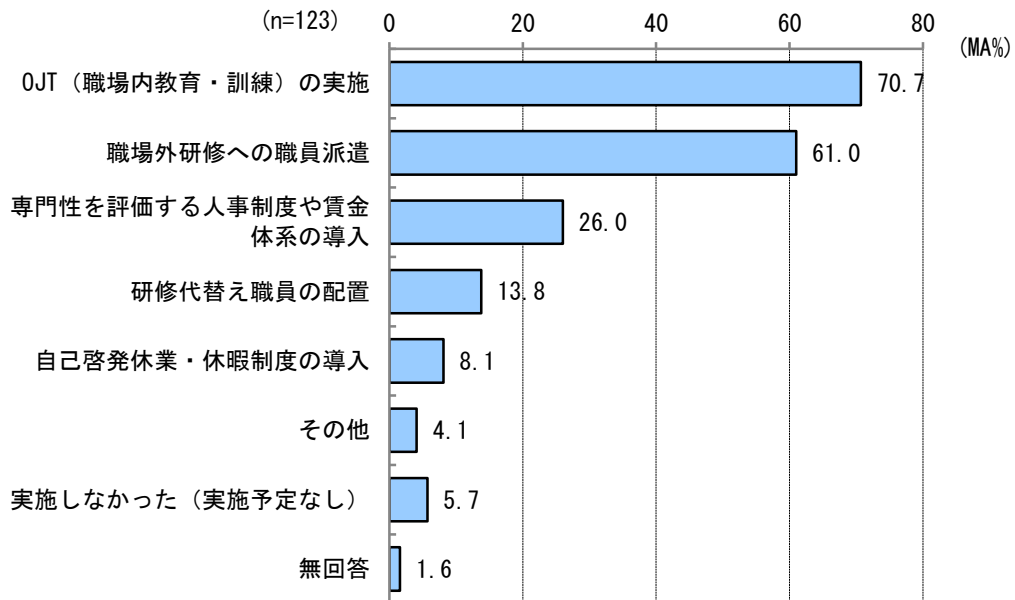


職員の処遇向上のために取り組んでいることについては、「定期的なミーティング等コミュニケーションの充実」が67.5%で最も多く、次いで「職員の増員による負担の軽減」、「正規職員への転換機会の確保」がそれぞれ42.3%、「昇級又は昇進要件の明確化」が35.8%となっている。(図表5-5)

(6) 職員のキャリアアップを促すために取り組んでいること

問11 職員のキャリアアップを促すために取り組んでいることはありますか。(〇はいくつでも)

【図表5-6 職員のキャリアアップを促すために取り組んでいること】



職員のキャリアアップを促すために取り組んでいることについては、「OJT (職場内教育・訓練) の実施」が70.7%で最も多く、次いで「職場外研修への職員派遣」が61.0%、「専門性を評価する人事制度や賃金体系の導入」が26.0%となっている。(図表5-6)

6 自由意見

問12 その他、ご意見やご要望などお気づきのことがありましたらご記入ください。

意 見
茨木市の方々は、問合せに対し、史実に対応して下さり感謝しています。いつもご指導ありがとうございます。
新規採用が人材確保が困難な状況が続き、慢性的な人手不足。今、在籍している職員の質の向上と、働き続けやすい職場づくりに努力しているつもりです。
当社は、介護職員は採用しておらず、医療（看護師、PSW）スタッフの採用を行っています。よって、設問に答えることの出来ない箇所がありました。ご了承ください。
介護保険下でも、訪問看護職は医療職と思います。
いつもお世話になり、ありがとうございます。現在は、特に困った事等はありません。今後とも、よろしく願い致します。
社会福祉法人の特別（待遇・利益）の供与等、不公正な行政を止めてほしい。デイサービス等、社福が運営する必要があるのか？利益事業として、課税すべき。看取りを実施しているサ高住については、地域密着型特定施設として認めるべき。
職員の昇給や研修、評価制度など、諸制度を導入し、労働環境の改善に取り組んでいるが、そもそも絶対数が不足している。福祉業界の人にも、それ以外の人にも、介護の仕事の楽しさや素晴らしさ、安定して成長できる仕事なのだと啓発したり、就職困難者でも働きやすくなるような支援があれば助かります。よろしく願いします。
特定事業所加算はあるが、要件が厳しい。そもそも職員の賃金を上げるなど、人手不足を行政が解消するよう協力してほしい。家賃補助など、一定の評価ができそうなものもあるが、介福に限ってしまっは即効性がない。
各事業や他の事業所の職員との情報交換が、ネット上が中心となり過ぎないようにと思っています。
現在は、介護保険の利用者はゼロで実績はありませんが、現在、障害福祉サービスを利用されている方が、介護保険の年齢になった時に、スムーズに移行できるかという不安はよく伺います。